# 和歌山市　子ども･子育て支援事業に関する
# ニーズ調査

## 【結果報告書】

平成 26 年 2 月

和歌山市

# 目　　次

Ⅰ．調査の概要 ..... 1
　１　調査の目的 ..... 2
　２　調査概要 ..... 2
　３　報告書の見方 ..... 2

Ⅱ．調査結果 ..... 3
　１　お住まいの地域・ご家族の状況等について ..... 4
　２　子どもの育ちをめぐる環境について ..... 8
　３　保護者の就労状況について ..... 12
　４　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童） ..... 19
　５　地域の子育て支援事業の利用状況について ..... 25
　６　土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童） ..... 32
　７　病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ） ..... 35
　８　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について ..... 40
　９　小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童（５歳以上）） ..... 47
　１０　育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童） ..... 54
　１１　妊娠中や出産・子育ての不安と悩みについて（就学前児童） ..... 62
　１２　子育てに関する不安や悩みに関して ..... 64
　１３　ワーク・ライフ・バランスについて（小学生児童） ..... 69
　１４　子どもの活動促進や安全確保について（小学生児童） ..... 71
　１５　和歌山市での子育てや子育て支援サービスについて ..... 74

Ⅲ．調査結果 ..... 83
　１　性別や学年などについて ..... 84
　２　学校生活について ..... 87
　３　放課後や休日の過ごし方について ..... 90
　４　携帯電話（スマートフォン）やパソコンの利用について ..... 95
　５　日常生活の様子やふだん思っていることについて ..... 98
　６　将来のことについて ..... 106
　７　あなた自身のことについて ..... 121

# Ⅰ．調査の概要

# １　調査の目的

和歌山市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成します。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するとともに、子ども・若者支援に向けた取組を推進するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援、子ども・若者支援にたいする状況や意見などを把握するために実施しました。

# ２　調査概要

●調 査 地 域：和歌山市全域

●調査対象者：①和歌山市在住の「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）
②和歌山市内在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
③和歌山市内在住の「小学生」「中学生」「高校生」

●抽 出 方 法：住民基本台帳より、無作為抽出

●調 査 期 間：平成 25 年 11 月５日（火）～平成 25 年 11 月 30 日（火）

●調 査 方 法：①②は郵送配布・郵送回収による郵送調査法
③は、学校を通じて直接配布・回収

| 調　査　票 | 調査対象者数（配布数） | 回収数 | 回収率 |
|---|---|---|---|
| 就 学 前 児 童 | 3,000 | 1,240 | 41.3% |
| 小 学 生 児 童 | 1,000 | 453 | 45.3% |
| 小中高生 | 1,000 | 1,036 | % |

# ３　報告書の見方

●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

●図表中における「不明・無回答」は、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

●本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

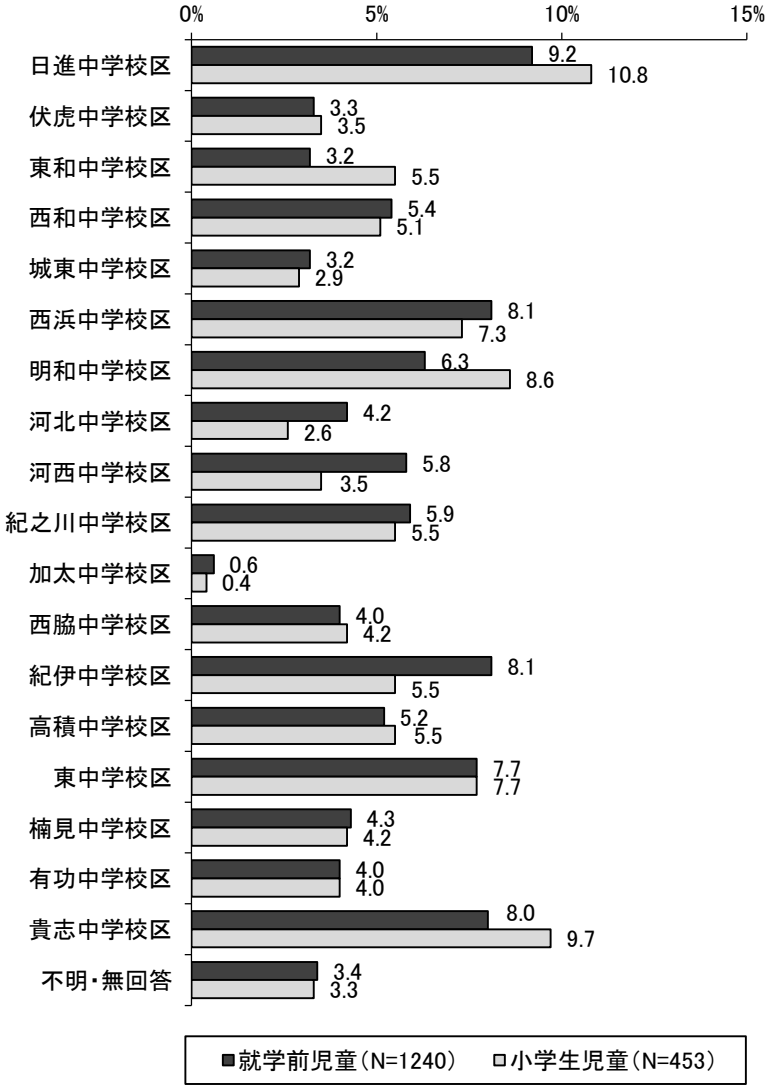
# Ⅱ．調査結果

（就学前児童調査・小学生児童調査）

# 1　お住まいの地域・ご家族の状況等について

## （１）中学校区〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

中学校区についてみると、就学前児童では「日進中学校区」が就学前児童で 9.2%、小学生児童で 10.8%と最も高くなっています。



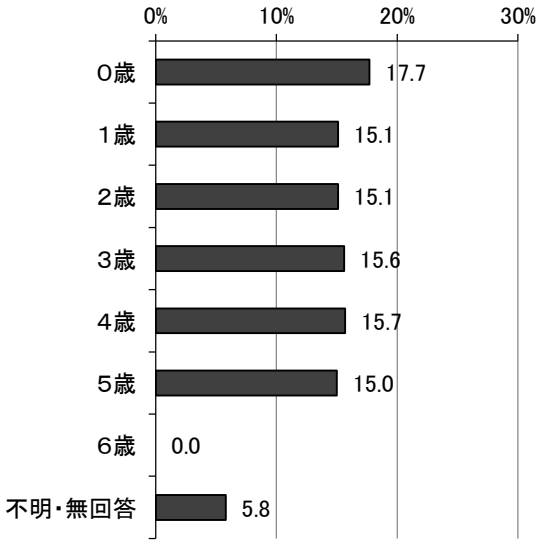
## （２）対象の子どもの生年月〈数量回答〉（平成 25 年度末時点）

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

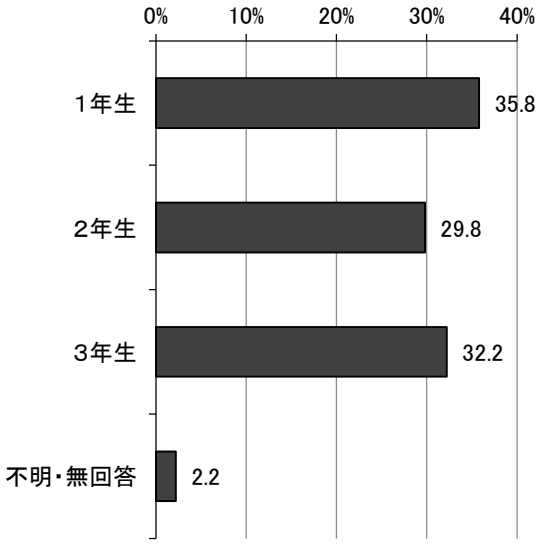
就学前児童の年齢についてみると、０歳が 17.7%、４歳が 15.7%、３歳が 15.6%となっています。

小学生児童の学年についてみると、１年生が 35.8%、３年生が 32.2%、２年生が 29.8%となっています。

就学前児童（N=1240）



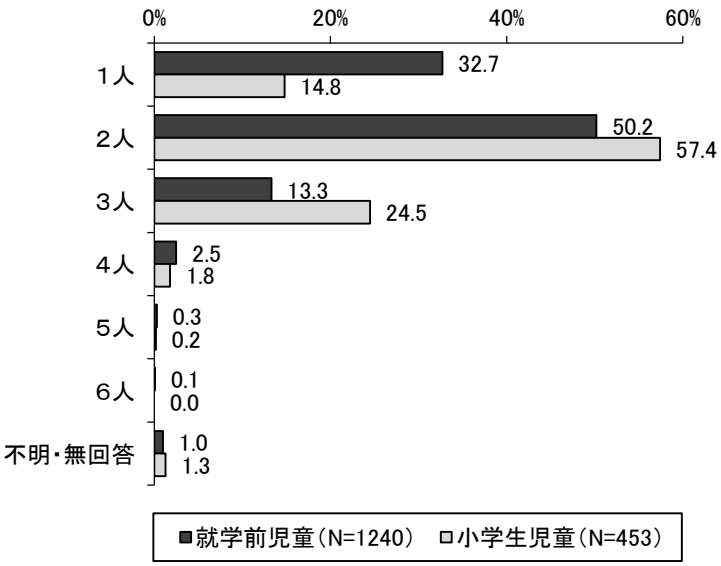

小学生児童（N=453）



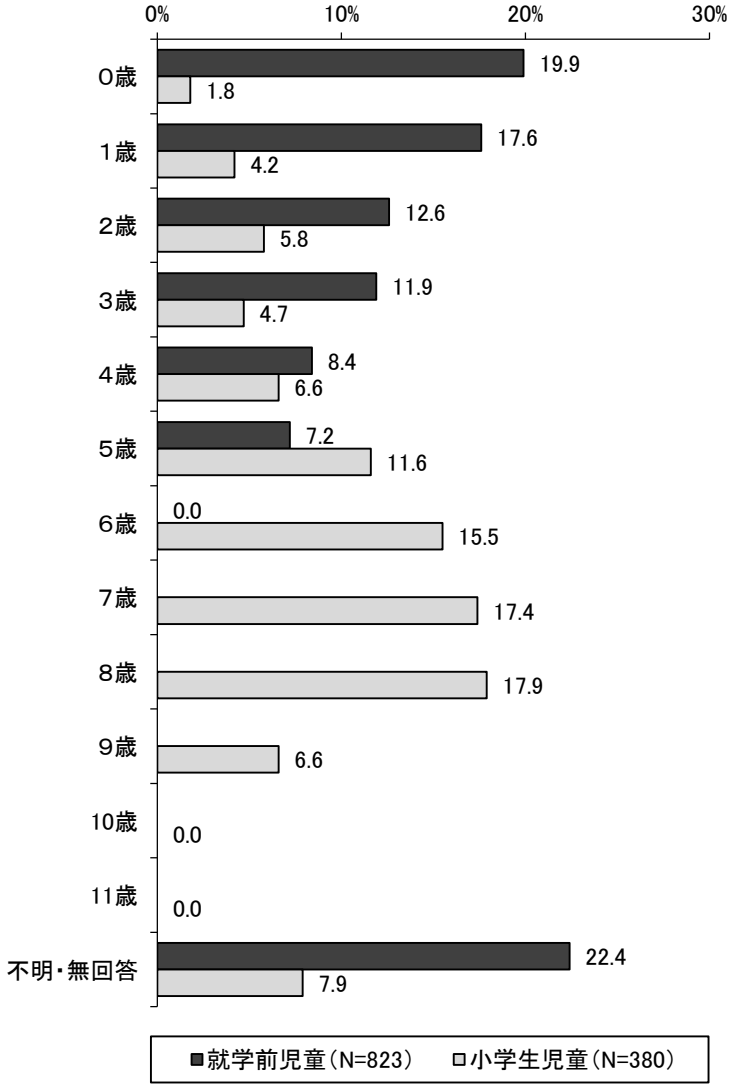

## （３）子どもの人数〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

子どもの人数についてみると、「２人」が就学前児童で 50.2%、小学生児童では 57.4%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「１人」が 32.7%、小学生児童では「３人」が 24.5%となっています。

子どもが２人以上いる場合の末子の年齢についてみると、就学前児童では「０歳」から「３歳」までが１割以上となっており、小学生児童では「５歳」から「８歳」が１割以上となっています。

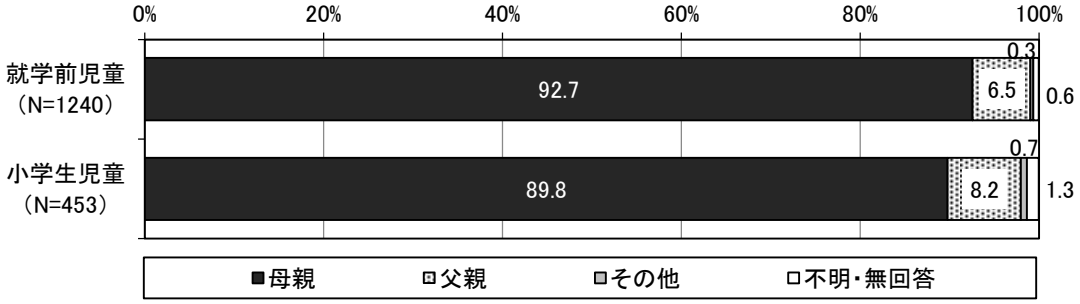


### ◎子どもが２人以上いる場合の末子の年齢〈数量回答〉



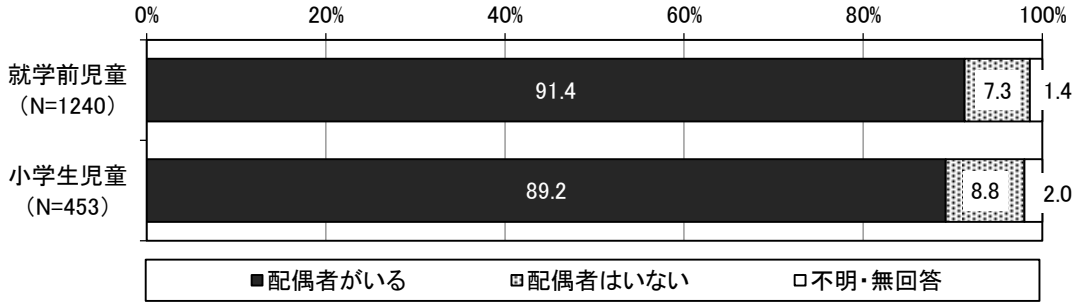

## （４）調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問4〕

回答者についてみると、「母親」が就学前児童で 92.7%、小学生児童で 89.8%と最も高く、大部分を占めています。



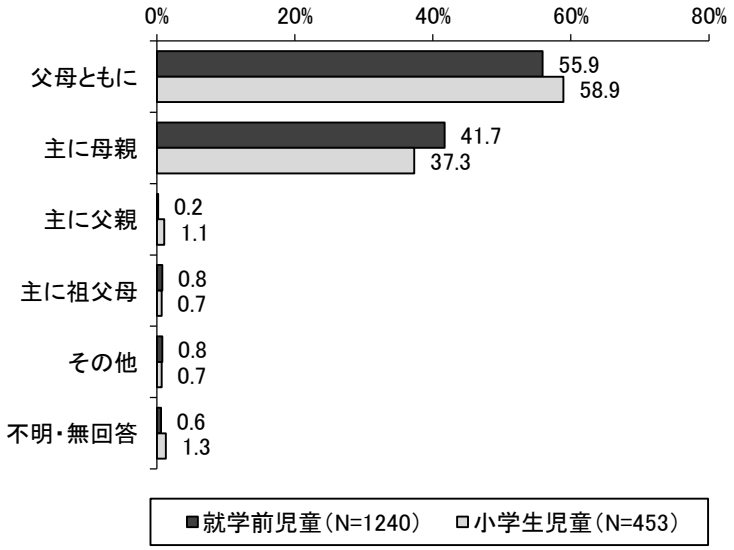
## （５）調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問5〕

回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が就学前児童で 91.4%、小学生児童で 89.2%となっています。




## （６）子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問6〕

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」が就学前児童で 55.9%、小学生児童で 58.9%と最も高く、次いで、「主に母親」が就学前児童で 41.7%、小学生児童で 37.3%となっています。

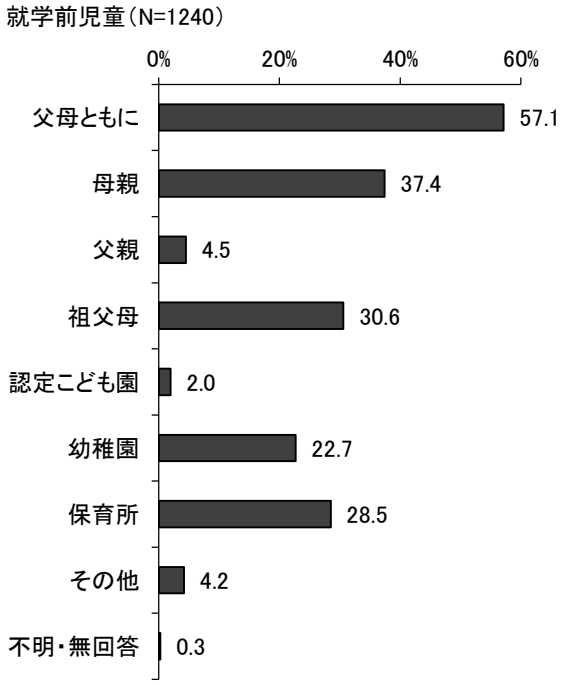


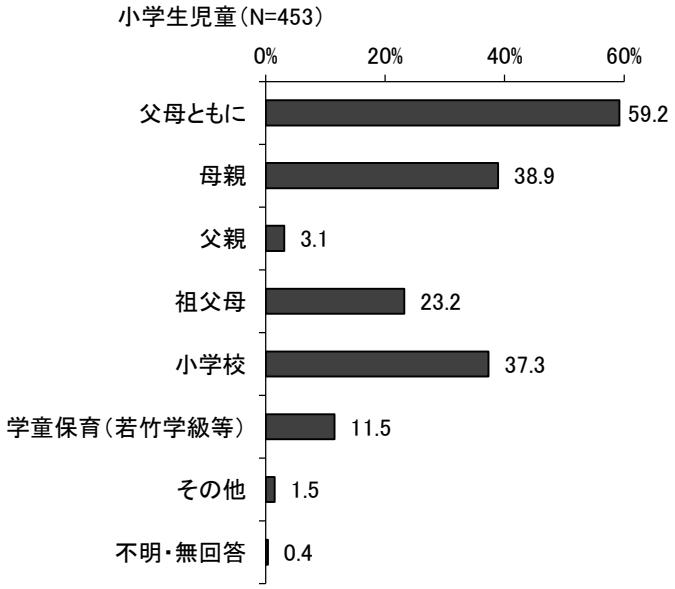
# ２　子どもの育ちをめぐる環境について

## （１）子育てに日常的に関わっている方（施設）〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問7・小学生児童調査…問 11〕

子育てに日常的に関わっている方（施設）についてみると、「父母ともに」が就学前児童で 57.1%、小学生児童で 59.2%と最も高くなっています。次いで、「母親」が就学前児童で 37.4%、小学生児童で 38.9%となっています。

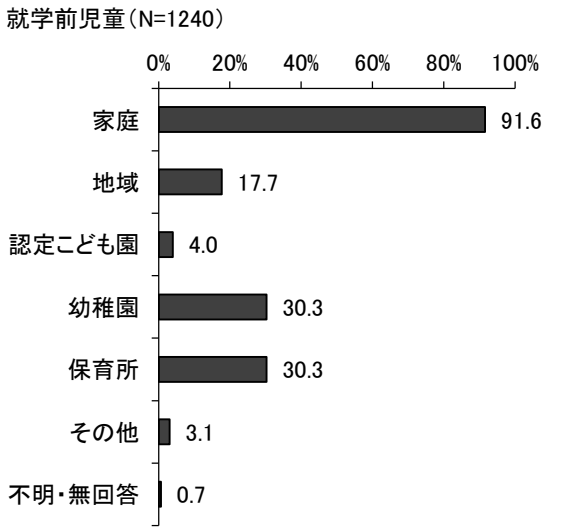


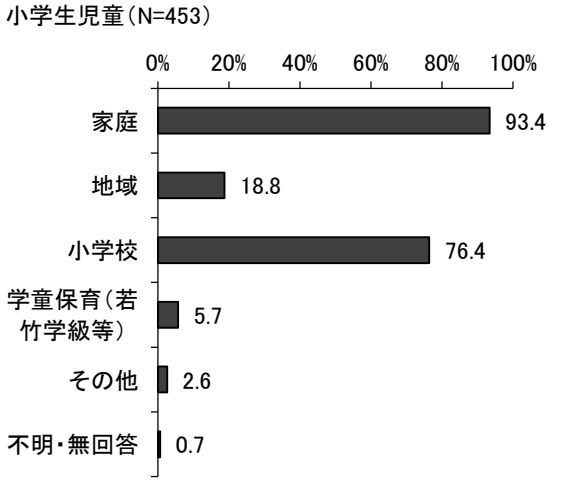




## （２）子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問8・小学生児童調査…問 12〕

子育てや教育に影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が就学前児童で 91.6%、小学生児童で 93.4%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「幼稚園」「保育所」が 30.3%、小学生児童では「小学校」が 76.4%となっています。

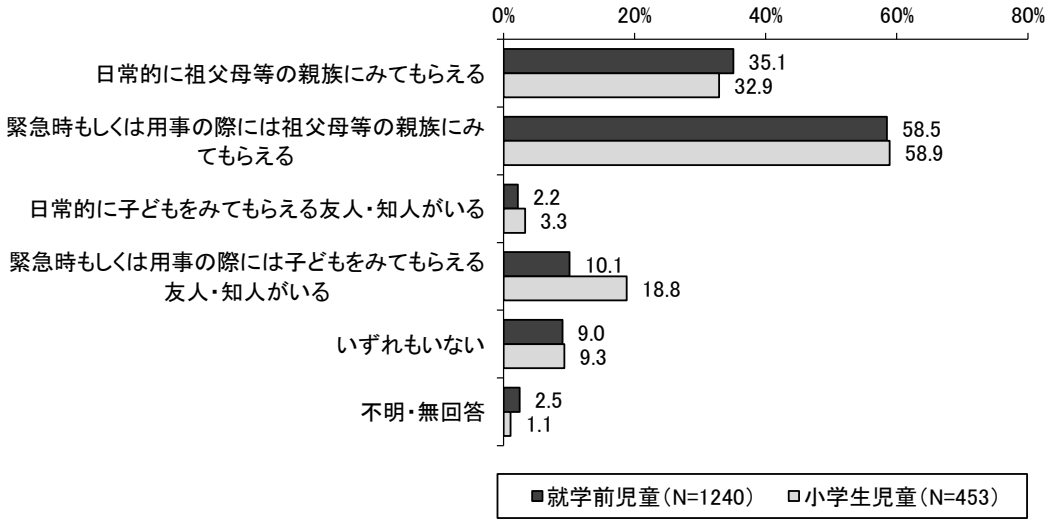


## （３）日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9・小学生児童調査…問 13〕

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で 58.5%、小学生児童で 58.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で 35.1%、小学生児童で 32.9%となっています。

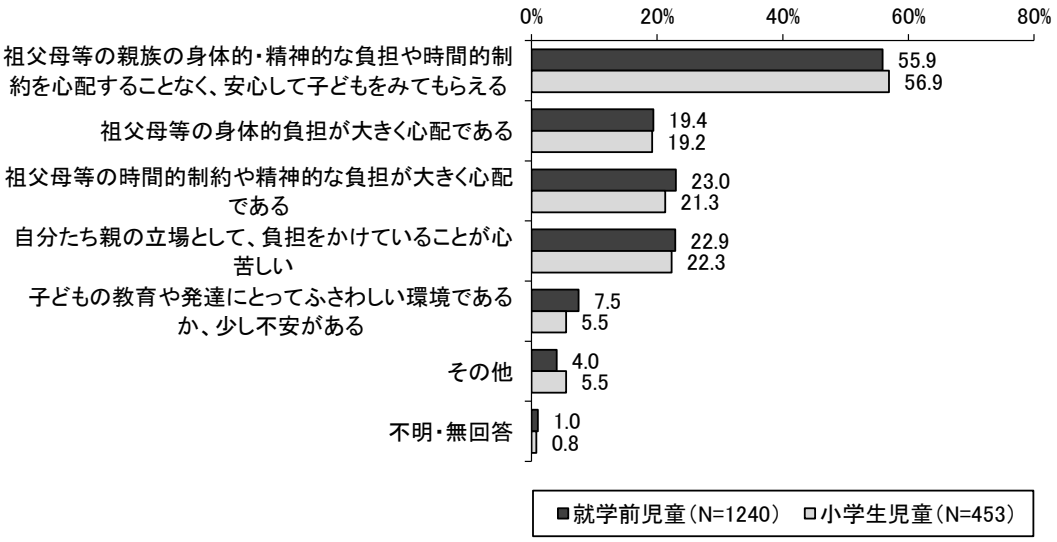



**（３）で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方**

## （３）－１　祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問9－1・小学生児童調査…問 13－1〕

祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が就学前児童で 55.9%、小学生児童で 56.9%と最も高く、次いで、就学前児童では「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 23.0%、小学生児童では「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 22.3%となっています。

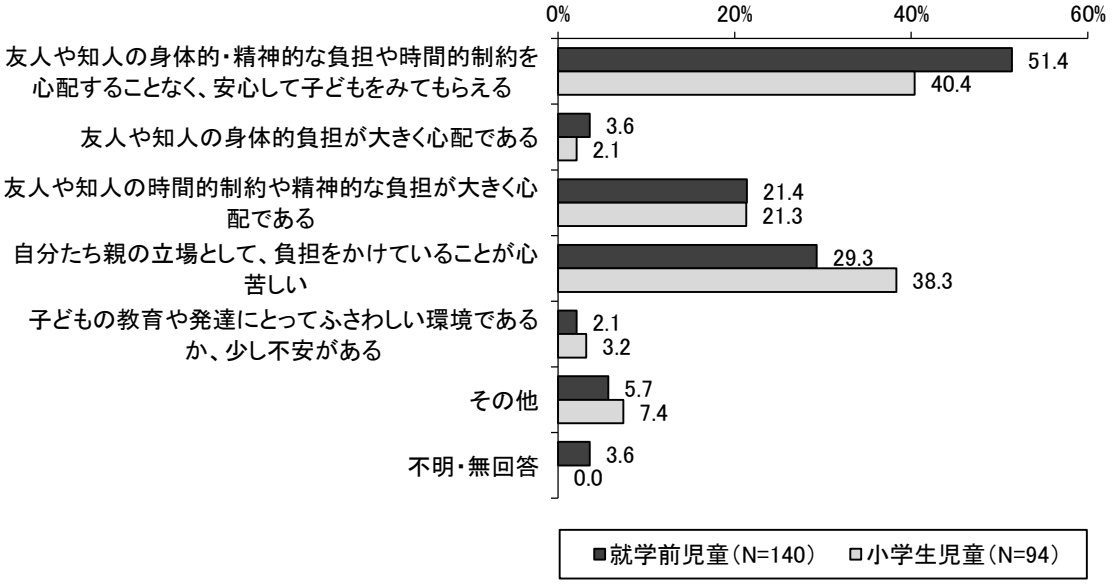


**（３）で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方**

## （３）－２　友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問９－２・小学生児童調査…問 13－２〕

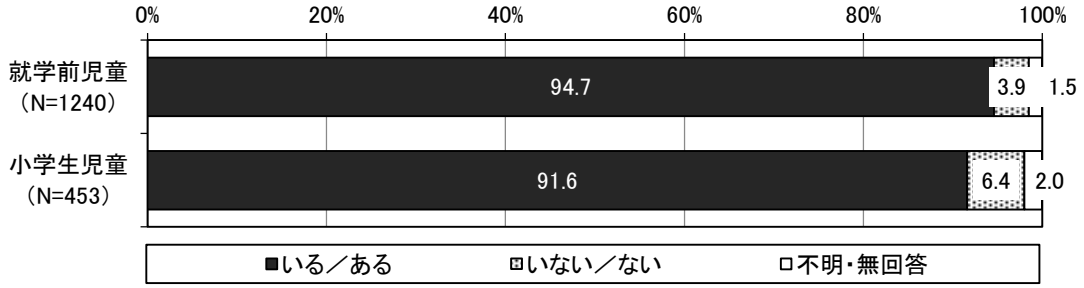
友人・知人にみてもらっている状況についてみると、「友人や知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が、就学前児童で 51.4%、小学生児童で 40.4%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前児童で 29.3%、小学生児童で 38.3%となっています。




## （４）子育てをする上での相談相手や相談できる場所の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 10・小学生児童調査…問 14〕

子育てをする上での相談相手（場所）の有無についてみると、「ある」が就学前児童で 94.7%、小学生児童で 91.6%となっています。

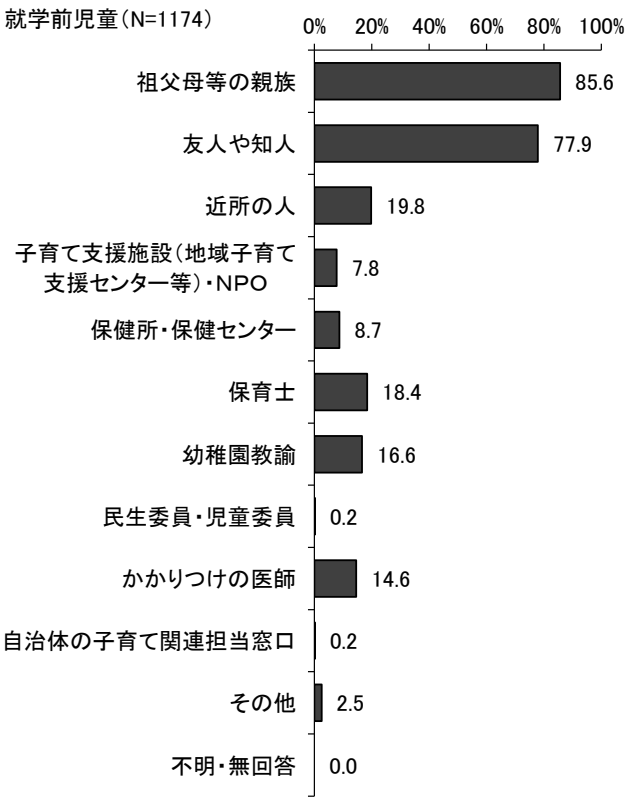


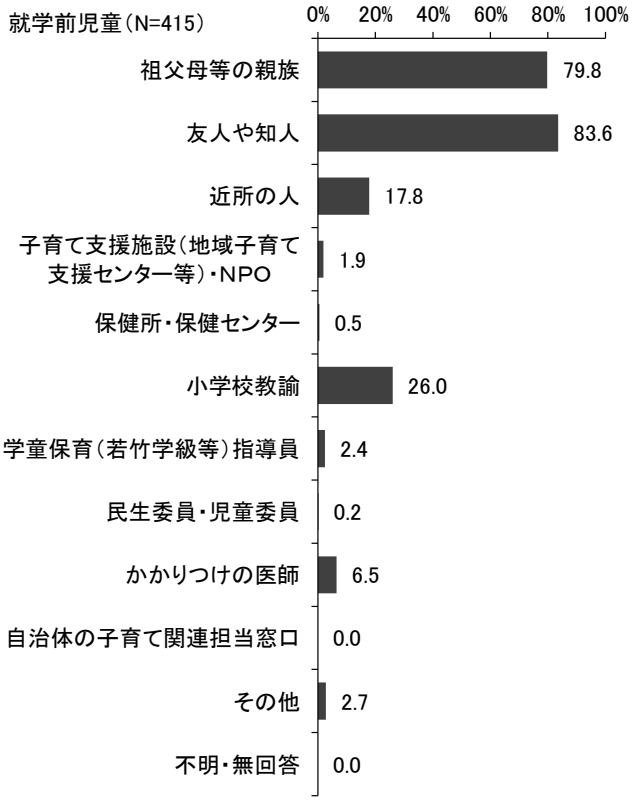
**（４）で「ある」を選んだ方**

## （４）－１　気軽に相談できる先〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 10-1・小学生児童調査…問 14-1〕

子育てに関して、気軽に相談できる先についてみると、就学前児童では「祖父母等の親族」が 85.6%、小学生児童では「友人や知人」が 83.6%と最も高くなっています。次いで就学前児童では「友人や知人」が 77.9%、小学生児童では「祖父母等の親族」が 79.8%となっています。



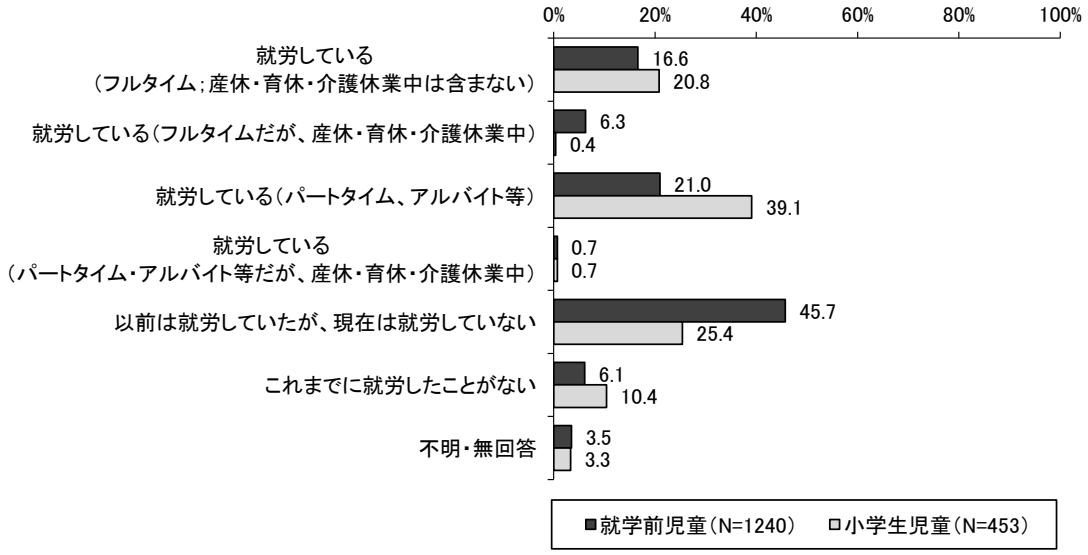



# ３　保護者の就労状況について

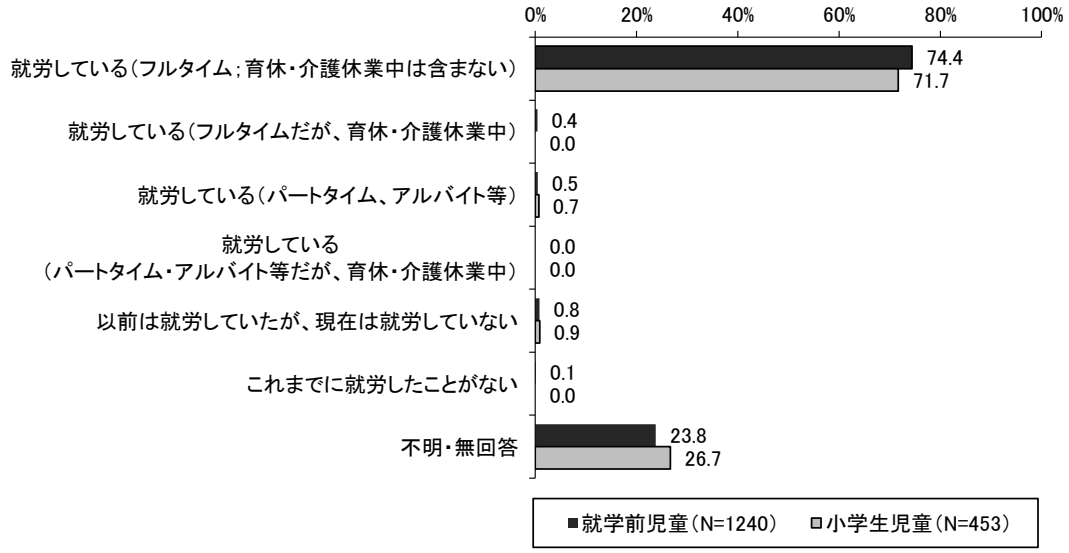
## （１）保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 12、小学生児童調査…問 16〕

保護者の就労状況についてみると、母親では就学前児童で「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 45.7%、小学生児童で「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が 39.1%と最も高くなっています。父親では「フルタイムでの就労」が就学前児童で 74.4%、小学生児童で 71.7%と最も高くなっています。

**【母親】**




**【父親】**



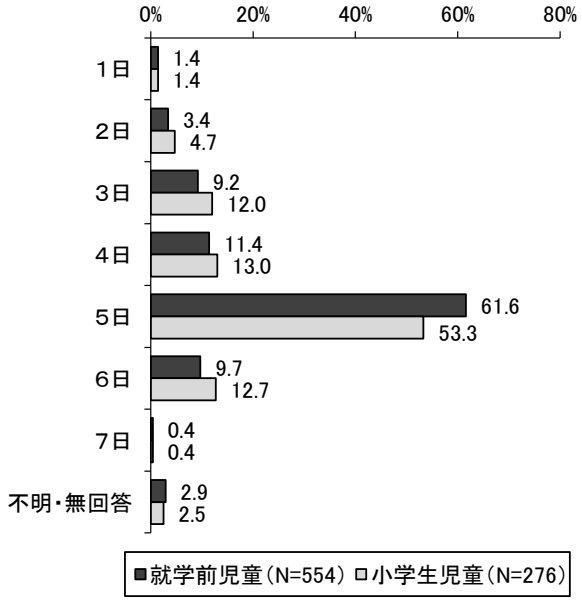

＊「フルタイム」：１週５日程度・１日８時間程度の就労
「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労

## ●就労している保護者の状況

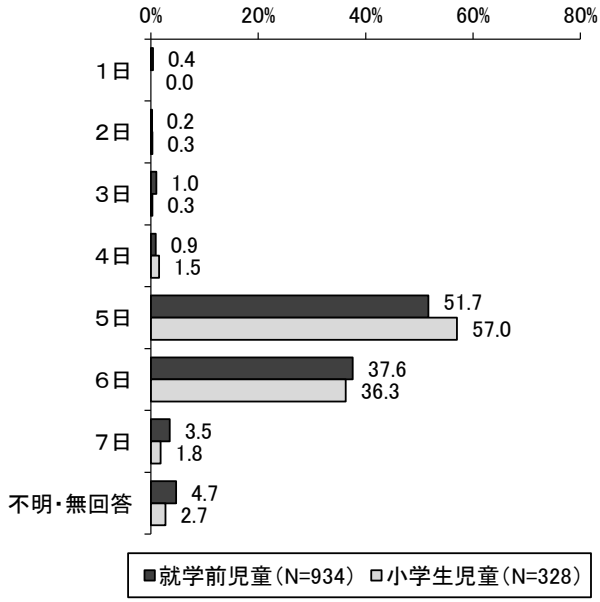
就労している保護者の状況についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに１週当たりの就労日数は「５日」、１日当たりの就労時間は「８時間」、出発時間は「７～８時台」、帰宅時間は「17～18 時台」がそれぞれ最も高くなっています。また、父親では就学前児童、小学生児童ともに１週当たりの就労日数は「５日」、１日当たりの就労時間は「９時間以上」、出発時間は「７～８時台」、帰宅時間は「19～20 時台」がそれぞれ最も高くなっています。

### ①１週当たりの就労日数〈数量回答〉

【母親】

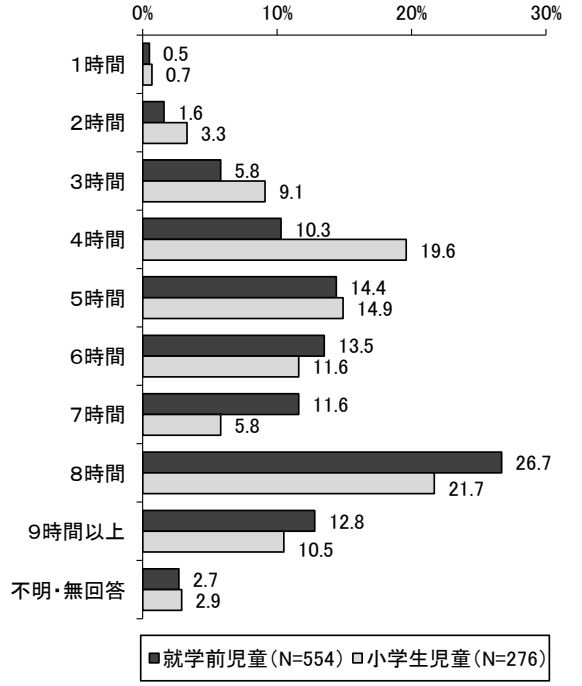



【父親】

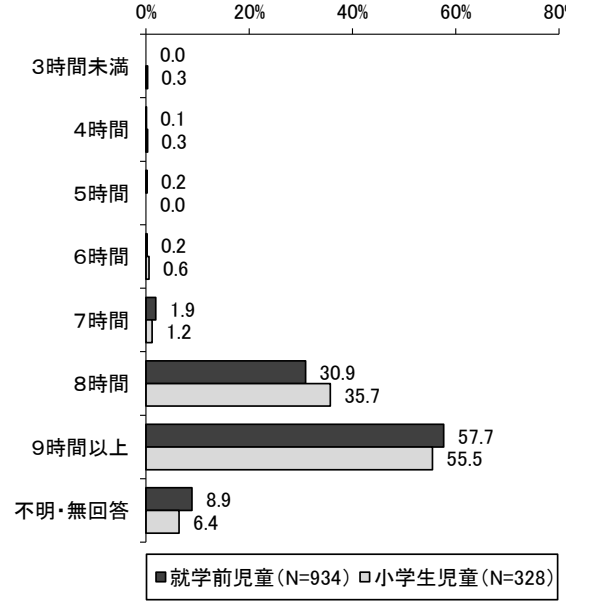



### ②１日当たりの就労時間〈数量回答〉

【母親】

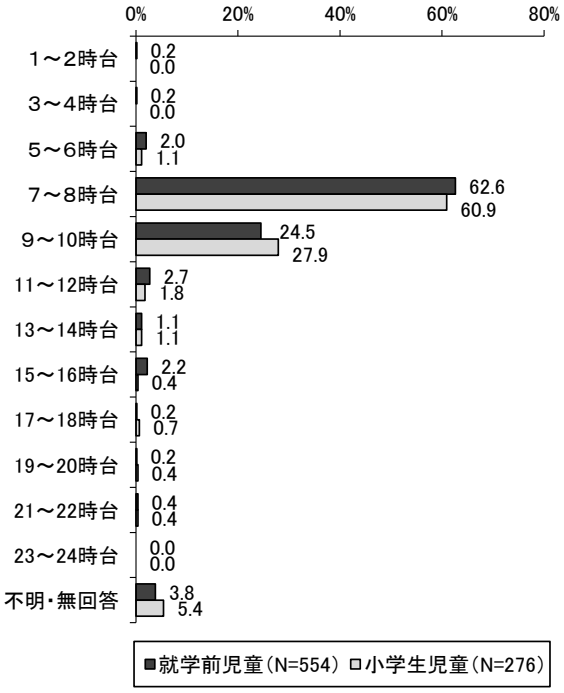



【父親】

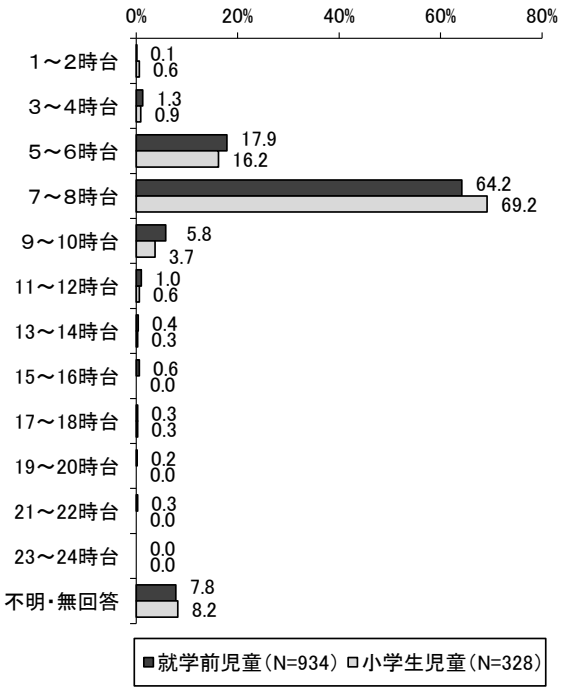


## ③出発時間〈数量回答〉

【母親】

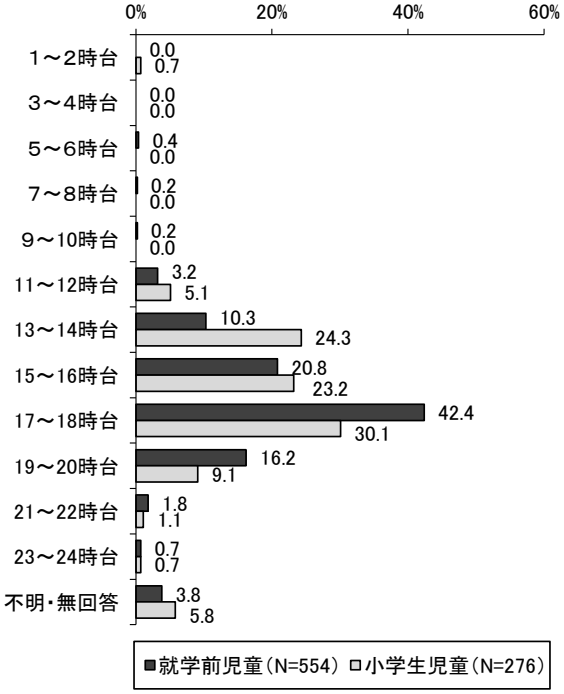



【父親】

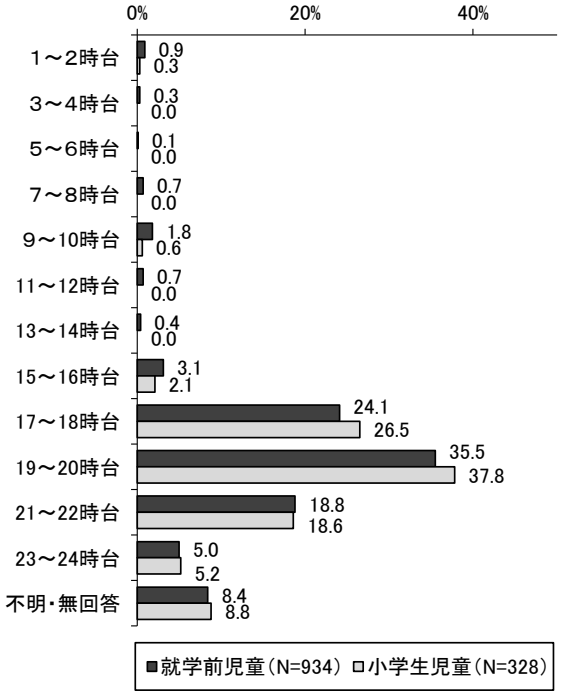



## ④帰宅時間〈数量回答〉

【母親】




【父親】



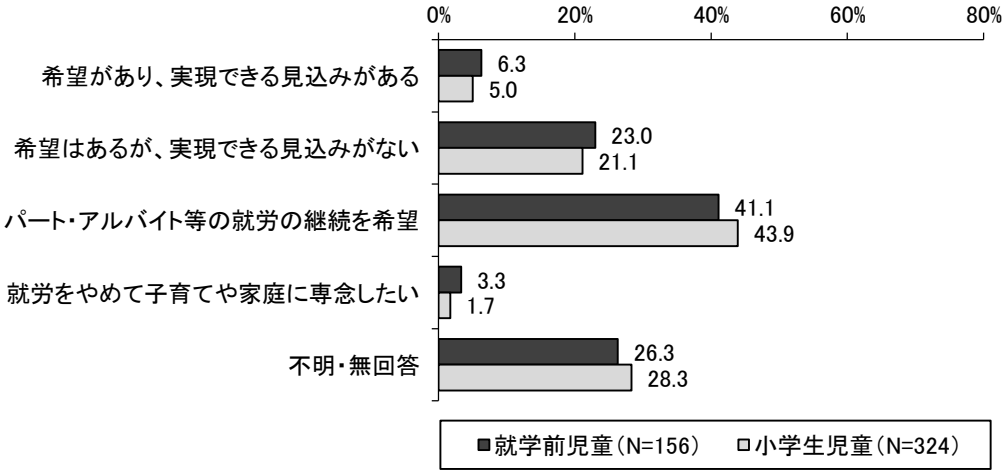
（１）で「就労している（パートタイム、アルバイト等）」または「就労している（パートタイム・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中）」を選んだ方

## （２）パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 12、小学生児童調査…問 16〕

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では、「パート・アルバイト等の就労の継続を希望」が就学前児童で 41.1%、小学生児童で 43.9%と最も高くなっています。

### 【母親】




### 【父親】

| 【父　親】<br>フルタイムへの転換希望 | 就学前児童<br>（N=6） | | 小学生児童<br>（N=3） | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 希望があり、実現できる見込みがある | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 希望はあるが、実現できる見込みがない | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 |
| パート・アルバイト等の就労の継続を希望 | 1 | 16.7 | 0 | 0.0 |
| 就労をやめて子育てや家庭に専念したい | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 5 | 83.3 | 1 | 33.3 |

（１）で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選んだ方

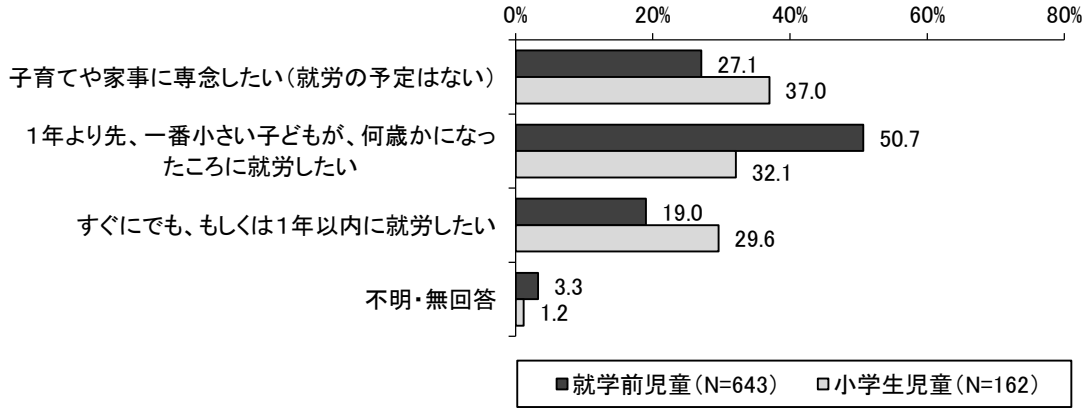
## （３）現在、就労していない方の就労希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 12-1、小学生児童調査…問 16-1〕

現在、就労していない方の就労希望についてみると、母親では就学前児童で「１年より先、一番小さい子どもが、何歳かになったころに就労したい」が 50.7%、小学生児童では「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」が 37.0%と最も高くなっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかに関しては、就学前児童、小学生児童ともに「３歳」が最も高くなっています。

**【母親】**




**【父親】**

| 【父　親】<br>就労希望 | 就学前児童<br>（N=11） | | 小学生児童<br>（N=4） | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） | 0 | 0.0 | 2 | 50.0 |
| 1年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい | 1 | 9.1 | 0 | 0.0 |
| すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい | 8 | 72.7 | 2 | 50.0 |
| 不明・無回答 | 2 | 18.2 | 0 | 0.0 |

### ①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

《「１年より先、一番下の子どもが（　）歳になったころに就労したい」を選んだ方》

| 【母　親】<br>就労したい時の末子の年齢 | 就学前児童<br>（N=326） | | 小学生児童<br>（N=52） | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 1歳 | 11 | 3.4 | 0 | 0.0 |
| 2歳 | 16 | 4.9 | 0 | 0.0 |
| 3歳 | 120 | 36.8 | 9 | 17.3 |
| 4歳 | 45 | 13.8 | 1 | 1.9 |
| 5歳 | 12 | 3.7 | 3 | 5.8 |
| 6歳 | 45 | 13.8 | 5 | 9.6 |
| 7歳 | 39 | 12.0 | 7 | 13.5 |
| 8歳 | 9 | 2.8 | 3 | 5.8 |
| 9歳 | 1 | 0.3 | 2 | 3.8 |
| 10歳 | 10 | 3.1 | 7 | 13.5 |
| 11歳 | 0 | 0.0 | 2 | 3.8 |
| 12歳 | 0 | 0.0 | 3 | 5.8 |
| 13歳 | 2 | 0.6 | 6 | 11.5 |
| 14歳以上 | 2 | 0.6 | 3 | 5.8 |
| 不明・無回答 | 14 | 4.3 | 1 | 1.9 |

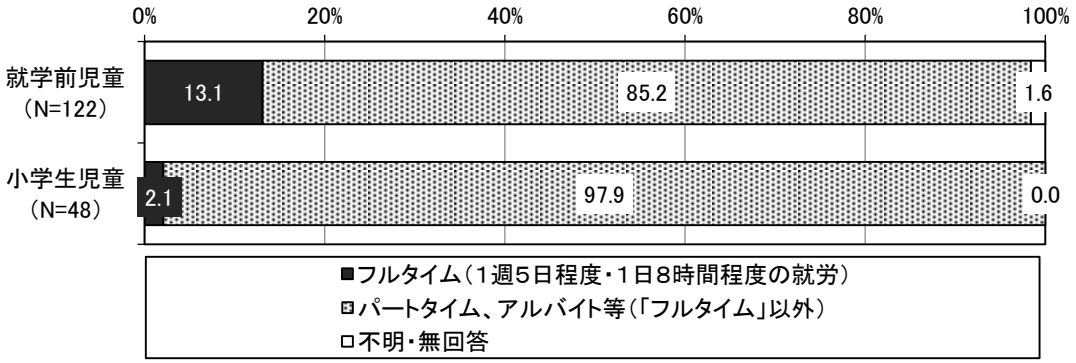
※【父親】就学前調査では「６歳」に１件、小学生調査は回答がありませんでした。

『すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい』方の希望する就労形態については、母親では「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が就学前児童で 85.2%、小学生児童で 97.9%と最も高くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する１週当たりの就労日数については、母親では就学前児童で「４日」、小学生児童で「３日」の割合が最も高くなっています。希望する１日当たりの就労時間では、母親では就学前児童で「５時間」、小学生児童で「４時間」の割合が最も高くなっています。

**②希望する就労形態〈単数回答〉**《「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」を選んだ方》

**【母親】**




**【父親】**

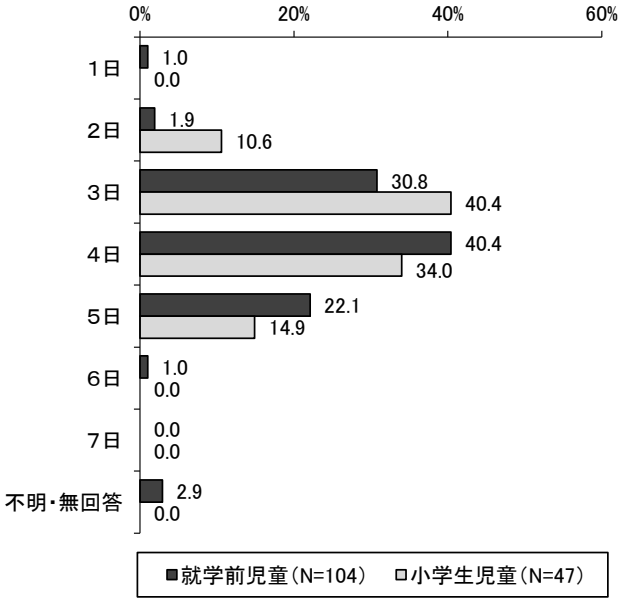
| 【父　親】<br>希望する就労形態 | 就学前児童<br>（N=8） | | 小学生児童<br>（N=2） | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） | 6 | 75.0 | 1 | 50.0 |
| パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） | 1 | 12.5 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 1 | 12.5 | 1 | 50.0 |

### ③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

《②で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方》

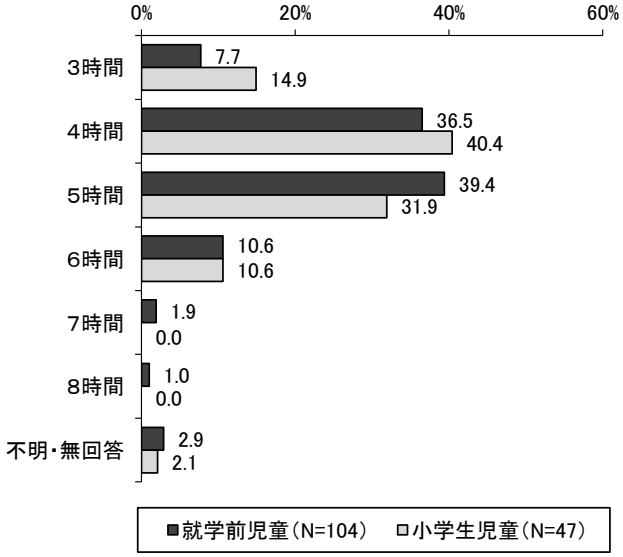
■希望する１週当たりの就労日数

**【母親】**




■希望する１日当たりの就労時間

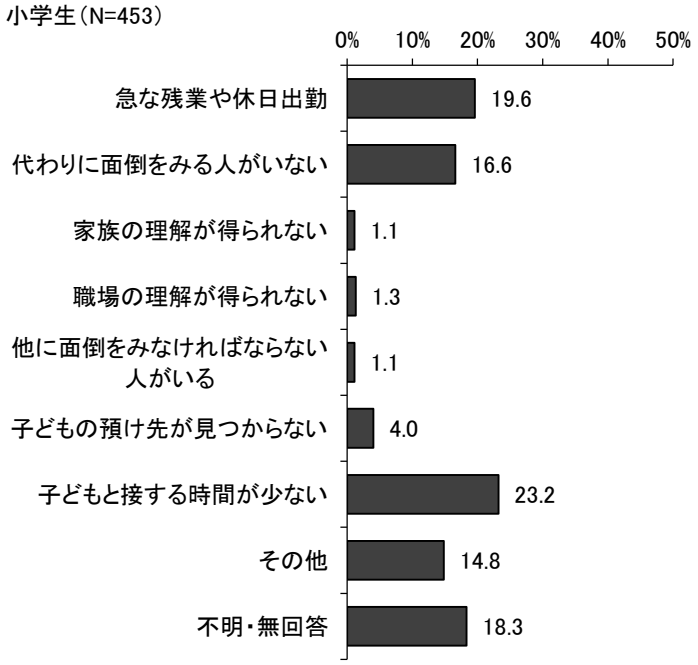
**【母親】**




※【父親】就学前児童調査で「４日」「６時間」が１件となっています。

### （４）仕事と子育ての両立で困っていること（小学生児童のみ）〈単数回答〉

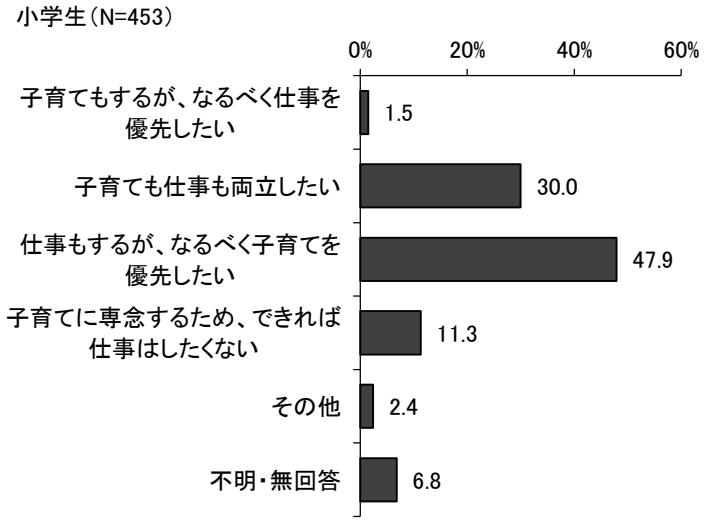
〔小学生児童調査…問 17〕




仕事と子育ての両立で困っていることについてみると、「子どもと接する時間が少ない」が 23.2%と最も高く、次いで、「急な残業や休日出勤」が 19.6%となっています。

### （４）－１　仕事と子育ての両立の理想像（小学生児童のみ）〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 18〕

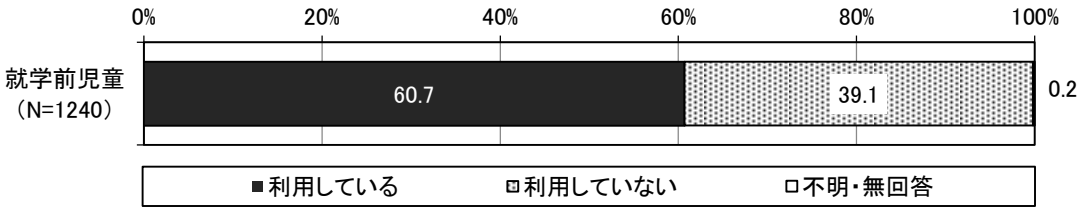



仕事と子育ての両立の理想についてみると、「仕事もするが、なるべく子育てを優先したい」が 47.9%と最も高く、次いで、「子育ても仕事も両立したい」が 30.0%となっています。

## ４　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

### （１）現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 13〕

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が 60.7%と半数以上を占めています。

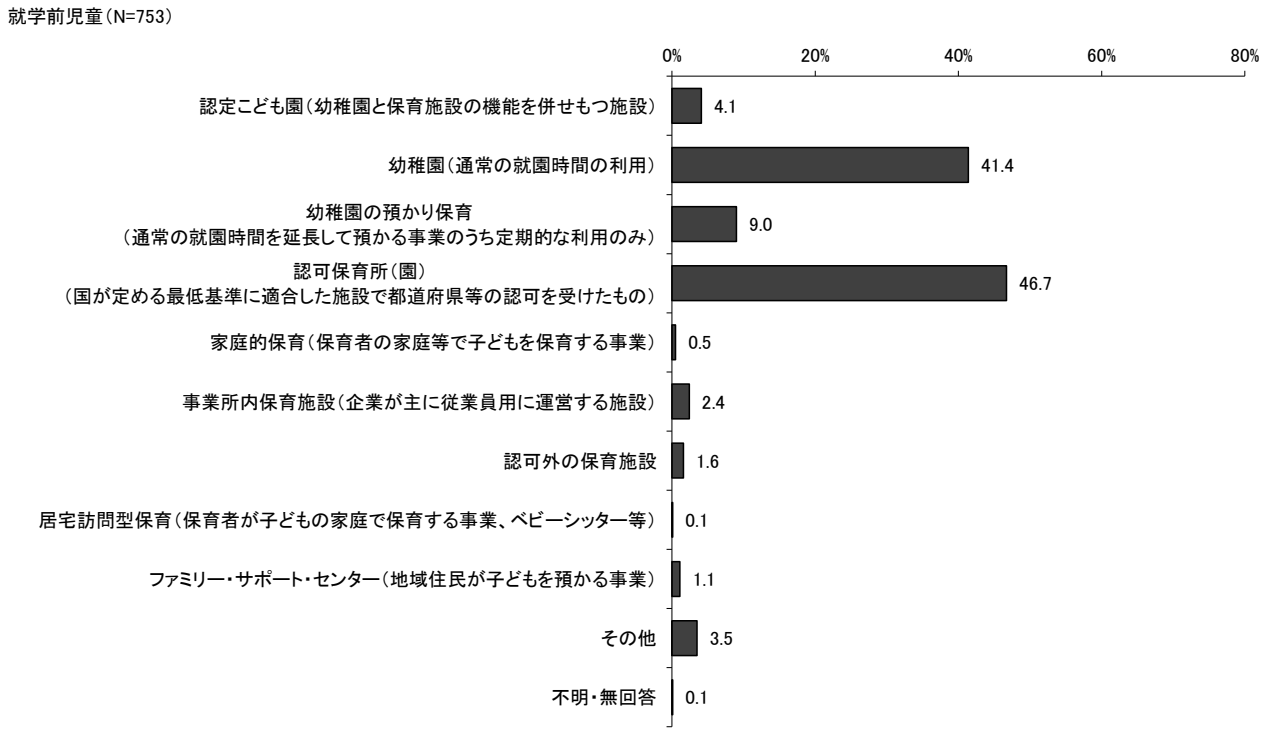



＊ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指す。
具体的には、幼稚園や保育所など、（１）－１に示す事業が含まれる。

**（１）で「利用している」を選んだ方**

## （１）－１　平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 13－1〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「認可保育所（園）」が 46.7%と最も高く、次いで「幼稚園」が 41.4%となっています。



（１）で「利用している」を選んだ方

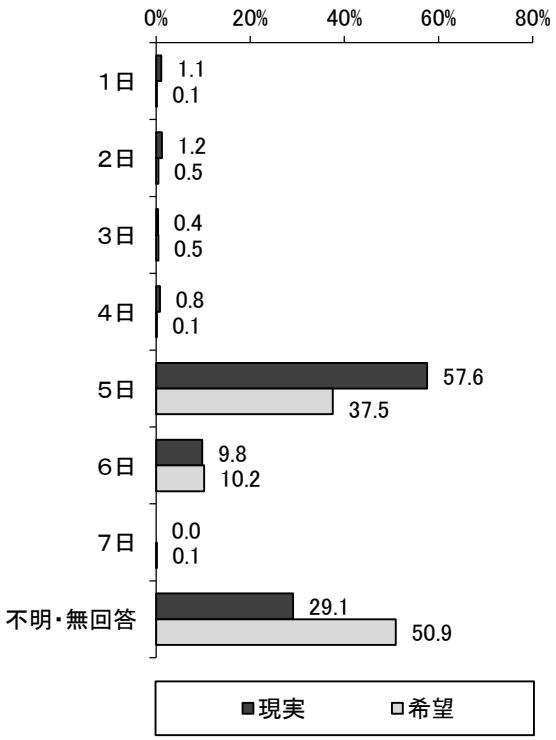
## （１）－２　平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 13－2〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、１週当たりの利用日数では、現実、希望ともに「５日」が最も高く、それぞれ 57.6%、37.5%となっています。

１日当たりの利用時間では、現実は「６時間台」、希望は「７時間台」が最も高くなっています。

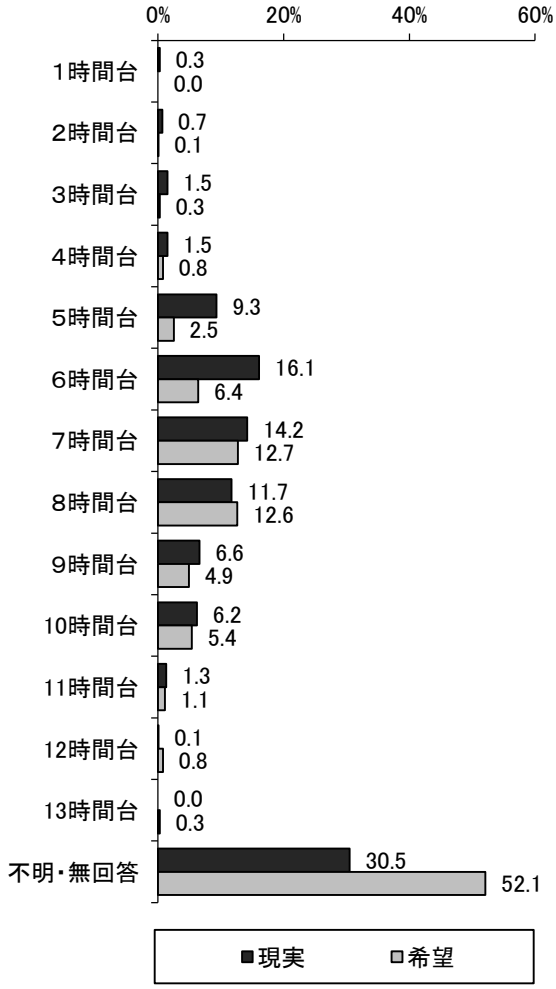
### ①１週当たりの利用日数〈数量回答〉

就学前児童（N=753）




### ②１日当たりの利用時間〈数量回答〉

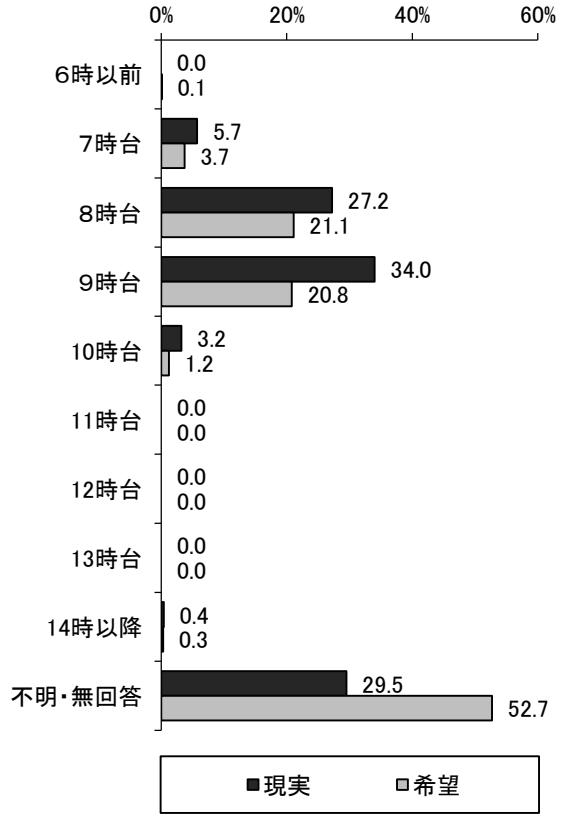
就学前児童（N=753）



利用開始時間では、現実は「9 時台」が 34.0%、希望は「8 時台」が 21.1%と最も高くなっています。また、終了時間では、現実は「15 時台」、希望は「16 時台」が最も高くなっています。

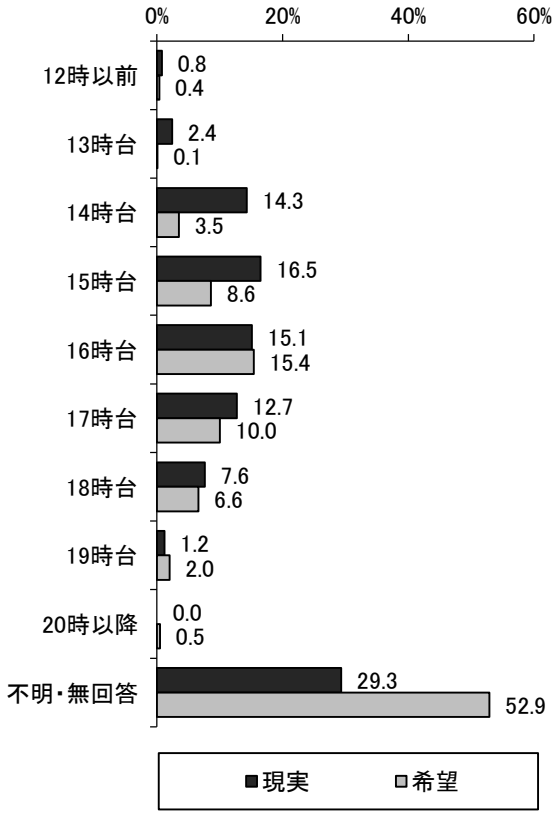
**③利用開始時間〈数量回答〉**

就学前児童（N=753）




**④利用終了時間〈数量回答〉**

就学前児童（N=753）

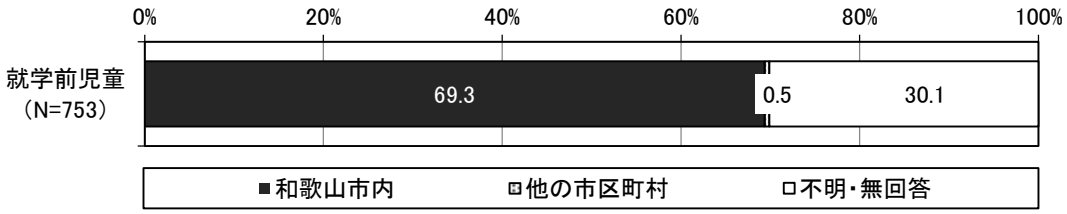



**（１）で「利用している」を選んだ方**

## （１）－３　平日、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 13－3〕

平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「和歌山市内」が 69.3%と半数以上を占めています。

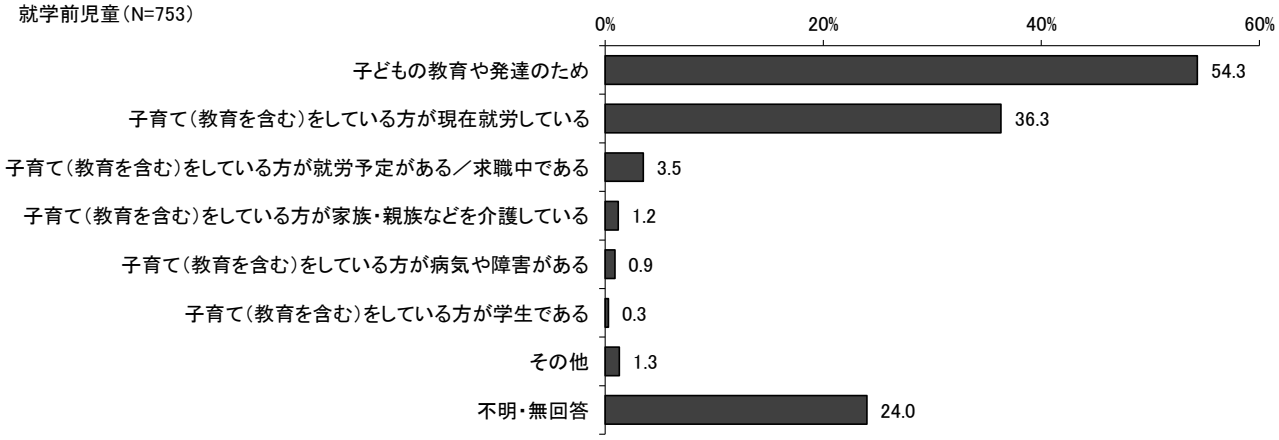


**（１）で「利用している」を選んだ方**

## （１）－４　平日、教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 13－4〕

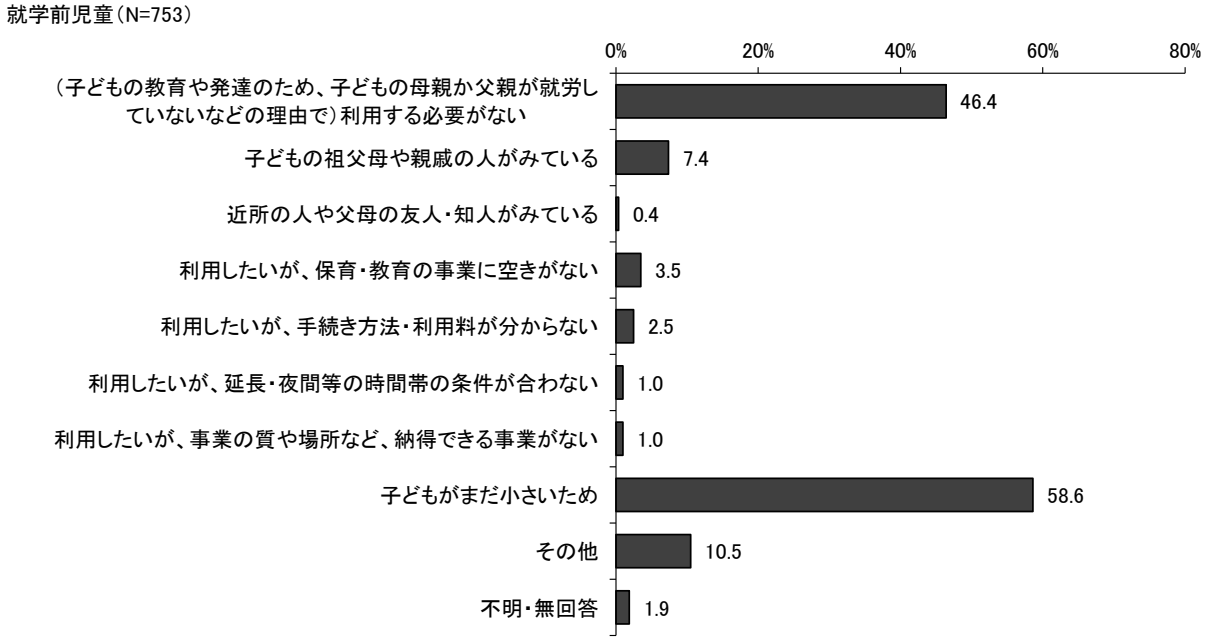
平日、教育・保育事業を利用している主な理由についてみると、「子どもの教育や発達のため」が54.3%と最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 36.3%となっています。




**（１）で「利用していない」を選んだ方**

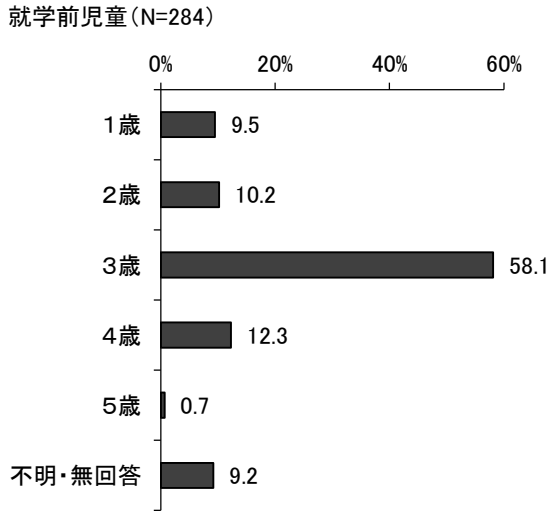
## （１）－５　利用していない主な理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 13－5〕

平日、教育・保育事業を利用していない主な理由についてみると、「子どもがまだ小さいため」が58.6%と最も高く、次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 46.4%となっています。



### ◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉

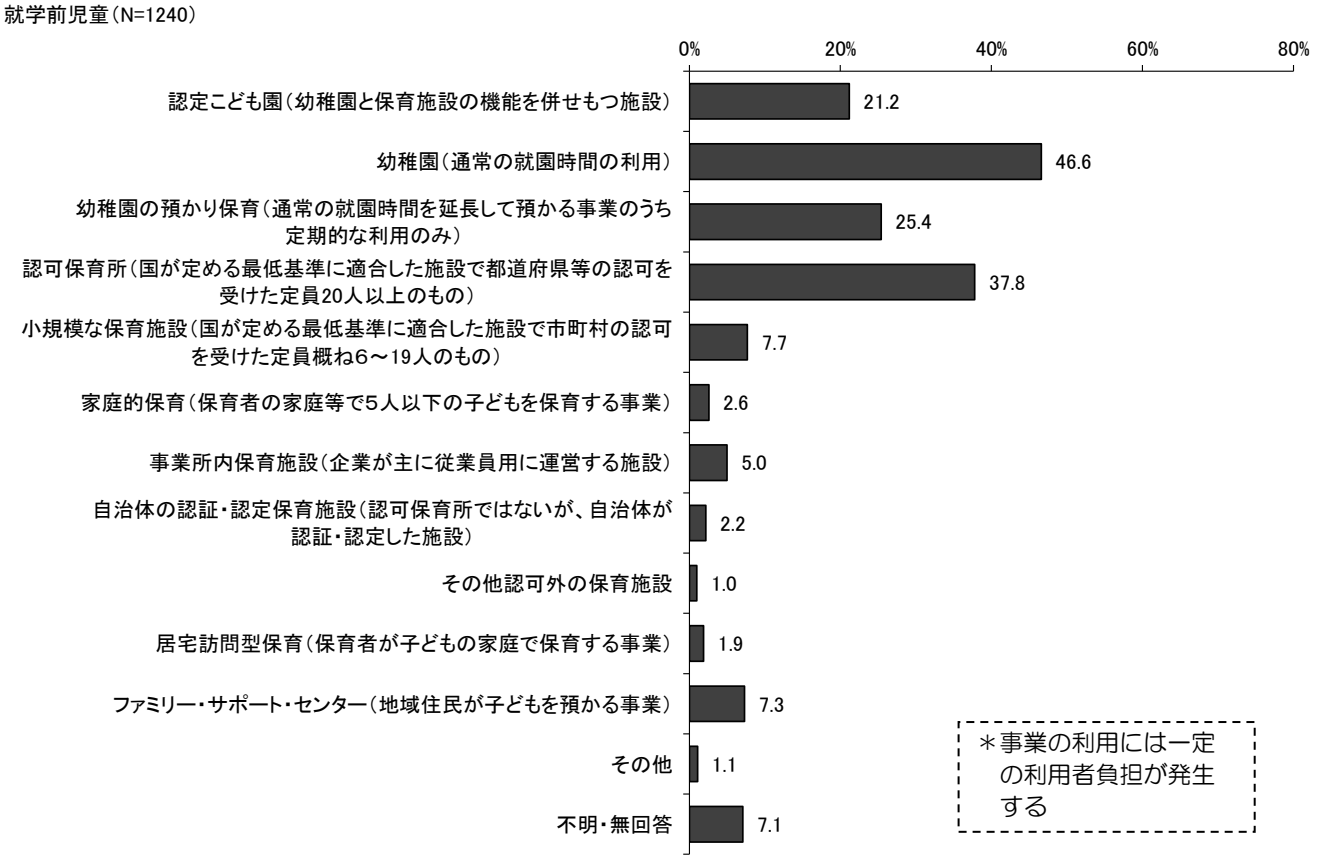
《「子どもがまだ小さいため（　歳くらいになったら利用しようと考えている）」を選んだ方》




子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようと考える時の子どもの年齢については、「３歳」が 58.1％と最も高くなっています。

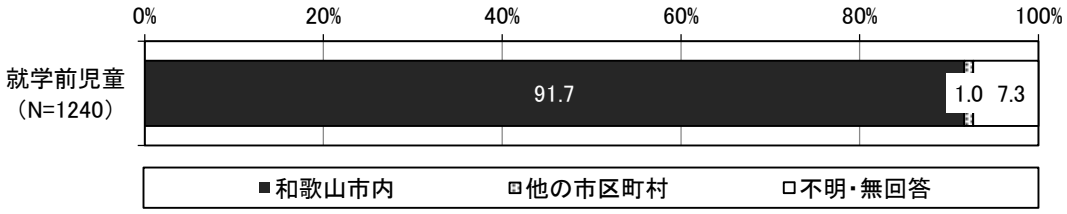
### （２）現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 14〕

今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業についてみると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 46.6％で最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 37.8％、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が 25.4％となっています。



### （２）－１　教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 15〕

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「和歌山市内」が 91.7%と大部分を占めています。



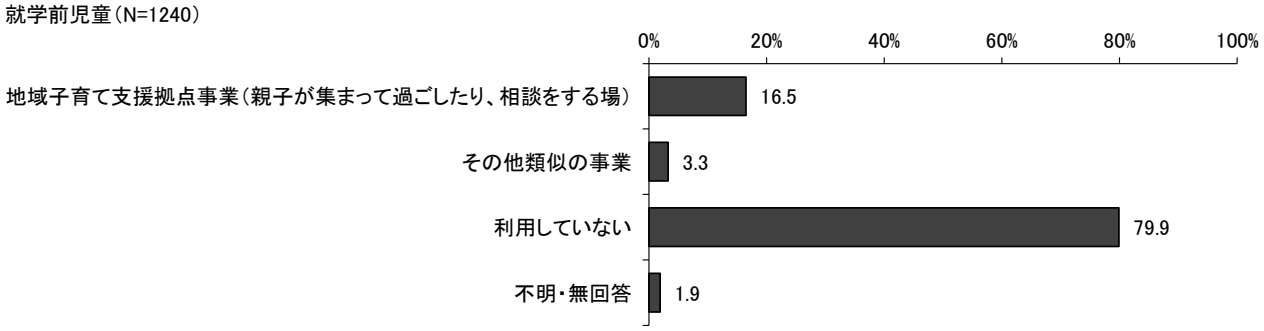

## ５　地域の子育て支援事業の利用状況について

### （１）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況（就学前児童のみ）〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 16〕

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が 16.5%、「その他類似の事業」が 3.3%となっています。一方、「利用していない」は 79.9%となっています。

また、１週当たりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』『その他類似の事業』ともに「１回」の割合が高くなっています。１ヶ月当たりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』『その他類似の事業』ともに「１回」の割合が高くなっています。



### ◎１週当たりもしくは１ヶ月当たりの利用回数〈数量回答〉

《「地域子育て支援拠点事業」「その他類似の事業」を選んだ方》

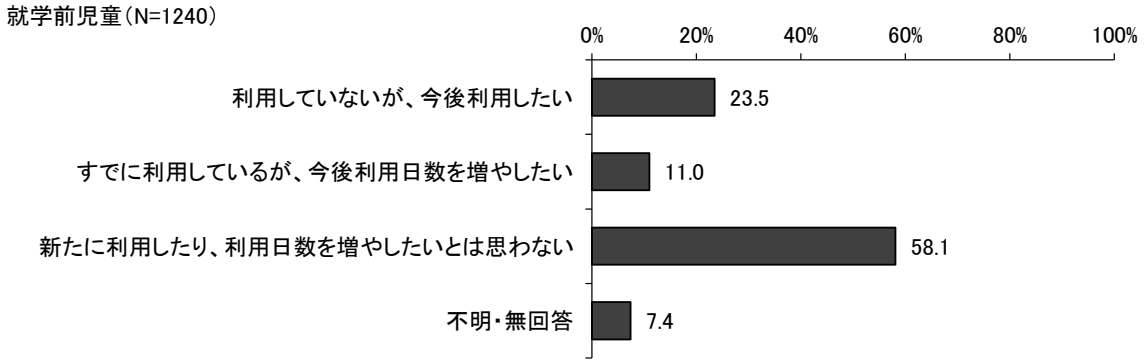
地域子育て支援拠点事業の１週当たりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』『その他類似の事業』ともに「１回」の割合が高くなっています。１ヶ月当たりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』『その他類似の事業』ともに「１回」の割合が高くなっています。

| 【就学前児童】1週当たりの利用回数 | 地域子育て支援拠点事業（N=205） | | その他類似の事業（N=41） | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 1回 | 25 | 12.2 | 6 | 14.6 |
| 2回 | 14 | 6.8 | 2 | 4.9 |
| 3回 | 7 | 3.4 | 2 | 4.9 |
| 4回 | 1 | 0.5 | 0 | 0.0 |
| 5回以上 | 2 | 1.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 156 | 76.1 | 31 | 75.6 |
| 【就学前児童】1ヶ月当たりの利用回数 | 地域子育て支援拠点事業（N=205） | | その他類似の事業（N=41） | |
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 1回 | 89 | 43.4 | 14 | 34.1 |
| 2回 | 45 | 22.0 | 13 | 31.7 |
| 3回 | 19 | 9.3 | 3 | 7.3 |
| 4回 | 7 | 3.4 | 1 | 2.4 |
| 5回以上 | 6 | 2.9 | 1 | 2.4 |
| 不明・無回答 | 39 | 19.0 | 9 | 22.0 |

## （２）地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向（就学前児童のみ）〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 17〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 58.1％と最も高くなっています。



## ◎１週当たりもしくは１ヶ月当たりの利用希望回数〈数量回答〉

《「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方》

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、１週当たりの利用希望回数では、『地域子育て支援拠点事業』『その他類似の事業』ともに「１回」の割合が高くなっています。１ヶ月当たりの利用希望回数では、『地域子育て支援拠点事業』で「１回」、『その他類似の事業』で「２回」の割合が、それぞれ高くなっています。

| 【就学前児童】1週当たりの利用希望回数 | 地域子育て支援拠点事業（N=292） | | その他類似の事業（N=136） | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 1回 | 70 | 24.0 | 46 | 33.8 |
| 2回 | 17 | 5.8 | 21 | 15.4 |
| 3回 | 3 | 1.0 | 6 | 4.4 |
| 4回 | 0 | 0.0 | 3 | 2.2 |
| 5回以上 | 3 | 1.0 | 2 | 1.5 |
| 不明・無回答 | 199 | 68.2 | 58 | 42.6 |

| 【就学前児童】1ヶ月当たりの利用希望回数 | 地域子育て支援拠点事業（N=292） | | その他類似の事業（N=136） | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 1回 | 114 | 39.0 | 9 | 6.6 |
| 2回 | 83 | 28.4 | 23 | 16.9 |
| 3回 | 19 | 6.5 | 5 | 3.7 |
| 4回 | 12 | 4.1 | 17 | 12.5 |
| 5回以上 | 8 | 2.7 | 12 | 8.8 |
| 不明・無回答 | 56 | 19.2 | 70 | 51.5 |

## （３）子育てに関する機関や子育てサービスの認知度と利用経験、今後の利用意向

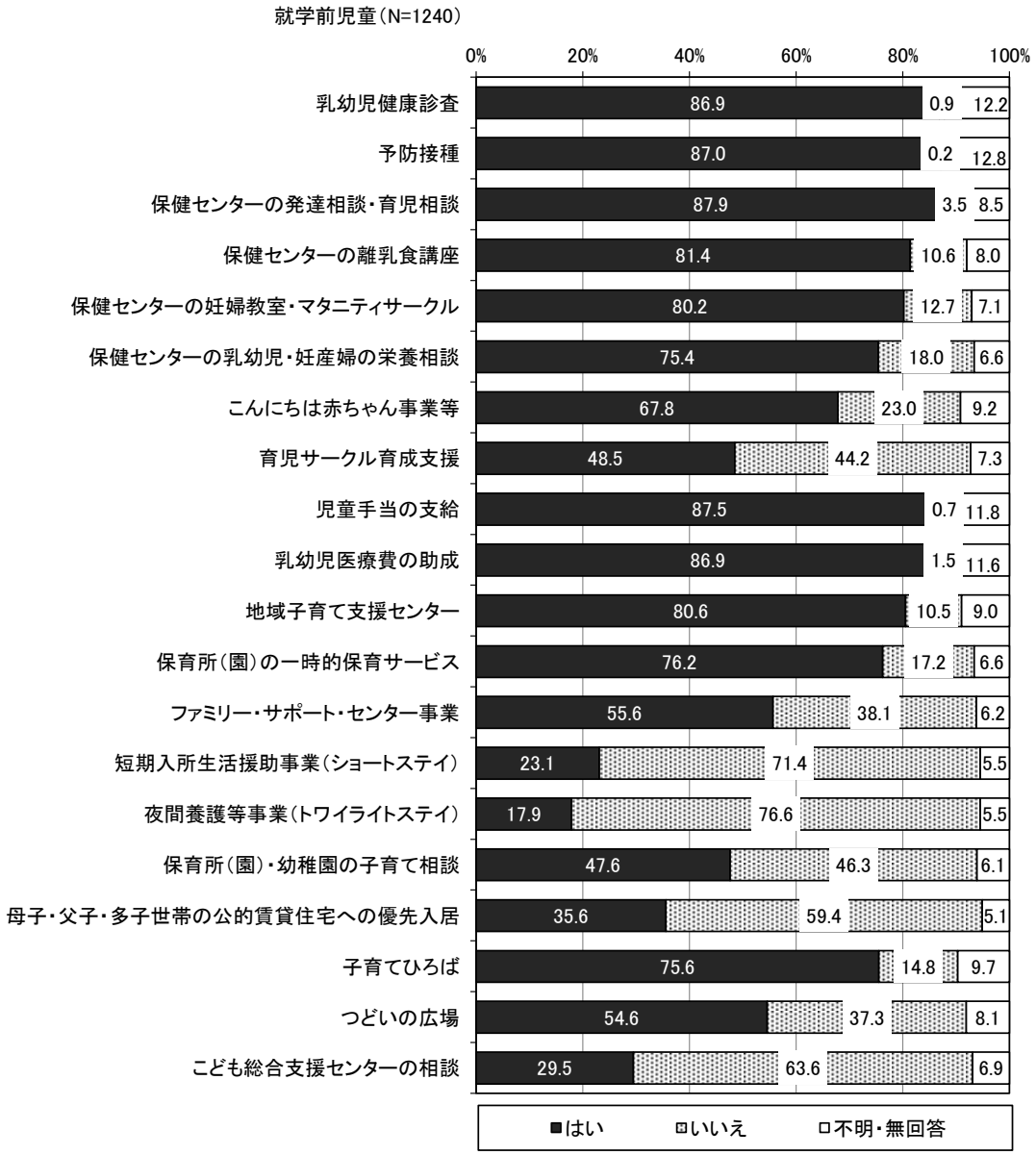
**〈単数回答〉**〔就学前児童調査…問 18・小学生児童調査…問 19〕

子育てに関する機関や子育てサービスの認知度についてみると、就学前児童では「知っている」に関して、『保健センターの発達相談・育児相談』が 87.9%と最も高く、次いで『児童手当の支給』が 87.5%、小学生児童では、『学童保育（若竹学級等）』が 92.9%と最も高く、次いで『ファミリー・サポート・センター』が 53.4%となっています。

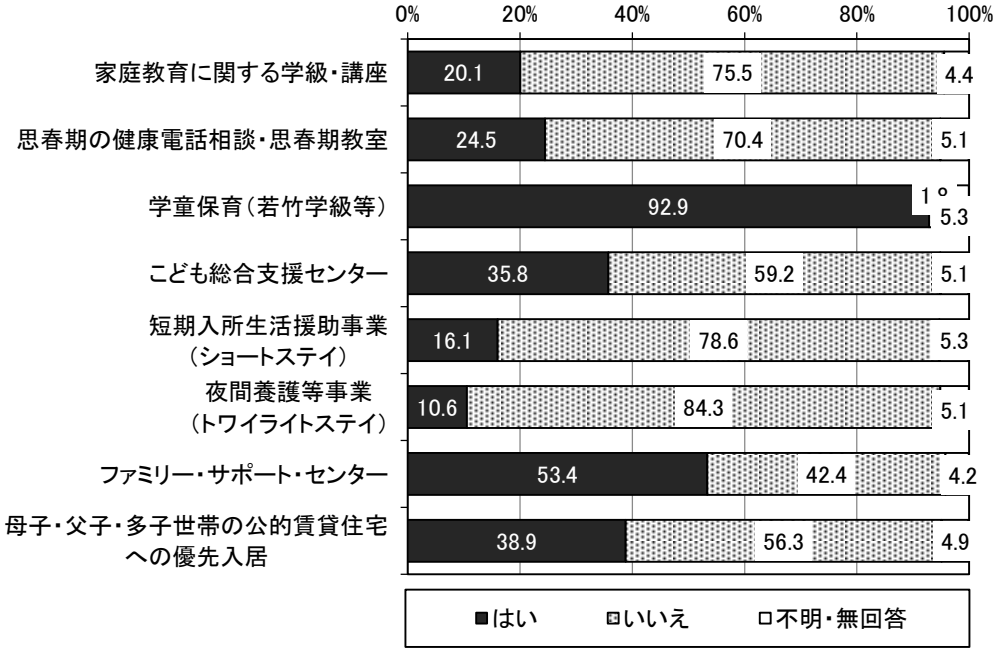
子育てに関する機関や子育てサービスの利用経験についてみると、就学前児童では「利用したことがある」に関して、『予防接種』が 94.8%と最も高く、次いで『乳幼児健康診査』が 93.5%となっています。小学生児童では、『学童保育（若竹学級等）』が 32.2%と最も高くなっています。

子育てに関する機関や子育てサービスの今後の利用意向についてみると、就学前児童では「今後利用したい」に関して、『予防接種』が 74.1%と最も高く、次いで『児童手当の支給』が 73.5%となっています。小学生児童では、『学童保育（若竹学級等）』が 27.2%と最も高く、次いで『思春期の健康電話相談・思春期教室』が 16.1%となっています。

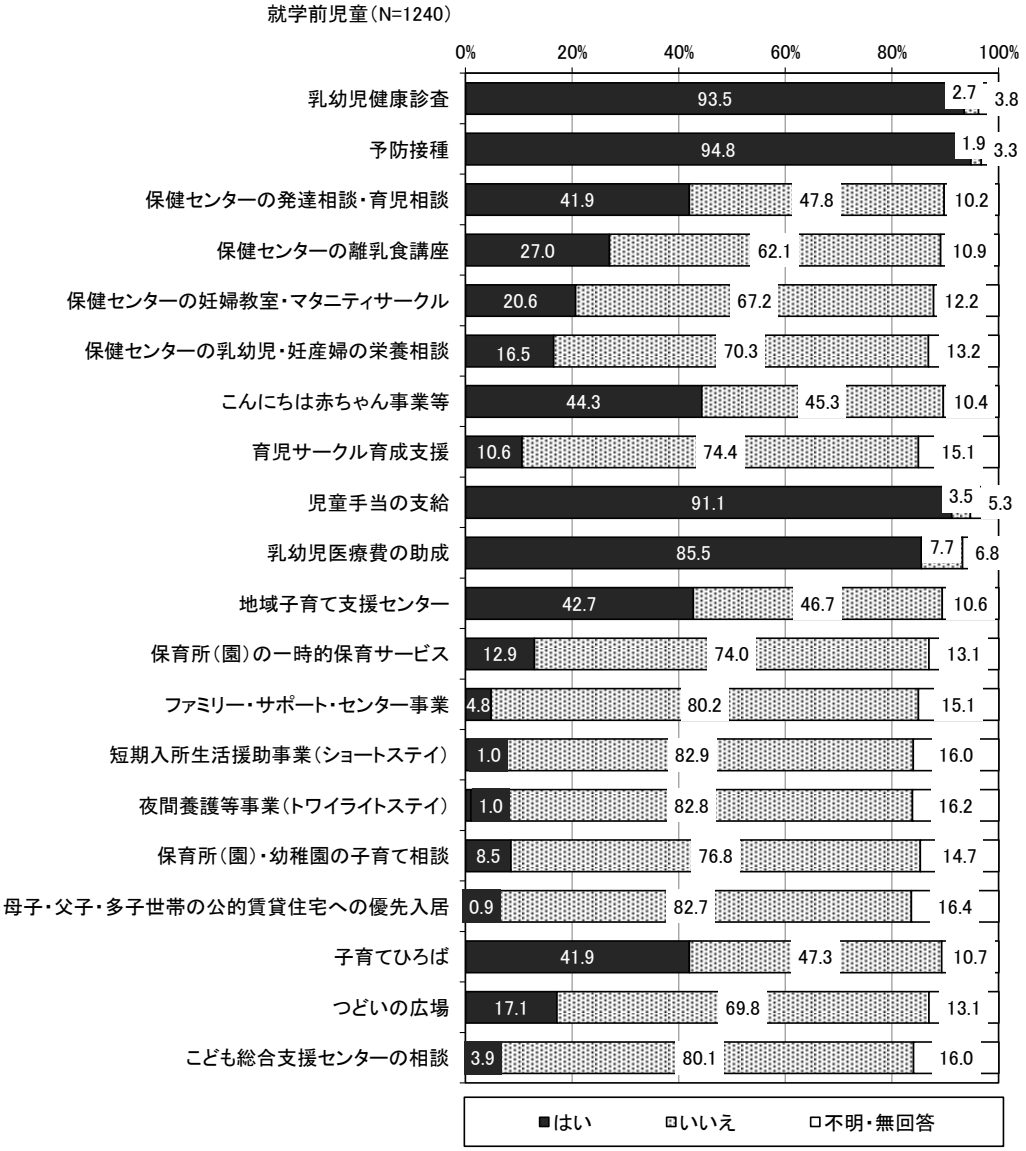
### ◎認知度

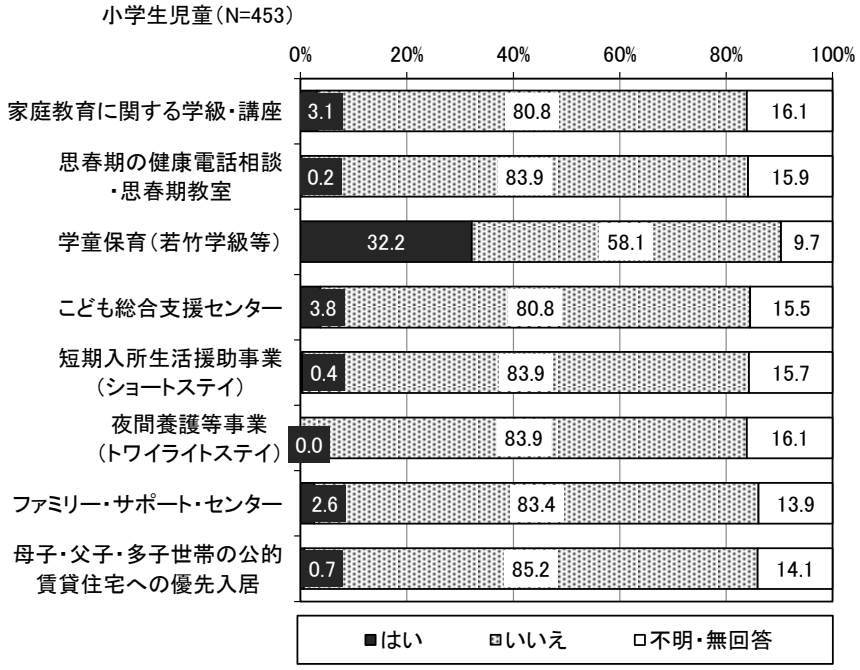


小学生児童（N=423）


0%
20%
40%
60%
80%
100%
家庭教育に関する学級・講座
20.1
75.5
4.4
思春期の健康電話相談・思春期教室
24.5
70.4
5.1
学童保育（若竹学級等）
92.9
1.0
5.3
こども総合支援センター
35.8
59.2
5.1
短期入所生活援助事業（ショートステイ）
16.1
78.6
5.3
夜間養護等事業（トワイライトステイ）
10.6
84.3
5.1
ファミリー・サポート・センター
53.4
42.4
4.2
母子・父子・多子世帯の公的賃貸住宅への優先入居
38.9
56.3
4.9
はい
いいえ
不明・無回答

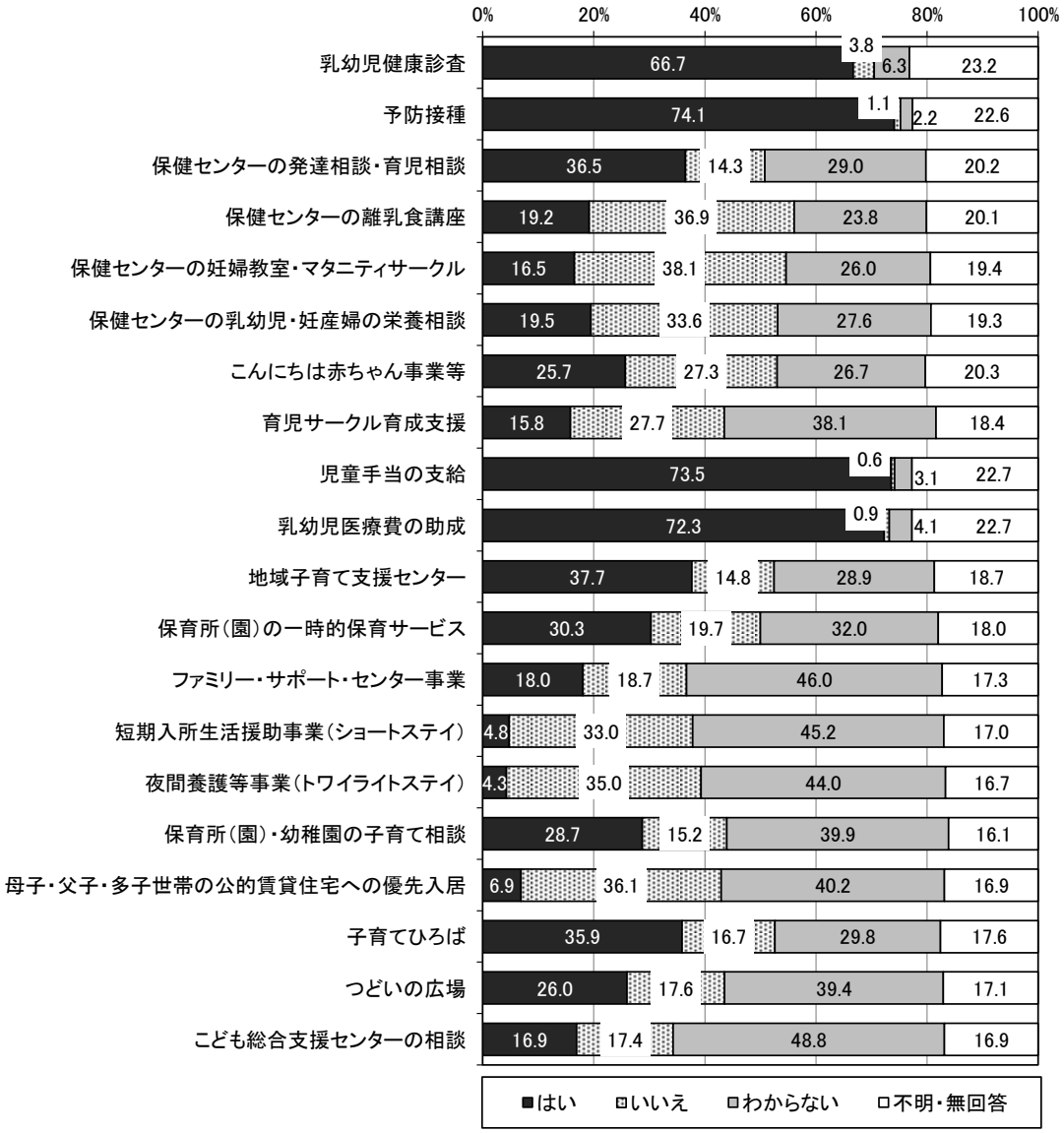
## ◎利用経験


就学前児童（N=1240）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
乳幼児健康診査 93.5 2.7 3.8
予防接種 94.8 1.9 3.3
保健センターの発達相談・育児相談 41.9 47.8 10.2
保健センターの離乳食講座 27.0 62.1 10.9
保健センターの妊婦教室・マタニティサークル 20.6 67.2 12.2
保健センターの乳幼児・妊産婦の栄養相談 16.5 70.3 13.2
こんにちは赤ちゃん事業等 44.3 45.3 10.4
育児サークル育成支援 10.6 74.4 15.1
児童手当の支給 91.1 3.5 5.3
乳幼児医療費の助成 85.5 7.7 6.8
地域子育て支援センター 42.7 46.7 10.6
保育所（園）の一時的保育サービス 12.9 74.0 13.1
ファミリー・サポート・センター事業 4.8 80.2 15.1
短期入所生活援助事業（ショートステイ） 1.0 82.9 16.0
夜間養護等事業（トワイライトステイ） 1.0 82.8 16.2
保育所（園）・幼稚園の子育て相談 8.5 76.8 14.7
母子・父子・多子世帯の公的賃貸住宅への優先入居 0.9 82.7 16.4
子育てひろば 41.9 47.3 10.7
つどいの広場 17.1 69.8 13.1
こども総合支援センターの相談 3.9 80.1 16.0
■はい
▨いいえ
□不明・無回答

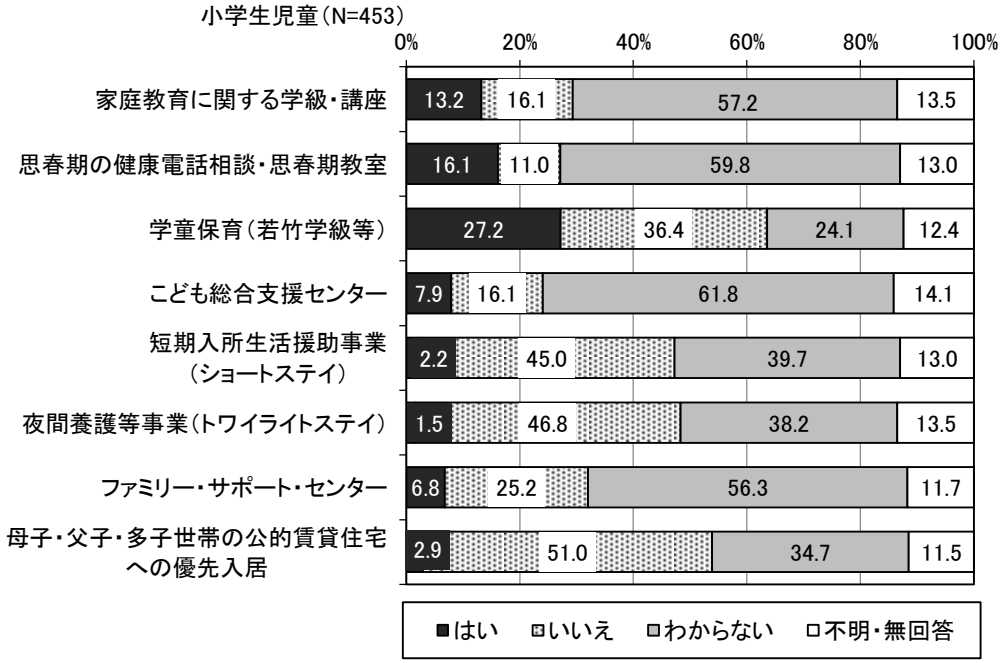

小学生児童（N=453）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
家庭教育に関する学級・講座 3.1 80.8 16.1
思春期の健康電話相談・思春期教室 0.2 83.9 15.9
学童保育（若竹学級等） 32.2 58.1 9.7
こども総合支援センター 3.8 80.8 15.5
短期入所生活援助事業（ショートステイ） 0.4 83.9 15.7
夜間養護等事業（トワイライトステイ） 0.0 83.9 16.1
ファミリー・サポート・センター 2.6 83.4 13.9
母子・父子・多子世帯の公的賃貸住宅への優先入居 0.7 85.2 14.1
■はい
▨いいえ
□不明・無回答

## ◎今後の利用意向

就学前児童（N=1240）




小学生児童（N=453）



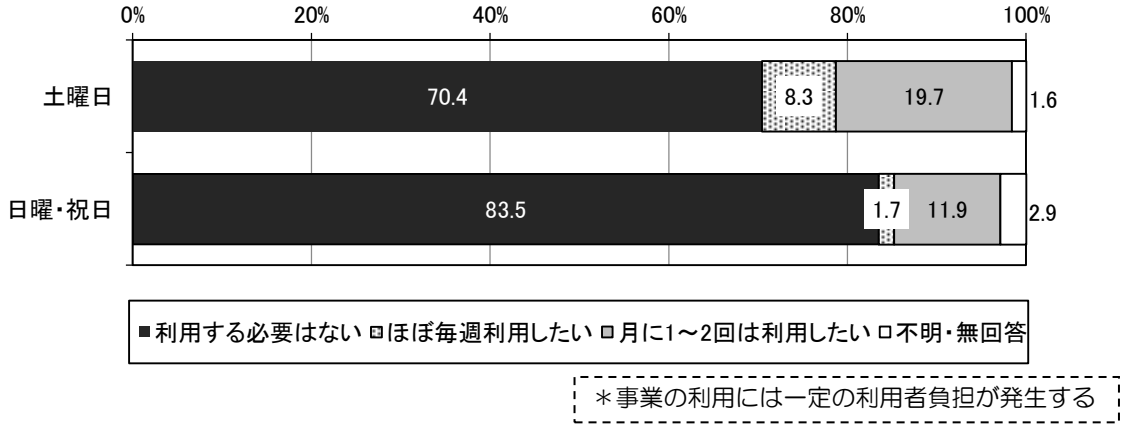
## 6　土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

### （１）土曜日と日曜・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 19〕

土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日、日曜・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 70.4%、83.5%と最も高く、特に日曜・祝日では８割と、大部分を占めています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では土曜日、日曜・祝日ともに「９時台」の割合が最も高くなっています。終了時間では、土曜日、日曜・祝日ともに「18 時台」の割合が、最も高くなっています。

就学前児童（N=1240）



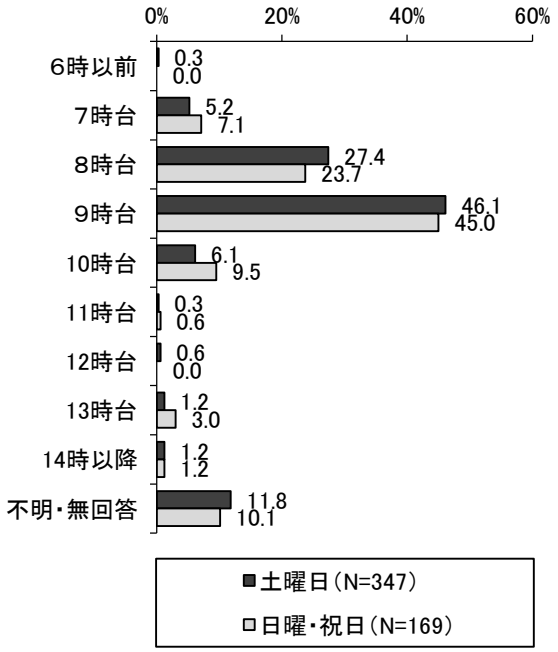

＊事業の利用には一定の利用者負担が発生する

### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「ほぼ毎週利用したい」「月に１～２回は利用したい」を選んだ方》

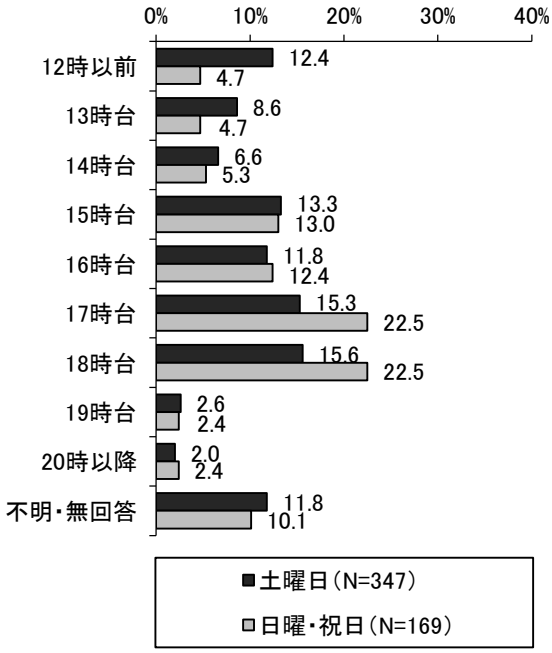
**【開始時間】**

就学前児童




**【終了時間】**

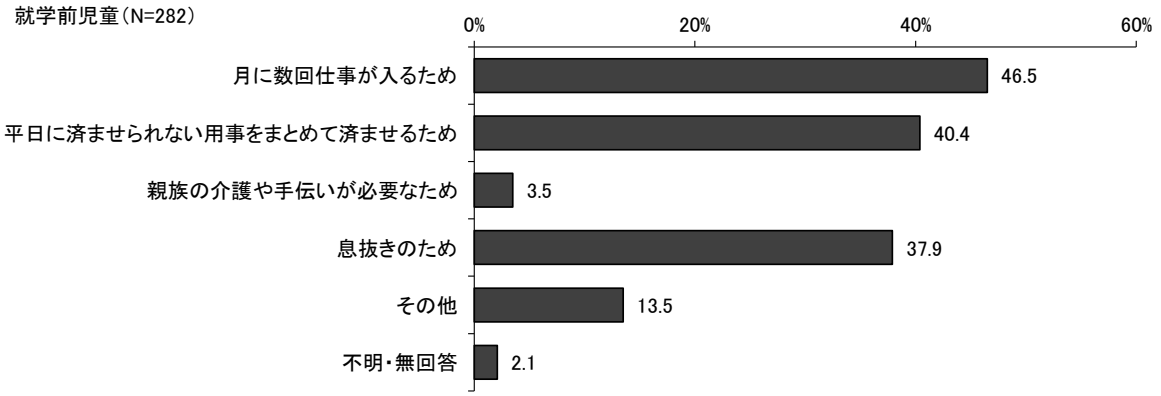
就学前児童



**（１）で「月に１～２回は利用したい」を選んだ方**

## （１）－１　毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 19－1〕

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が 46.5%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 40.4%となっています。



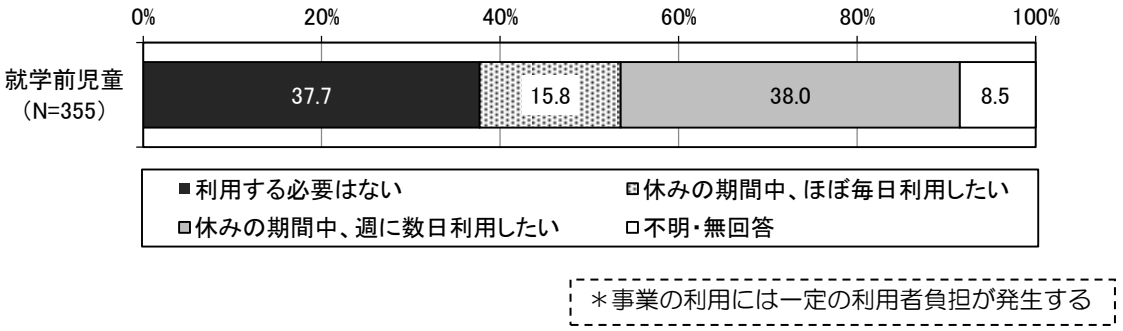

**「幼稚園」を利用されている方**

## （２）夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 20〕

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望ついてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 38.0%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 37.7%となっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では「９時台」、終了時間では「15 時台」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

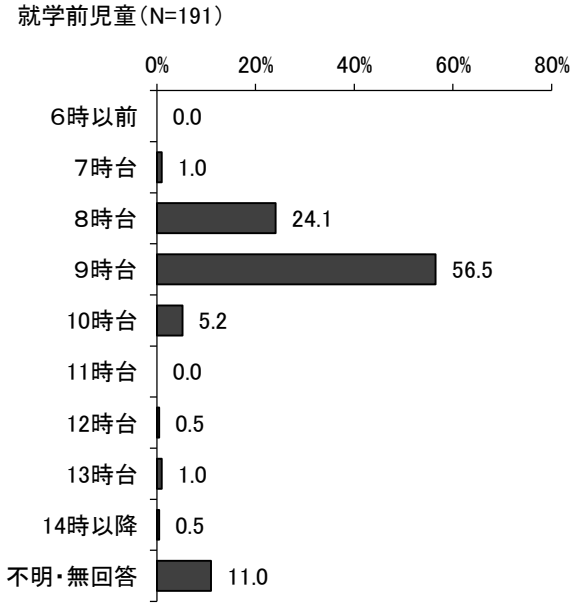



＊事業の利用には一定の利用者負担が発生する

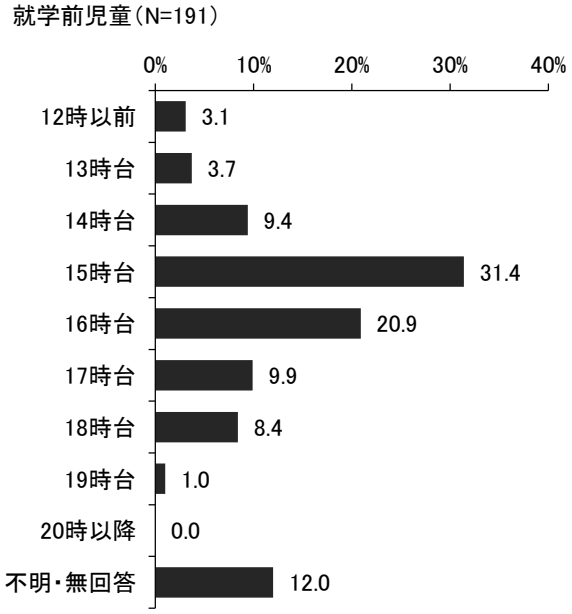
### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

**【開始時間】**



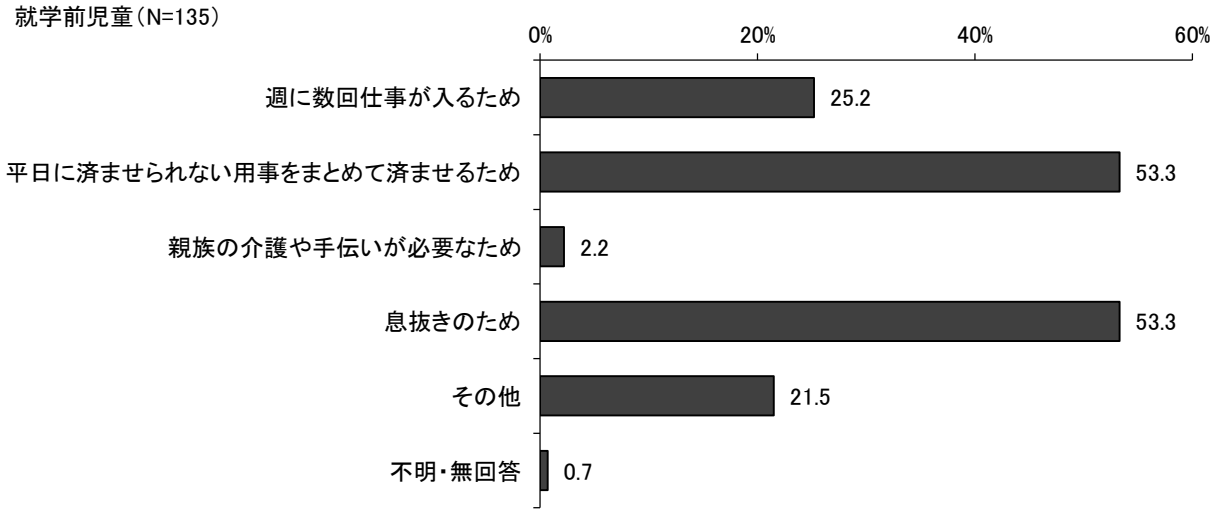

**【終了時間】**




**（２）で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方**

### （２）－１　毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 20－1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」が最も高く 53.3%となっています。



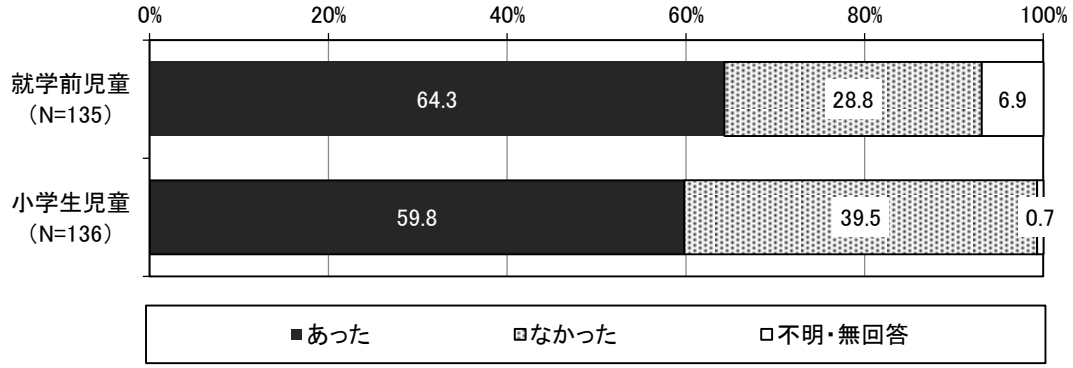
## ７　病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

### （１）この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったり、小学校を休まなければならなかったことの有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 21・小学生児童調査…問 20〕

この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無についてみると、就学前児童では「あった」が 64.3%、「なかった」が 28.8%、小学生児童では「あった」が 59.8%、「なかった」が 39.5%となっています。

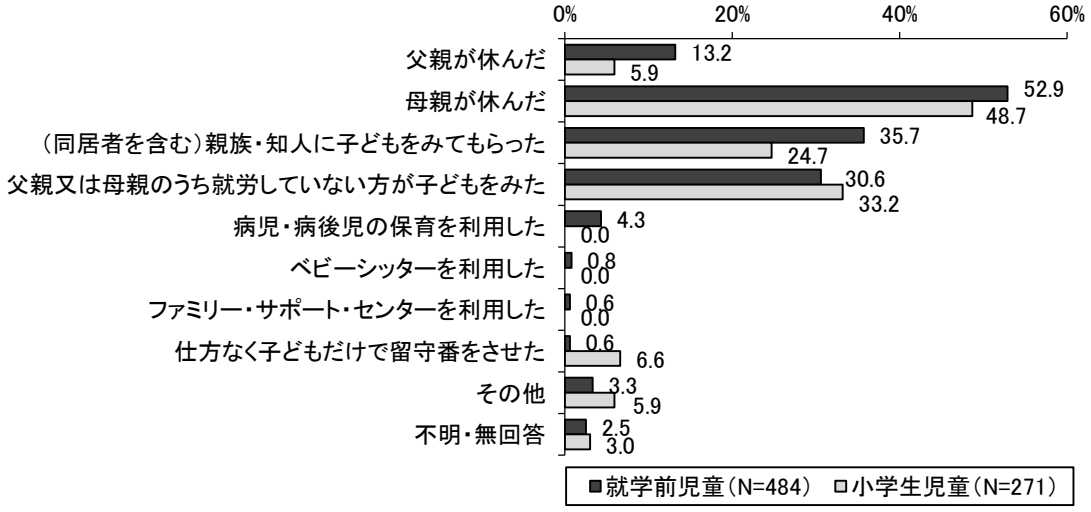
就学前児童（N=1240）




**（１）で「あった」を選んだ方**

### （１）－１　子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったり、小学校を休まなければならなかった場合の、この１年間に行った対処方法〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21－1・小学生児童調査…問 20－1〕

子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「母親が休んだ」が最も高く、それぞれ 52.9%、48.7%となっています。次いで就学前児童では「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が 35.7%、小学生児童では、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 33.2%となっています。



子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数についてみると、就学前児童では『母親が休んだ』『（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった』『父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』が「10 日以上」と最も高くなっています。小学生児童では『その他』を除く、各項目で「１日」が最も高くなっています。

## ◎子どもが病気やケガの際の各対処日数〈数量回答〉

| 【就学前児童】対応日数 | 父親が休んだ N=64 | | 母親が休んだ N=256 | | （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった N=173 | | 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた N=148 | | 病児・病後児の保育施設を利用した N=21 | | ベビーシッターを利用した N=4 | | ファミリー・サポート・センターを利用した N=3 | | 仕方なく子どもだけで留守番をさせた N=3 | | その他 N=16 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 20 | 31.3 | 27 | 10.5 | 17 | 9.8 | 8 | 5.4 | 7.0 | 33.3 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 1 | 33.3 | 1 | 6.3 |
| 2日 | 16 | 25.0 | 29 | 11.3 | 31 | 17.9 | 11 | 7.4 | 1.0 | 4.8 | 2 | 50.0 | 1 | 33.3 | 1 | 33.3 | 2 | 12.5 |
| 3日 | 7 | 10.9 | 44 | 17.2 | 20 | 11.6 | 16 | 10.8 | 4.0 | 19.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 1 | 6.3 |
| 4日 | 4 | 6.3 | 9 | 3.5 | 8 | 4.6 | 5 | 3.4 | 2.0 | 9.5 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5日 | 8 | 12.5 | 40 | 15.6 | 25 | 14.5 | 26 | 17.6 | 2.0 | 9.5 | 1 | 25.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 12.5 |
| 6日 | 0 | 0.0 | 8 | 3.1 | 2 | 1.2 | 7 | 4.7 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 6.3 |
| 7日 | 2 | 3.1 | 5 | 2.0 | 10 | 5.8 | 14 | 9.5 | 2.0 | 9.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 8日 | 0 | 0.0 | 3 | 1.2 | 2 | 1.2 | 1 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 9日 | 0 | 0.0 | 2 | 0.8 | 2 | 1.2 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10日以上 | 2 | 3.1 | 67 | 26.2 | 37 | 21.4 | 38 | 25.7 | 3.0 | 14.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 18.8 |
| 不明・無回答 | 5 | 7.8 | 22 | 8.6 | 19 | 11 | 22 | 14.9 | 0.0 | 0.0 | 1 | 25 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 6 | 37.5 |

| 【小学生児童】対応日数 | 父親が休んだ N=16 | | 母親が休んだ N=132 | | （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった N=67 | | 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた N=90 | | 仕方なく子どもだけで留守番をさせた N=18 | | その他 N=16 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 7 | 43.8 | 35 | 26.5 | 19 | 28.4 | 19 | 21.1 | 5 | 27.8 | 1 | 6.3 |
| 2日 | 3 | 18.8 | 32 | 24.2 | 14 | 20.9 | 18 | 20.0 | 3 | 16.7 | 0 | 0 |
| 3日 | 2 | 12.5 | 21 | 15.9 | 12 | 17.9 | 10 | 11.1 | 2 | 11.1 | 2 | 12.5 |
| 4日 | 0 | 0.0 | 6 | 4.5 | 3 | 4.5 | 6 | 6.7 | 1 | 5.6 | 0 | 0.0 |
| 5日 | 3 | 18.8 | 15 | 11.4 | 8 | 11.9 | 14 | 15.6 | 2 | 11.1 | 0 | 0 |
| 6日 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 3.3 | 0 | 0 | 1 | 6.3 |
| 7日 | 0 | 0.0 | 5 | 3.8 | 0 | 0.0 | 7 | 7.8 | 1 | 5.6 | 1 | 6.3 |
| 8日 | 0 | 0.0 | 1 | 0.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 9日 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10日以上 | 0 | 0 | 6 | 4.5 | 2 | 3 | 8 | 8.9 | 0 | 0 | 1 | 6.3 |
| 不明・無回答 | 1 | 6.3 | 11 | 8.3 | 9 | 13.4 | 5 | 5.6 | 4 | 22.2 | 10 | 62.5 |

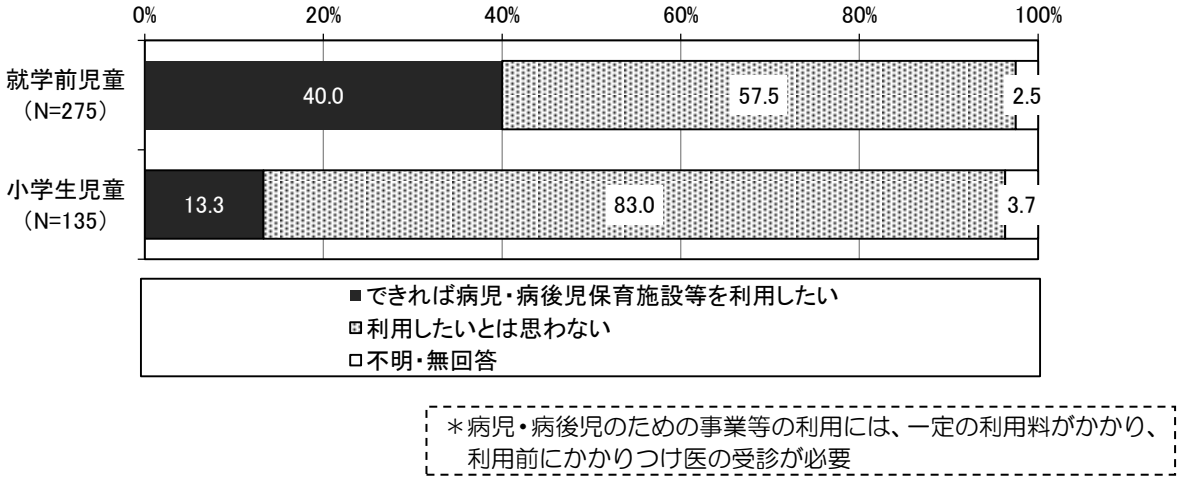
（１）－１で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方

## （１）－２　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 21－2・小学生児童調査…問 20－2〕

父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、就学前児童では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 40.0%、「利用したいとは思わない」が 57.5%、小学生児童では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 13.3%、「利用したいとは思わない」が 83.0%となっています。

また、できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、就学前児童では「3 日」が 16.4%、小学生児童では「2 日」が 33.3%と最も高くなっています。

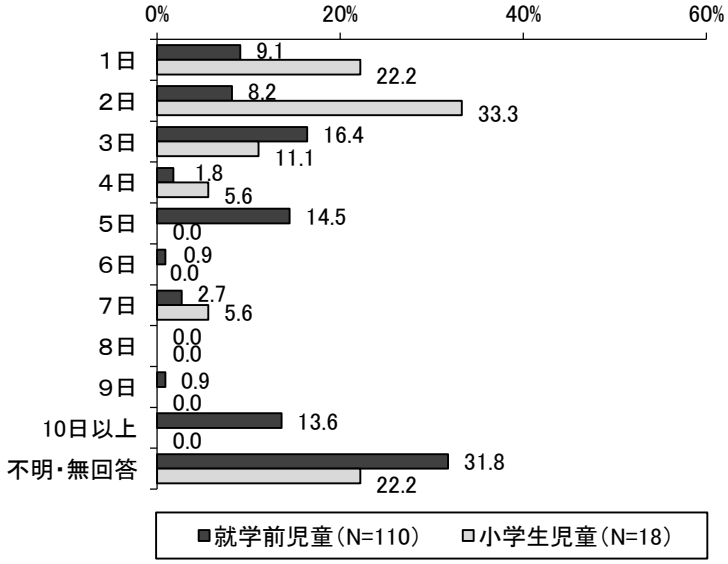
就学前児童（N=1240）




＊病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要

### ◎病児・病後児保育施設等を利用したい方の日数〈数量回答〉

《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》

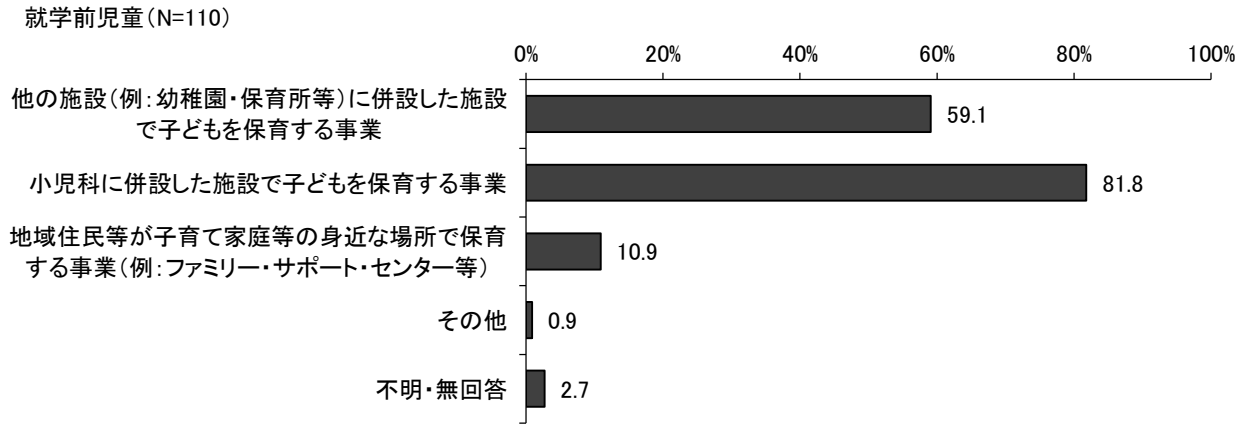


**（１）－２で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方**

## （１）－３　上記の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 21－3〕

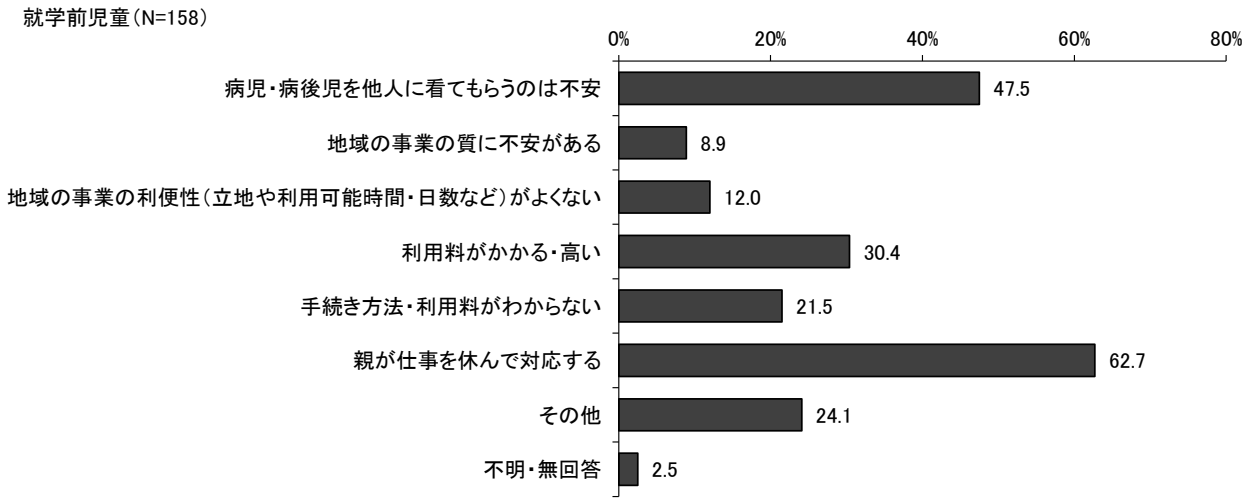
病児・病後児保育施設等を利用したい方の、子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 81.8%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 59.1%となっています。




**（１）－２で「利用したいとは思わない」を選んだ方**

## （１）－４　そう思う理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21－4〕

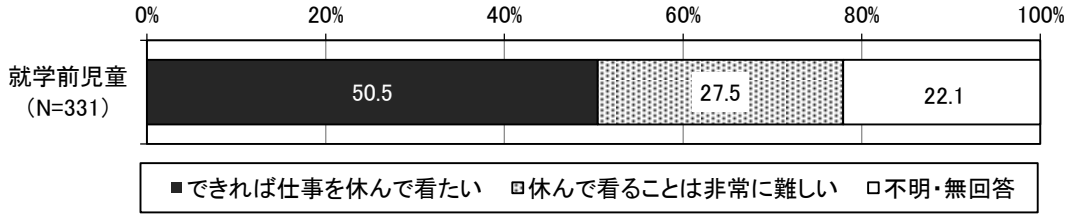
病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、「親が仕事を休んで対応する」が 62.7%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 47.5%となっています。



**（１）－１で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を選んだ方**

## （１）－５　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 21－5〕

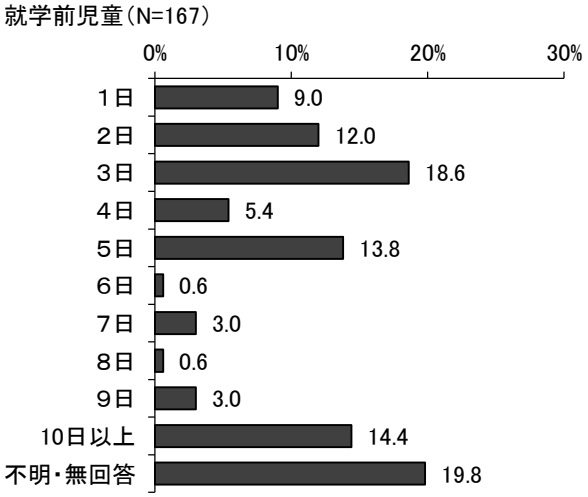
「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについてみると、「できれば仕事を休んで看たい」が 50.5%と最も高くなっています。




### ◎仕事を休んで看たい日数〈数量回答〉

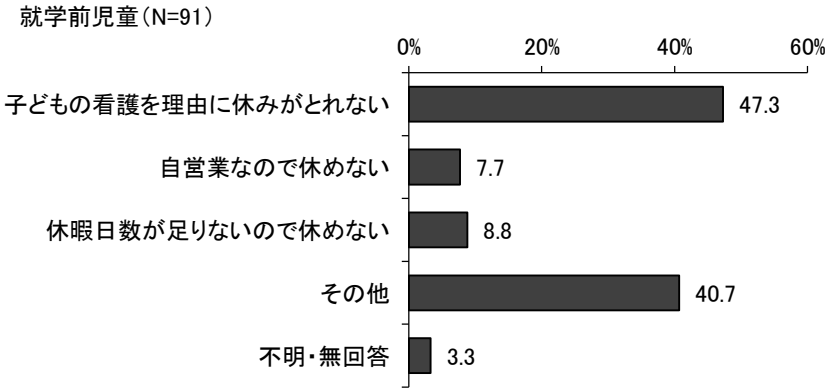
《「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方》

できれば仕事を休んで看たい日数については、「３日」が最も高くなっています。




**（１）－５で「休んで看ることは非常に難しい」を選んだ方**

## （１）－６　そう思う理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21－6〕




仕事を休んで看ることは考えられない理由についてみると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 47.3%と最も高く、次いで「その他」が 40.7%となっています。

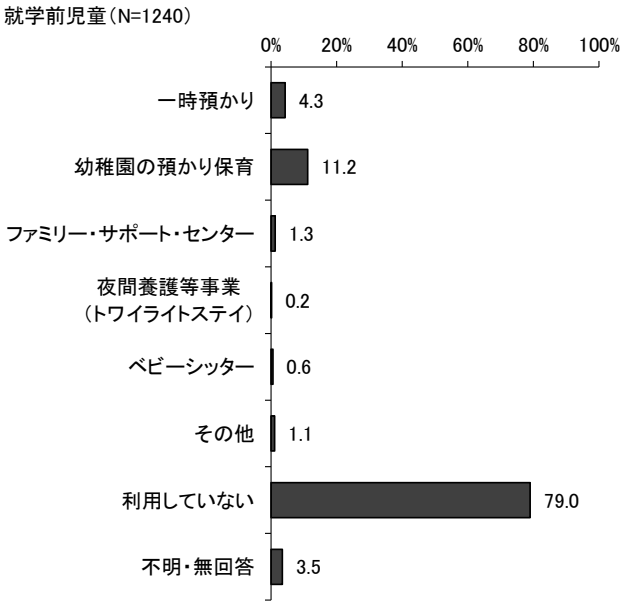
# ８　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

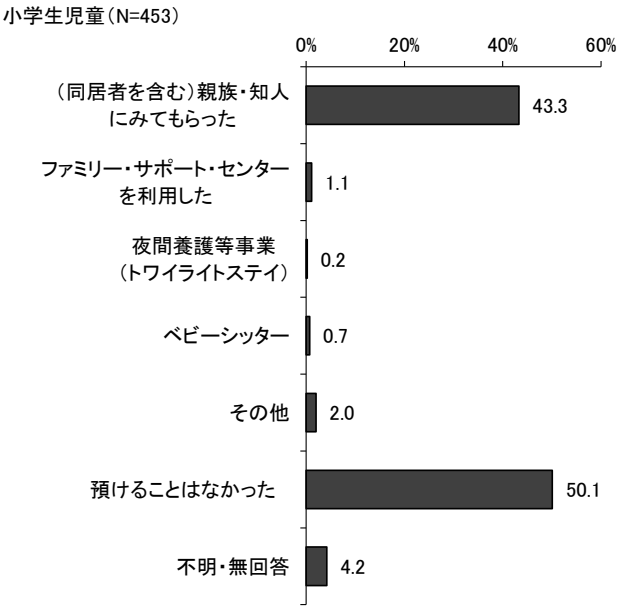
## （１）日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用する必要がある事業の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22・小学生児童調査…問 21〕

一時預かりなど、不定期に利用する必要がある事業についてみると、「利用していない」「預けることはなかった」が就学前児童では 79.0%、小学生児童では 50.1%となっています。利用している事業では、就学前児童で「幼稚園の預かり保育」が 11.2%、小学生児童で「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 43.3%と最も高くなっています。

利用している事業の１年間の利用日数については、就学前児童では『ファミリー・サポート・センター』『夜間養護等事業（トワイライトステイ）』が「30～39 日」、小学生児童では『親族・知人にみてもらった』が「10～19 日」と高くなっています。



## ◎１年間の利用日数〈数量回答〉

《「利用していない」以外を選んだ方》

| 【就学前児童】1年間の利用日数 | 一時預かり N=53 | | 幼稚園の預かり保育 N=139 | | ファミリー・サポート・センター N=16 | | 夜間養護等事業（トワイライトステイ） N=3 | | ベビーシッター N=7 | | その他 N=14 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 7 | 13.2 | 10 | 7.2 | 2 | 12.5 | 1 | 33.3 | 2 | 28.6 | 2 | 14.3 |
| 2日 | 3 | 5.7 | 11 | 7.9 | 1 | 6.3 | 1 | 33.3 | 1 | 14.3 | 3 | 21.4 |
| 3日 | 5 | 9.4 | 10 | 7.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 14.3 | 1 | 7.1 |
| 4日 | 1 | 1.9 | 2 | 1.4 | 1 | 6.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5日 | 3 | 5.7 | 17 | 12.2 | 2 | 12.5 | 0 | 0.0 | 1 | 14.3 | 1 | 7.1 |
| 6日 | 0 | 0.0 | 3 | 2.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 7.1 |
| 7日 | 7 | 13.2 | 6 | 4.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 8日 | 2 | 3.8 | 1 | 0.7 | 1 | 6.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 9日 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10～19日 | 10 | 18.9 | 27 | 19.4 | 1 | 6.3 | 0 | 0.0 | 1 | 14.3 | 1 | 7.1 |
| 20～29日 | 4 | 7.5 | 15 | 10.8 | 1 | 6.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 30～39日 | 1 | 1.9 | 9 | 6.5 | 2 | 12.5 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 40～49日 | 1 | 1.9 | 4 | 2.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 7.1 |
| 50日以上 | 5 | 9.4 | 10 | 7.2 | 1 | 6.3 | 0 | 0.0 | 1 | 14.3 | 1 | 7.1 |
| 不明・無回答 | 4 | 7.5 | 14 | 10.1 | 4 | 25 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 21.4 |

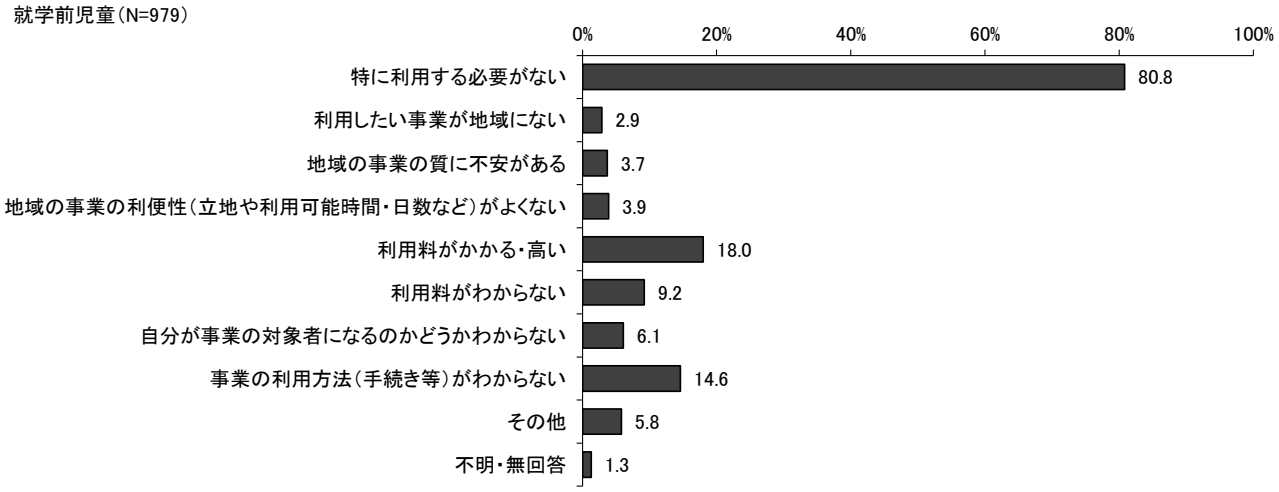
| 【小学生児童】1年間の利用日数 | 親族・知人にみてもらった N=196 | | ファミリー・サポート・センター N=5 | | 夜間養護等事業（トワイライトステイ） N=1 | | ベビーシッター N=3 | | その他 N=9 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 15 | 7.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 22.2 |
| 2日 | 27 | 13.8 | 2 | 40.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 3日 | 20 | 10.2 | 0 | 0.0 | 1 | 100.0 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 |
| 4日 | 2 | 1.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 |
| 5日 | 19 | 9.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 6日 | 1 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 7日 | 4 | 2.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 8日 | 0 | 0.0 | 1 | 20.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 9日 | 1 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10～19日 | 44 | 22.4 | 2 | 40.0 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 1 | 11.1 |
| 20～29日 | 12 | 6.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 11.1 |
| 30～39日 | 10 | 5.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 40～49日 | 3 | 1.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 50日以上 | 19 | 9.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4 | 44.4 |
| 不明・無回答 | 19 | 9.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 11.1 |

**（１）で「利用していない」を選んだ方**

## （１）－１　現在利用していない理由〈複数回答〉（就学前児童のみ）

〔就学前児童調査…問 22－1〕

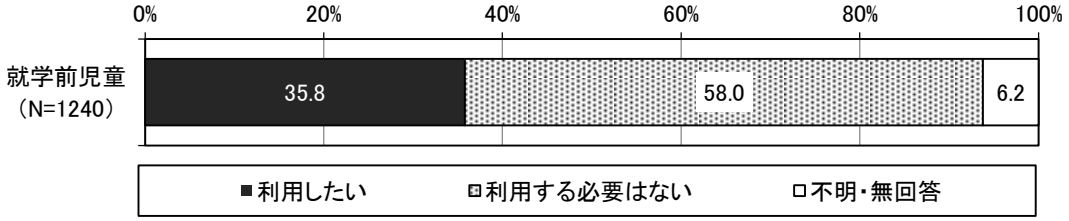
現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が 80.8%となっています。また、「利用料がかかる・高い」が 18.0%となっています。




## （２）私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用する必要がある事業の有無〈単数回答〉（就学前児童のみ）〔就学前児童調査…問 23〕

不定期に利用する必要がある事業の有無についてみると、「利用したい」が 35.8%、「利用する必要はない」が 58.0%となっています。

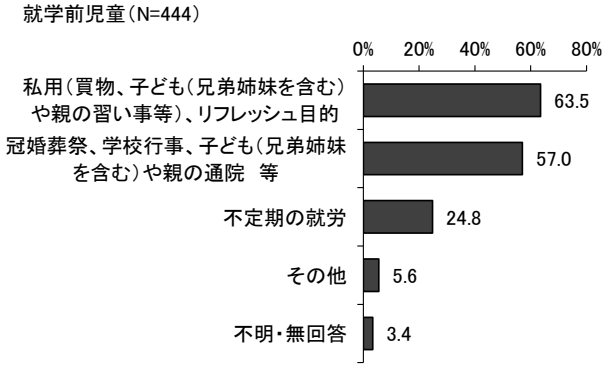
また、利用したい目的の内訳については、「私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 63.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の通院等」が 57.0%となっています。年間日数については、『私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的』で「10～19 日」、『冠婚葬祭、学校行事、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の通院等』で「５日」が高くなっています。




＊事業の利用には、一定の利用料がかかる

### ①利用したい目的の内訳〈複数回答〉

《「利用したい」を選んだ方》




### ②利用したい年間日数〈数量回答〉

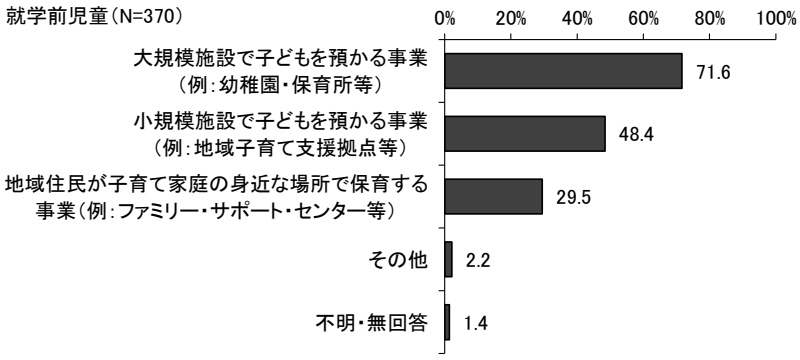
《「利用したい」を選んだ方》

| 【就学前児童】目的別の利用日数 | 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 N=282 | | 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院　等 N=253 | | 不定期の就労 N=110 | | その他 N=25 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 17 | 6.0 | 14 | 5.5 | 1 | 0.9 | 0 | 0.0 |
| 2日 | 20 | 7.1 | 18 | 7.1 | 5 | 4.5 | 2 | 8.0 |
| 3日 | 25 | 8.9 | 40 | 15.8 | 5 | 4.5 | 2 | 8.0 |
| 4日 | 6 | 2.1 | 7 | 2.8 | 2 | 1.8 | 0 | 0.0 |
| 5日 | 31 | 11.0 | 54 | 21.3 | 15 | 13.6 | 4 | 16.0 |
| 6日 | 14 | 5.0 | 9 | 3.6 | 4 | 3.6 | 0 | 0.0 |
| 7日 | 11 | 3.9 | 4 | 1.6 | 2 | 1.8 | 1 | 4.0 |
| 8日 | 1 | 0.4 | 4 | 1.6 | 1 | 0.9 | 0 | 0.0 |
| 9日 | 1 | 0.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10～19日 | 74 | 26.2 | 52 | 20.6 | 21 | 19.1 | 6 | 24.0 |
| 20～29日 | 28 | 9.9 | 10 | 4.0 | 9 | 8.2 | 1 | 4.0 |
| 30～39日 | 11 | 3.9 | 3 | 1.2 | 3 | 2.7 | 0 | 0.0 |
| 40～49日 | 13 | 4.6 | 0 | 0.0 | 3 | 2.7 | 0 | 0.0 |
| 50日以上 | 10 | 3.5 | 4 | 1.6 | 22 | 20.0 | 2 | 8.0 |
| 不明・無回答 | 20 | 7.1 | 34 | 13.4 | 17 | 15.5 | 7 | 28.0 |

**（２）で「利用したい」を選んだ方**

## （２）－１　（２）①の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態（就学前児童のみ）〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 23－1〕

利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「大規模施設で子どもを預かる事業」が71.6%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを預かる事業」が48.4%となっています。

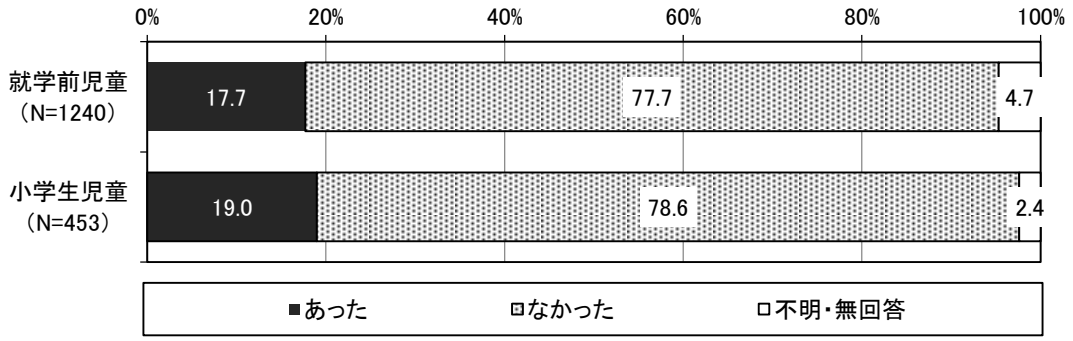


## （３）この１年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 24・小学生児童調査…問 22〕

この１年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無についてみると、就学前児童では、「あった」が 17.7%、「なかった」が 77.7%となっています。小学生児童では、「あった」が 19.0%、「なかった」が 78.6%となっています。

対処方法については、就学前児童、小学生児童ともに、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」がそれぞれ 88.1%、91.9%と最も高くなっています。

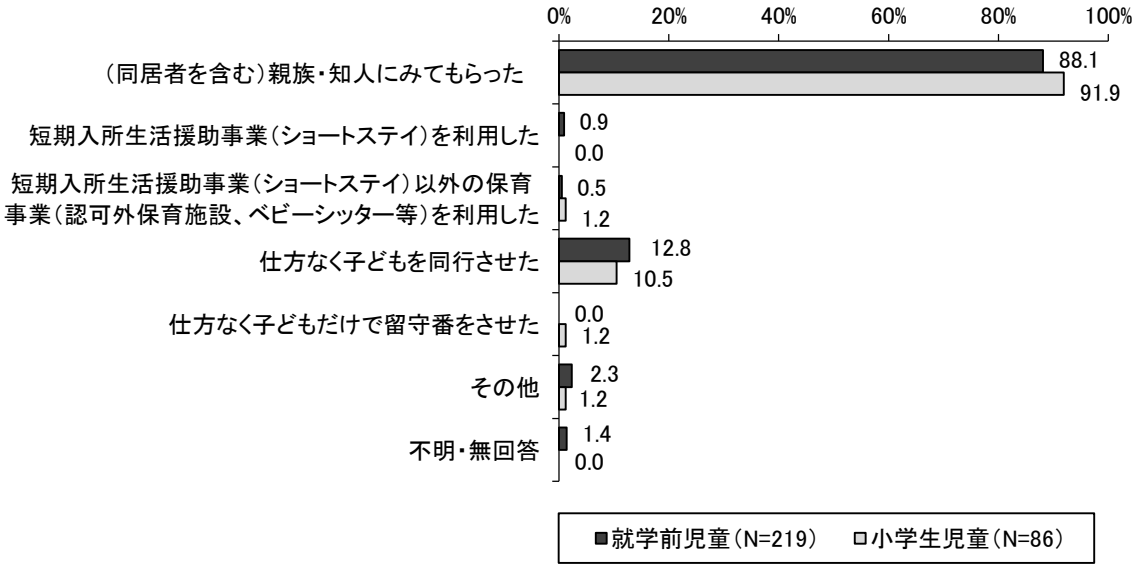



**（３）で「あった」を選んだ方**

### （３）－１　この１年間の対処方法とそれぞれの日数

〔就学前児童調査…問 24・小学生児童調査…問 22〕

### ◎１年間の対処方法〈複数回答〉



## ◎それぞれの日数〈数量回答〉

子どもを泊りがけで一時的に預けた際の泊数については、就学前児童では、『短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した』で、「７泊」となっています。

小学生児童では『（同居者を含む）親族・知人にみてもらった』で「１泊」となっています。

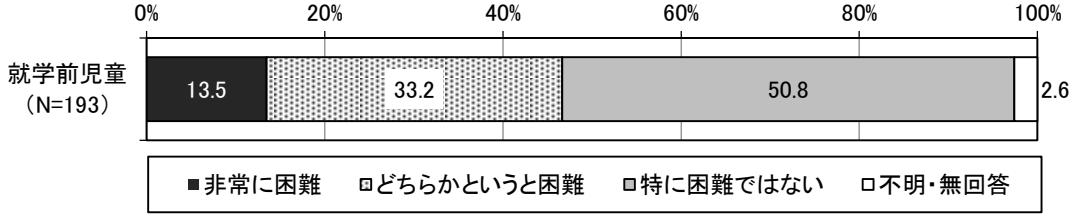
| 【就学前児童】対処日数 | （同居者を含む）親族・知人にみてもらった N=193 | | 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した N=2 | | （認可外保育施設、ベビーシッター等）以外の保育事業（ショートステイ）を利用した N=1 | | 仕方なく子どもを同行させた N=28 | | その他 N=5 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1泊 | 60 | 31.1 | 1 | 50.0 | 1 | 100.0 | 10 | 35.7 | 1 | 20.0 |
| 2泊 | 25 | 13.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 5 | 17.9 | 2 | 40.0 |
| 3泊 | 27 | 14.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 7.1 | 1 | 20.0 |
| 4泊 | 13 | 6.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 7.1 | 0 | 0.0 |
| 5泊 | 22 | 11.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 7.1 | 1 | 20.0 |
| 6泊 | 6 | 3.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 7泊 | 4 | 2.1 | 1 | 50.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 8泊 | 1 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 9泊 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10泊以上 | 27 | 14.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 7.1 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 8 | 4.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 5 | 17.9 | 0 | 0.0 |

| 【小学生児童】対処日数 | （同居者を含む）親族・知人にみてもらった N=79 | | 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（認可外保育施設、ベビーシッター等）以外の保育事業 N=1 | | 仕方なく子どもを同行させた N=9 | | 仕方なく子どもだけで留守番をさせた N=1 | | その他 N=1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1泊 | 30 | 38.0 | 1 | 100.0 | 5 | 55.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2泊 | 17 | 21.5 | 0 | 0.0 | 1 | 11.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 3泊 | 7 | 8.9 | 0 | 0.0 | 2 | 22.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 4泊 | 2 | 2.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5泊 | 10 | 12.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 6泊 | 1 | 1.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 100.0 |
| 7泊 | 2 | 2.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 8泊 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 9泊 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10泊以上 | 8 | 10.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 2 | 2.5 | 0 | 0.0 | 1 | 11.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

（３）-１で「親族・知人にみてもらった」を選んだ方

## （３）－２　その場合の困難度（就学前児童のみ）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 24-1〕

親族・知人にみてもらった場合の困難度についてみると、「特に困難ではない」が 50.8%と最も高くなっています。

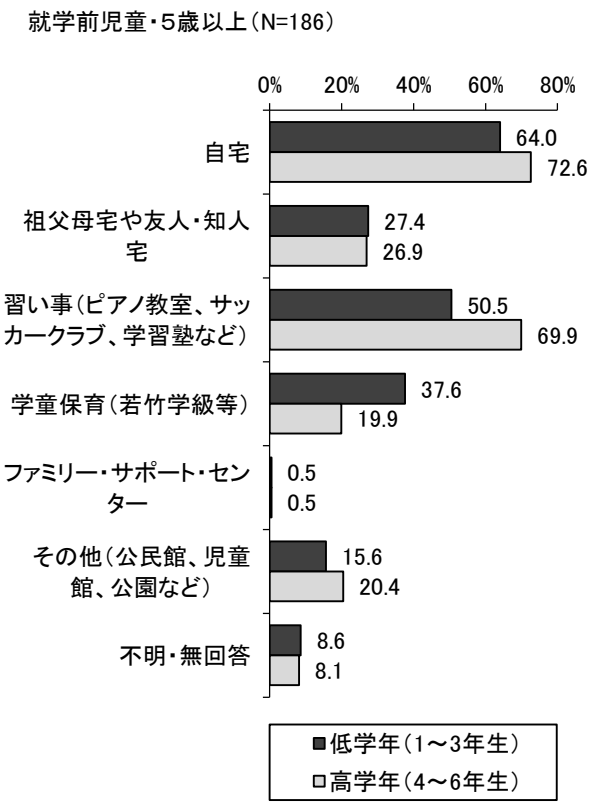


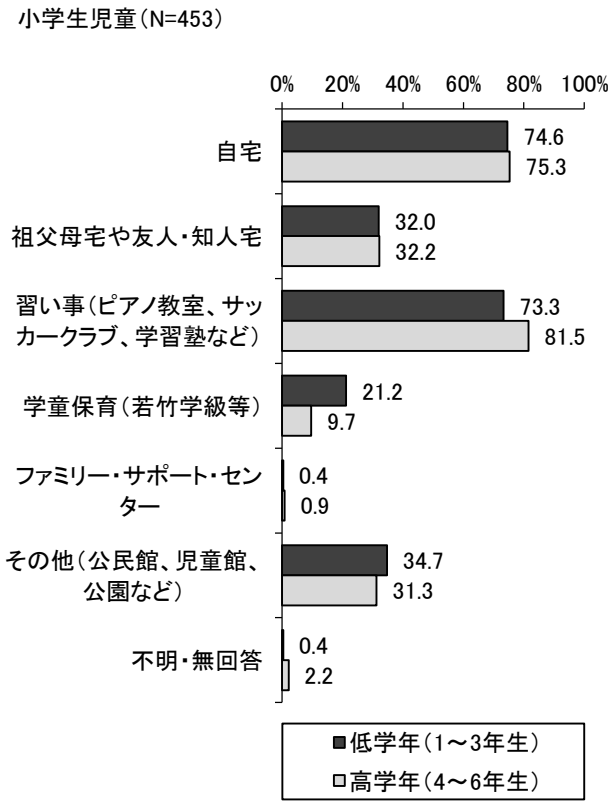
## ９　小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童（５歳以上））

### （１）小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 25・問 26、小学生児童調査…問 7・8〕

小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主に過ごさせたいと思う場所についてみると、就学前児童では『低学年（１～３年生）』は「自宅」が 64.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 50.5%と高く、『高学年（４～６年生）』でも「自宅」が 72.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 69.9%とともに高くなっています。

小学生児童では『低学年（１～３年生）』は「自宅」が 74.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 73.3%と高くなっています。『高学年（４～６年生）』では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 81.5%、「自宅」が 75.3%と高くなっています。



週当たりの利用希望日数についてみると、『低学年（１～３年生）』については、就学前児童では「自宅」「学童保育（若竹学級等）」で「５日」の割合が最も高く、小学生児童では「学童保育（若竹学級等）」で「５日」の割合が最も高くなっています。

『高学年（４～６年生）』については、就学前児童では「学童保育（若竹学級等）」で「５日」の割合が最も高く、小学生児童では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「学童保育（若竹学級等）」で「３日」の割合が最も高くなっています。

### ①週当たりの利用希望日数〈数量回答〉

### ◎小学校低学年

| 【就学前児童】小学校低学年週あたりの利用希望日数 | 自宅 N=119 | | 祖父母や友人・知人宅 N=51 | | 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） N=95 | | 学童保育（若竹学級等） N=70 | | ファミリー・サポート・センター N=1 | | その他（公民館、児童館、公園など） N=29 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 18 | 15.1 | 12 | 23.5 | 23 | 24.2 | 6 | 8.6 | 0 | 0.0 | 6 | 20.7 |
| 2日 | 19 | 16.0 | 14 | 27.5 | 50 | 52.6 | 8 | 11.4 | 0 | 0.0 | 10 | 34.5 |
| 3日 | 19 | 16.0 | 8 | 15.7 | 16 | 16.8 | 17 | 24.3 | 0 | 0.0 | 4 | 13.8 |
| 4日 | 5 | 4.2 | 4 | 7.8 | 1 | 1.1 | 2 | 2.9 | 0 | 0.0 | 1 | 3.4 |
| 5日 | 29 | 24.4 | 6 | 11.8 | 1 | 1.1 | 31 | 44.3 | 1 | 100.0 | 4 | 13.8 |
| 6日 | 3 | 2.5 | 1 | 2.0 | 0 | 0.0 | 2 | 2.9 | 0 | 0.0 | 1 | 3.4 |
| 7日 | 4 | 3.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 22 | 18.5 | 6 | 11.8 | 4 | 4.2 | 4 | 5.7 | 0 | 0.0 | 3 | 10.3 |

| 【小学生児童】小学校低学年週あたりの利用希望日数 | 自宅 N=338 | | 祖父母や友人・知人宅 N=145 | | 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） N=332 | | 学童保育（若竹学級等） N=96 | | ファミリー・サポート・センター N=2 | | その他（公民館、児童館、公園など） N=157 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 47 | 13.9 | 63 | 43.4 | 72 | 21.7 | 3 | 3.1 | 0 | 0.0 | 48 | 30.6 |
| 2日 | 95 | 28.1 | 56 | 38.6 | 134 | 40.4 | 15 | 15.6 | 1 | 50.0 | 50 | 31.8 |
| 3日 | 70 | 20.7 | 5 | 3.4 | 91 | 27.4 | 26 | 27.1 | 1 | 50.0 | 31 | 19.7 |
| 4日 | 30 | 8.9 | 2 | 1.4 | 24 | 7.2 | 12 | 12.5 | 0 | 0.0 | 10 | 6.4 |
| 5日 | 52 | 15.4 | 10 | 6.9 | 6 | 1.8 | 30 | 31.3 | 0 | 0.0 | 10 | 6.4 |
| 6日 | 9 | 2.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4 | 4.2 | 0 | 0.0 | 2 | 1.3 |
| 7日 | 14 | 4.1 | 1 | 0.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 1.9 |
| 不明・無回答 | 21 | 6.2 | 8 | 5.5 | 5 | 1.5 | 6 | 6.3 | 0 | 0.0 | 3 | 1.9 |

## ◎小学校高学年

| 【就学前児童】小学校高学年 週あたりの利用希望日数 | 自宅 N=135 | | 祖父母や友人・知人宅 N=50 | | 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） N=131 | | 学童保育（若竹学級等） N=37 | | ファミリー・サポート・センター N=1 | | その他（公民館、児童館、公園など） N=39 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 16 | 11.9 | 12 | 24.0 | 15 | 11.5 | 4 | 10.8 | 1 | 100.0 | 9 | 23.1 |
| 2日 | 34 | 25.2 | 10 | 20.0 | 47 | 35.9 | 7 | 18.9 | 0 | 0.0 | 14 | 35.9 |
| 3日 | 17 | 12.6 | 9 | 18.0 | 48 | 36.6 | 7 | 18.9 | 0 | 0.0 | 8 | 20.5 |
| 4日 | 6 | 4.4 | 3 | 6.0 | 4 | 3.1 | 2 | 5.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5日 | 24 | 17.8 | 7 | 14.0 | 3 | 2.3 | 14 | 37.8 | 0 | 0.0 | 6 | 15.4 |
| 6日 | 4 | 3.0 | 2 | 4.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 7日 | 4 | 3.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 30 | 22.2 | 7 | 14.0 | 14 | 10.7 | 3 | 8.1 | 0 | 0.0 | 2 | 5.1 |

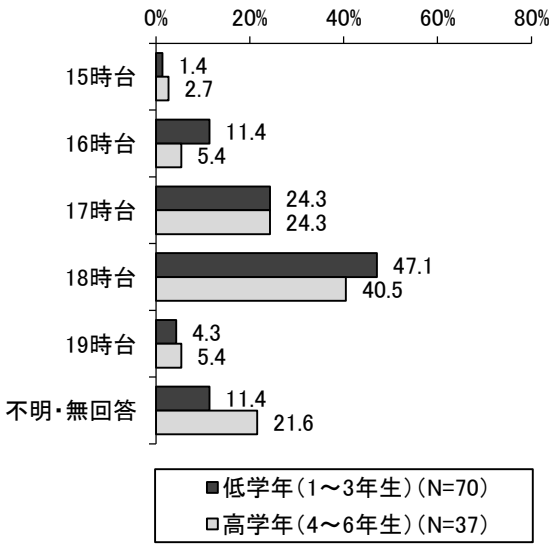
| 【小学生児童】小学校高学年 週あたりの利用希望日数 | 自宅 N=341 | | 祖父母や友人・知人宅 N=146 | | 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） N=369 | | 学童保育（若竹学級等） N=44 | | ファミリー・サポート・センター N=4 | | その他（公民館、児童館、公園など） N=142 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 1日 | 66 | 19.4 | 70 | 47.9 | 39 | 10.6 | 7 | 15.9 | 2 | 50.0 | 49 | 34.5 |
| 2日 | 101 | 29.6 | 42 | 28.8 | 121 | 32.8 | 5 | 11.4 | 1 | 25.0 | 52 | 36.6 |
| 3日 | 63 | 18.5 | 11 | 7.5 | 127 | 34.4 | 14 | 31.8 | 1 | 25.0 | 20 | 14.1 |
| 4日 | 24 | 7.0 | 3 | 2.1 | 58 | 15.7 | 2 | 4.5 | 0 | 0.0 | 4 | 2.8 |
| 5日 | 46 | 13.5 | 10 | 6.8 | 11 | 3.0 | 10 | 22.7 | 0 | 0.0 | 8 | 5.6 |
| 6日 | 4 | 1.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 4.5 | 0 | 0.0 | 2 | 1.4 |
| 7日 | 11 | 3.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 2.1 |
| 不明・無回答 | 26 | 7.6 | 10 | 6.8 | 13 | 3.5 | 4 | 9.1 | 0 | 0.0 | 4 | 2.8 |

## ②「学童保育所」の利用希望時間
## （下校時から何時まで）〈数量回答〉

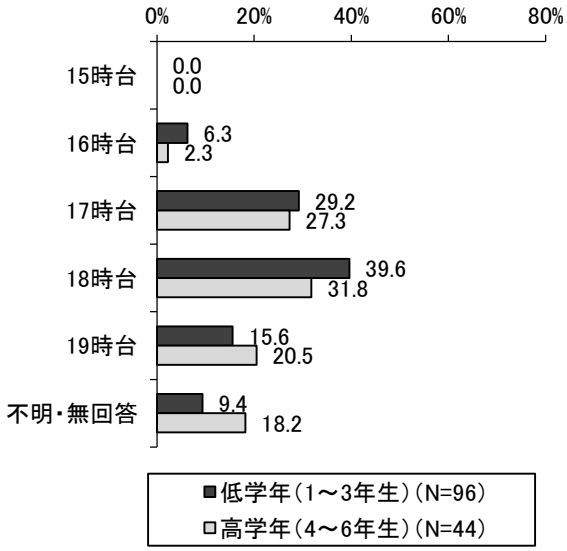
《「学童保育所」を選んだ方》

学童保育所を選んだ方の利用希望時間では、『低学年（１～３年生）』については就学前児童、小学生児童ともに「18 時台」が最も高く、『高学年（４～６年生）』についても就学前児童、小学生児童ともに「18 時台」が最も高くなっています。

就学前児童




小学生児童



（１）で「学童保育所」を選んだ方

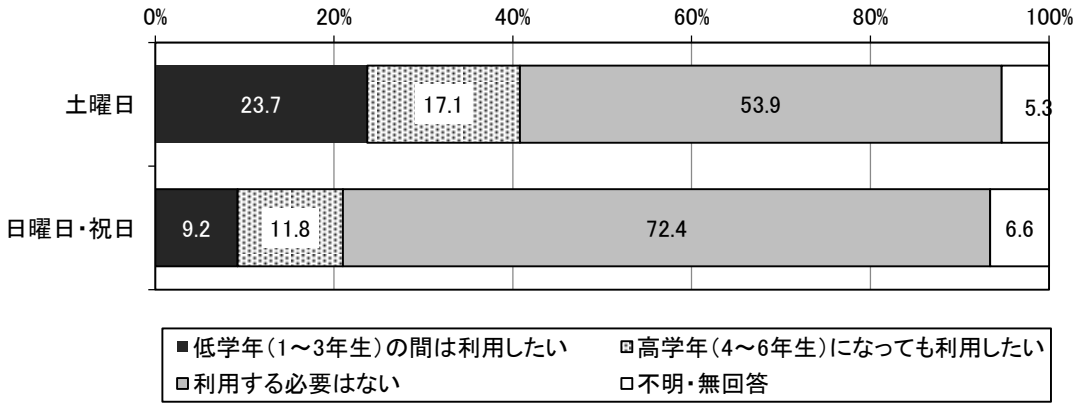
## （２）土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 27、小学生児童調査…問9〕

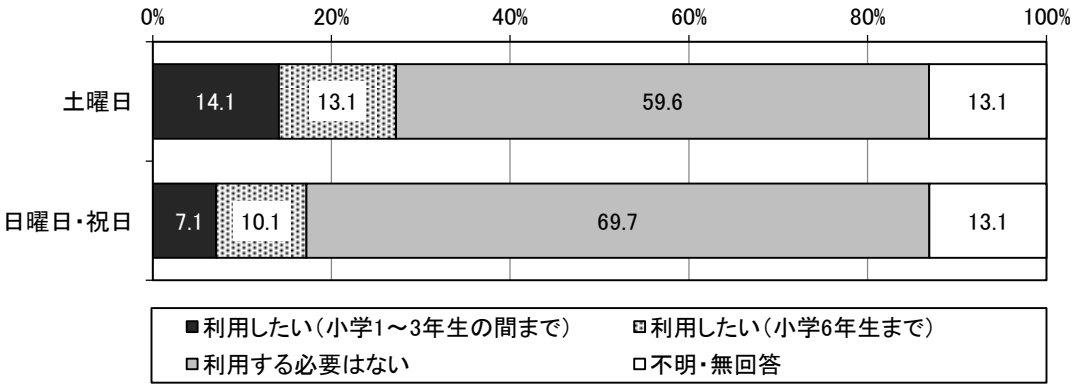
放課後児童クラブの、土曜日と日曜・祝日の利用希望についてみると、就学前児童では、土曜日、日曜・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ 53.9%、72.4%となっています。小学生児童でも、土曜日、日曜・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ 59.6%、69.7%となっています。

希望する利用時間帯については、就学前児童では、土曜日、日曜・祝日ともに利用開始時間が「8時台」、利用終了時間が「18 時台」となっており、小学生児童でも土曜日、日曜・祝日ともに利用開始時間が「8 時台」、利用終了時間が「18 時台」が最も高くなっています。

就学前児童（N=76）




小学生児童（N=99）




＊事業の利用には、一定の利用料がかかる

## ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年（１～３年生）の間は利用したい」、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方》

| 【就学前児童】利用開始時間帯 | 土曜日 N=31 | | 日曜日・祝日 N=16 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 6時以前 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 7時台 | 1 | 3.2 | 0 | 0.0 |
| 8時台 | 15 | 48.4 | 8 | 50.0 |
| 9時台 | 10 | 32.3 | 5 | 31.3 |
| 10時台 | 2 | 6.5 | 2 | 12.5 |
| 11時台 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 12時台 | 1 | 3.2 | 0 | 0.0 |
| 13時台 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 14時以降 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 2 | 6.5 | 1 | 6.3 |

| 【就学前児童】利用終了時間帯 | 土曜日 N=31 | | 日曜日・祝日 N=16 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 12時以前 | 2 | 6.5 | 1 | 6.3 |
| 13時台 | 1 | 3.2 | 1 | 6.3 |
| 14時台 | 3 | 9.7 | 0 | 0.0 |
| 15時台 | 1 | 3.2 | 1 | 6.3 |
| 16時台 | 3 | 9.7 | 3 | 18.8 |
| 17時台 | 6 | 19.4 | 1 | 6.3 |
| 18時台 | 11 | 35.5 | 8 | 50.0 |
| 19時台 | 2 | 6.5 | 1 | 6.3 |
| 20時以降 | 1 | 3.2 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 1 | 3.2 | 0 | 0.0 |

| 【小学生児童】利用開始時間帯 | 土曜日 N=27 | | 日曜日・祝日 N=17 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 6時以前 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 7時台 | 4 | 14.8 | 3 | 17.6 |
| 8時台 | 14 | 51.9 | 10 | 58.8 |
| 9時台 | 8 | 29.6 | 3 | 17.6 |
| 10時台 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 11時台 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 12時台 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 13時台 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 14時以降 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 1 | 3.7 | 1 | 5.9 |

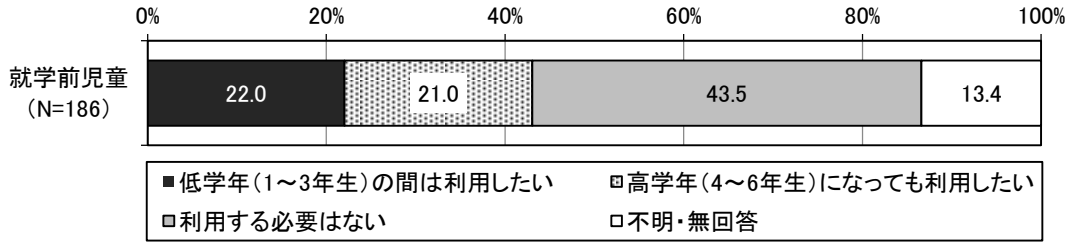
| 【小学生児童】利用終了時間帯 | 土曜日 N=27 | | 日曜日・祝日 N=17 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 12時以前 | 2 | 7.4 | 0 | 0.0 |
| 13時台 | 1 | 3.7 | 0 | 0.0 |
| 14時台 | 2 | 7.4 | 0 | 0.0 |
| 15時台 | 1 | 3.7 | 0 | 0.0 |
| 16時台 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 17時台 | 6 | 22.2 | 4 | 23.5 |
| 18時台 | 10 | 37.0 | 9 | 52.9 |
| 19時台 | 4 | 14.8 | 3 | 17.6 |
| 20時以降 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 1 | 3.7 | 1 | 5.9 |

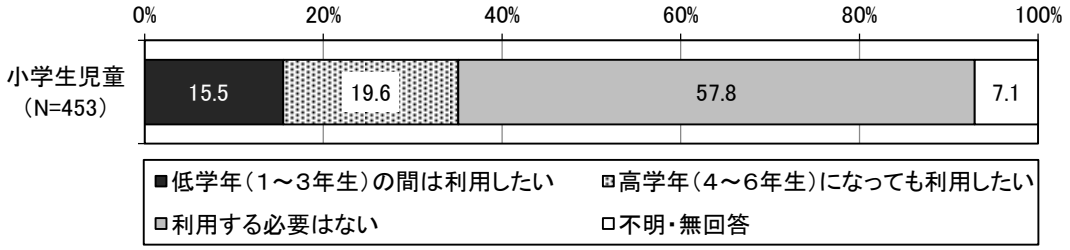
## （３）夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 28、小学生児童調査…問 10〕

長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ 43.5%、57.8%となっています。次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」がそれぞれ 22.0%、15.5%となっています。

希望する利用時間帯について、就学前児童、小学生児童ともに、開始時間が「8 時台」、終了時間が「18 時台」がそれぞれ高くなっています。




＊事業の利用には、一定の利用料がかかる

### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年（１～３年生）の間は利用したい」、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を選んだ方》

| 【就学前児童】利用開始時間帯 | 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中 N=80 | | 【就学前児童】利用終了時間帯 | 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中 N=80 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | | 件数 | % |
| 6時以前 | 0 | 0.0 | 12時以前 | 1 | 1.3 |
| 7時台 | 5 | 6.3 | 13時台 | 1 | 1.3 |
| 8時台 | 41 | 51.3 | 14時台 | 1 | 1.3 |
| 9時台 | 30 | 37.5 | 15時台 | 4 | 5.0 |
| 10時台 | 0 | 0.0 | 16時台 | 17 | 21.3 |
| 11時台 | 1 | 1.3 | 17時台 | 22 | 27.5 |
| 12時台 | 1 | 1.3 | 18時台 | 30 | 37.5 |
| 13時台 | 0 | 0.0 | 19時台 | 4 | 5.0 |
| 14時以降 | 1 | 1.3 | 20時以降 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 1 | 1.3 | 不明・無回答 | 0 | 0.0 |

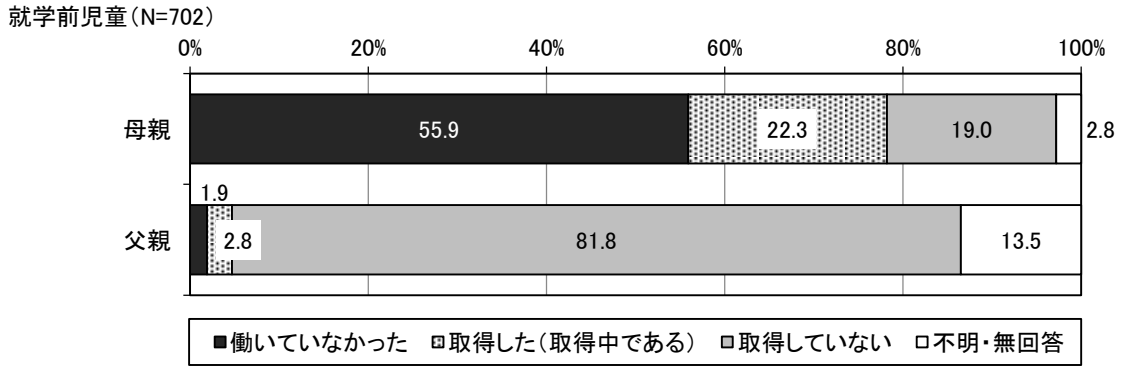
| 【小学生児童】利用開始時間帯 | 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中 N=159 | | 【小学生児童】利用終了時間帯 | 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中 N=159 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | | 件数 | % |
| 6時以前 | 0 | 0.0 | 12時以前 | 4 | 2.5 |
| 7時台 | 12 | 7.5 | 13時台 | 1 | 0.6 |
| 8時台 | 78 | 49.1 | 14時台 | 3 | 1.9 |
| 9時台 | 62 | 39.0 | 15時台 | 16 | 10.1 |
| 10時台 | 2 | 1.3 | 16時台 | 10 | 6.3 |
| 11時台 | 0 | 0.0 | 17時台 | 46 | 28.9 |
| 12時台 | 0 | 0.0 | 18時台 | 59 | 37.1 |
| 13時台 | 0 | 0.0 | 19時台 | 14 | 8.8 |
| 14時以降 | 0 | 0.0 | 20時以降 | 1 | 0.6 |
| 不明・無回答 | 5 | 3.1 | 不明・無回答 | 5 | 3.1 |

# 10　育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童）

## （１）子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29〕

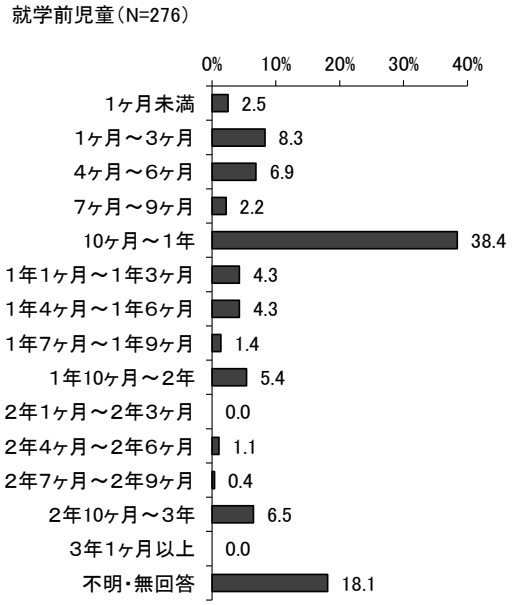
子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「働いていなかった」が 55.9%、父親では「取得していない」が 81.8%と、それぞれ最も高くなっています。また、母親の「取得した（取得中である）」が 22.3%、父親では 2.8%となっています。

また、育児休業の取得日数についてみると、母親については「10 ヶ月～１年」が 38.4%と最も高く、父親では「１ヶ月未満」が 80.0%と最も高くなっています。




### ◎育児休業の取得日数〈数量回答〉

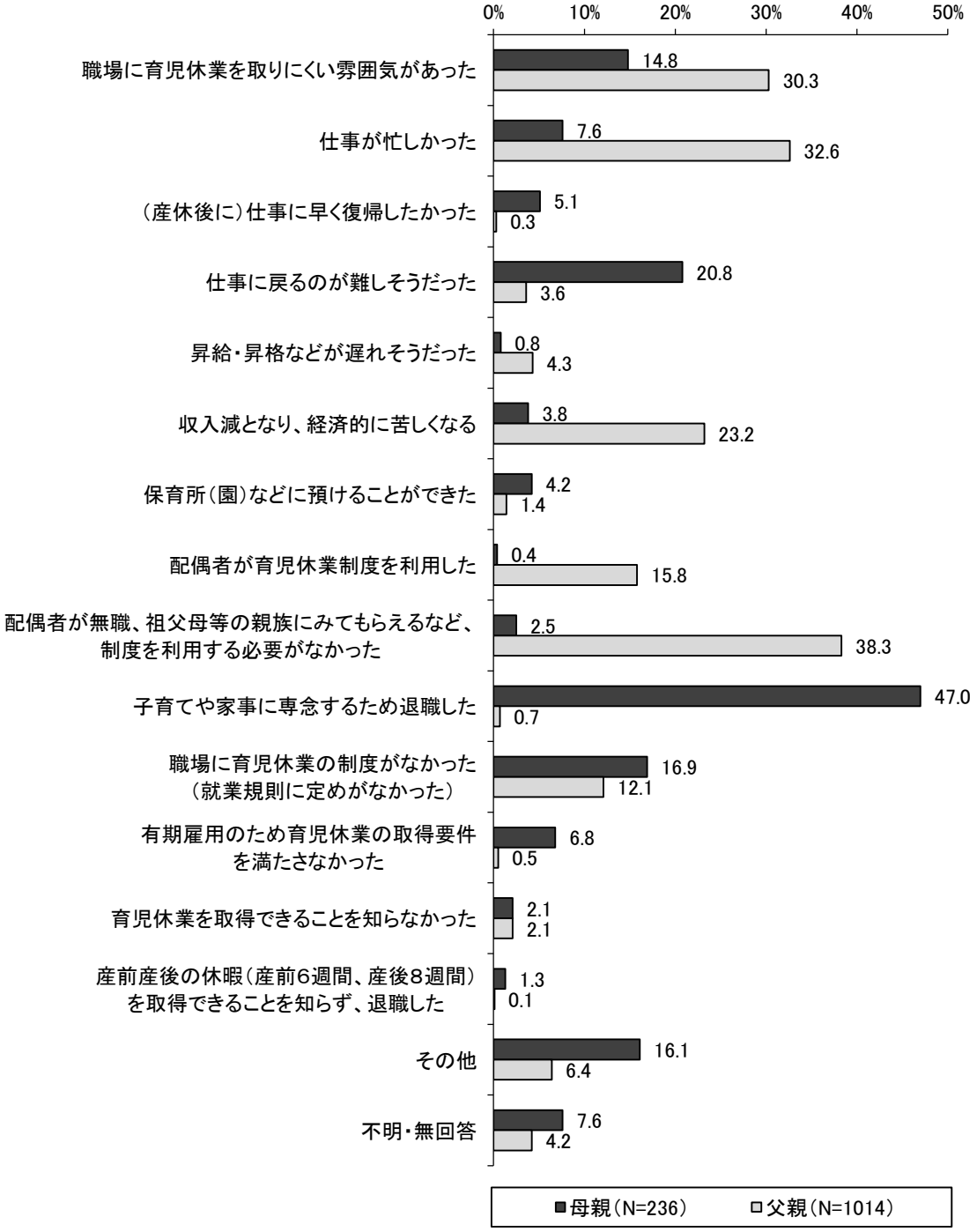
《「取得した（取得中である）」を選んだ方》




| 【父親】育児休業の取得日数 | 就学前児童（N=35） | |
|---|---|---|
| | 件数 | % |
| 1ヶ月未満 | 28 | 80.0 |
| 1ヶ月～3ヶ月 | 3 | 8.6 |
| 4ヶ月～6ヶ月 | 1 | 2.9 |
| 7ヶ月～9ヶ月 | 0 | 0.0 |
| 10ヶ月～1年 | 1 | 2.9 |
| 1年1ヶ月～1年3ヶ月 | 0 | 0.0 |
| 1年4ヶ月～1年6ヶ月 | 0 | 0.0 |
| 1年7ヶ月～1年9ヶ月 | 0 | 0.0 |
| 1年10ヶ月～2年 | 0 | 0.0 |
| 2年1ヶ月～2年3ヶ月 | 0 | 0.0 |
| 2年4ヶ月～2年6ヶ月 | 0 | 0.0 |
| 2年7ヶ月～2年9ヶ月 | 0 | 0.0 |
| 2年10ヶ月～3年 | 0 | 0.0 |
| 3年1ヶ月以上 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 2 | 5.7 |

育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が47.0%で最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が20.8%となっています。父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が38.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が32.6%となっています。

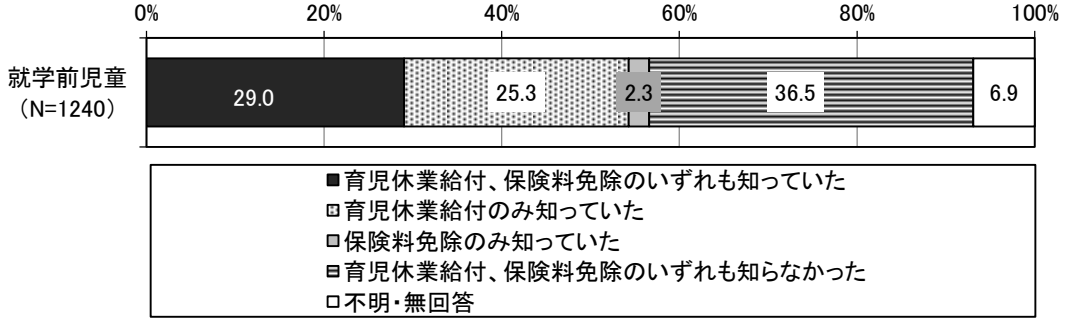
**◎取得していない理由〈複数回答〉**《「取得していない」を選んだ方》



## （２）育児休業給付や育児休業保険料免除制度の認知度〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 29－1〕

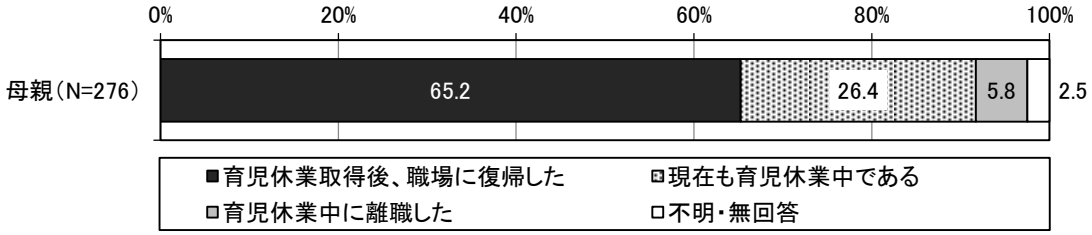
育児休業給付等の認知度についてみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 36.5%と高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 29.0%となっています。




**（１）で「取得した（取得中である）」を選んだ方**

## （３）　育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29－2〕

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 65.2%と大部分を占めています。

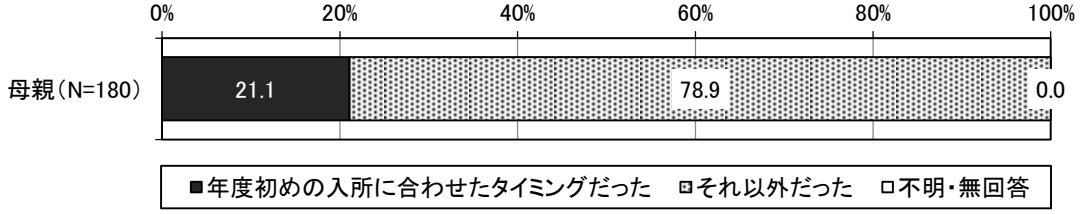



| 【父親】<br>職場への復帰状況 | 就学前児童<br>N=35 | |
|---|---|---|
| | 件数 | % |
| 育児休業取得後、職場に復帰した | 20 | 57.1 |
| 現在も育児休業中である | 1 | 2.9 |
| 育児休業中に離職した | 1 | 2.9 |
| 不明・無回答 | 13 | 37.1 |

**（３）で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方**

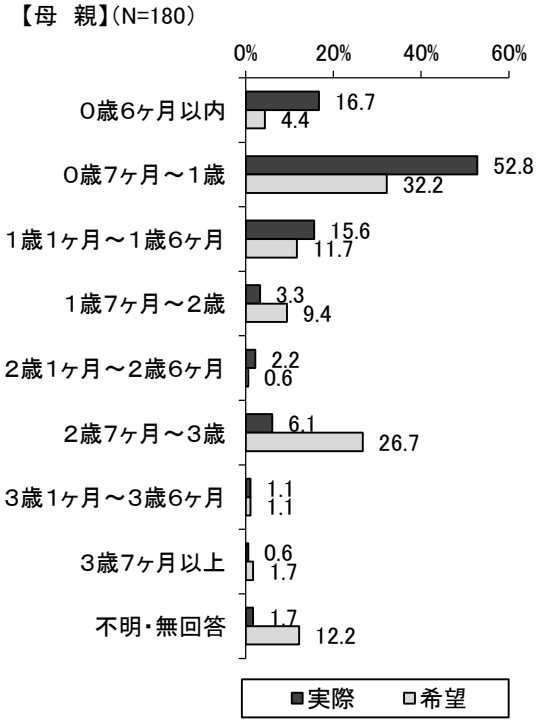
## （３）－１　職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29－3〕

職場復帰の時期が、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングかについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 21.1%、「それ以外だった」が 78.9%となっています。




## （３）－２　育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか。また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取得したかったか〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 29－4〕

育児休業から、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかについてみると、母親では実際、希望ともに「０歳７ヶ月～１歳」がそれぞれ 52.8%、32.2%と最も高くなっています。



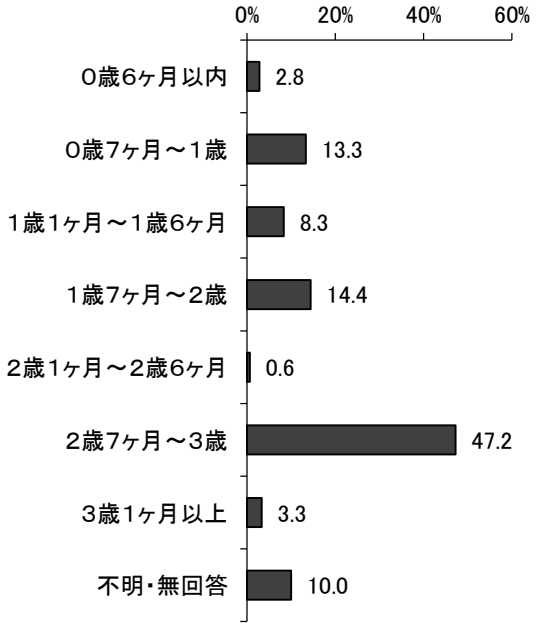

| 【父親】育児休業取得期間 | 実際 N=20 | | 希望 N=20 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 0歳6ヶ月以内 | 13 | 65.0 | 9 | 45.0 |
| 0歳7ヶ月～1歳 | 1 | 5.0 | 3 | 15.0 |
| 1歳1ヶ月～1歳6ヶ月 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 1歳7ヶ月～2歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2歳1ヶ月～2歳6ヶ月 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2歳7ヶ月～3歳 | 1 | 5.0 | 0 | 0.0 |
| 3歳1ヶ月～3歳6ヶ月 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 3歳7ヶ月以上 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 5 | 25.0 | 8 | 40.0 |

## （３）－３　職場に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかったか〈数量回答〉

〔就学前児童調査…問 29－5〕

職場に育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかったかについてみると、母親では「２歳７ヶ月～３歳」が 47.2%と最も高くなっています。

【母　親】(N=180)




| 【父親】育児休業を取得したかった子ども年齢 | 就学前児童 N=20 | |
|---|---|---|
| | 件数 | % |
| 0歳6ヶ月以内 | 3 | 15.0 |
| 0歳7ヶ月～1歳 | 2 | 10.0 |
| 1歳1ヶ月～1歳6ヶ月 | 1 | 5.0 |
| 1歳7ヶ月～2歳 | 0 | 0.0 |
| 2歳1ヶ月～2歳6ヶ月 | 0 | 0.0 |
| 2歳7ヶ月～3歳 | 0 | 0.0 |
| 3歳1ヶ月以上 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 14 | 70.0 |

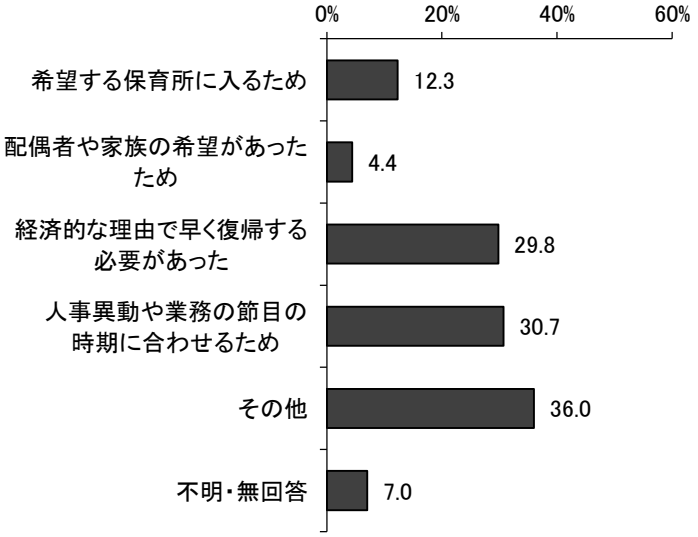
（３）－２で実際の復帰と希望が異なる方

## （３）－４　希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 29－6〕

育児休業期間の実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてみると、母親で『希望』より早く復帰した方では、「その他」を除き「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 36.0%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 29.8%となっています。

### ①「希望」より早く復帰した方

母親（N=114）



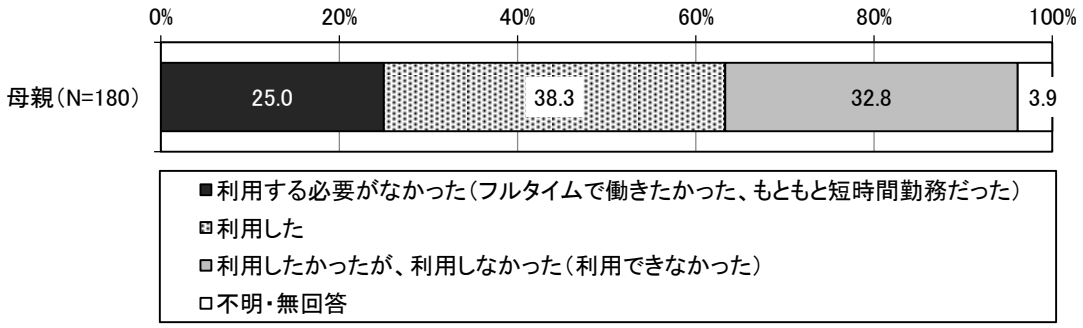

| 【父親】「希望」より早く復帰した方 | 就学前児童（N=4） | |
|---|---|---|
| | 件数 | % |
| 希望する保育所に入るため | 0 | 0.0 |
| 配偶者や家族の希望があったため | 0 | 0.0 |
| 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 1 | 25.0 |
| 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため | 1 | 25.0 |
| その他 | 1 | 25.0 |
| 不明・無回答 | 1 | 25.0 |

### ②「希望」より遅く復帰した方

| 「希望」より遅く復帰した方 | 母親（N=7） | | 父親（N=1） | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 希望する保育所に入れなかったため | 2 | 28.6 | 0 | 0.0 |
| 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 配偶者や家族の希望があったため | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 子どもをみてくれる人がいなかったため | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| その他 | 2 | 28.6 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 3 | 42.9 | 1 | 100.0 |

## （３）－５　職場復帰時の短期勤務制度の利用状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29－7〕

短期勤務制度の利用状況についてみると、母親では「利用した」が 38.3%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 32.8%となっています。

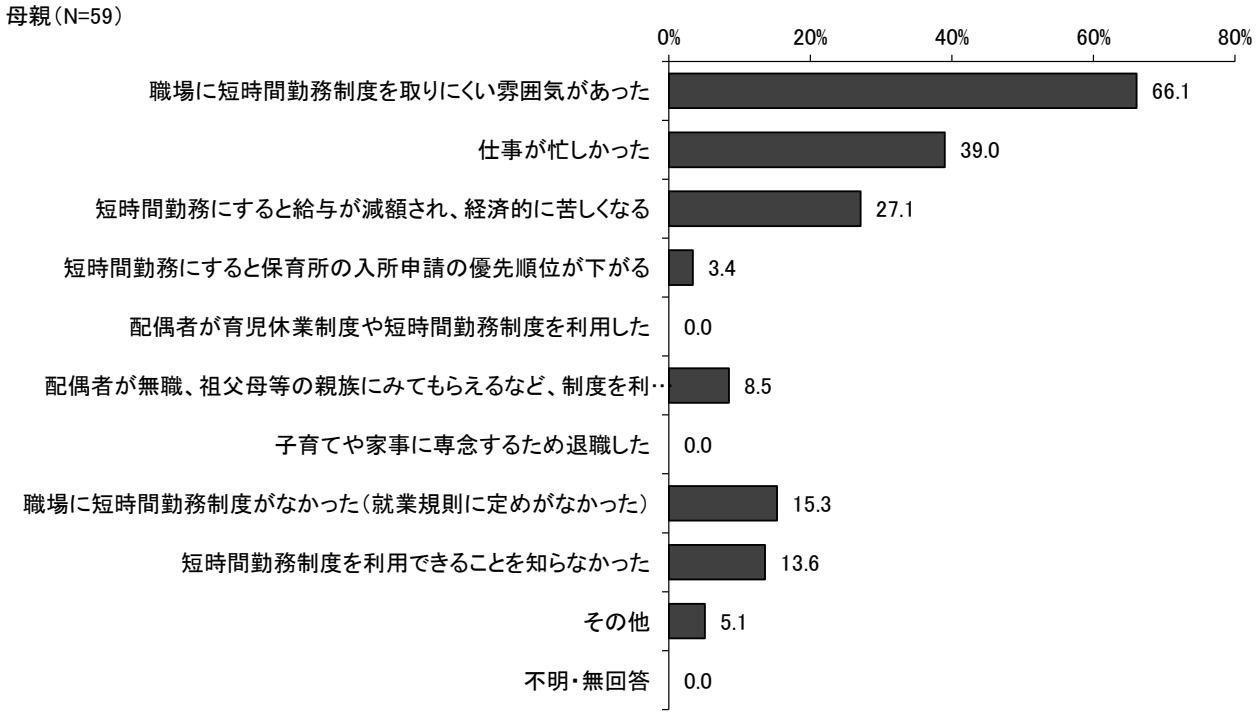



| 【父親】<br>育児休業復帰のタイミング | 就学前児童<br>N=20 | |
|---|---|---|
| | 件数 | % |
| 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） | 12 | 60.0 |
| 利用した | 0 | 0.0 |
| 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） | 1 | 5.0 |
| 不明・無回答 | 7 | 35.0 |

**（３）－５で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方**

## （３）－６　短時間勤務制度を利用しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 29－8〕

短期勤務制度を利用しなかった理由についてみると、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 66.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 39.0%となっています。

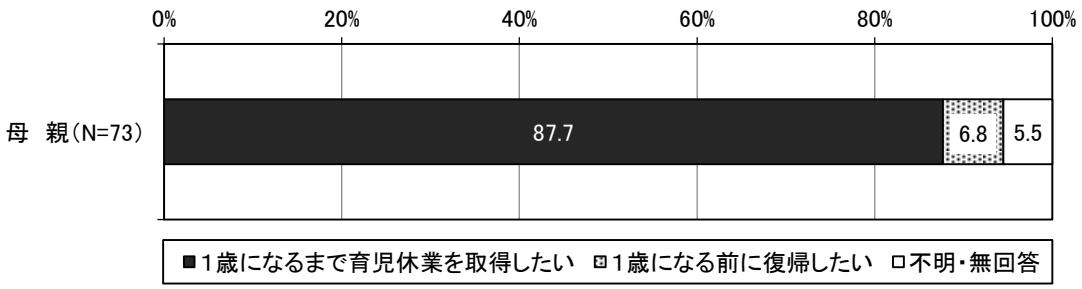


| 【父親】 短時間勤務制度を利用しなかった理由 | 就学前児童（N=1） | |
|---|---|---|
| | 件数 | % |
| 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった | 1 | 100.0 |
| 仕事が忙しかった | 1 | 100.0 |
| 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる | 0 | 0.0 |
| 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる | 0 | 0.0 |
| 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した | 0 | 0.0 |
| 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | 0 | 0.0 |
| 子育てや家事に専念するため退職した | 0 | 0.0 |
| 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） | 0 | 0.0 |
| 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった | 1 | 100.0 |
| その他 | 1 | 100.0 |
| 不明・無回答 | 0 | 0.0 |

**（３）で「現在も育児休業中である」を選んだ方**

## （３）－７　子どもが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得するか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 29－9〕

現在も育児休業中の方で、子どもが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、母親では「１歳になるまで育児休業を取得したい」が87.7%となっています。



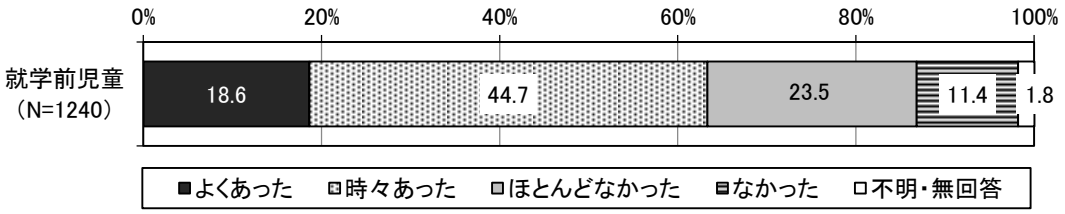

※父親の回答は、「１歳になるまで育児休業を取得したい」が１件となっています。

# 11　妊娠中や出産・子育ての不安と悩みについて（就学前児童）

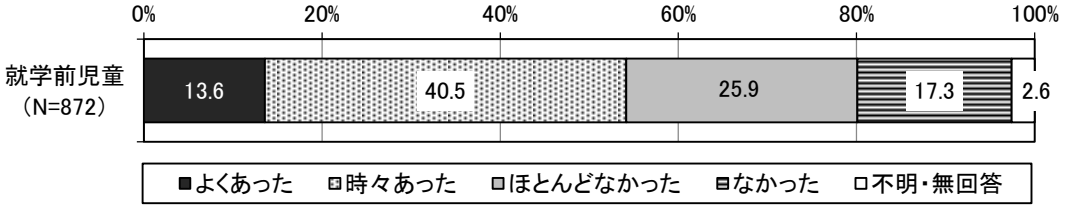
## （１）妊娠中、あるいは出産後、母親が精神的に不安定になったことの有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 30〕

妊娠中、あるいは出産後、母親が精神的に不安定になったことの有無についてみると、「よくあった」「時々あった」を合せた『あった』が 63.3%、「ほとんどなかった」「なかった」を合せた『なかった』が 34.9%となっており、『あった』が 28.4 ポイント高くなっています。



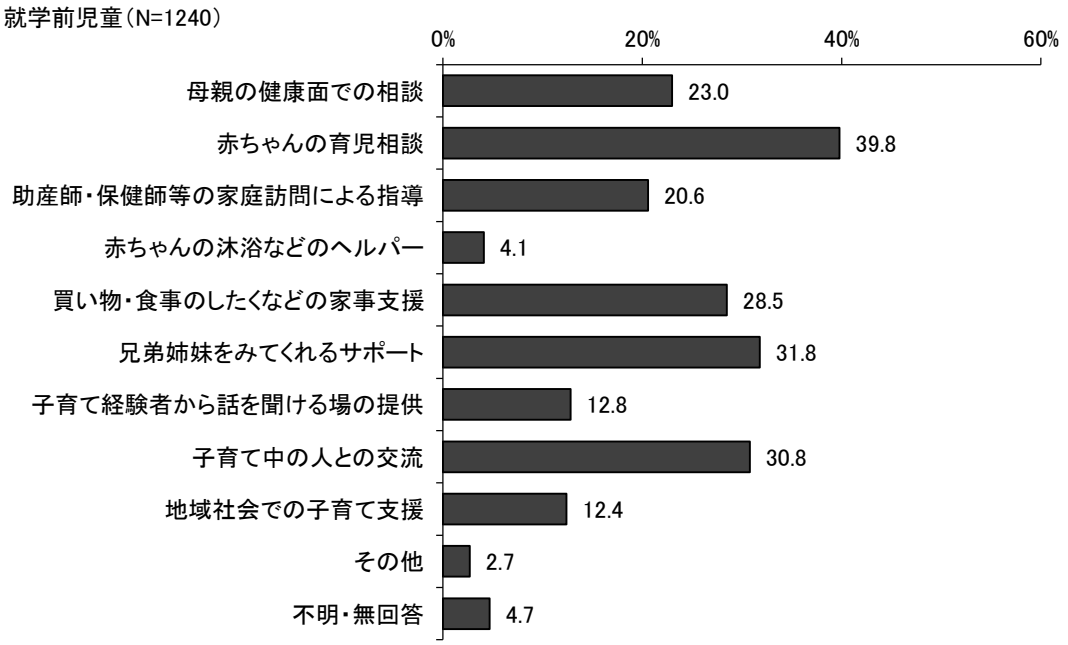

【前回調査結果】（妊娠中、あるいは出産後、母親が精神的に不安定になったことの有無）



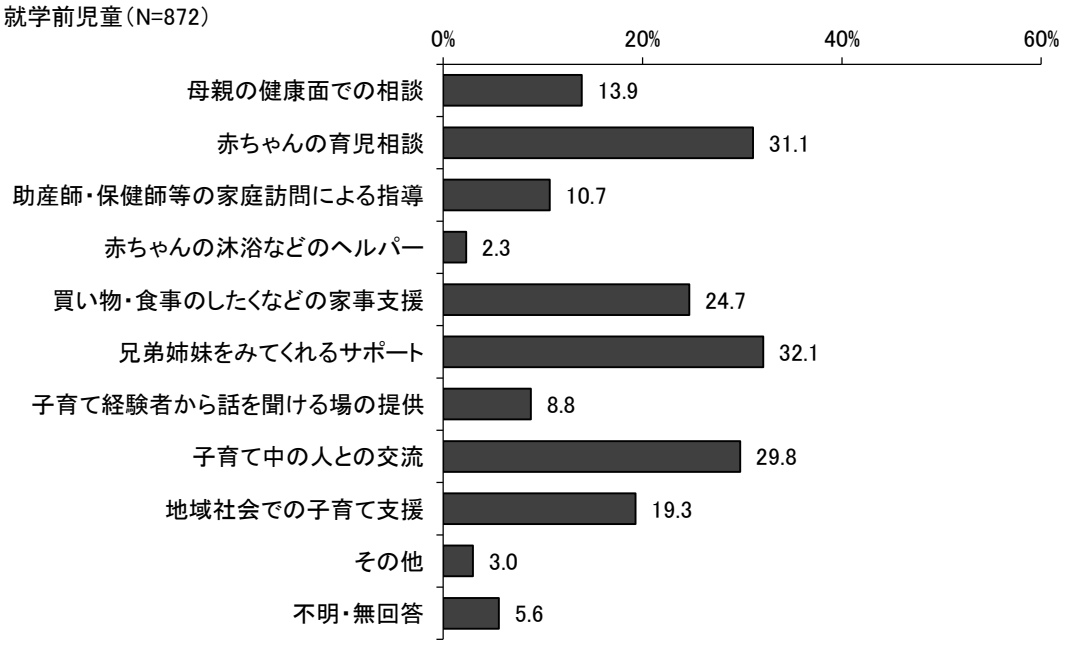
## （２）妊娠中や出産後のサポートとして、特に必要なサービス〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 31〕

妊娠中や出産後のサポートとして、特に必要なサービスについてみると、「赤ちゃんの育児相談」が 39.8%、次いで「兄弟姉妹をみてくれるサポート」が 31.8%、「子育て中の人との交流」が 30.8%となっています。



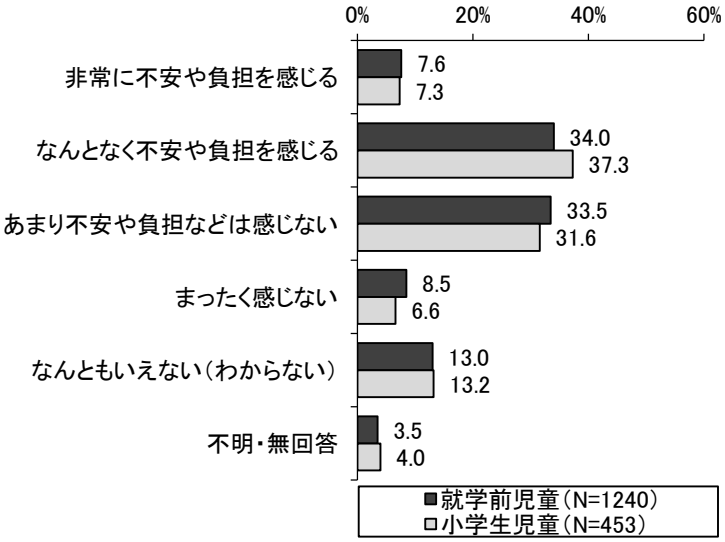

【前回調査結果】（妊娠中や出産後のサポートとして、特に必要なサービス）



# 12　子育てに関する不安や悩みに関して

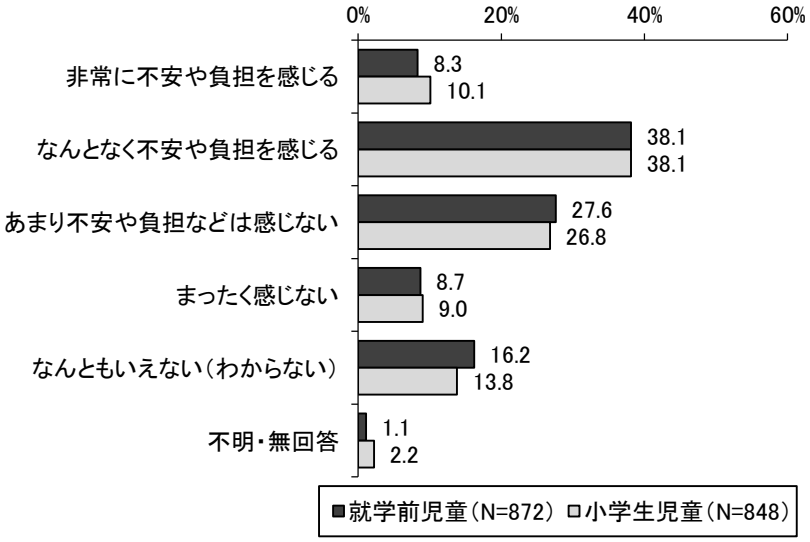
## （１） 子育てに関する不安感や負担感の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 32・小学生児童調査…問 24〕




子育てに関する不安感や負担感について、就学前児童では「非常に負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」を合わせた「不安や負担を感じる」が 41.6%、小学生児童では『不安や負担を感じる』が 44.6%と、４割以上を超えています。

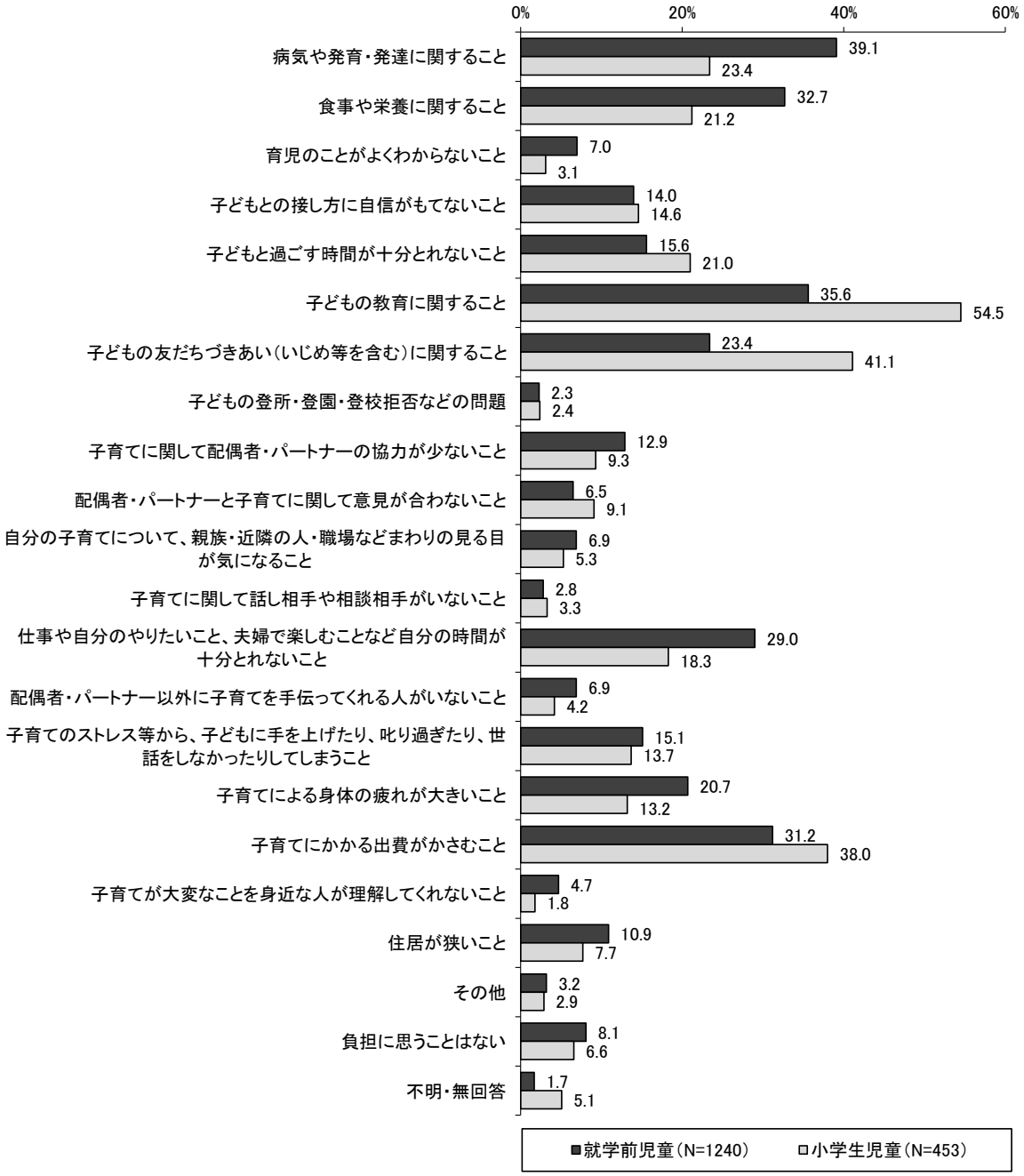
【前回調査結果】（子育てに関する不安感や負担感の有無）



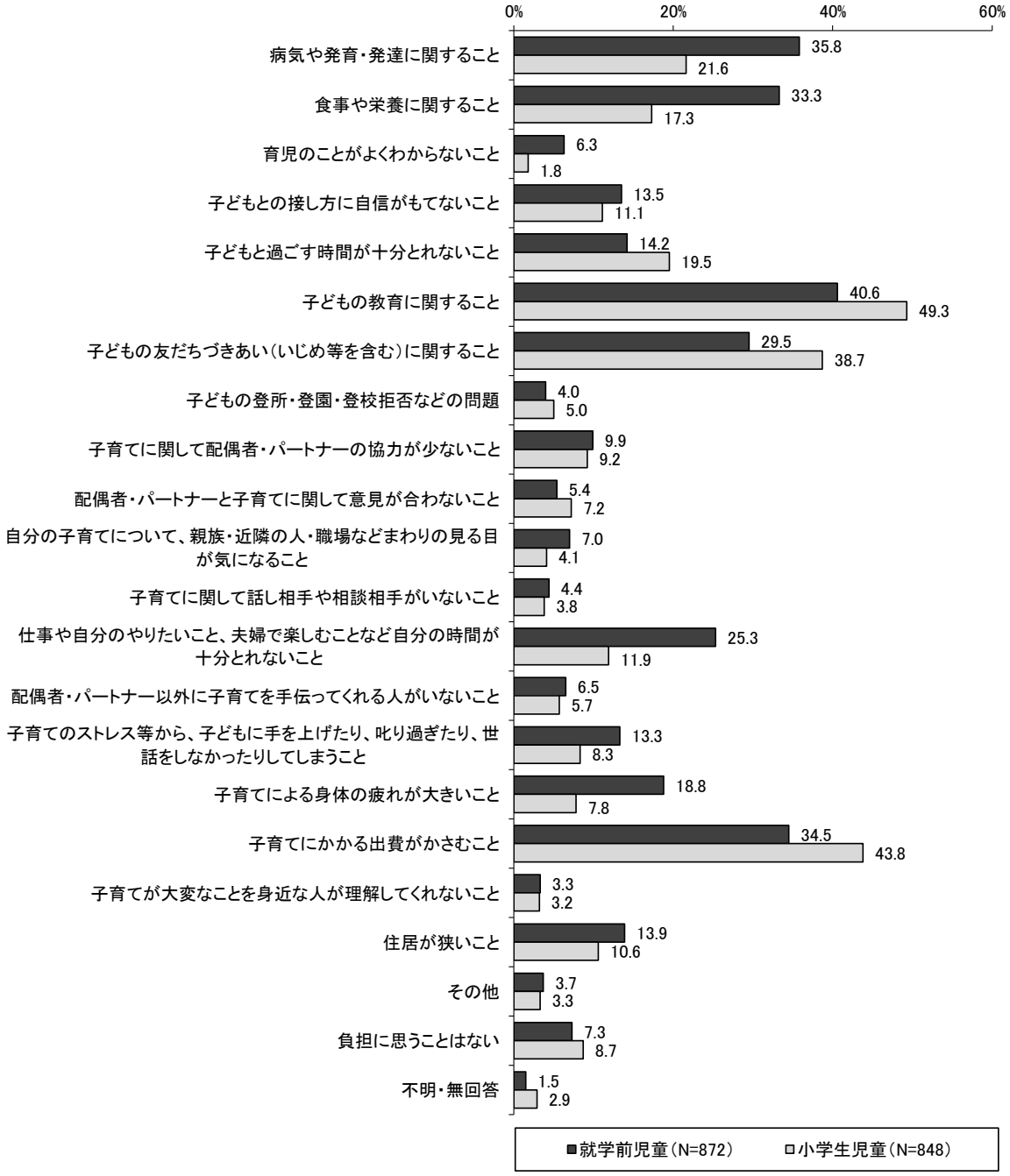
## （２） 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になること〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 33・小学生児童調査…問 25〕

子育てで悩んでいることや、気になることとしては、就学前児童では「病気や発育・発達に関すること」が 39.1%と最も高く、次いで、「子どもの教育に関すること」が 35.6%、「食事や栄養に関すること」が 32.7%となっています。小学生児童では「子どもの教育に関すること」が 54.5%と最も高く、次いで、「子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）」が 41.1%、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 38.0%となっています。



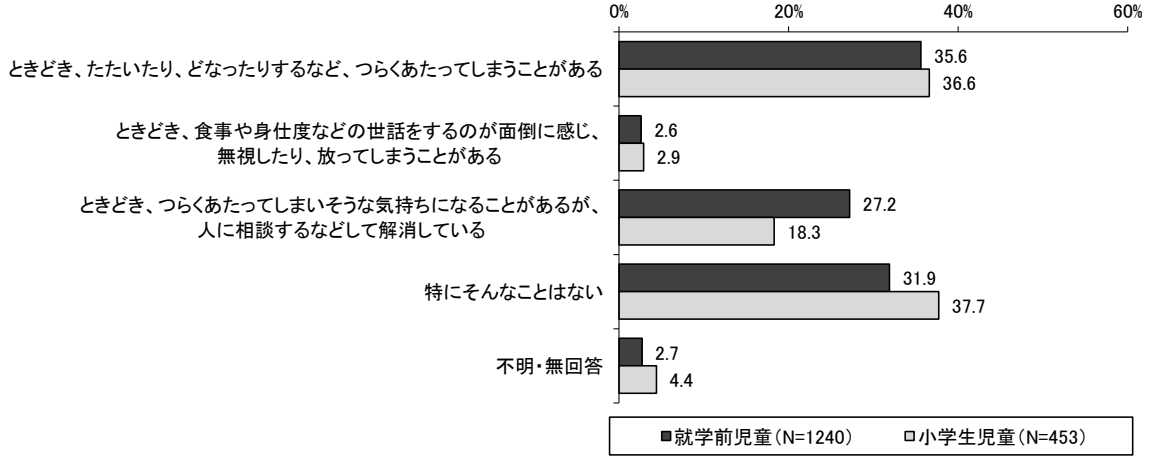
【前回調査結果】（子育てに関して、日頃悩んでいること、気になること）



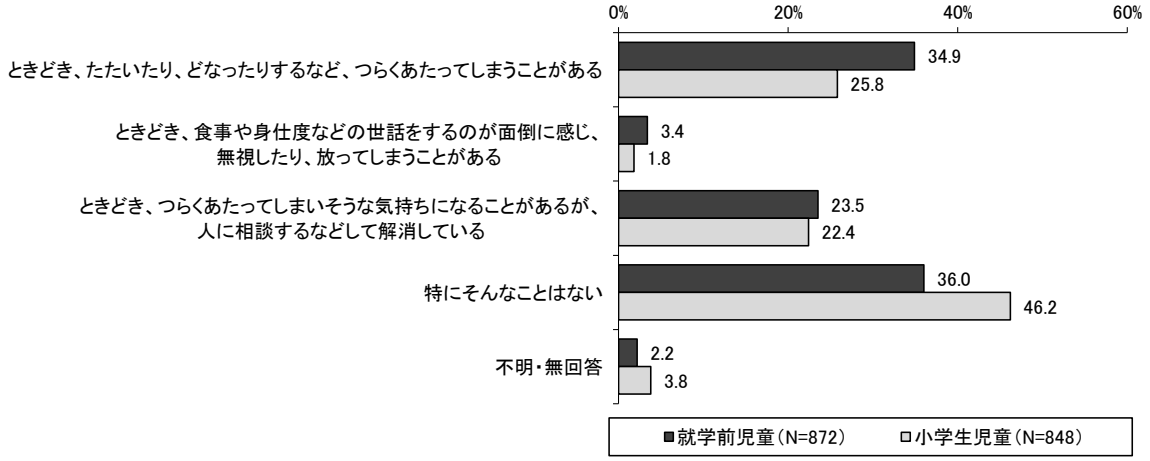
## （３） 子育てで子どもにつらくあたってしまうことの有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 34・小学生児童調査…問 26〕

子育ての悩みや不安から、子どもにつらくあたってしまうことの有無について、就学前児童では「ときどき、たたいたり、どなったりするなど、つらくあたってしまうことがある」が 35.6%、小学生児童では「特にそんなことはない」が 37.7%とそれぞれ最も高くなっています。




【前回調査結果】（子育てで子どもにつらくあたってしまうことの有無）

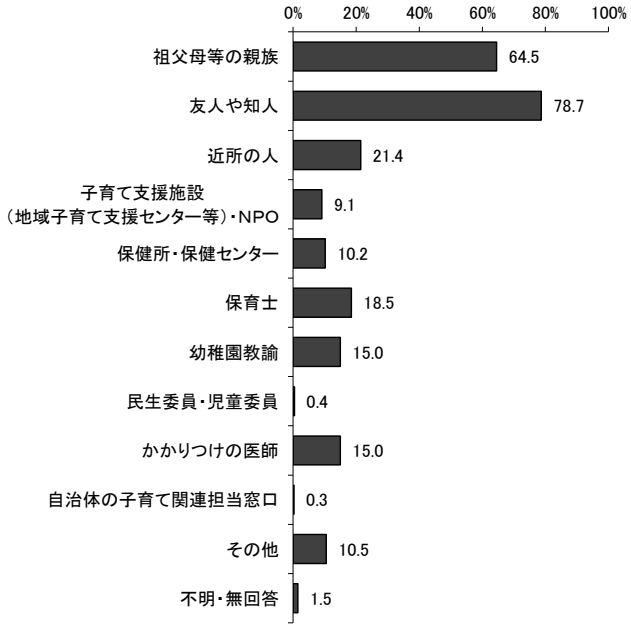


## （４） 子育ての情報源〈複数回答〉

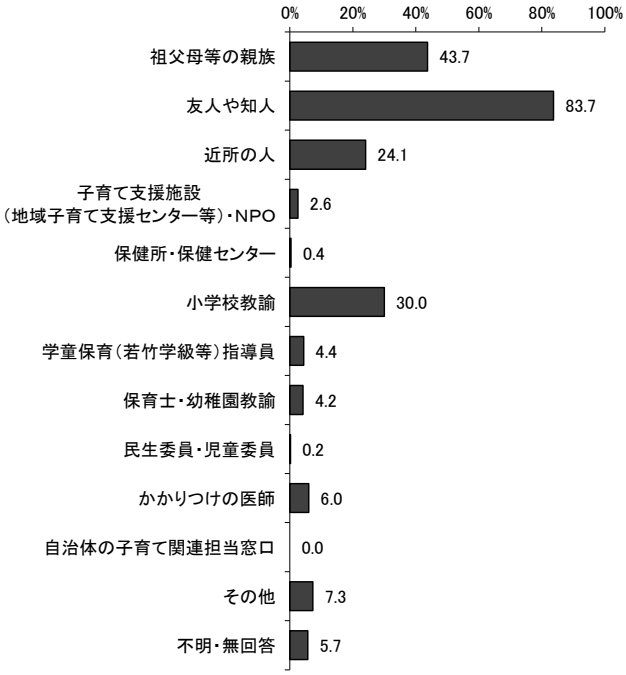
〔就学前児童調査…問 35・小学生児童調査…問 27〕

子育ての情報源について、就学前児童、小学生児童ともに「友人や知人」が 78.7%、83.7%とそれぞれ最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 64.5%、43.7%となっています。

就学前児童（N=1240）




小学生児童（N=453）



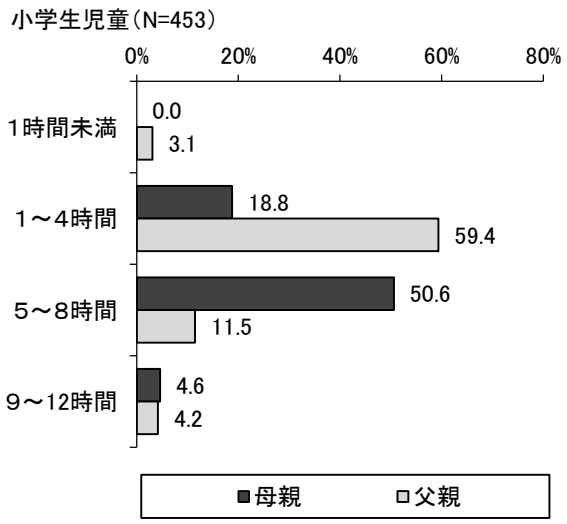
# 13　ワーク・ライフ・バランスについて（小学生児童）

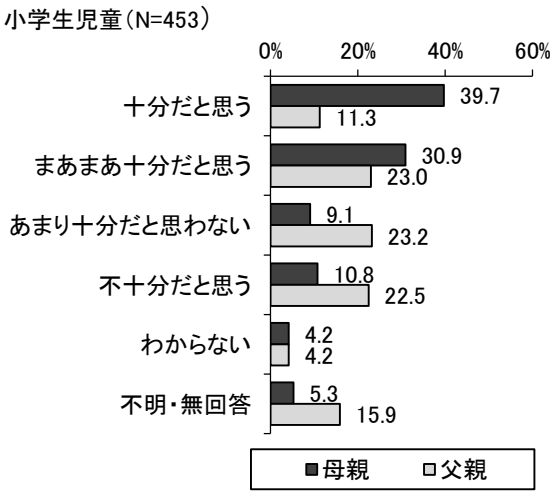
## （１）子どもと一緒に過ごす時間の満足度〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 23〕

一緒に過ごしたい時間について、母親では「５～８時間」が 50.6%と最も高く、父親では「１～４時間」が 59.4%と最も高くなっています。

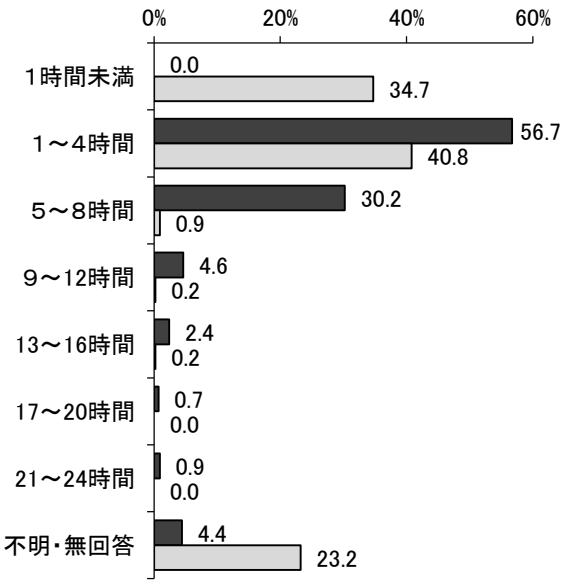
子どもと一緒に過ごす時間の満足度について、母親では「十分だと思う」「まあまあ十分だと思う」を合わせた『十分』が 70.6%と７割以上を占めているのに対して、父親では『十分』が 34.3%と母親を下回るとともに、「あまり十分だと思わない」「不十分だと思う」を合わせた『不十分』を下回っています。




## （２）１日当たりの家事の時間〈数量回答〉

〔小学生児童調査…問 23－1〕

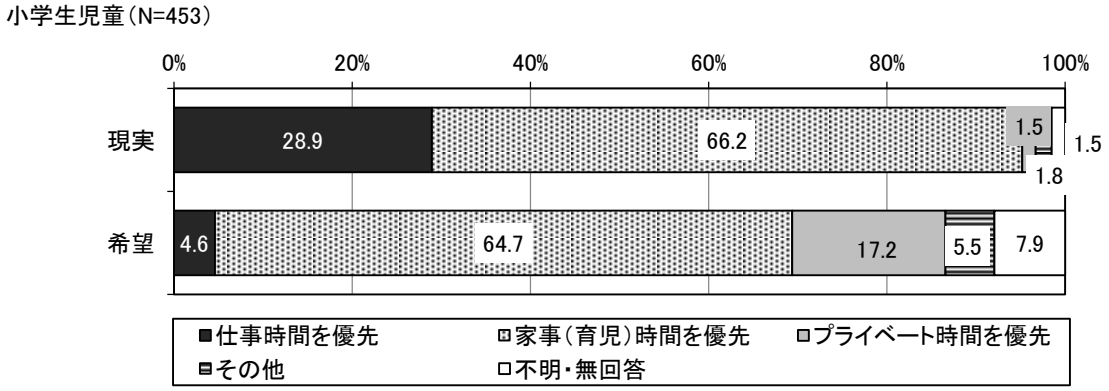



１日当たりの家事の時間について、母親、父親ともに「１～４時間」が最も高く、それぞれ 56.7%、40.8%となっています。次いで、母親は「５～８時間」、父親は「１時間未満」となっています。

## （３）家庭生活の中での優先度の現実と希望〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 23－2〕

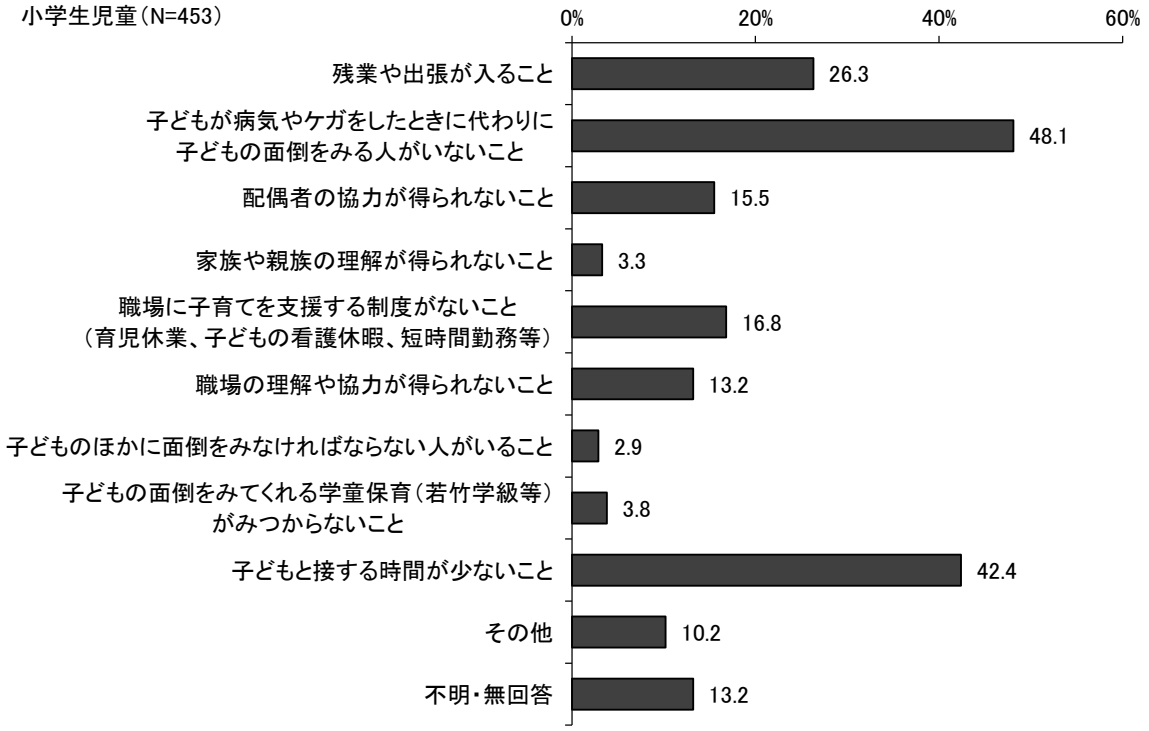
家庭生活の中での優先度についてみると、現実、希望ともに「家事（育児）時間を優先」が最も高く、それぞれ 6 割を超えています。次いで理想では、「プライベート時間を優先」が 17.2%となっているのに対して、現実では「仕事時間が優先」が 28.9%と、理想と現実とのかい離がうかがえます。




## （４）仕事と子育ての両立で大変だと思うこと〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 23－3〕

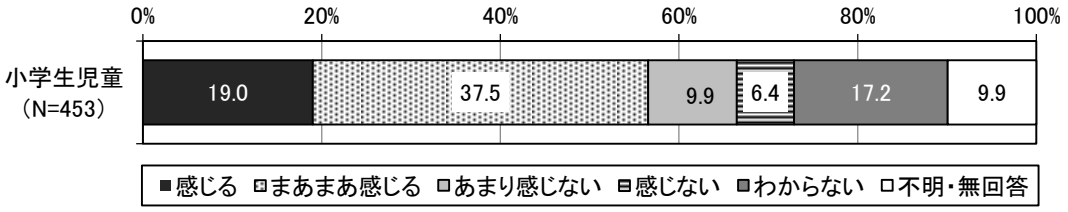
仕事と子育ての両立で大変だと思うことについてみると、「子どもが病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」が 48.1%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が 42.4%となっています。



### （５）仕事と生活の調和が図られていると感じるか〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 23－4〕

家庭で、仕事と生活の調和が図られていると感じるかについてみると、「感じる」「まあまあ感じる」を合わせた『感じる』が 56.5%と半数以上を占めており、「あまり感じない」「感じない」を合わせた『感じない』を上回っています。

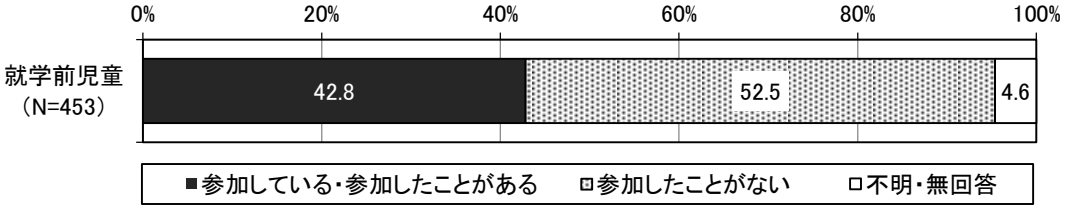



## １４　子どもの活動促進や安全確保について（小学生児童）

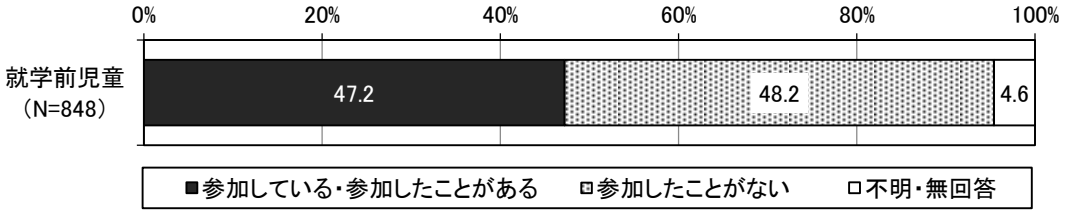
### （１）子どもの地域活動やグループ活動への参加の有無〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 28〕

子どもの地域活動やグループ活動への参加の有無についてみると、「参加している・参加したことがある」が 42.8%、「参加したことがない」が 52.5%となっています。



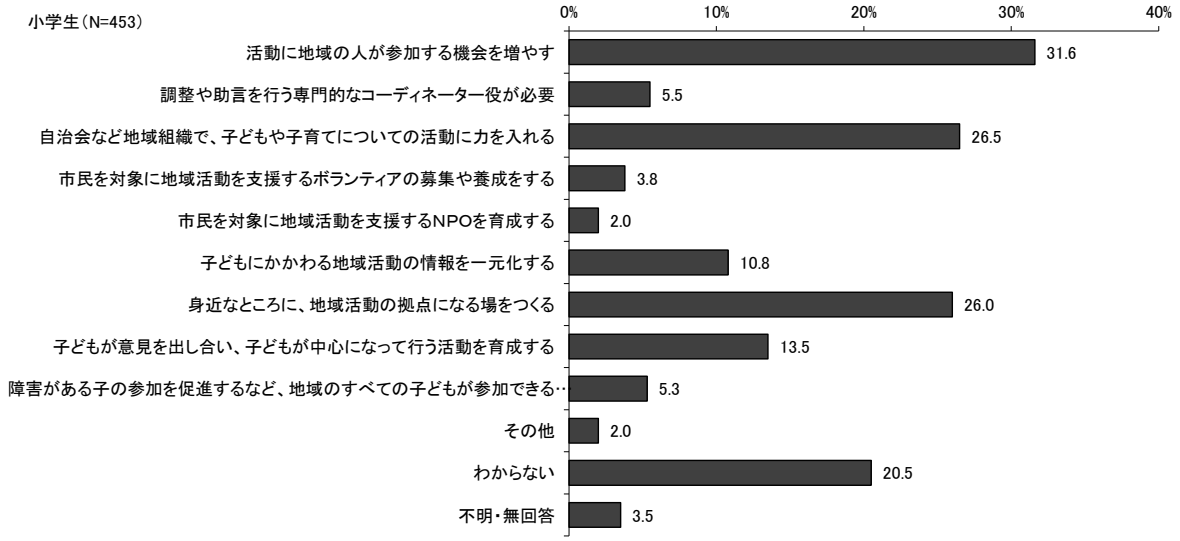

【前回調査結果】（子どもの地域活動やグループ活動への参加の有無）



## （２）交流や活動を活発にするために必要だと思うこと〈２つまで回答〉

〔小学生児童調査…問 29〕

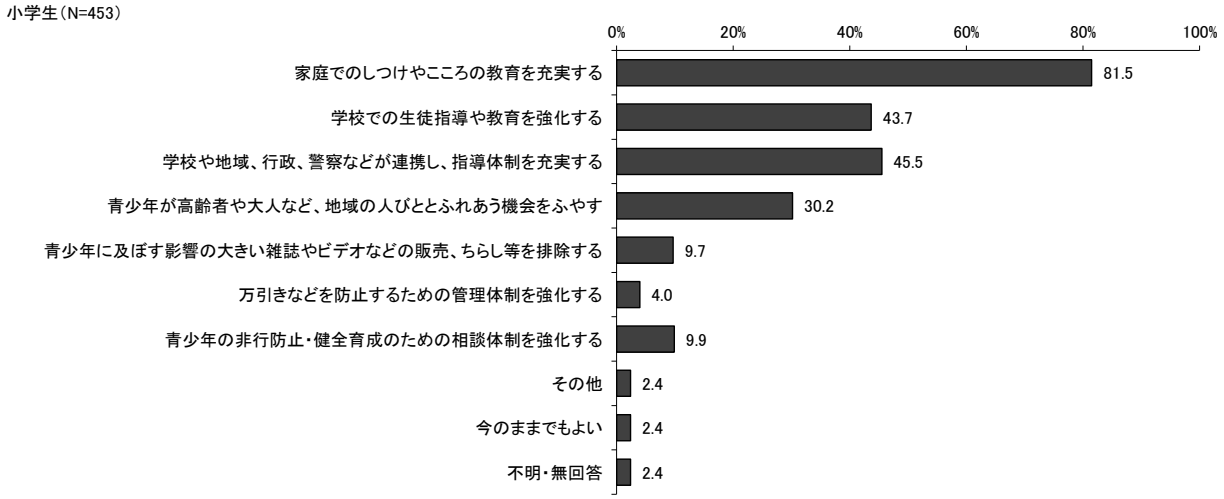
交流や活動を活発にするために必要だと思うことについてみると、「活動に地域の人が参加する機会を増やす」が 31.6%と最も高く、次いで「自治会など地域組織で、子どもや子育てについての活動に力を入れる」が 26.5%、「身近なところに、地域活動の拠点になる場をつくる」が 26.0%となっています。



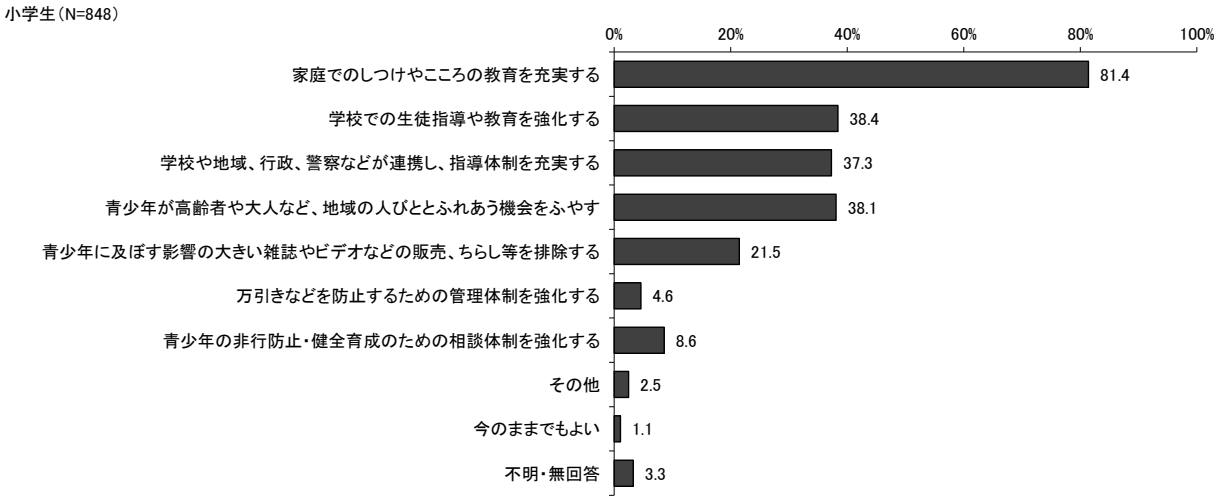

## （３）子どもの健全育成や非行防止のために、力をいれるべきと思うこと〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 30〕

子どもの健全育成や非行防止のために、力をいれるべきと思うことについてみると、「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が 81.5%と最も高く、次いで「学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する」が 45.5%、「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が 43.7%となっています。



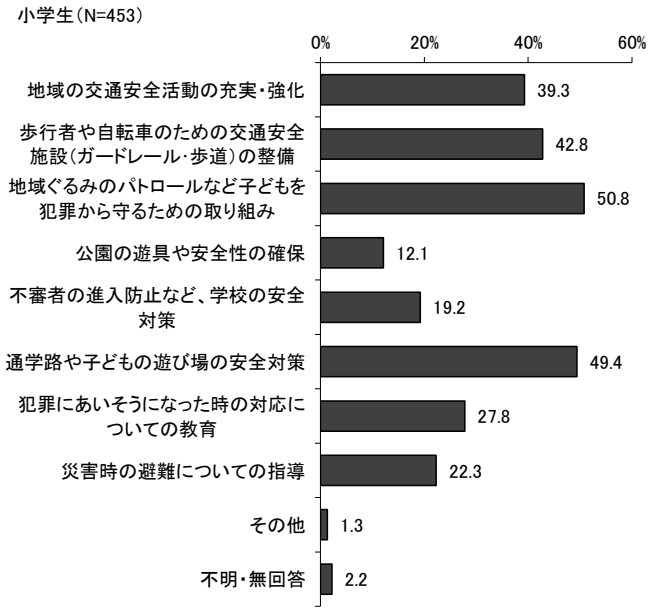
【前回調査結果】（子どもの健全育成や非行防止のために、力をいれるべきと思うこと）



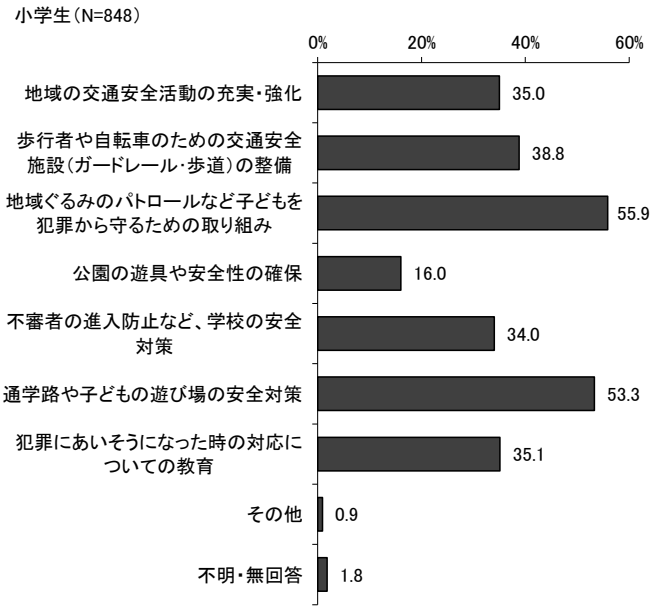

## （４）子どもの安全を守るために、特に重要と思われること〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 31〕

子どもの安全を守るために、特に重要と思われることについてみると、「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取り組み」が 50.8%と最も高く、次いで「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が 49.4%、「歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール･歩道）の整備」が 42.8%となっています。




【前回調査結果】（子どもの安全を守るために、特に重要と思われること）



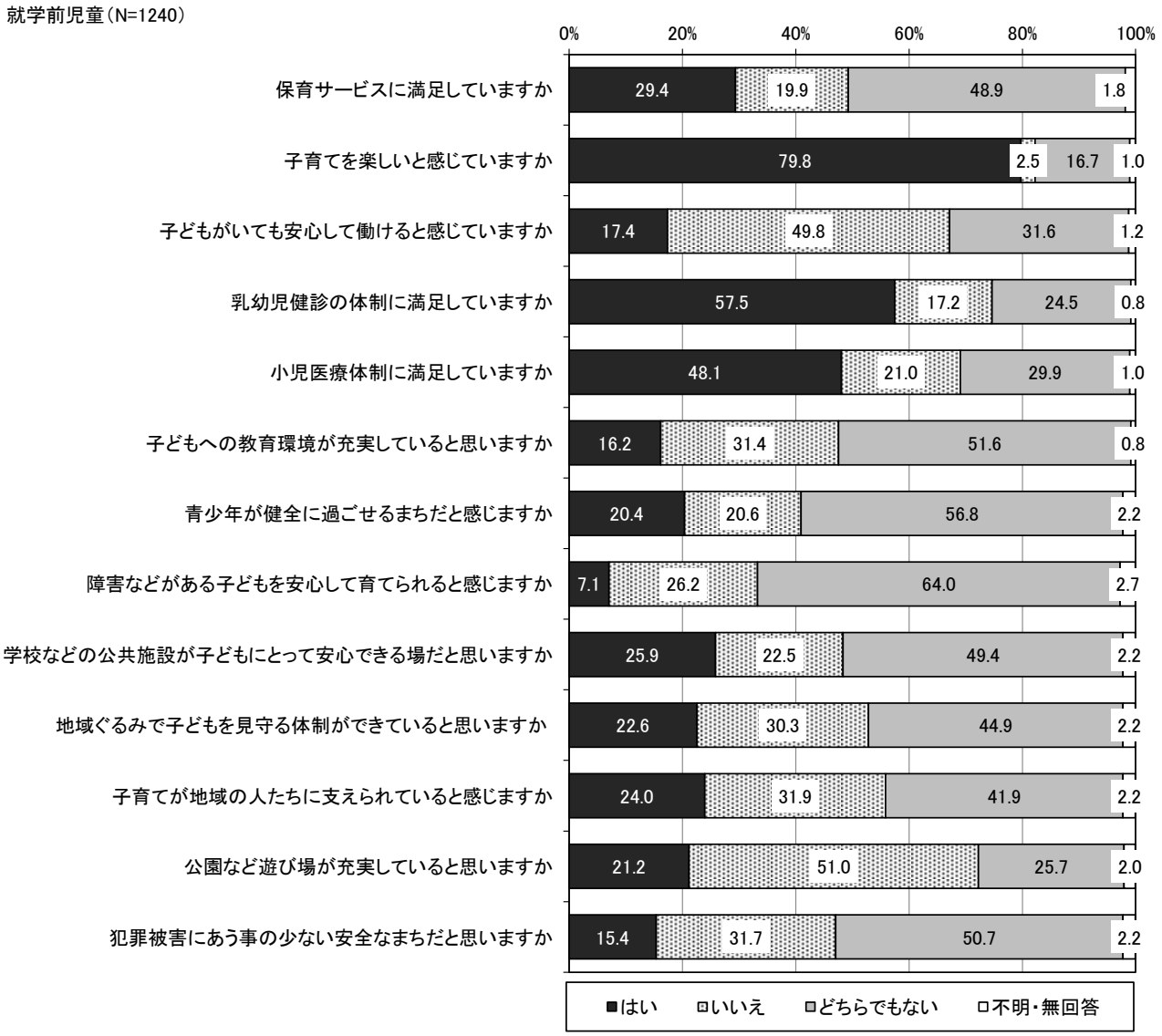
# １５　和歌山市での子育てや子育て支援サービスについて

## （１）和歌山市の子育て施策等に関して感じること〈単数回答〉

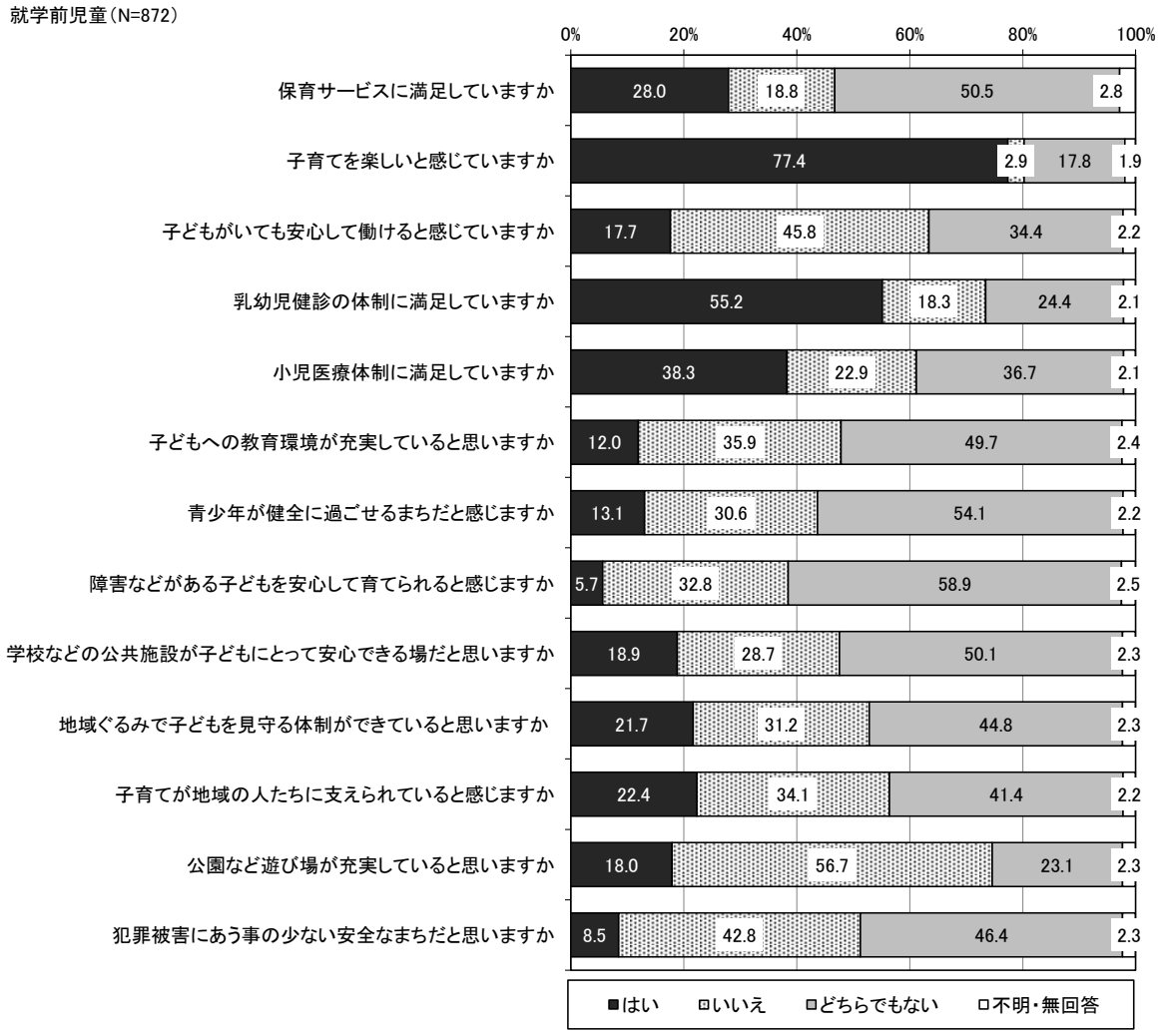
〔就学前児童調査…問 36、小学生児童調査…問 32〕

和歌山市の子育て施策等に関して感じることについてみると、就学前児童では子育てが楽しい、乳幼児健診の体制への満足、小児医療体制に満足との回答で「感じている」が高く、それぞれ 79.8%、57.5%、48.1%となっています。

一方、公園などの遊び場の充実、子どもがいても安心して働けるで「感じない」が高く、それぞれ 51.0%、49.8%となっています。



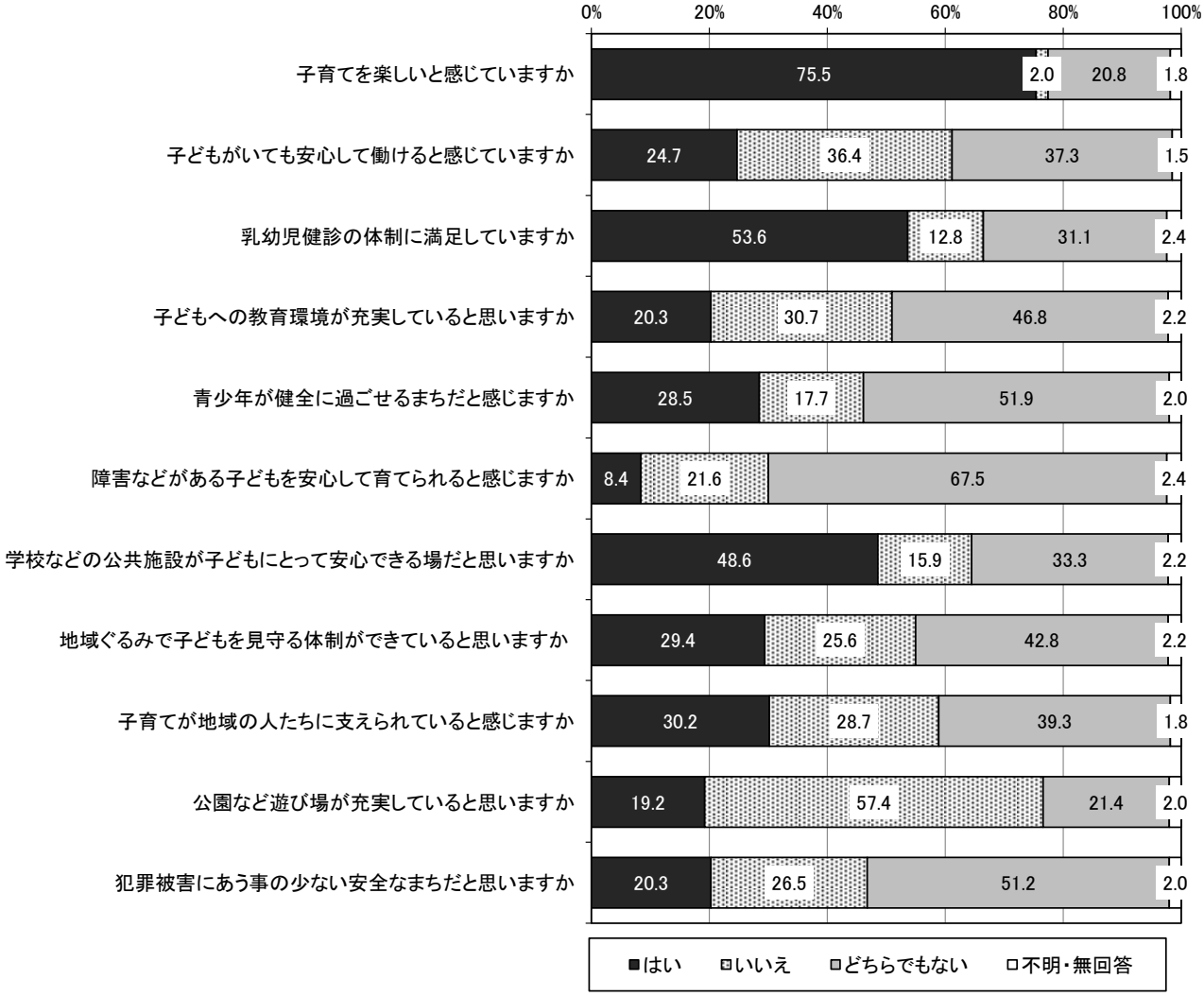
【前回調査結果】（和歌山市の子育て施策等に関して感じること〔就学前児童〕）



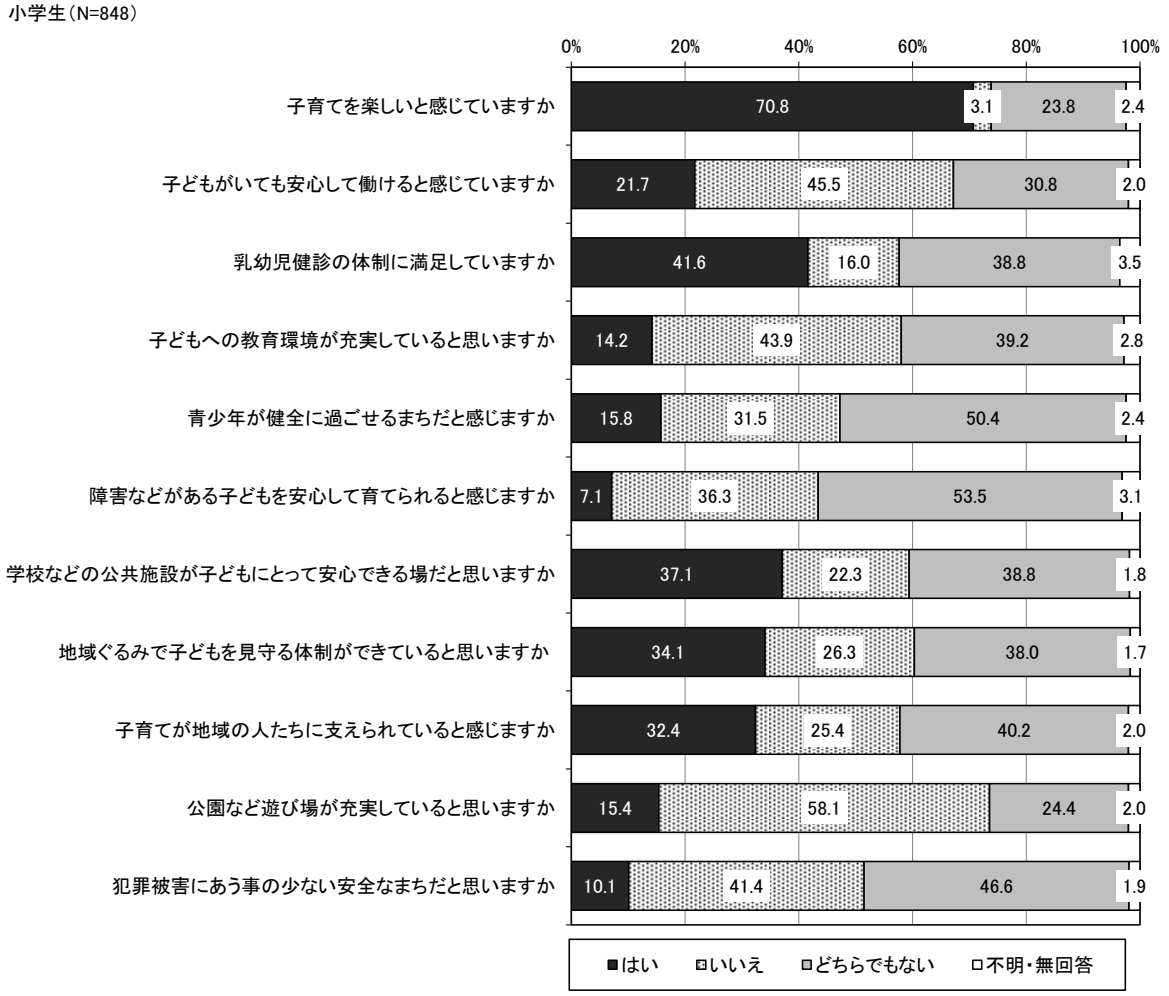
和歌山市の子育て施策等に関して感じることについてみると、小学生児童では子育てが楽しい、乳幼児健診の体制への満足、学校などの公共施設が子どもにとって安心できる場であるとの回答で「感じている」が高く、それぞれ 75.5%、53.6%、48.6%となっています。

一方、公園などの遊び場の充実、子どもがいても安心して働けるで「感じない」が高く、それぞれ 57.4%、36.4%となっています。

小学生（N=453）

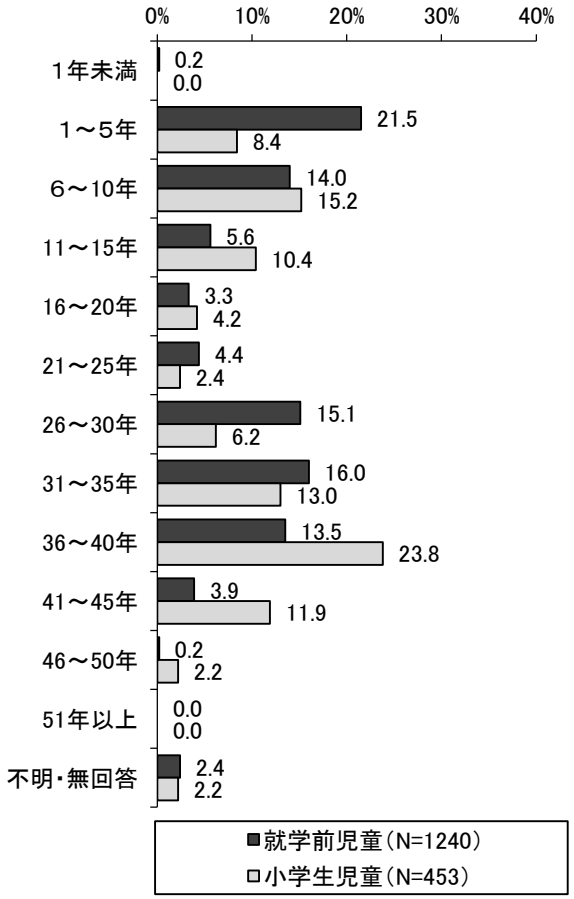


【前回調査結果】（和歌山市の子育て施策等に関して感じること〔小学生児童〕）



## （２）居住年数〈単数回答〉

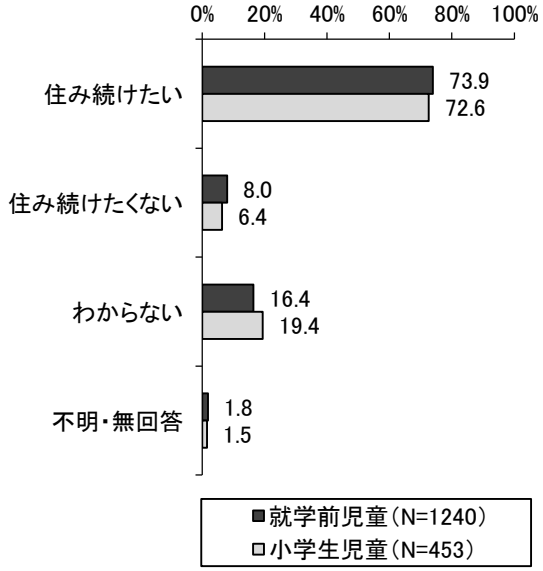
〔就学前児童調査…問 37、小学生児童調査…問 33〕




居住年数についてみてみると、就学前児童では「１～5 年」が 21.5%と最も高く、次いで「31～35 年」が 16.0%となっています。小学生児童では「36～40 年」が 23.8%と最も高く、次いで「6～10 年」が 15.2%となっています。

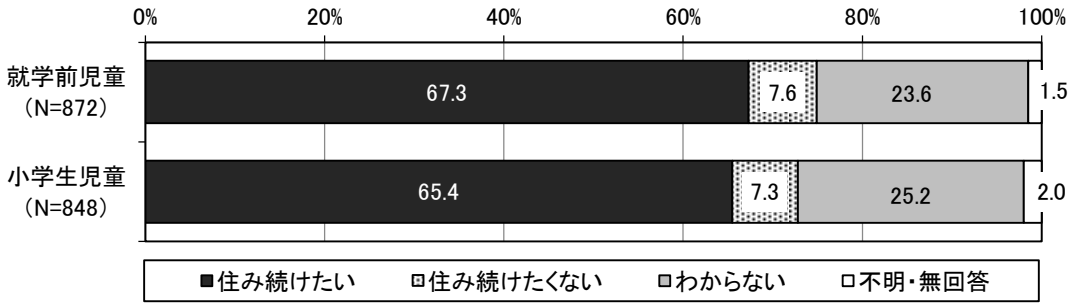
## （３）居住願望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 38、小学生児童調査…問 34〕




居住願望についてみてみると、今後も和歌山市に「住み続けたい」が、就学前児童では 73.9%、小学生児童では 72.6%と７割以上を占め、「住み続けたくない」を上回っています。

【前回調査結果】（居住願望）

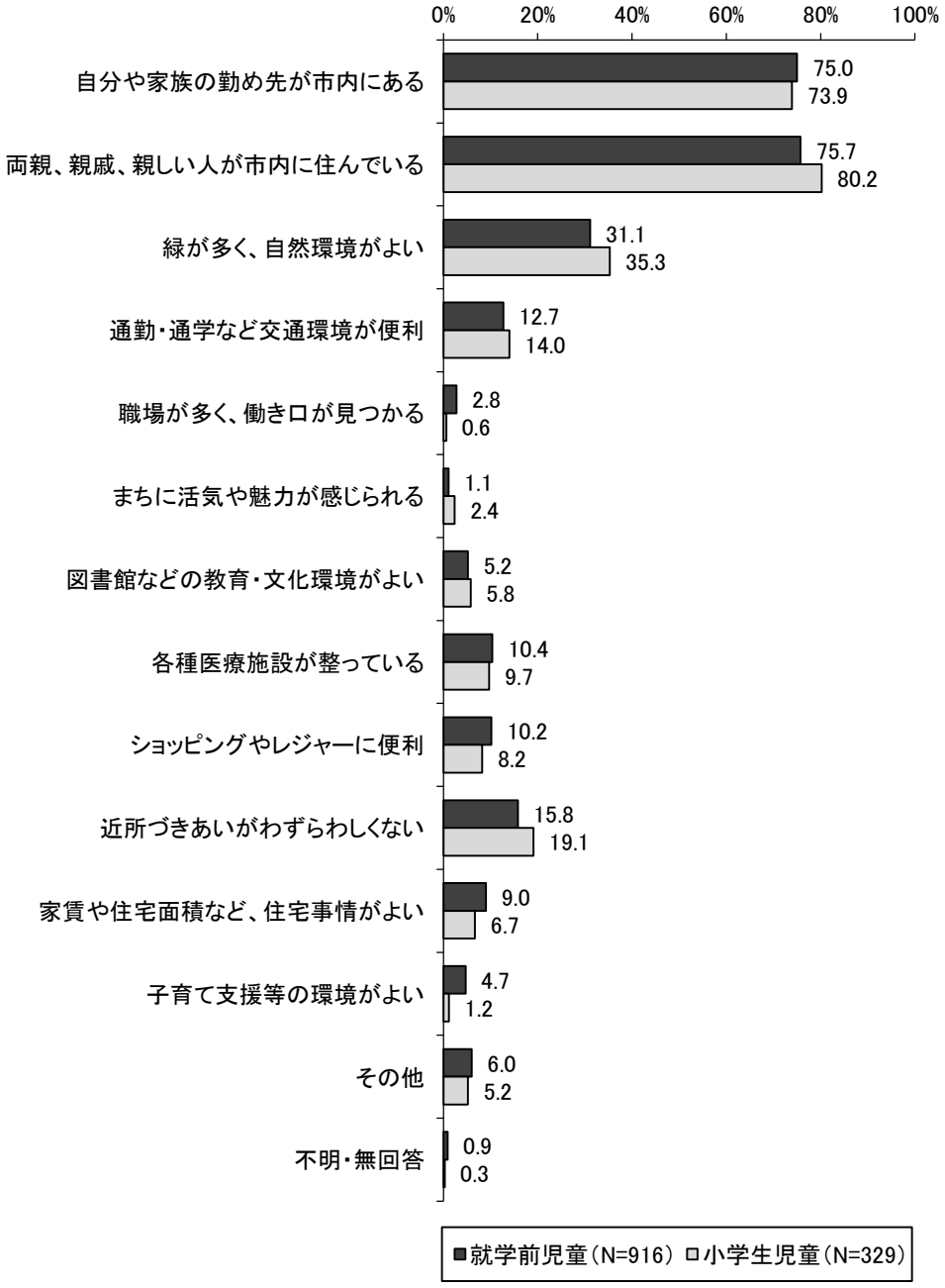

0%
20%
40%
60%
80%
100%
就学前児童
（N=872）
67.3
7.6
23.6
1.5
小学生児童
（N=848）
65.4
7.3
25.2
2.0
■住み続けたい
□住み続けたくない
□わからない
□不明・無回答

（３）で「住み続けたい」を選んだ方

## （３）－１　住み続けたいと感じる理由は何ですか〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 38－1、小学生児童調査…問 34－1〕

住み続けたい理由としては、就学前児童、小学生児童ともに「両親、親戚、親しい人が市内に住んでいる」が最も高く、それぞれ 75.7%、80.2%となっています。次いで「自分や家族の勤め先が市内にある」が 75.0%、73.9%となっています。

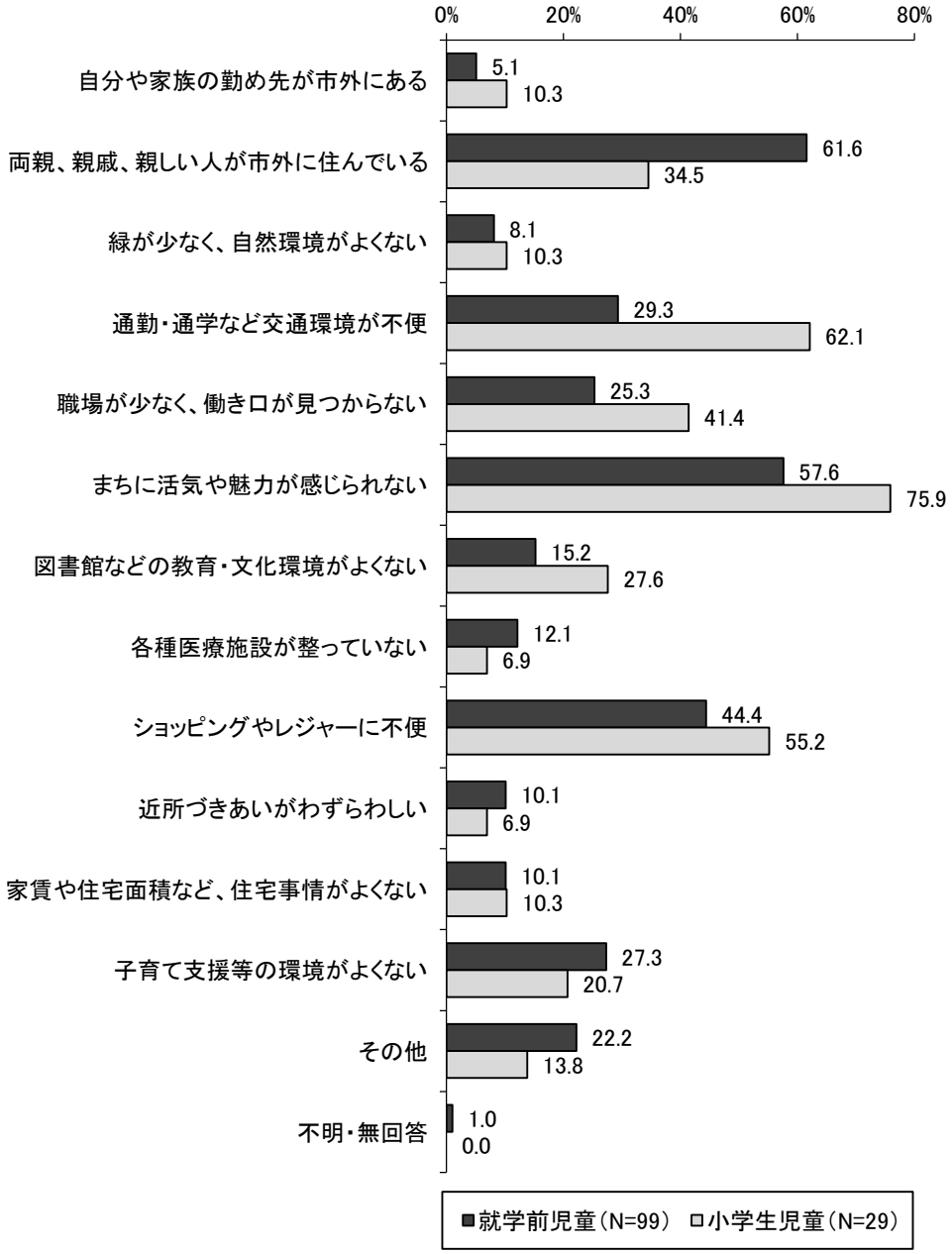


（３）で「住み続けたくない」を選んだ方

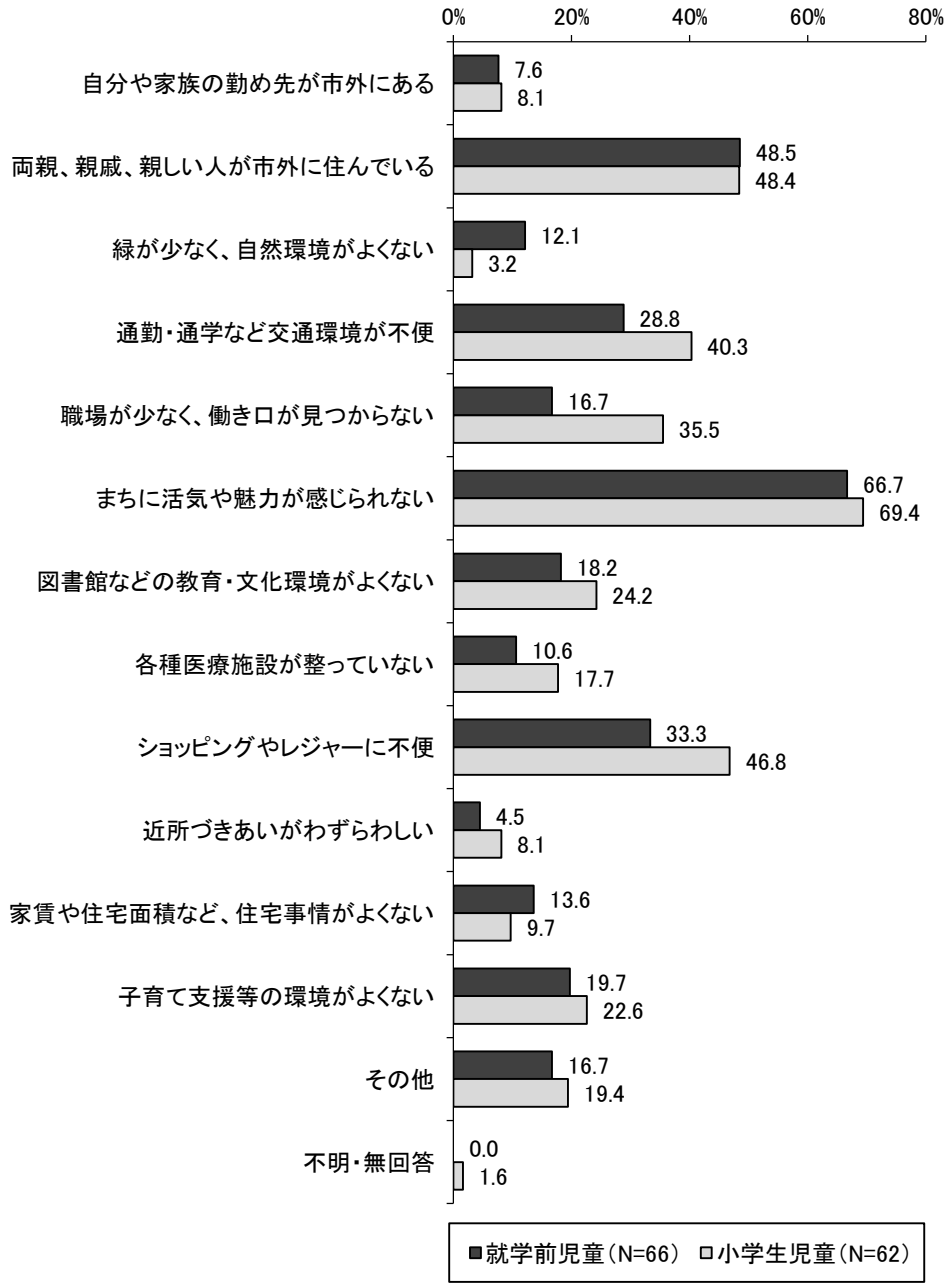
## （３）－２　住み続けたくないと感じる理由は何ですか〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 38－２、小学生児童調査…問 34－２〕

住み続けたくない理由としては、就学前児童で「両親、親戚、親しい人が市外に住んでいる」が 61.6%と最も高く、次いで「まちに活気や魅力が感じられない」が 57.6%、「ショッピングやレジャーに不便」が 44.4%となっています。小学生児童では「まちに活気や魅力が感じられない」が 75.9%と最も高く、次いで「通勤・通学など交通環境が不便」が 62.1%、「ショッピングやレジャーに不便」が 55.2%となっています。



【前回調査結果】（住み続けたくないと感じる理由）



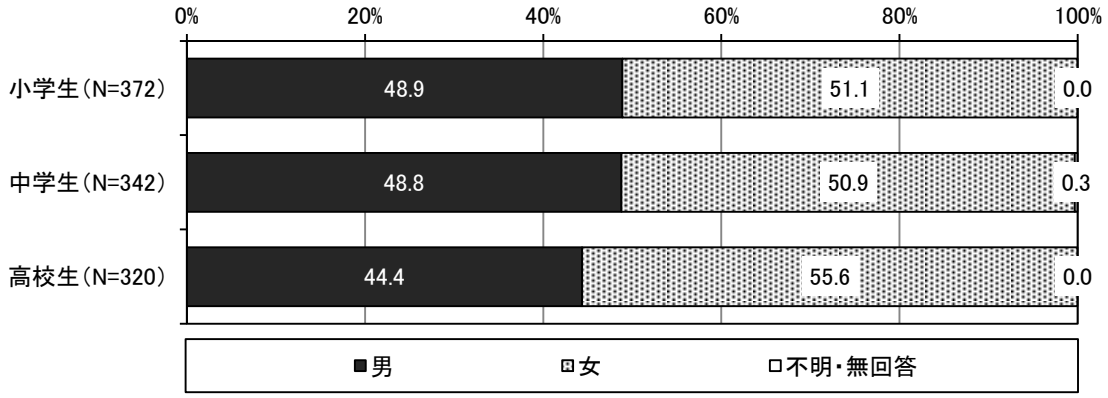
# Ⅲ. 調査結果

（小学生・中学生・高校生調査）

# 1　性別や学年などについて

## （１）性別〈単数回答〉〔小中高校生調査…問1〕

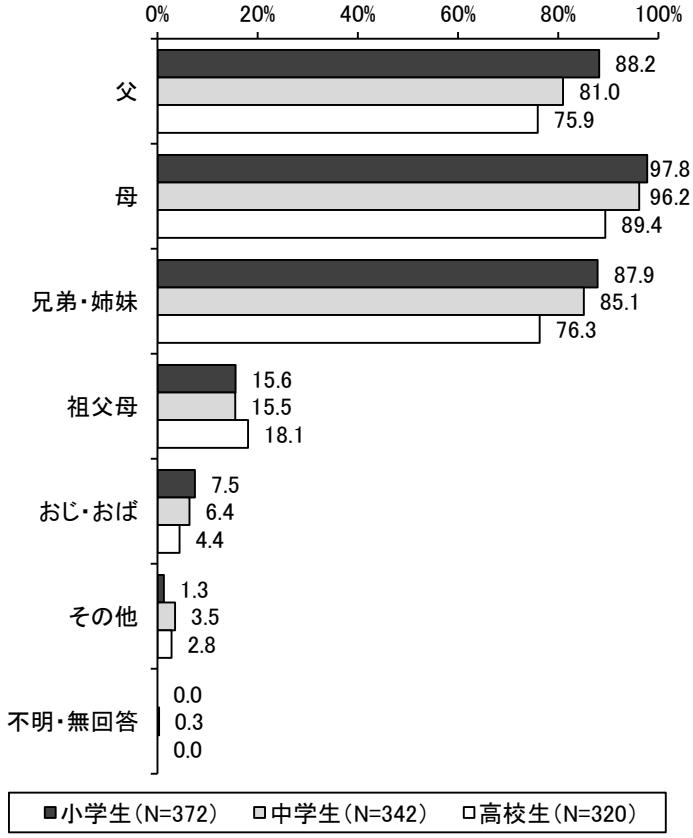
性別についてみると、小学生で「男」が 48.9%、「女」が 51.1%、中学生で「男」が 48.8%、「女」が 50.9%、高校生で「男」が 44.4%%、「女」が 55.6%となっています。




## （２）学年〈単数回答〉〔小中高校生調査…問2〕

学年についてみると、小学生は「５年生」、中学生は「２年生」、高校生は「２年生」となっています。

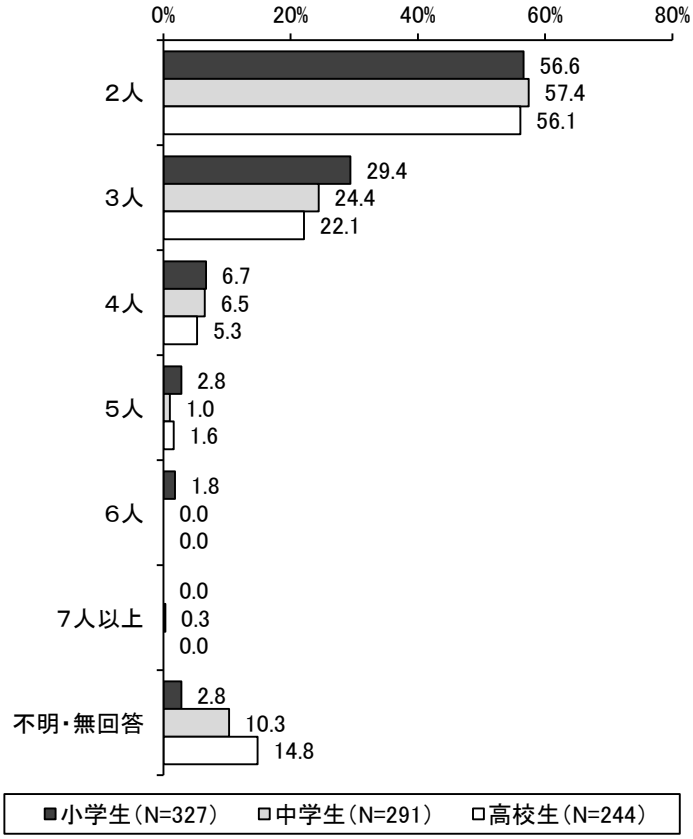
## （３）同居している家族〈複数回答〉〔小中高校生調査…問3〕




同居している家族についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「父」「母」「兄弟・姉妹」が上位３件を占めており、それぞれ７割以上となっています。

（３）で「兄弟・姉妹」を選んだ方

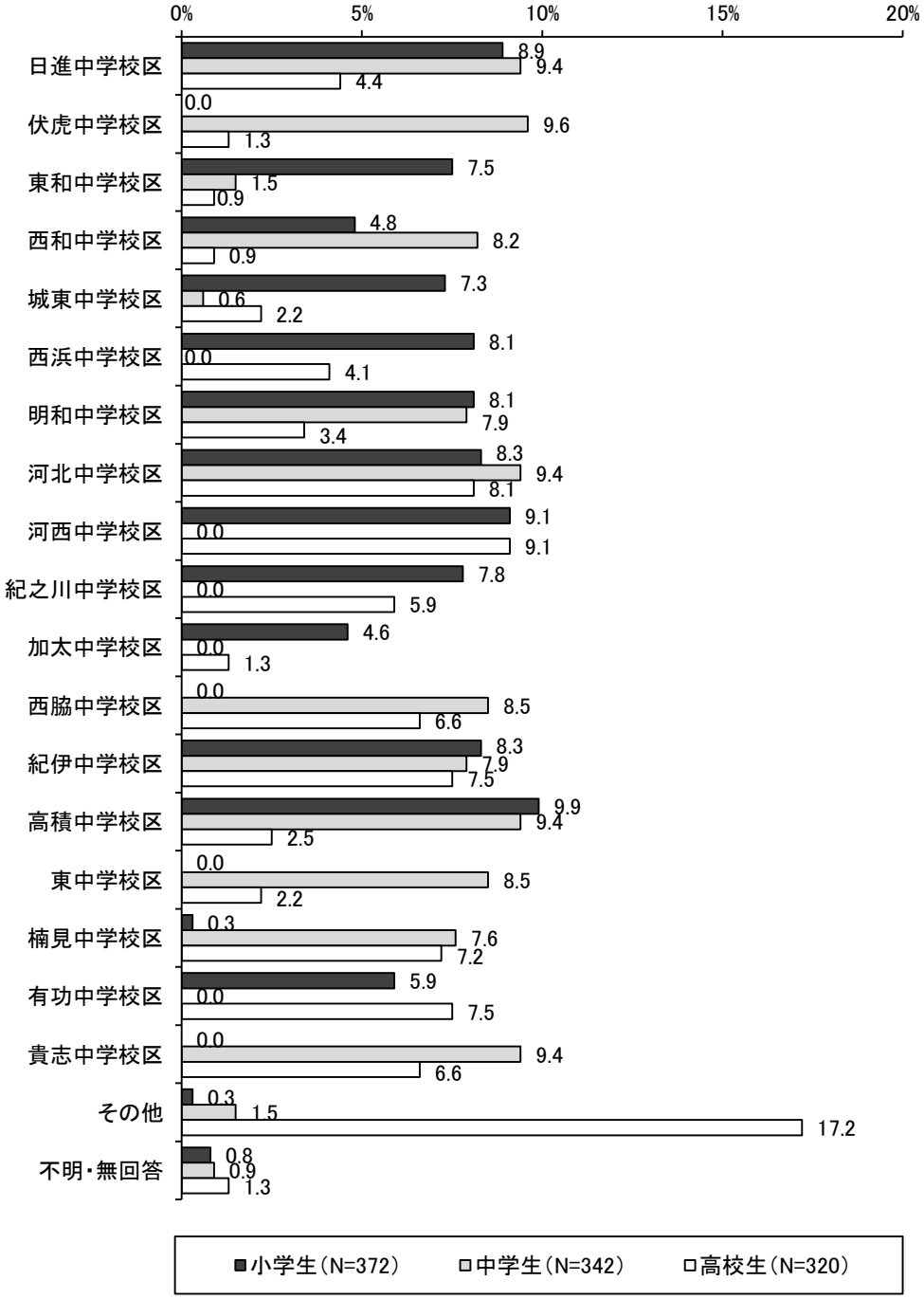
## （３）－１　兄弟・姉妹の人数〈数量回答〉〔小中高校生調査…問3－1〕




兄弟・姉妹がいる人のその人数（本人を含む）についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「２人」が高く６割近くとなっています。次いで、「３人」が高く、小学生で 29.4%、中学生で 24.4%、高校生で 22.1%となっています。

## （４）お住まいの中学校区〈単数回答〉〔小中高校生調査…問4〕

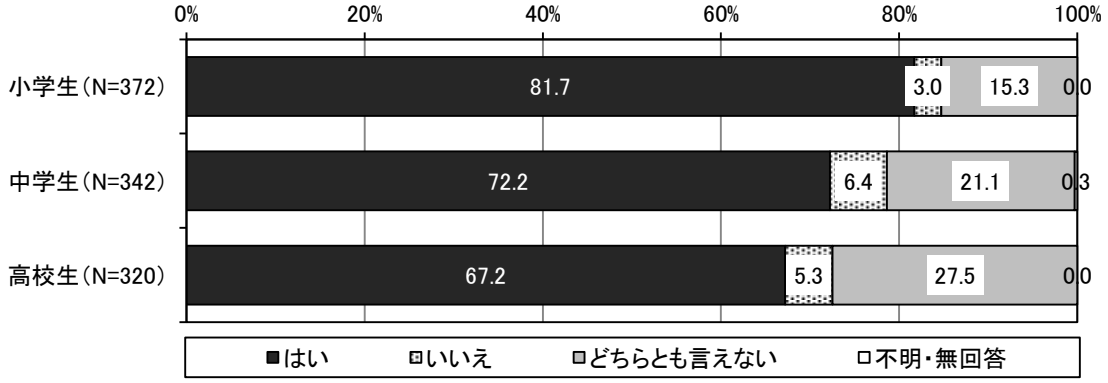
お住まいの中学校区は、以下のとおりとなっています。



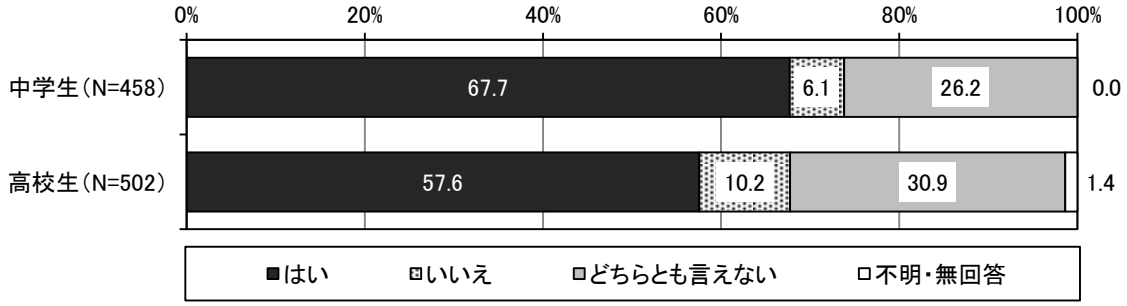
# ２　学校生活について

## （１）学校の楽しさ〈単数回答〉〔小中高校生調査…問5〕

学校が楽しいかどうかについてみると、小学生、中学生、高校生ともに「はい（楽しい）」が最も高く、それぞれ81.7%、72.2%、67.2%となっていますが、年齢があがるほど、「はい（楽しい）」が低下し、「どちらとも言えない」が上昇しています。

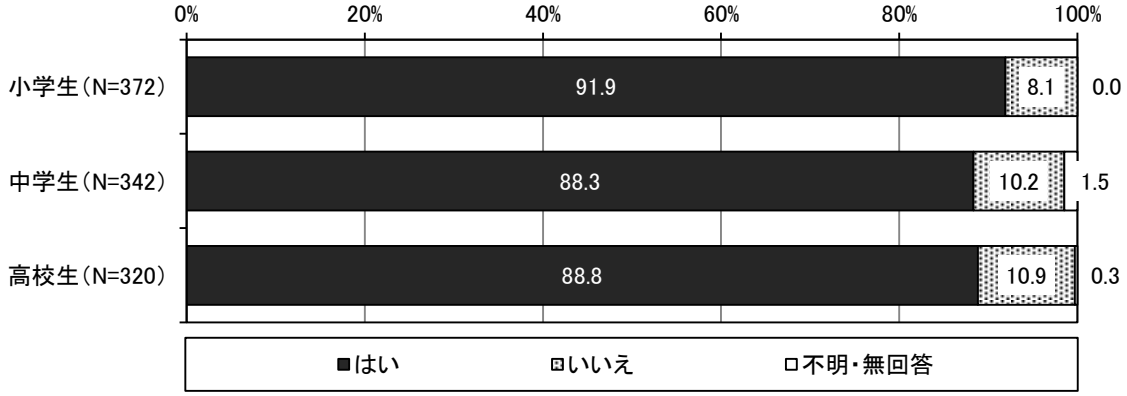



【前回調査結果】（学校の楽しさ）

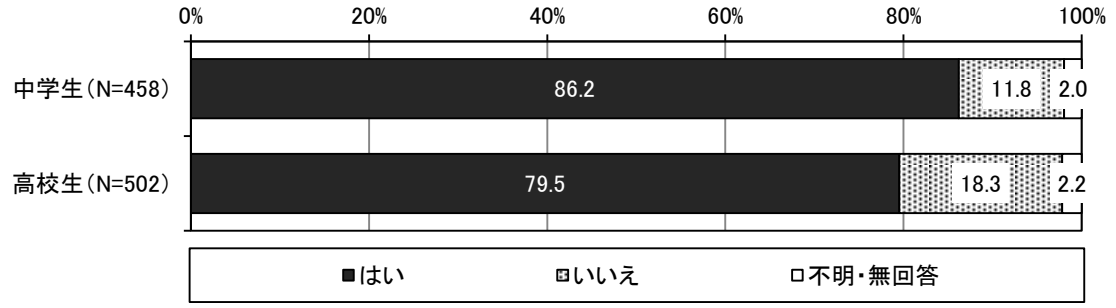



## （２）親友の有無〈単数回答〉〔小中高校生調査…問6〕

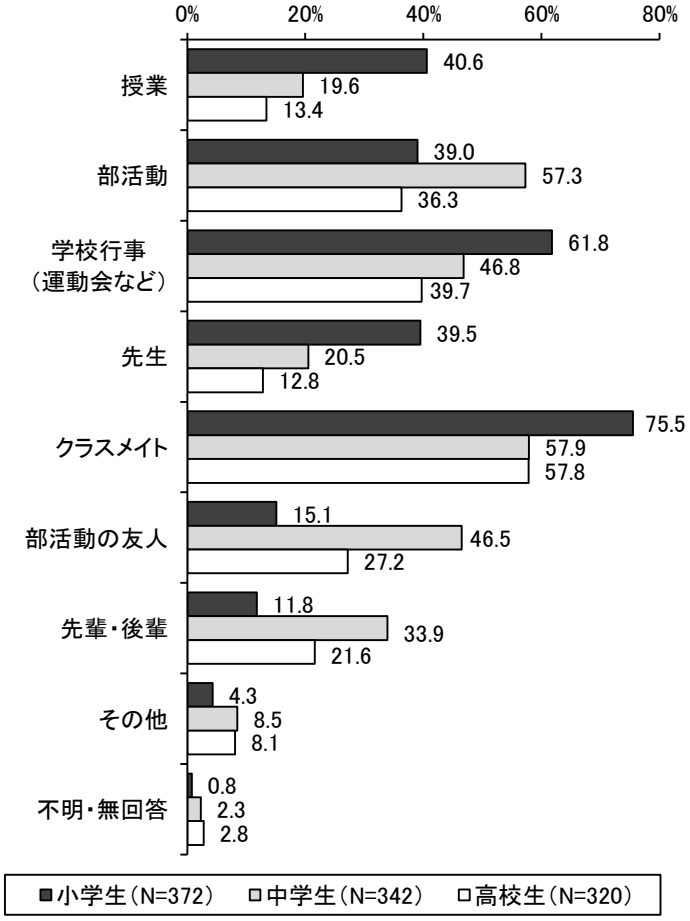
親友の有無についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「はい（いる）」が最も高く、それぞれ91.9%、88.3%、88.8%となっています。



【前回調査結果】（親友の有無）




## （３）学校生活において良いと思うもの〈複数回答〉〔小中高校生調査…問7〕

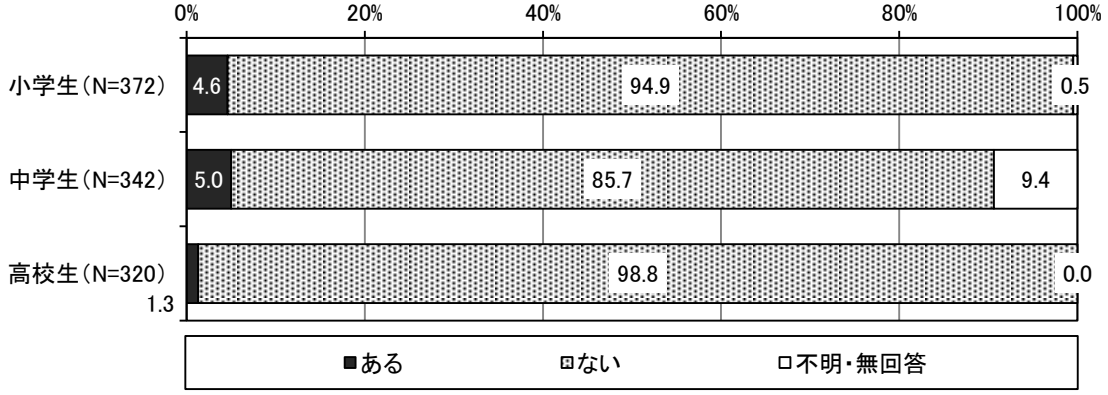



学校生活において良いと思うものについてみると、小学生、高校生では「クラスメイト」が最も高く、それぞれ75.5%、57.8%となっています。

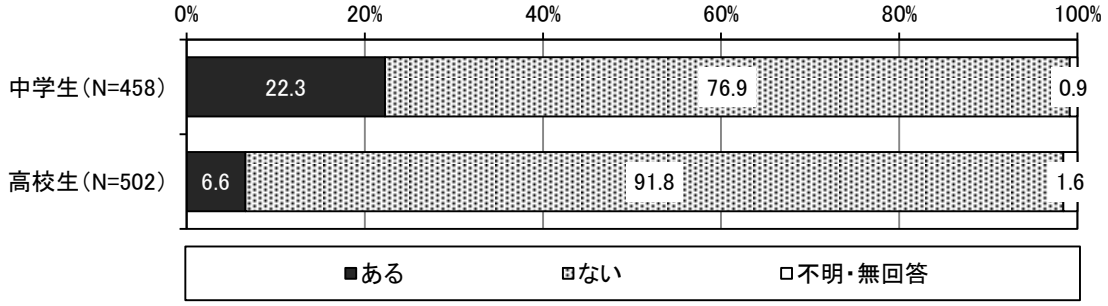
中学生では「部活動」が 57.3%と最も高くなっています。中学生では、クラスメイトだけでなく、部活動の友人、先輩・後輩などの交友関係も広がっています。

## （４）いじめの有無〈単数回答〉〔小中高校生調査…問8〕

いじめの有無についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「ない」が最も高く、それぞれ 94.9%、85.7%、98.8%となっています。




【前回調査結果】（いじめの有無）

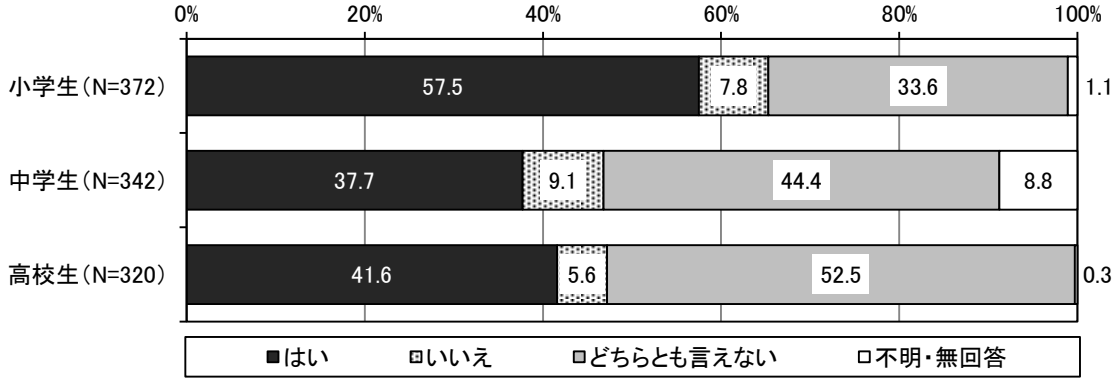



## （５）友人がいじめられていたら、声をかけてあげられるか〈単数回答〉

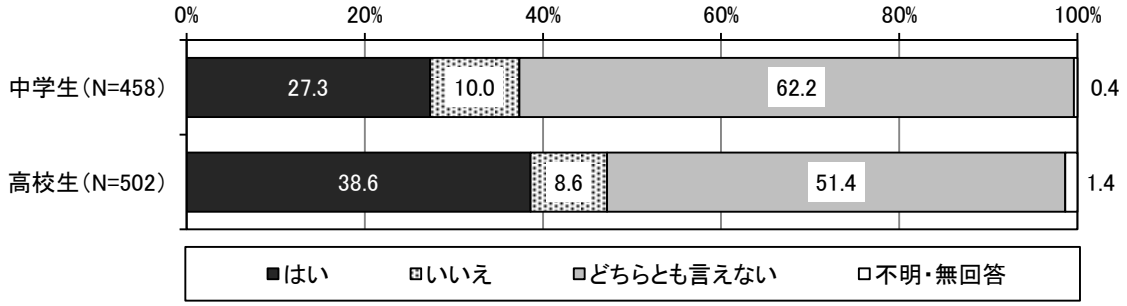
〔小中高校生調査…問9〕

友人がいじめられていたら、声をかけてあげられるかについてみると、小学生では「はい（声をかけてあげられる）」が 57.5%と最も高くなっています。

一方、中学生、高校生では「どちらとも言えない」が最も高く、それぞれ 44.4%、52.5%となっています。

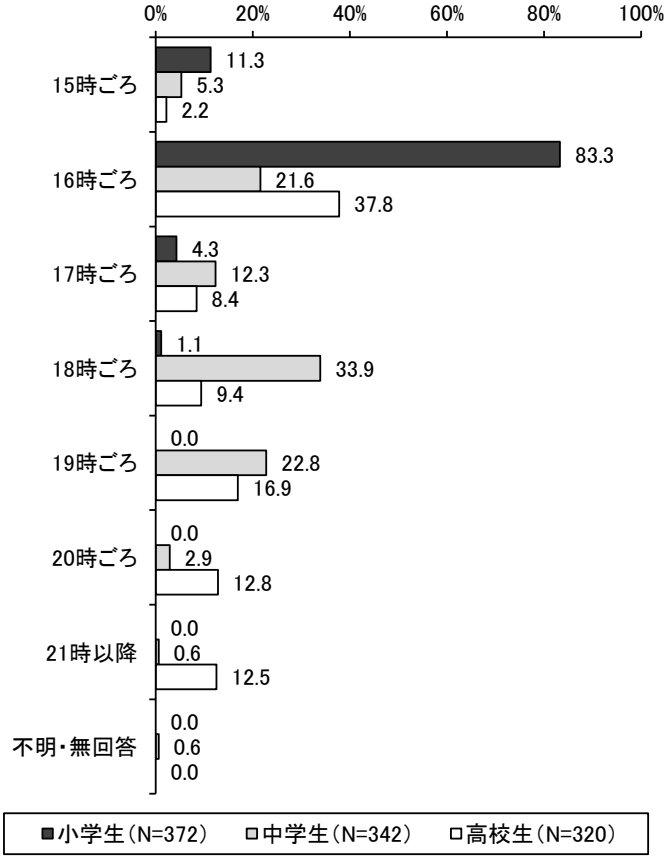


【前回調査結果】（友人がいじめられていたら、声をかけてあげられるか）




# ３　放課後や休日の過ごし方について

## （１）学校のある日の帰宅時間〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 10〕




学校のある日の帰宅時間についてみると、小学生、高校生は「16 時ごろ」が最も高く、それぞれ 83.3%、37.8%となっています。

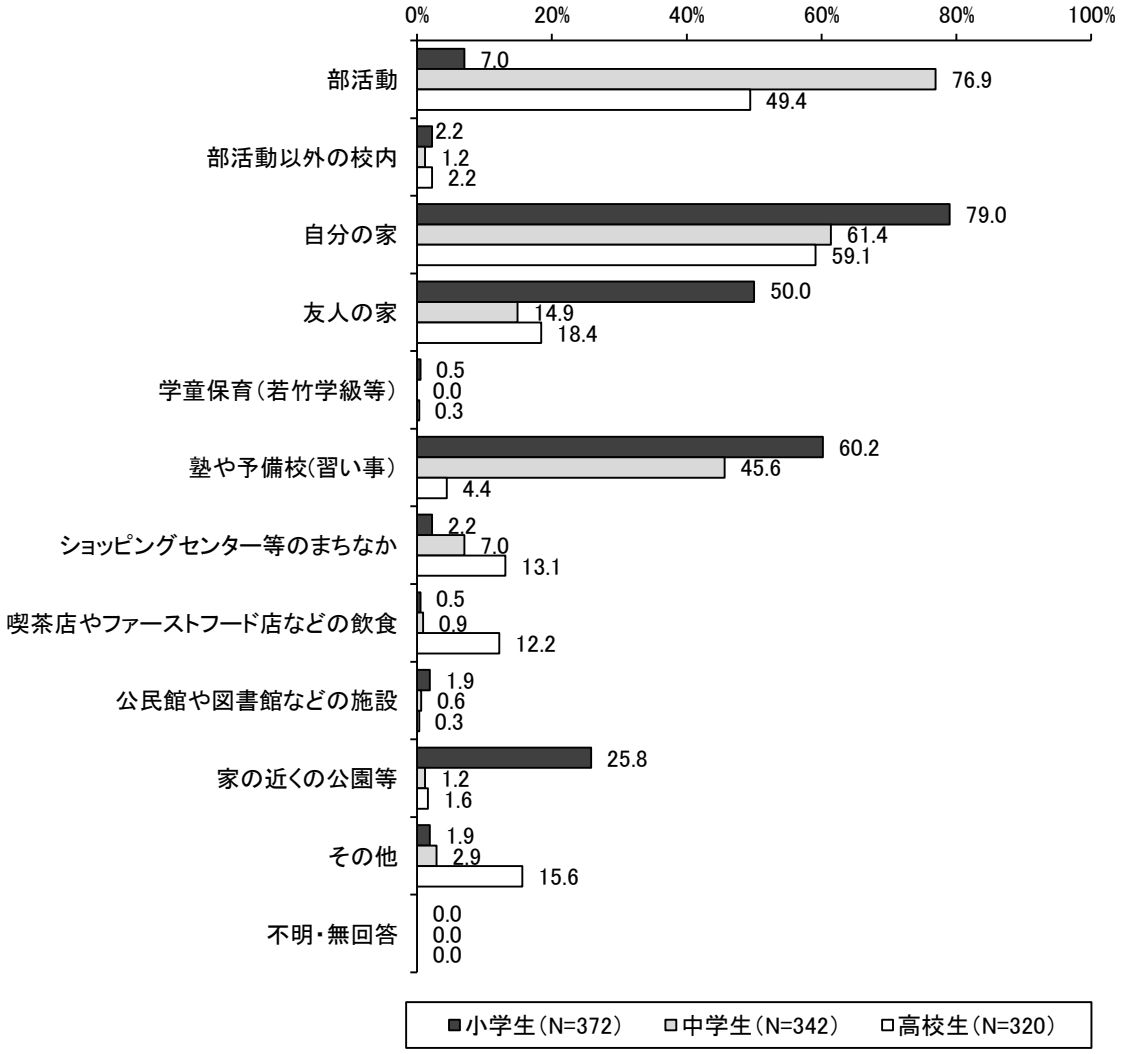
中学生は、「18 時ごろ」が最も高く、33.9%となっています。

## （２）放課後の過ごし方〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 11〕

放課後の過ごし方についてみると、小学生は「自分の家」が 79.0%と最も高く、次いで「塾や予備校（習い事）」が 60.2%、「友人の家」が 50.0%となっています。

中学生は「部活動」が 76.9%と最も高く、次いで「自分の家」が 61.4%、「塾や予備校（習い事）」が 45.6%となっています。

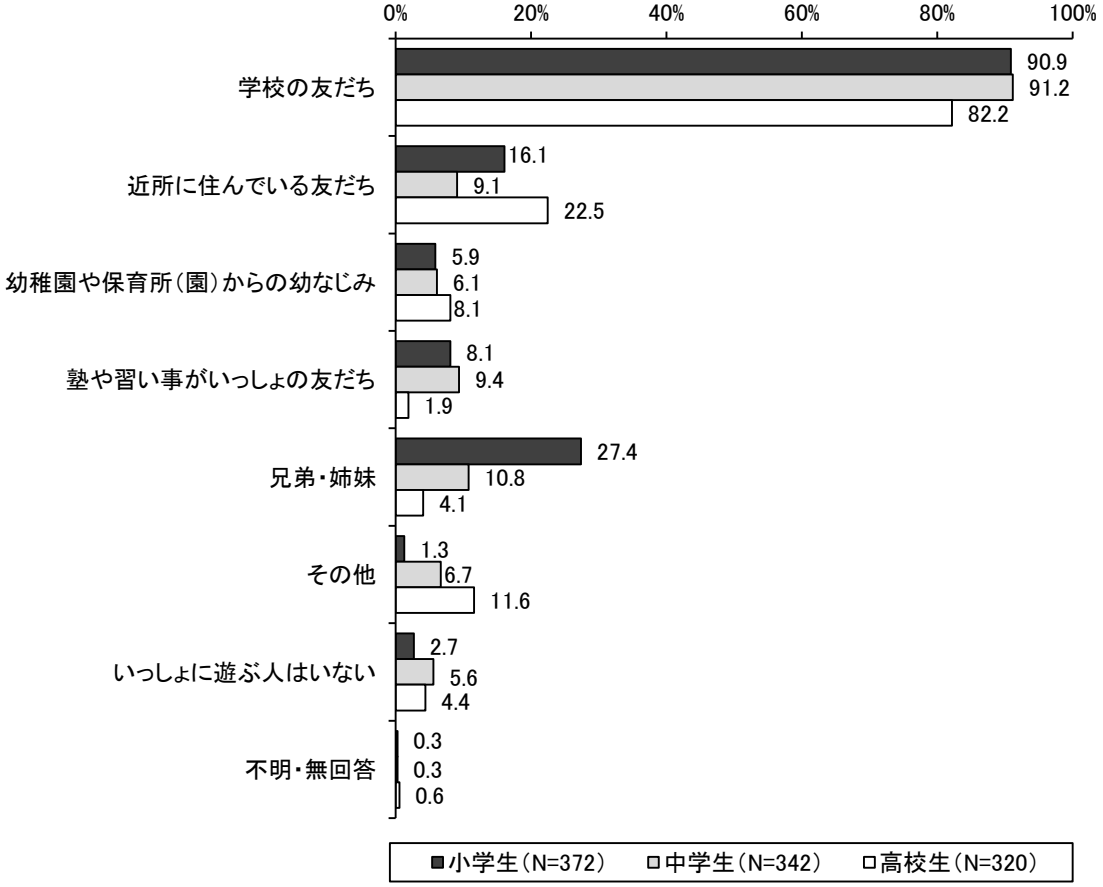
高校生は、「自分の家」が 59.1%と最も高く、次いで「部活動」が 49.4%、「友人の家」が 18.4%となっています。



## （３）ふだん、放課後に一緒に遊ぶ人〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 12〕

ふだん、放課後に一緒に遊ぶ人についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「学校の友だち」が最も高く、それぞれ 90.9%、91.2%、82.2%と８割を超えています。

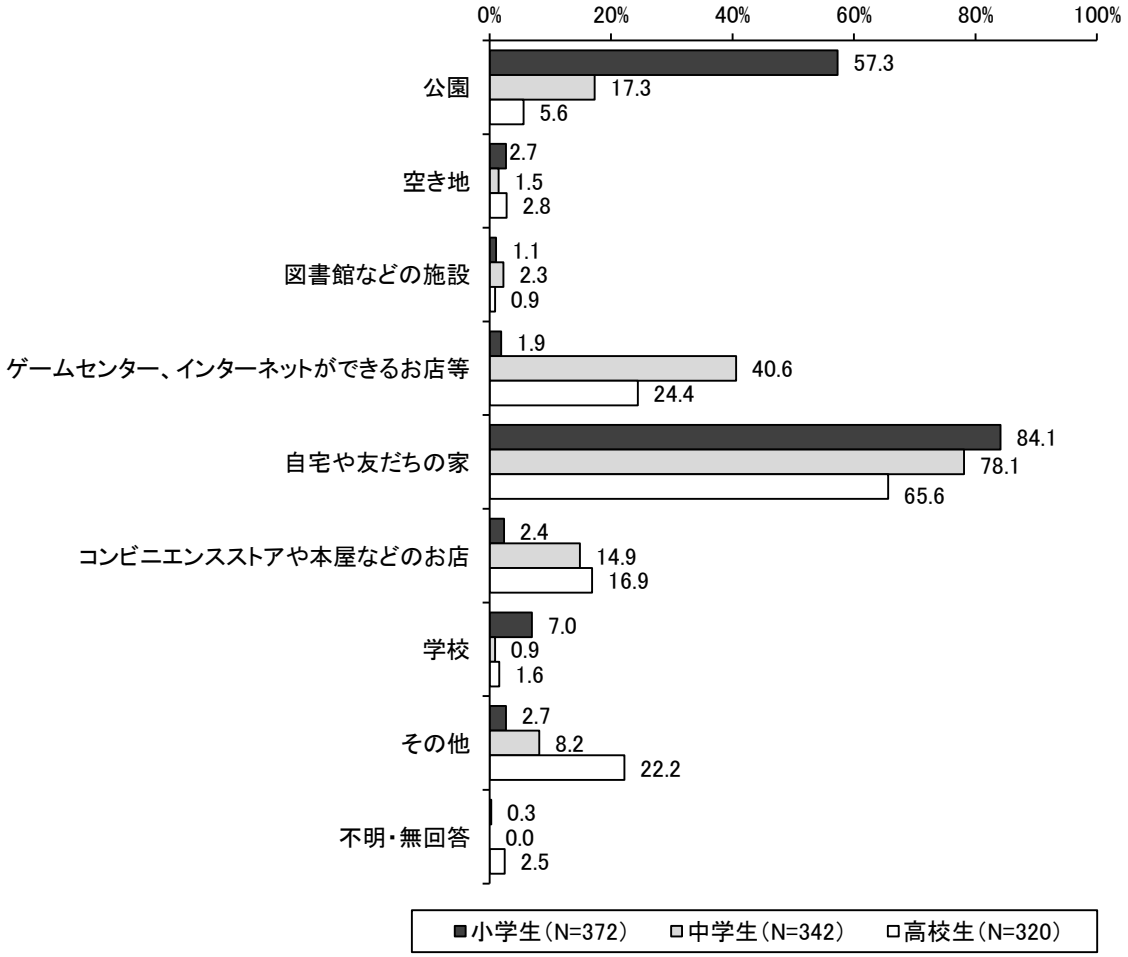
そのほか、小学生では「兄弟・姉妹」が３割近く、高校生では「近所に住んでいる友だち」が２割強となっています。



## （４）ふだんの遊ぶ場所〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 13〕

ふだんの遊ぶ場所についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「自宅や友だちの家」が最も高く、それぞれ 84.1%、78.1%、65.6%となっています。

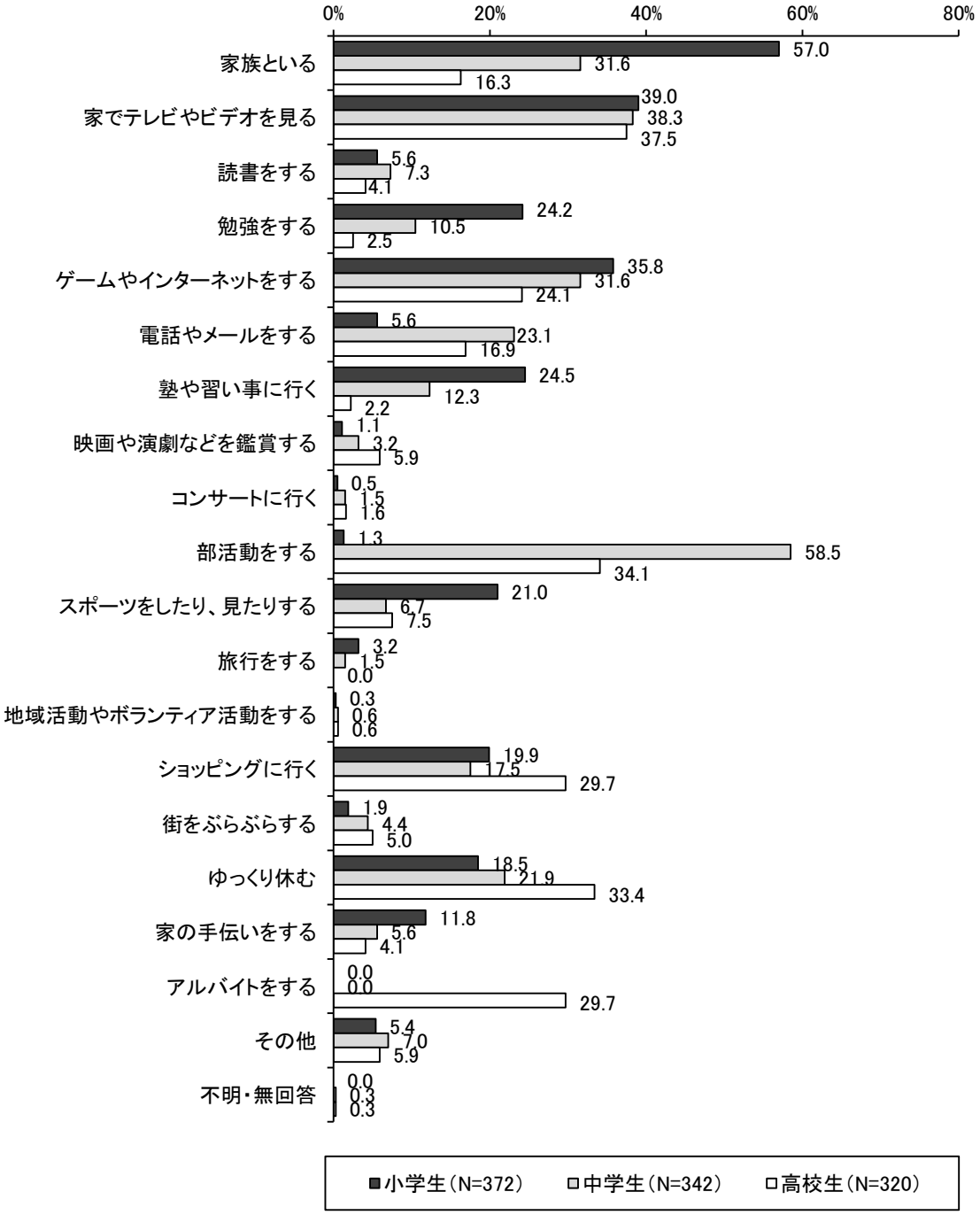
次いで、小学生では「公園」が 57.3%と６割近く、中学生、高校生では「ゲームセンター、インターネットができるお店等」がそれぞれ 40.6%、24.4%となっています。



## （５）休日の過ごし方〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 14〕

休日の過ごし方についてみると、小学生は「家族といる」が 57.0%、中学生は「部活動をする」が 58.5%、高校生は「家でテレビやビデオを見る」が 37.5%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢があがるほど、家族といることよりも部活動や個人のことに従事している傾向がうかがえます。

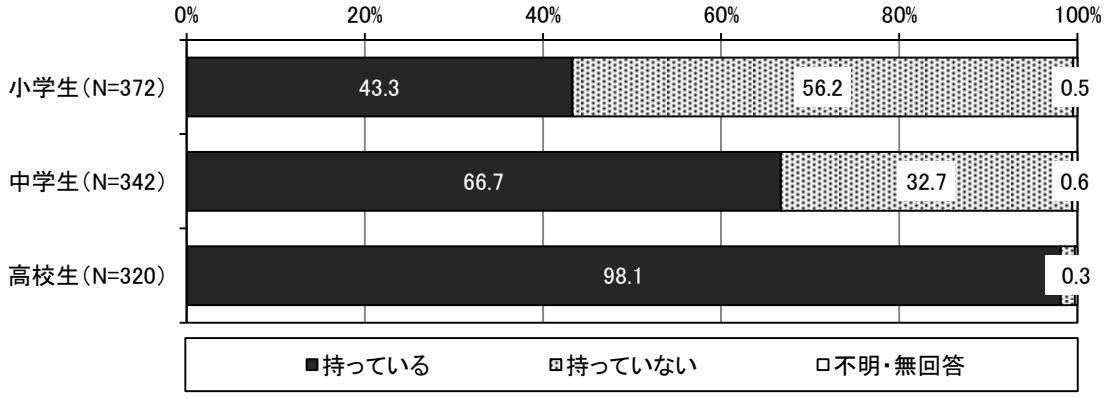


# ４　携帯電話（スマートフォン）やパソコンの利用について

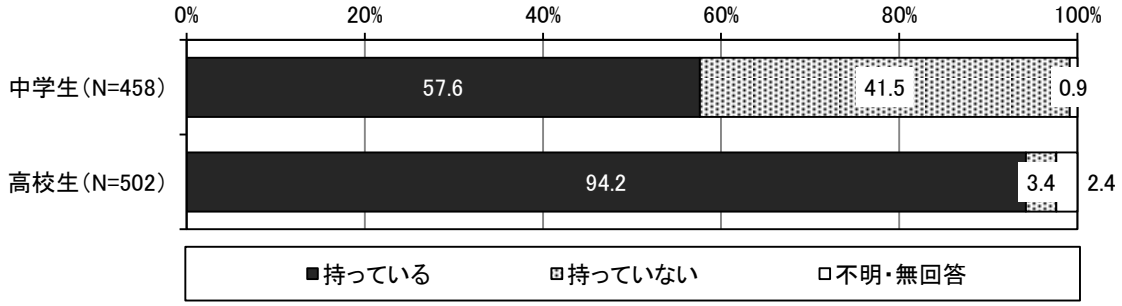
## （１）自分の携帯電話（スマートフォン）の所持の有無〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 15〕

自分の携帯電話（スマートフォン）の所持の有無についてみると、小学生は、「持っていない」が56.2%、中学生、高校生は「持っている」が最も高く、それぞれ 66.7%、98.1%と最も高くなっています。

年齢があがるほど、所持率は上昇しており、高校生においてはほぼ全員が所持しています。

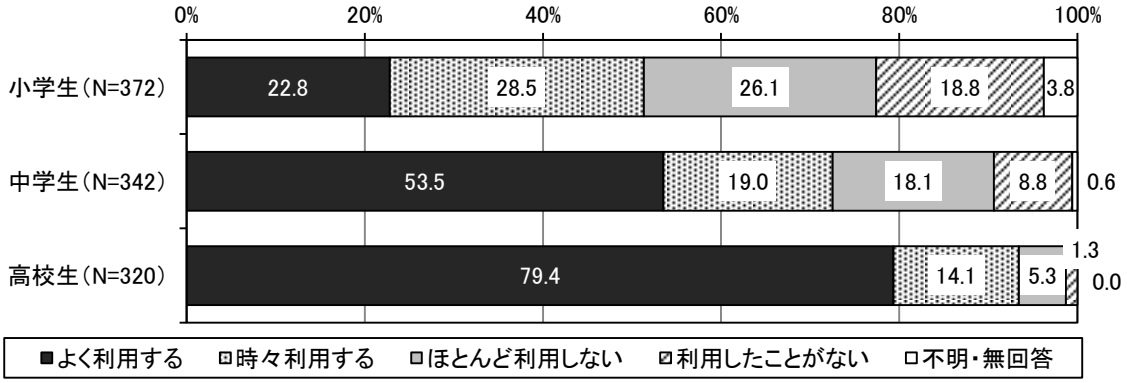



【前回調査結果】（自分の携帯電話（スマートフォン）の所持の有無）

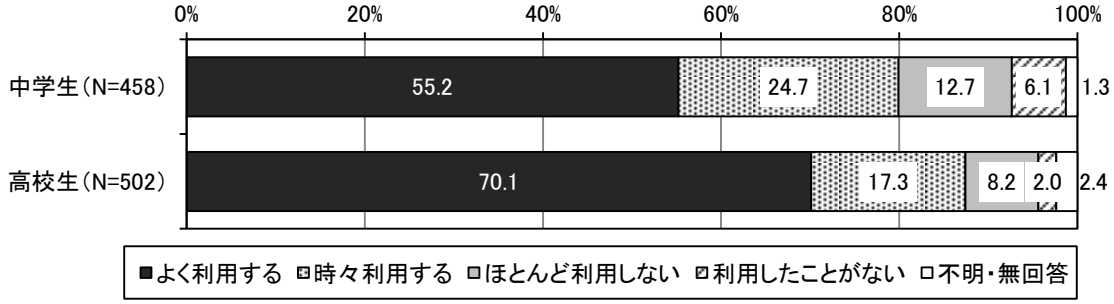


## （２）携帯電話（スマートフォン）やパソコンでのインターネットの利用の有無
**〈単数回答〉**〔小中高校生調査…問 16〕

携帯電話（スマートフォン）やパソコンでのインターネットの利用の有無についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「よく利用する」「時々利用する」を合わせた『利用する』がそれぞれ 51.3%、72.5%、93.5%と５割以上を占めており、大部分の人がインターネットを利用しています。




【前回調査結果】（インターネットの利用の有無）

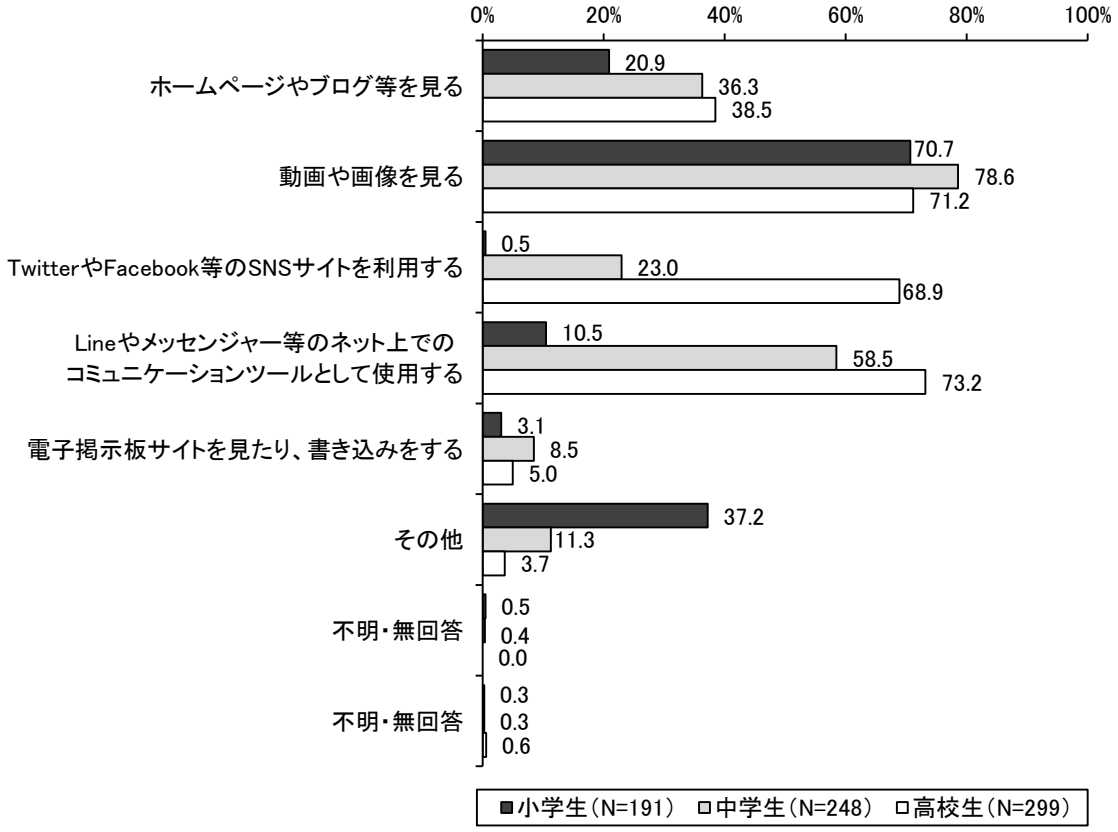


（２）で「よく利用する」「時々利用する」を選んだ方

## （２）－１　携帯電話（スマートフォン）やパソコンでインターネットを使う目的〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 16－1〕

携帯電話（スマートフォン）やパソコンでインターネットを使う目的についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「動画や画像を見る」が最も高く、それぞれ 70.7%、78.6%、71.2%となっています。

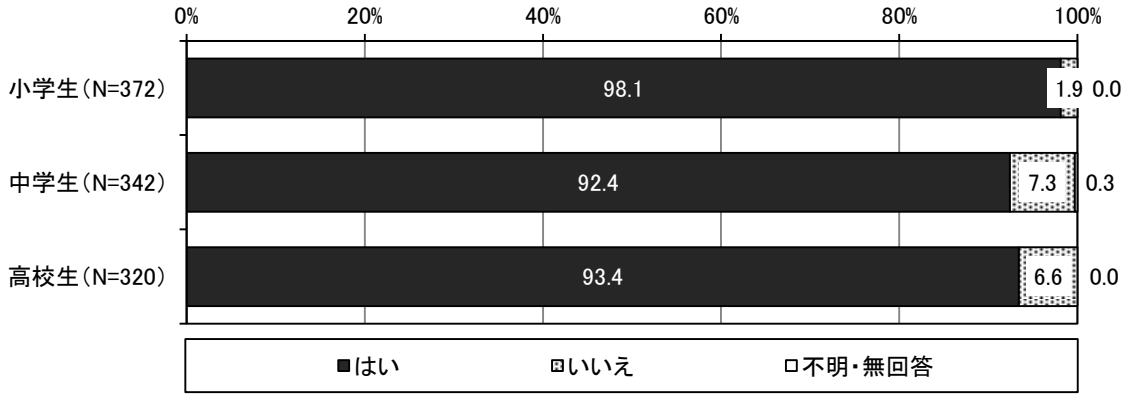
そのほか、中学生、高校生では「Line やメッセンジャー等のネット上でのコミュニケーションツールとして使用する」がそれぞれ 58.5%、73.2%、高校生では「Twitter や Facebook 等の SNS サイトを利用する」が 68.9%とネット上での友達とのつながりなど、交友関係の広がりがうかがえます。



# 5　日常生活の様子やふだん思っていることについて

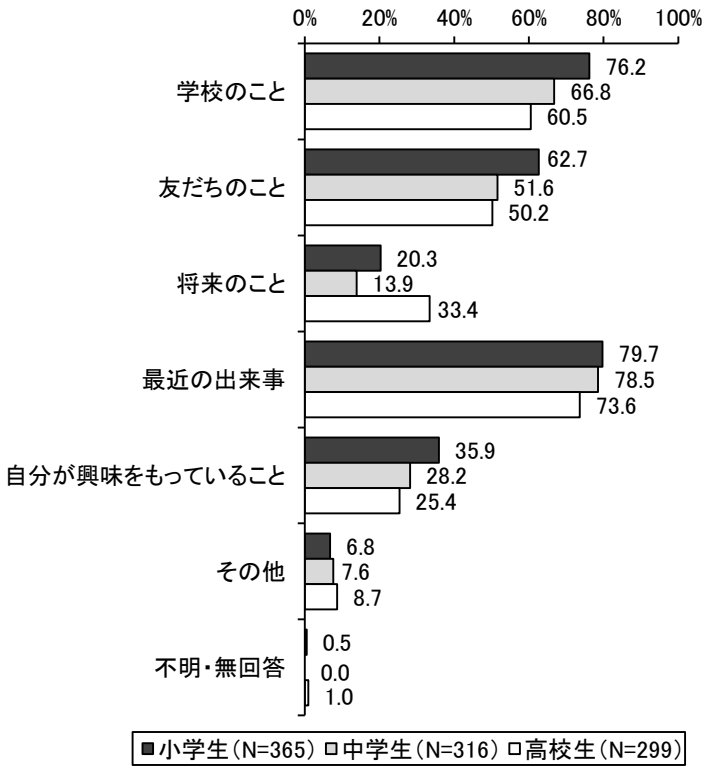
## （１）ふだんの家族との会話の有無〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 17〕

ふだんの家族との会話の有無についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「はい（している）」が最も高く、それぞれ 98.1%、92.4%、93.4%となっています。




**（１）で「はい（している）」を選んだ方**

## （２）話す主な内容〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 17－1〕



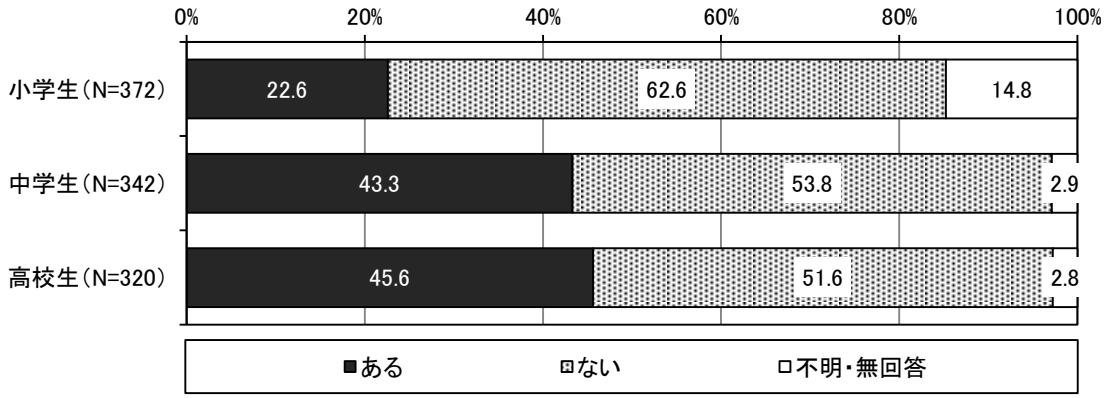

話す主な内容についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「最近の出来事」が最も高く、それぞれ 79.7%、78.5%、73.6%となっています。

次いで「学校のこと」「友だちのこと」がそれぞれ５割以上となっています。

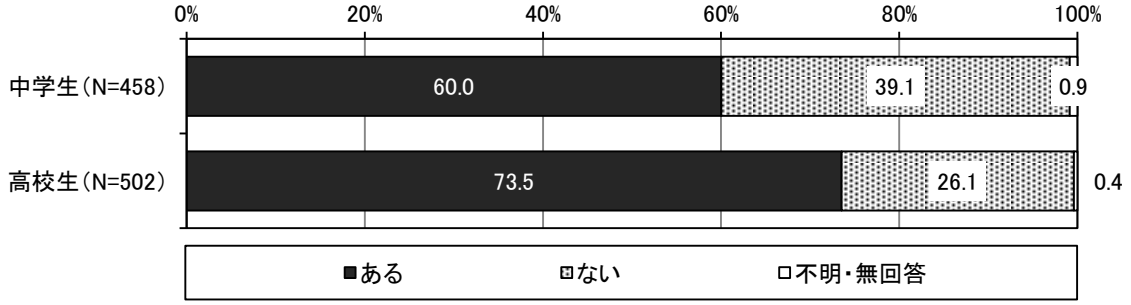
## （３）悩んでいることの有無〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 18〕

悩んでいることの有無についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「ない」が最も高くなっています。

一方、「ある」の割合は小学生が 22.6%、中学生が 43.3%、高校生が 45.6%と年齢があがるにつれ、高くなっています。




【前回調査結果】（悩んでいることの有無）

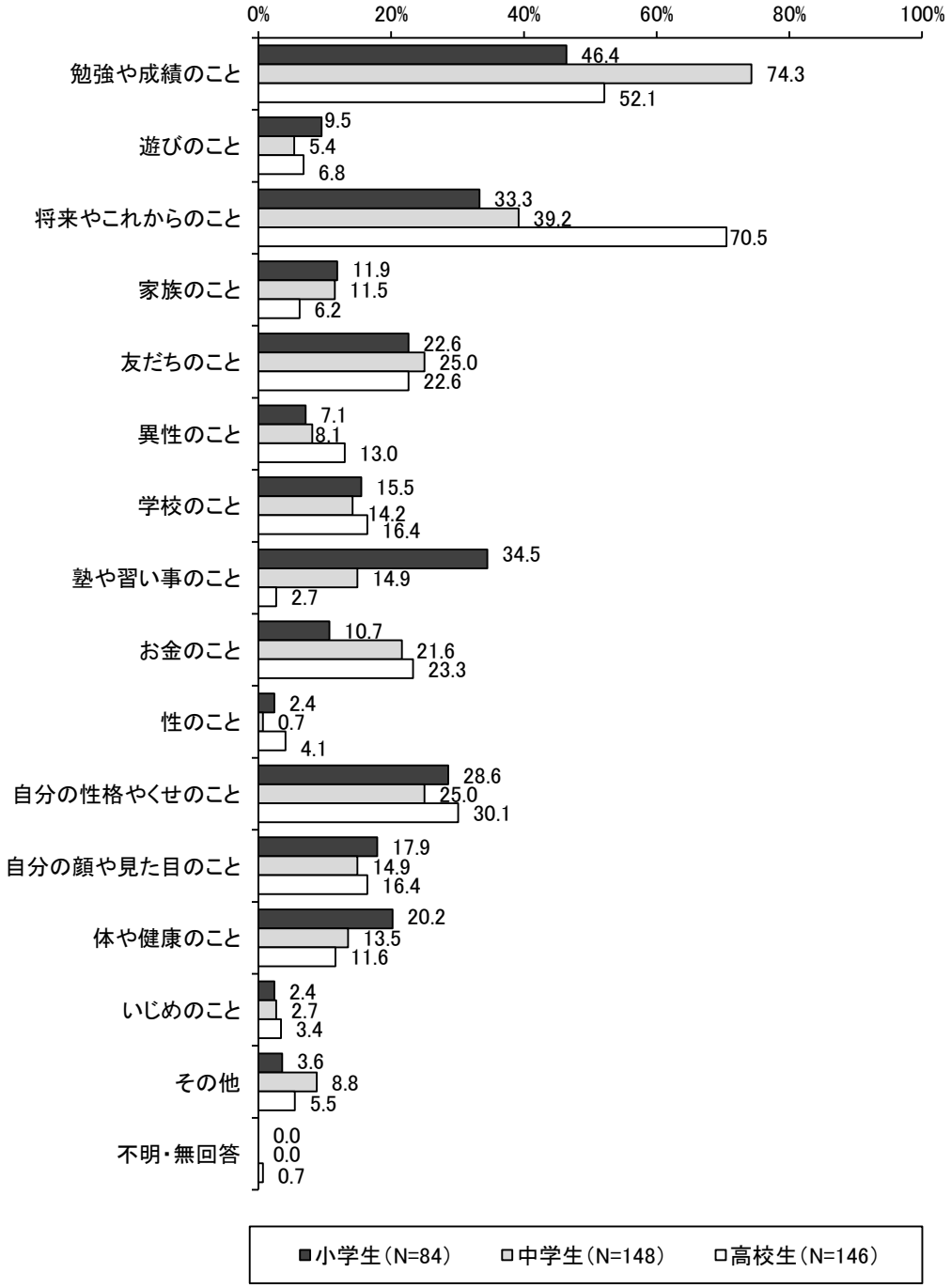


（３）で「ある」を選んだ方

## （３）－１　悩んでいる内容〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 18－1〕

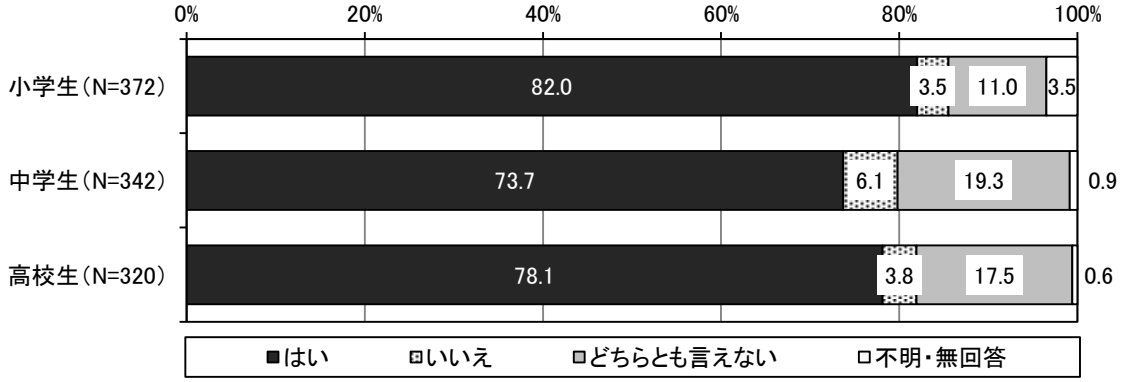
悩んでいる内容についてみると、小学生、中学生は「勉強や成績のこと」が最も高く、それぞれ46.4%、74.3%となっています。高校生は、「将来やこれからのこと」が 70.5%と最も高くなっています。

次いで小学生は「塾や習い事のこと」、中学生は「将来やこれからのこと」、高校生は「勉強や成績のこと」となっています。



## （４）悩みを相談できる人の有無〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 19〕

悩みを相談できる人の有無についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「はい（いる）」が最も高く、それぞれ 82.0%、73.7%、78.1%となっています。

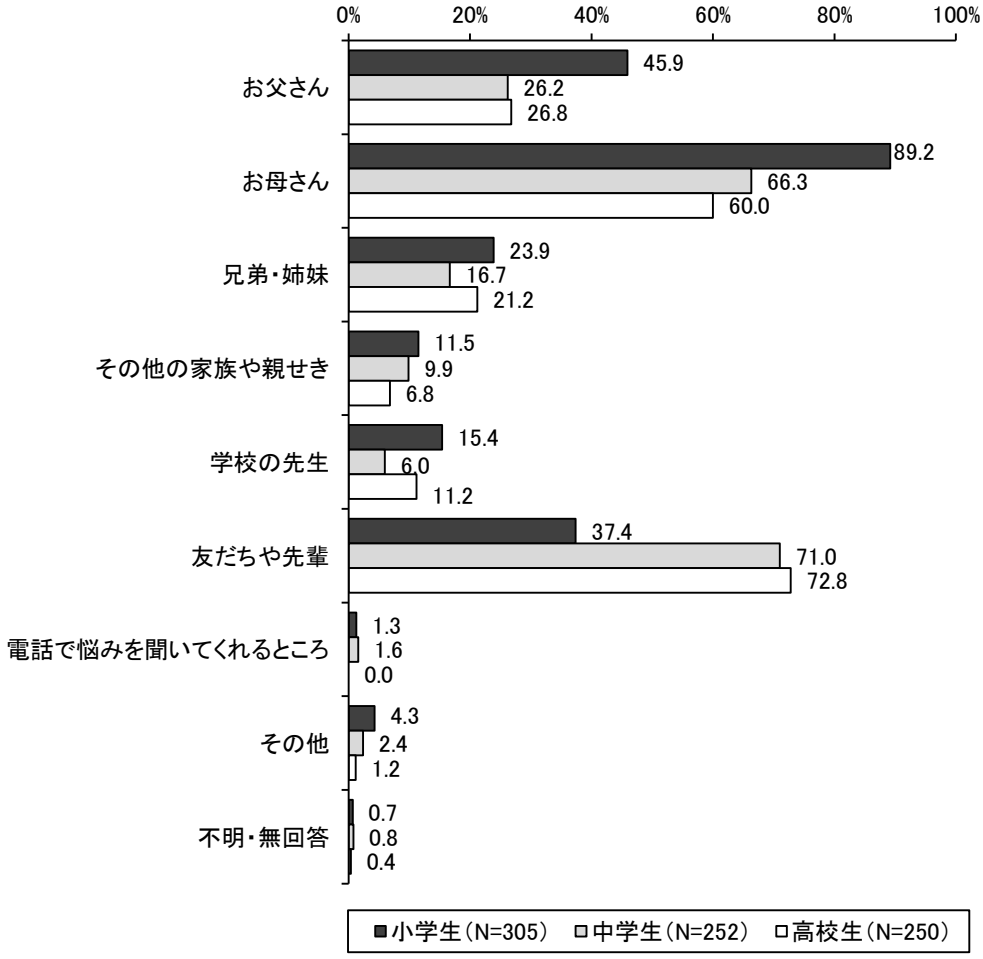



**（４）で「はい（いる）」を選んだ方**

## （４）－１　相談相手〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 19－1〕

相談相手についてみると、小学生は「お母さん」、中学生、高校生は「友だちや先輩」が最も高くなっています。

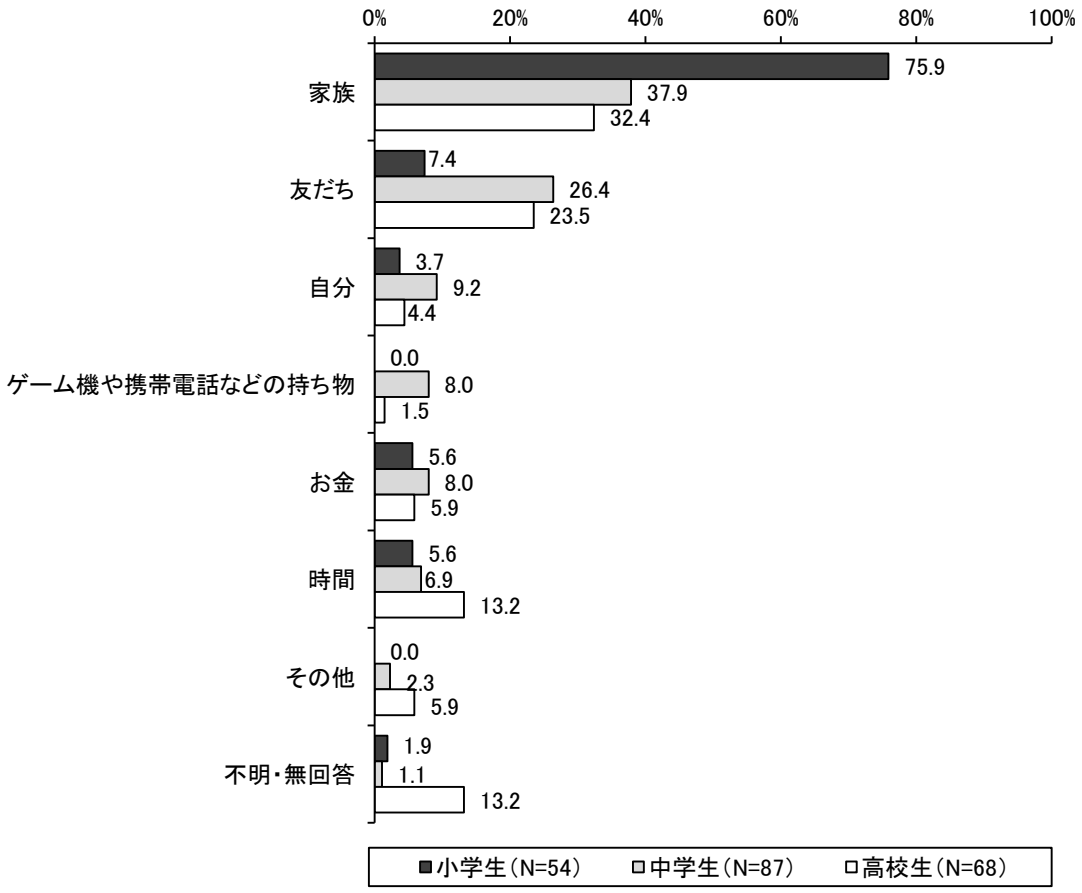
次いで、小学生は「お父さん」、中学生、高校生は「お母さん」となっています。



（４）で「いいえ（いない）」「どちらとも言えない」を選んだ方

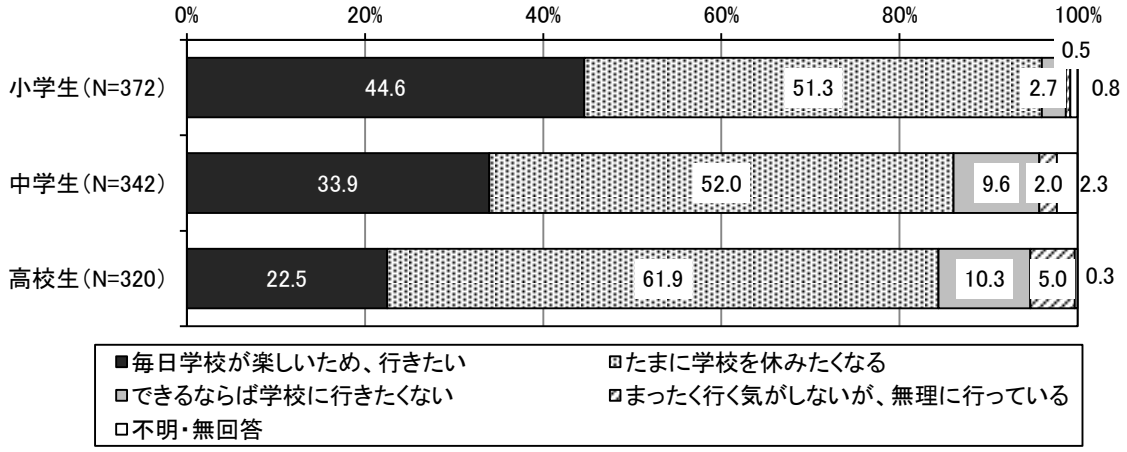
## （４）－２　今一番大切だと思っているもの〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 19－2〕

今一番大切だと思っているものについてみると、小学生、中学生、高校生ともに「家族」が最も高く、それぞれ 75.9%、37.9%、32.4%となっています。




## （５）学校に行くことについて、感じること〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 20〕

学校に行くことについて、感じることでは、小学生、中学生、高校生ともに「たまに学校を休みたくなる」が最も高く、それぞれ 51.3%、52.0%、61.9%となっています。



（５）で「できるならば学校に行きたくない」「まったく行く気がしないが、無理に行っている」を選んだ方

## （５）－１　学校に行きたくないと思うようになった年齢〈数量回答〉

〔小中高校生調査…問 20－1〕

学校に行きたくないと思うようになった年齢についてみると、中学生は 13 歳、８歳、12 歳で比較的高く、高校生では 16 歳、14 歳で比較的高くなっています。

| 学校に行きたくないと思うようになった年齢 | 小学生 N=12 | | 中学生 N=40 | | 高校生 N=49 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 3歳 | 0 | 0.0 | 1 | 2.5 | 0 | 0.0 |
| 4歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 2.0 |
| 6歳 | 0 | 0.0 | 3 | 7.5 | 2 | 4.1 |
| 7歳 | 0 | 0.0 | 4 | 10 | 1 | 2 |
| 8歳 | 2 | 16.7 | 6 | 15 | 1 | 2 |
| 9歳 | 4 | 33.3 | 1 | 2.5 | 1 | 2 |
| 10歳 | 4 | 33.3 | 4 | 10 | 2 | 4.1 |
| 11歳 | 1 | 8.3 | 2 | 5 | 2 | 4.1 |
| 12歳 | 0 | 0.0 | 5 | 12.5 | 1 | 2 |
| 13歳 | 0 | 0.0 | 9 | 22.5 | 5 | 10.2 |
| 14歳 | 0 | 0.0 | 3 | 7.5 | 9 | 18.4 |
| 15歳 | 0 | 0.0 | 1 | 2.5 | 3 | 6.1 |
| 16歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 15 | 30.6 |
| 17歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 6.1 |
| 不明・無回答 | 1 | 8.3 | 1 | 2.5 | 3 | 6.1 |

（５）で「できるならば学校に行きたくない」「まったく行く気がしないが、無理に行っている」を選んだ方

## （５）－２　学校に行きたくないと思うようになってからの経過年数〈単数回答〉

〔小中高校生調査…問 20－2〕

学校に行きたくないと思うようになってからの経過年数についてみると、中学生、高校生ともに「1～3年」が最も高くなっています。

次いで中学生は「6か月から～1年」、高校生は「7年以上」となっています。

| 学校に行きたくないと思うようになってからの経過年数 | 小学生 N=12 | | 中学生 N=40 | | 高校生 N=49 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 6か月未満 | 1 | 8.3 | 2 | 5.0 | 5 | 10.2 |
| 6か月～1年 | 5 | 41.7 | 9 | 22.5 | 8 | 16.3 |
| 1年～3年 | 2 | 16.7 | 11 | 27.5 | 17 | 34.7 |
| 3年～5年 | 2 | 16.7 | 5 | 12.5 | 6 | 12.2 |
| 5年～7年 | 0 | 0 | 8 | 20 | 3 | 6.1 |
| 7年以上 | 1 | 8.3 | 5 | 12.5 | 9 | 18.4 |
| 不明・無回答 | 1 | 8.3 | 0 | 0 | 1 | 2 |

（５）で「できるならば学校に行きたくない」「まったく行く気がしないが、無理に行っている」を選んだ方

## （５）－３　学校に行きたくないと思うようになったきっかけ〈複数回答〉

〔小中高校生調査…問 20－３〕

学校に行きたくないと思うようになったきっかけは、以下のようになっています。

| 学校に行きたくないと思うようになったきっかけ | 小学生 N=12 | | 中学生 N=40 | | 高校生 N=49 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 学校になじめなかった | 5 | 41.7 | 7 | 17.5 | 4 | 8.2 |
| 友だちとの関係がうまくいっていない | 3 | 25.0 | 12 | 30.0 | 8 | 16.3 |
| 家族との関係がうまくいっていない | 2 | 16.7 | 4 | 10.0 | 0 | 0.0 |
| 病気のため | 0 | 0.0 | 1 | 2.5 | 0 | 0 |
| その他 | 2 | 16.7 | 29 | 72.5 | 38 | 77.6 |
| 不明・無回答 | 1 | 8.3 | 0 | 0 | 3 | 6.1 |

（５）で「できるならば学校に行きたくない」「まったく行く気がしないが、無理に行っている」を選んだ方

## （５）－４　学校に行きたくないと思うことについての相談意向〈単数回答〉

〔小中高校生調査…問 20－４〕

学校に行きたくないと思うことについての相談意向についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「思わない」が高くなっています。

| 学校に行きたくないと思うことについての相談意向 | 小学生 N=12 | | 中学生 N=40 | | 高校生 N=49 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 非常に思う | 0 | 0.0 | 3 | 7.5 | 3 | 6.1 |
| 思う | 2 | 16.7 | 1 | 2.5 | 0 | 0.0 |
| 少し思う | 1 | 8.3 | 6 | 15.0 | 3 | 6.1 |
| 思わない | 7 | 58.3 | 28 | 70.0 | 40 | 81.6 |
| 不明・無回答 | 2 | 16.7 | 2 | 5 | 3 | 6.1 |

（５）－４で「非常に思う」「思う」「少し思う」を選んだ方

## （５）－５　学校に行きたくないと思うことなど、相談したいと思う相談先〈複数回答〉

〔小中高校生調査…問 20－5〕

学校に行きたくないと思うことなど、相談したいと思う相談先は、以下のようになっています。

| 学校に行きたくないと思うことなど、相談したいと思う相談先 | 小学生 N=3 | | 中学生 N=10 | | 高校生 N=6 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 親切・ていねいに聴いてくれるところ | 3 | 100.0 | 2 | 20.0 | 3 | 50.0 |
| 悩みごとを相談できる専門の人がいるところ | 1 | 33.3 | 2 | 20.0 | 3 | 50.0 |
| 悩みごとを相談できる医師がいるところ | 0 | 0.0 | 2 | 20.0 | 1 | 16.7 |
| 同じ悩みを持つ人と出会えるところ | 2 | 66.7 | 5 | 50.0 | 1 | 16.7 |
| 自分の名前を知られずに相談できるところ | 2 | 66.7 | 3 | 30.0 | 2 | 33.3 |
| 無料で相談できるところ | 2 | 66.7 | 4 | 40.0 | 2 | 33.3 |
| NPOなどの団体が行っているところ | 1 | 33.3 | 1 | 10.0 | 0 | 0.0 |
| 自宅に専門家が来てくれるところ | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 自宅に地域のボランティアなどが来てくれるところ | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| いろいろな悩みをまとめて聞いてくれるところ | 0 | 0.0 | 1 | 10.0 | 0 | 0.0 |
| 自分のペースでゆっくりと少しずつ手助けをしてくれるところ | 2 | 66.7 | 4 | 40.0 | 1 | 16.7 |
| 自宅から近いところ | 1 | 33.3 | 2 | 20.0 | 0 | 0.0 |
| 用がなくても気軽に行くことができる自由な場所があるところ | 1 | 33.3 | 4 | 40.0 | 2 | 33.3 |
| その他 | 0 | 0.0 | 1 | 10.0 | 0 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

（５）－４で「思わない」を選んだ方

## （５）－６　相談したくないと思う理由〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 20－6〕

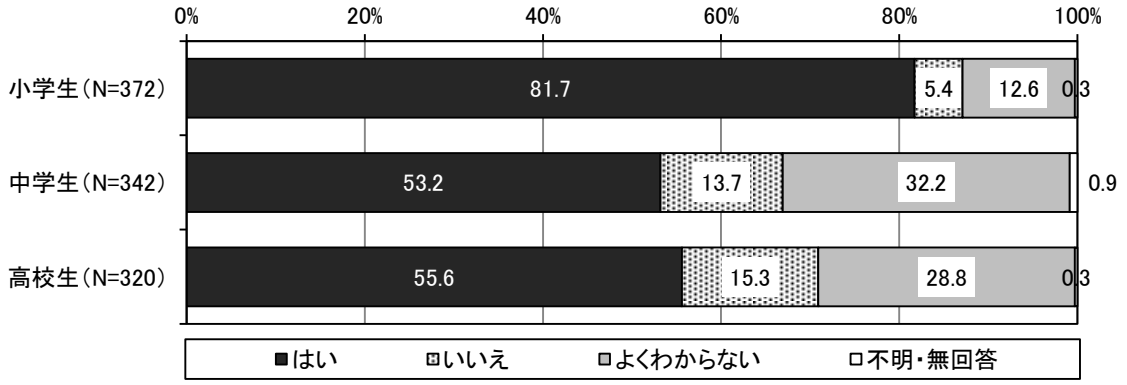
相談したくないと思う理由についてみると、小学生、中学生、高校生は「行っても解決できないと思う」が比較的高くなっています。

| 相談したくないと思う理由 | 小学生 N=7 | | 中学生 N=28 | | 高校生 N=40 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % |
| 自分や家族のことを知られたくない | 3 | 42.9 | 1 | 3.6 | 2 | 5.0 |
| 行っても解決できないと思う | 4 | 57.1 | 12 | 42.9 | 17 | 42.5 |
| 何を聞かれるか不安に思う | 3 | 42.9 | 1 | 3.6 | 3 | 7.5 |
| 相手にうまく話せないと思う | 2 | 28.6 | 4 | 14.3 | 3 | 7.5 |
| 行ったことを人に知られたくない | 0 | 0.0 | 5 | 17.9 | 2 | 5.0 |
| お金がかかると思う | 1 | 14.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 相談できるところを知らない | 3 | 42.9 | 2 | 7.1 | 1 | 2.5 |
| 相談できるところが近くにない | 0 | 0.0 | 1 | 3.6 | 0 | 0.0 |
| その他 | 0 | 0.0 | 15 | 53.6 | 16 | 40.0 |
| 不明・無回答 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4 | 10.0 |

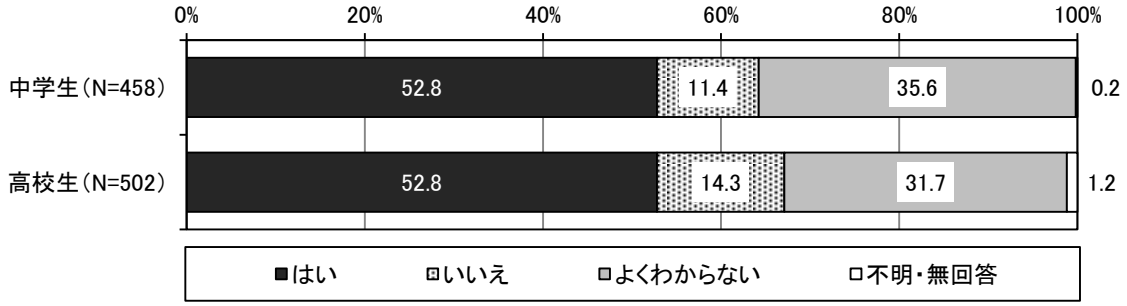
# ６　将来のことについて

## （１）将来の夢の有無〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 21〕

将来の夢の有無についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「はい（持っている）」が最も高く、それぞれ 81.7%、53.2%、55.6%となっています。また、年齢があがるほど、「はい（持っている）」が低下傾向にあります。



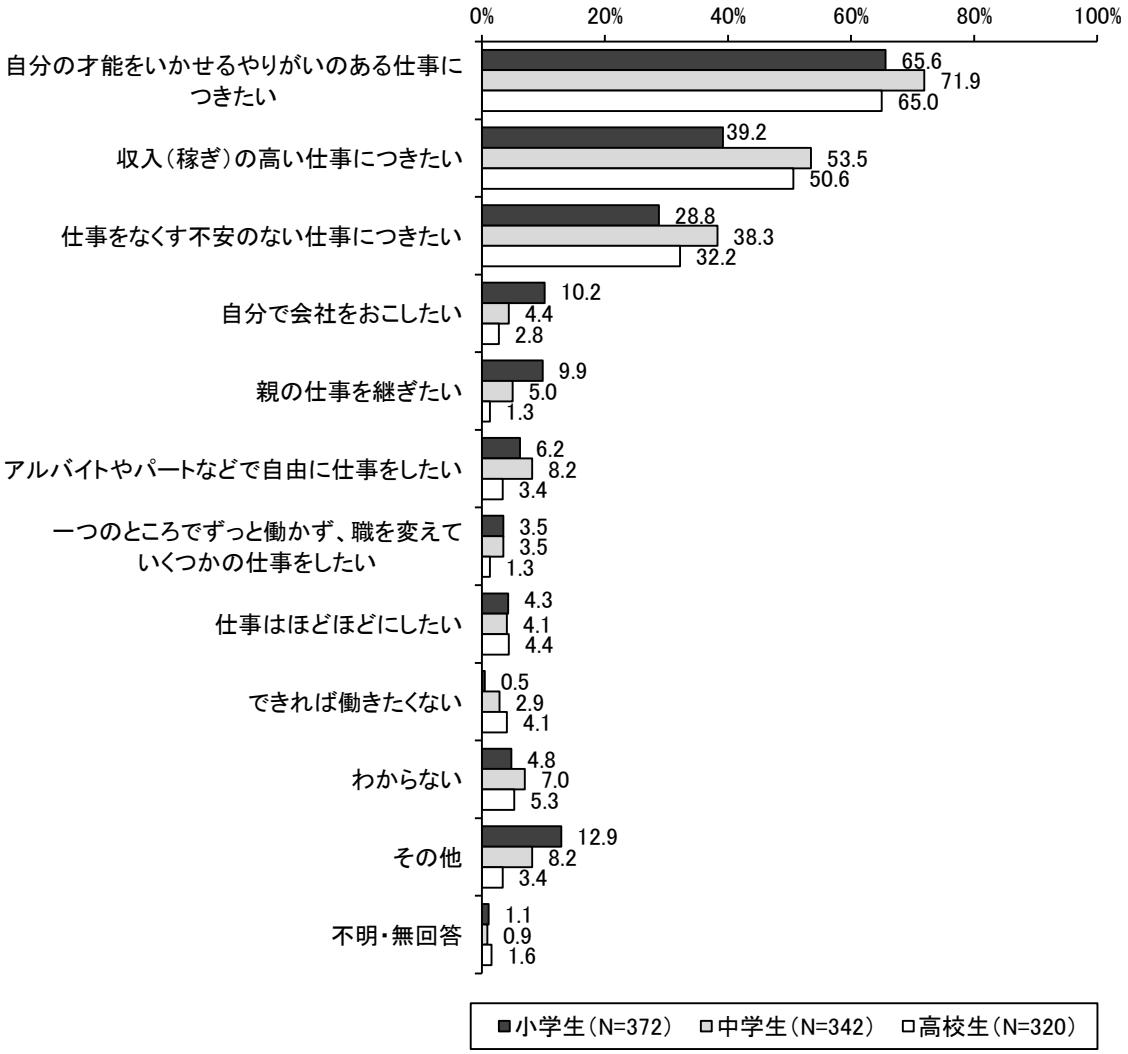

【前回調査結果】（将来の夢の有無）



## （２）仕事における将来の希望〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 22〕

仕事における将来の希望についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「自分の才能をいかせるやりがいのある仕事につきたい」が最も高く、それぞれ 65.6%、71.9%、65.0%となっています。

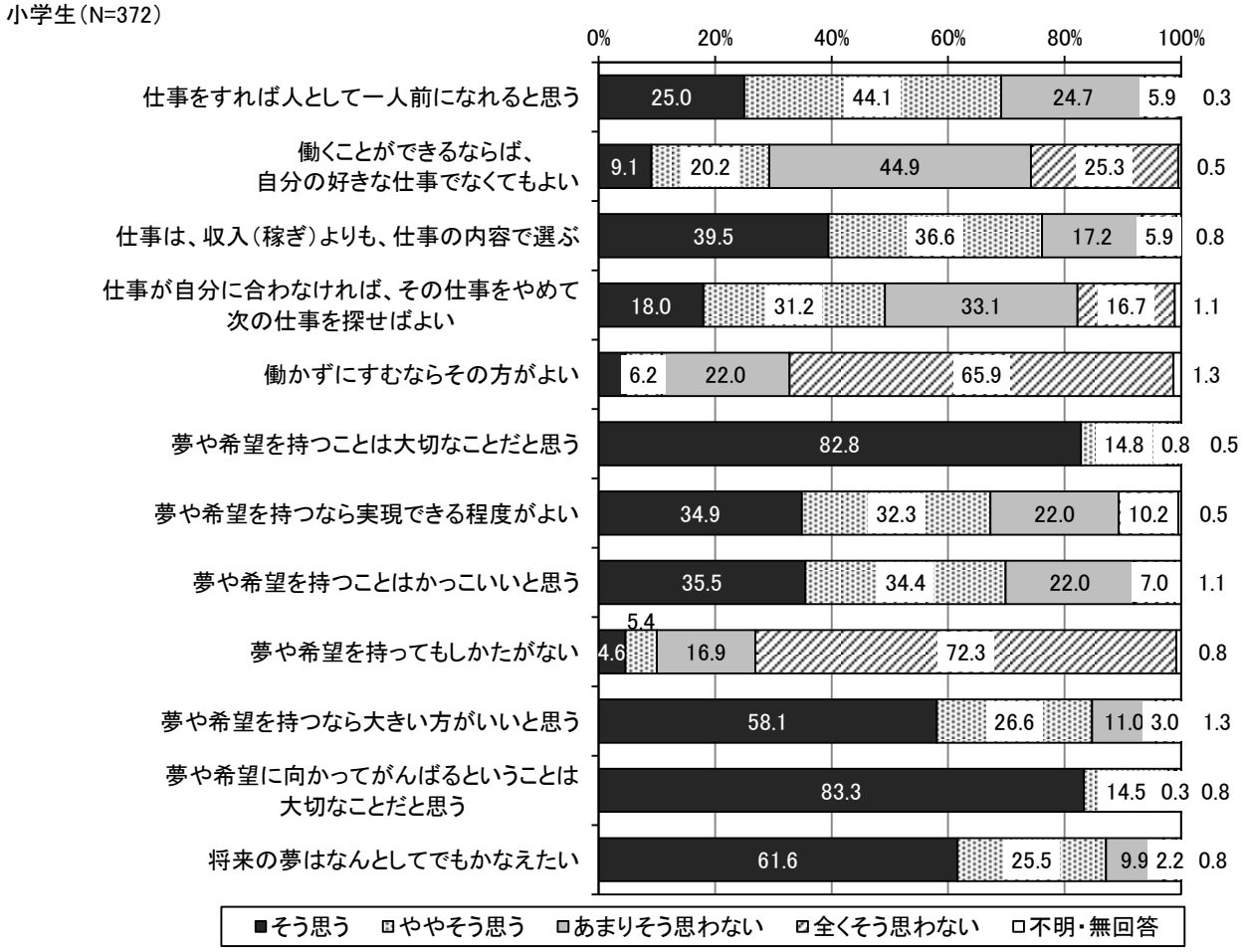
次いで、3 者ともに「収入（稼ぎ）の高い仕事につきたい」「仕事をなくす不安のない仕事につきたい」が高く、安定した仕事を求めています。



## （３）将来のことに対する考え方（小学生）〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 23〕

小学生の将来のことに対する考え方についてみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』では、夢や希望を持つことは大切なことだと思うが 97.6%、夢や希望に向かってがんばるということは大切なことだと思うが 97.8%となっています。

一方、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた『思わない』では、働くことができるならば、自分の好きな仕事でなくてもよいが 70.2%、働かずにすむならその方がよいが 87.9%、夢や希望を持ってもしかたがないが 89.2%と夢や希望を持つことを大切にし、そこに向かって進んでいくといった考え方がうかがえます。

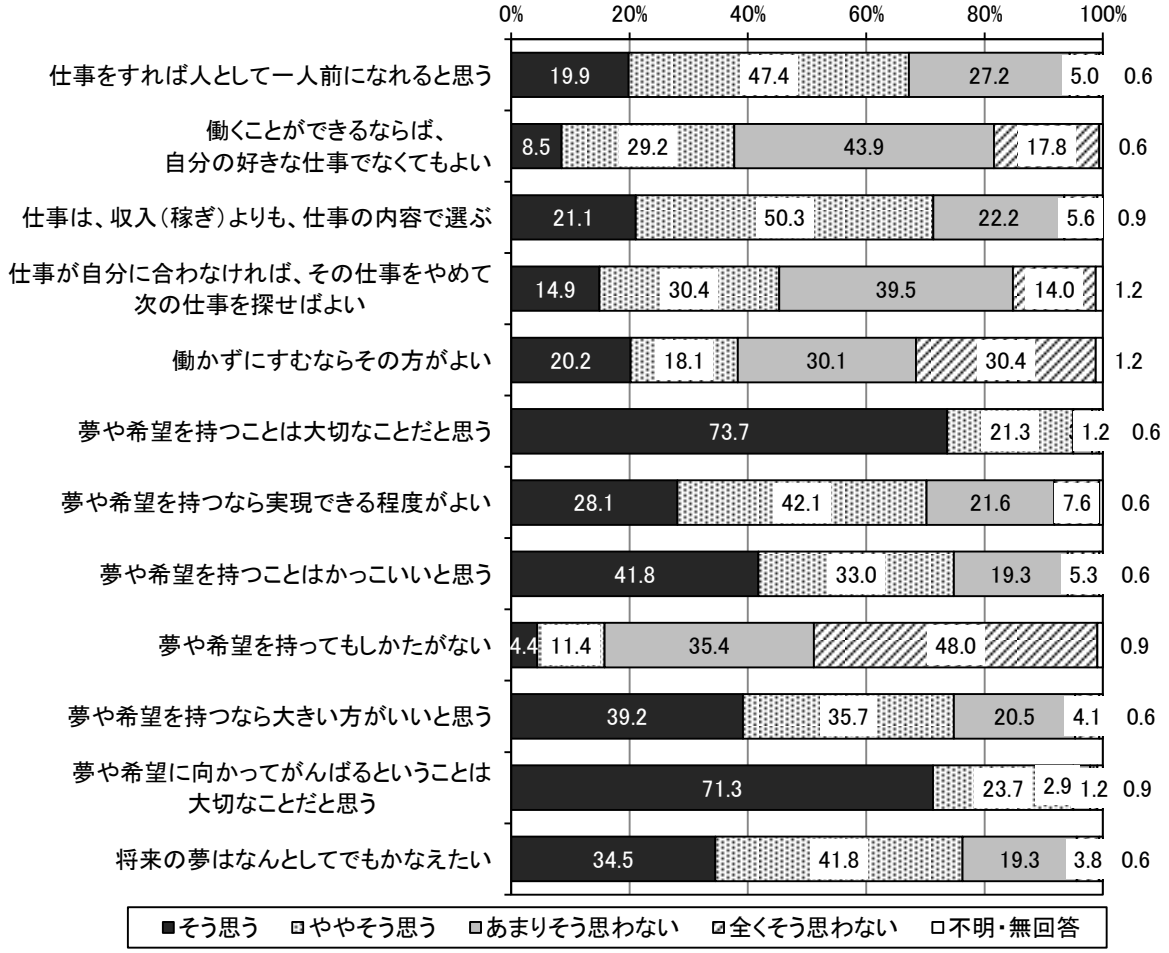


## （４）将来のことに対する考え方（中学生）〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 23〕

中学生の将来のことに対する考え方についてみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』では、夢や希望を持つことは大切なことだと思うが 95.0%、夢や希望に向かってがんばるということは大切なことだと思うが 95.0%、将来の夢はなんとしてでもかなえたいが 76.3%となっています。

一方、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた『思わない』では、働くことができるならば、自分の好きな仕事でなくてもよいが 61.7%、働かずにすむならその方がよいが 60.5%、夢や希望を持ってもしかたがないが 83.4%となっています。

中学生（N=342）

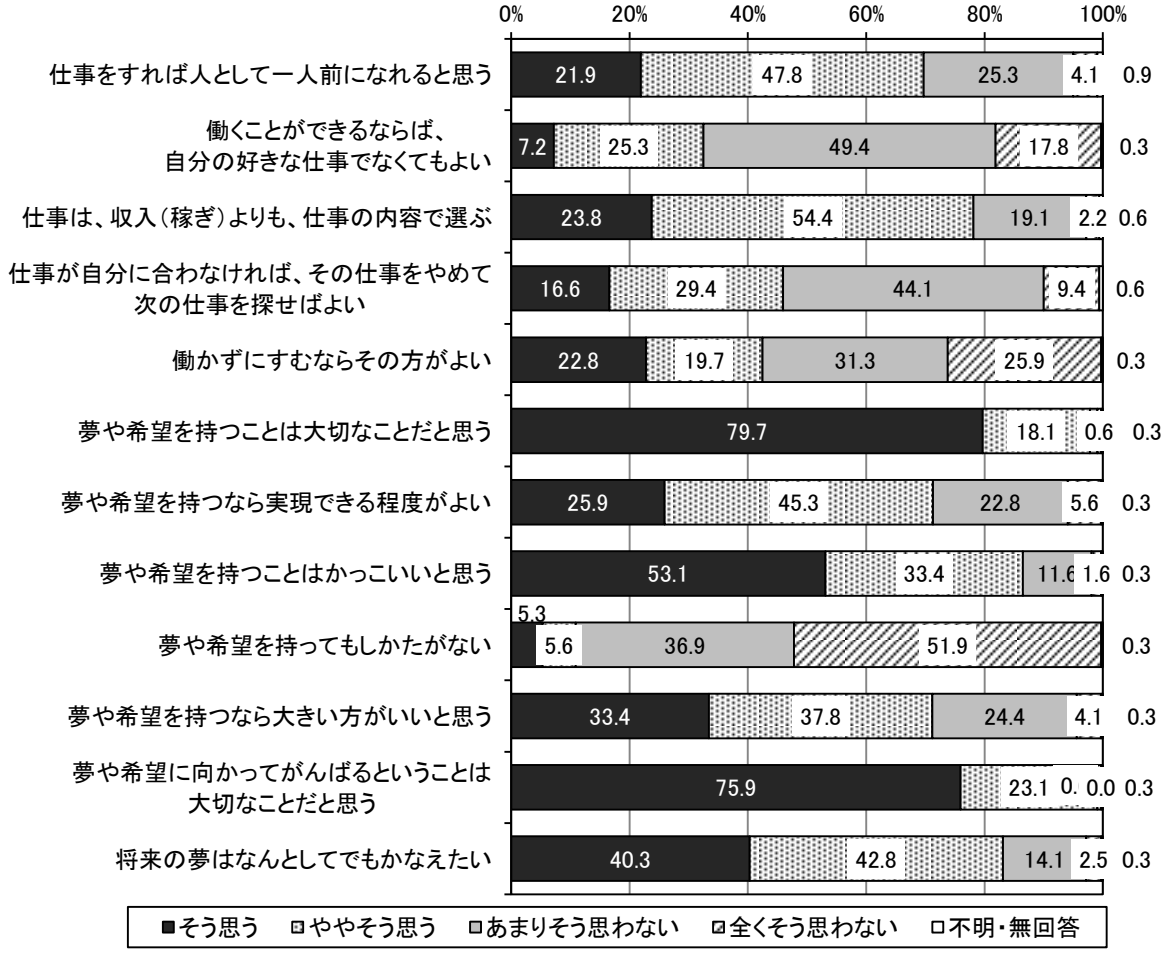


## （５）将来のことに対する考え方（高校生）〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 23〕

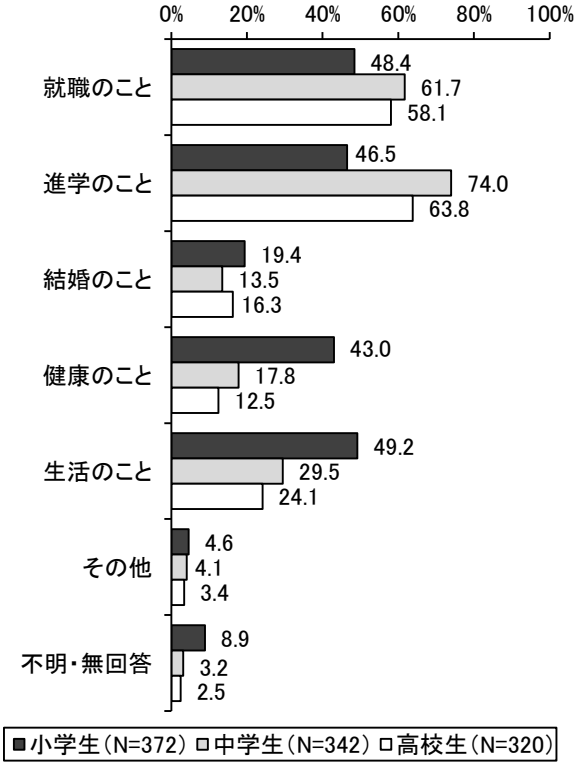
高校生の将来のことに対する考え方についてみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』では、夢や希望を持つことは大切なことだと思うが 97.8%、夢や希望を持つことはかっこいいと思うが 86.5%、夢や希望に向かってがんばるということは大切なことだと思うが 99.0%となっています。

一方、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた『思わない』では、働くことができるならば、自分の好きな仕事でなくてもよいが 67.2%、働かずにすむならその方がよいが 57.2%、夢や希望を持ってもしかたがないが 88.8%となっています。

高校生（N=320）



## （６）将来に関することで不安に思っていること〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 24〕



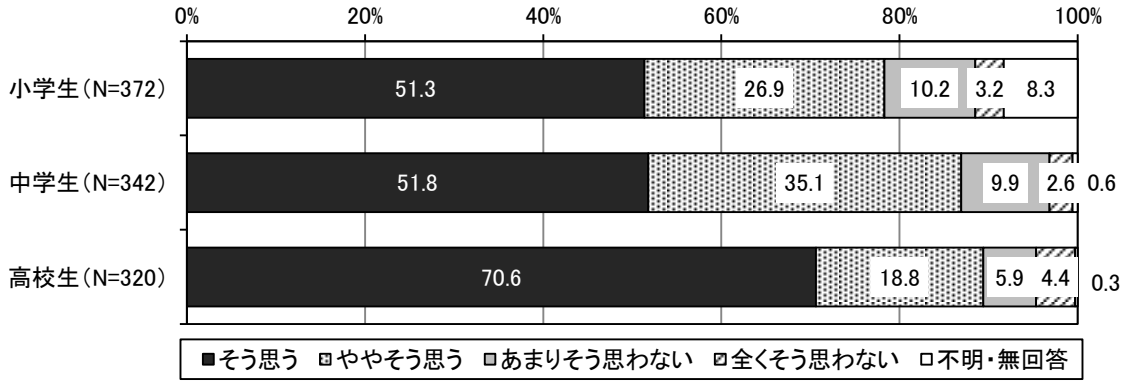

将来に関することで不安に思っていることについてみると、小学生は「生活のこと」が 49.2%と最も高く、次いで「就職のこと」が 48.4%、「健康のこと」が 43.0%となっています。

また、中学生、高校生は「進学のこと」「就職のこと」がそれぞれ上位２件を占め、それぞれ５割以上の回答となっています。

## （７）将来の家庭に対する考え（結婚して家庭を持つことへの意向）〈単数回答〉

〔小中高校生調査…問 25①〕

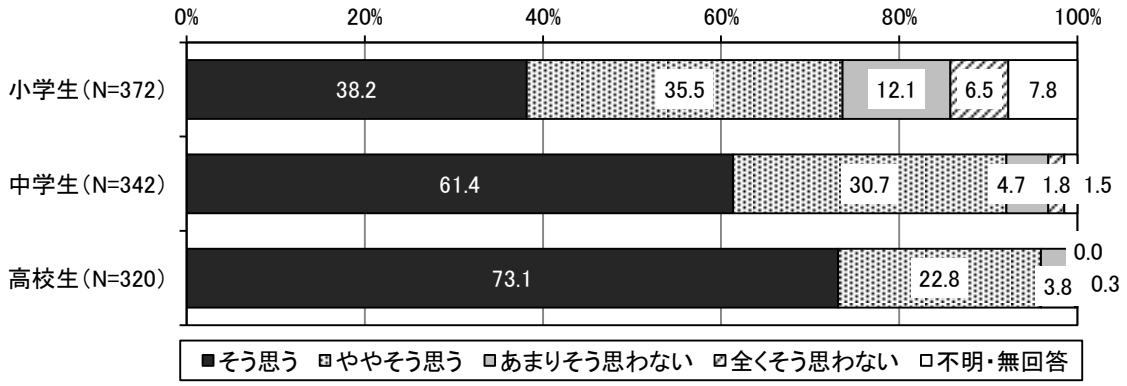
結婚して家庭を持つことへの意向についてみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』が、小学生、中学生、高校生で大部分を占めており、それぞれ 78.2%、86.9%、89.4%となっています。また、年齢があがるほど、『思う』割合も高くなっています。



## （８）将来の家庭に対する考え（自立した生活をすることへの意向）〈単数回答〉

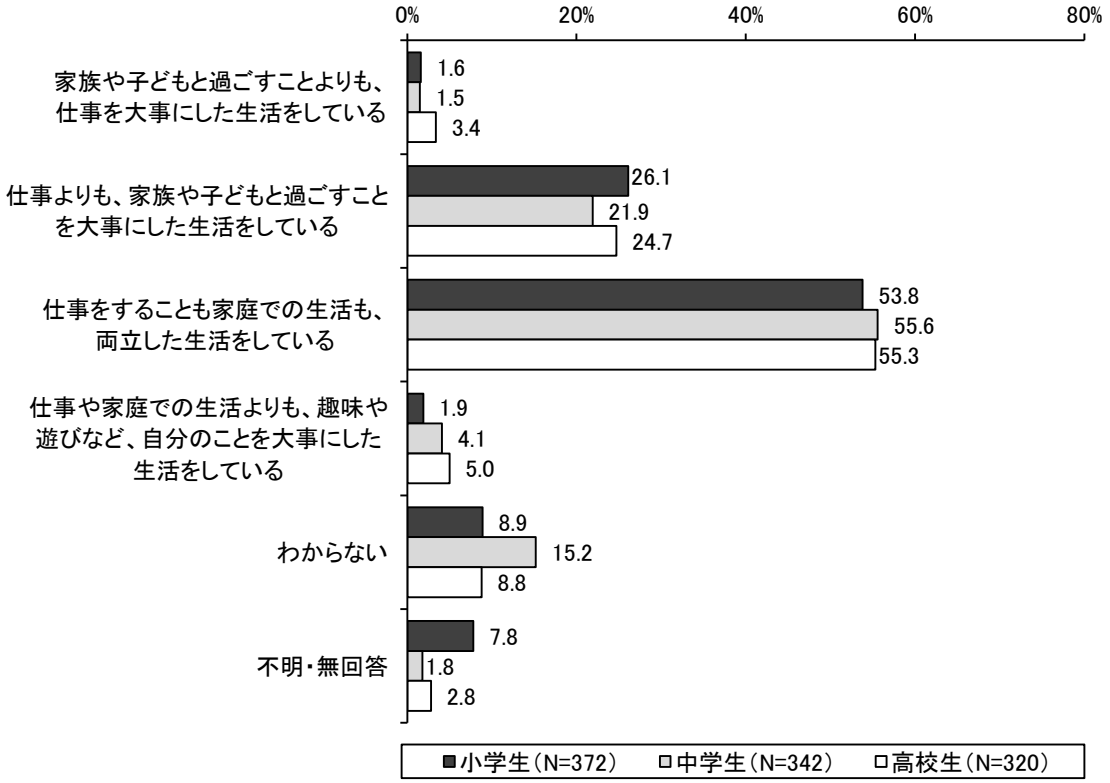
〔小中高校生調査…問 25②〕

自立した生活をすることへの意向についてみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』が、小学生、中学生、高校生で大部分を占めており、それぞれ 73.7%、92.1%、95.9%となっています。また、年齢があがるほど、『思う』割合も高くなっています。

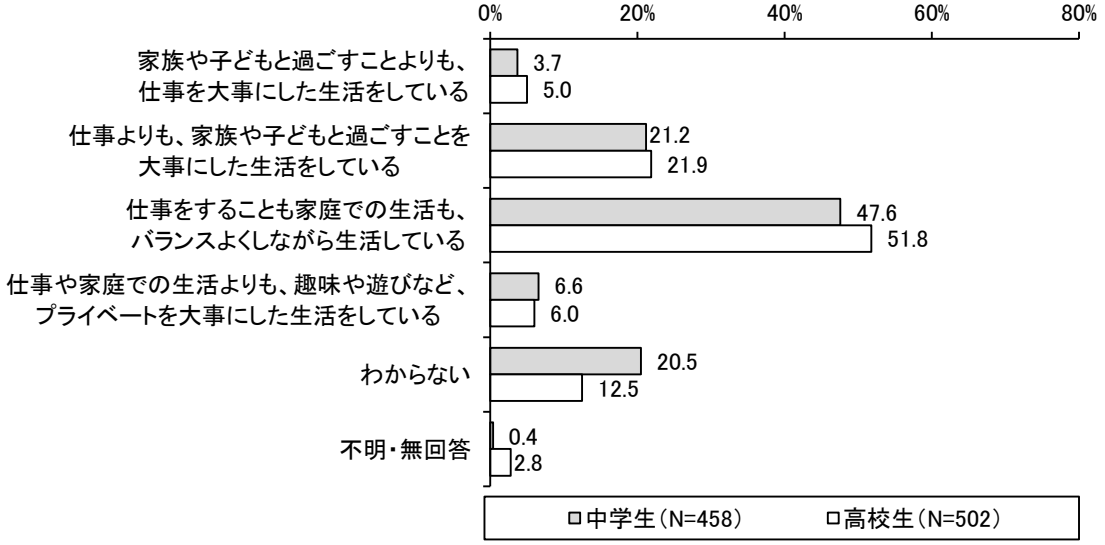



## （９）将来における仕事や家庭での生活〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 26〕

将来における仕事や家庭での生活についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「仕事をすることも家庭での生活も、両立した生活をしている」が最も高く、それぞれ 53.8%、55.6%、55.3%となっています。次いで「仕事よりも、家族や子どもと過ごすことを大事にした生活をしている」となっており、それぞれ 26.1%、21.9%、24.7%となっています。仕事ではなく、仕事と家庭での生活の両立や家庭を大事にした生活が大事とされています。



【前回調査結果】（将来における仕事や家庭での生活）

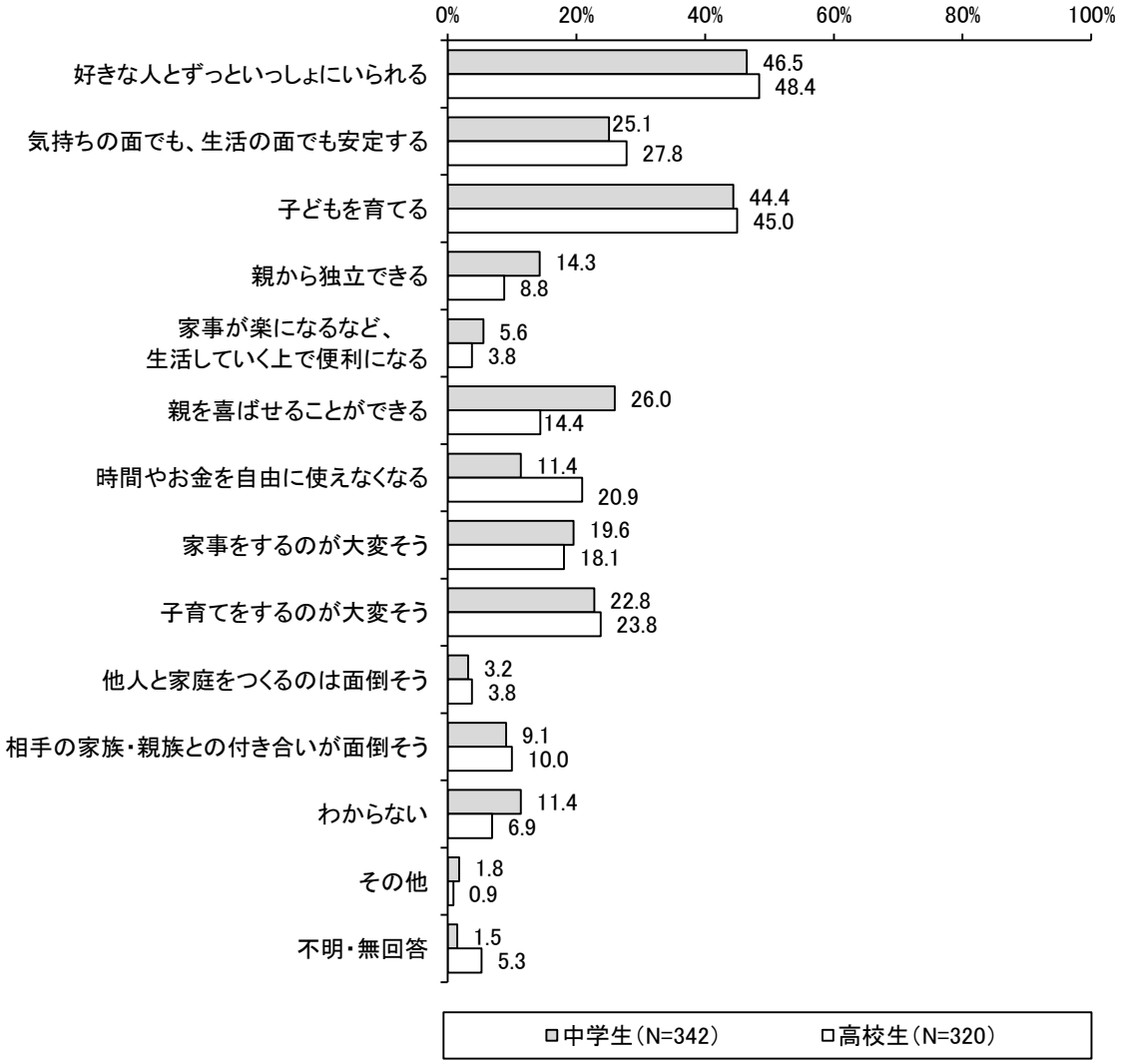


**中学生、高校生のみ**

## （10）結婚のイメージ〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 27〕

結婚のイメージについてみると、中学生、高校生ともに「好きな人とずっといっしょにいられる」が最も高く、それぞれ 46.5%、48.4%となっています。次いで「子どもを育てる」となっており、それぞれ 44.4%、45.0%となっています。

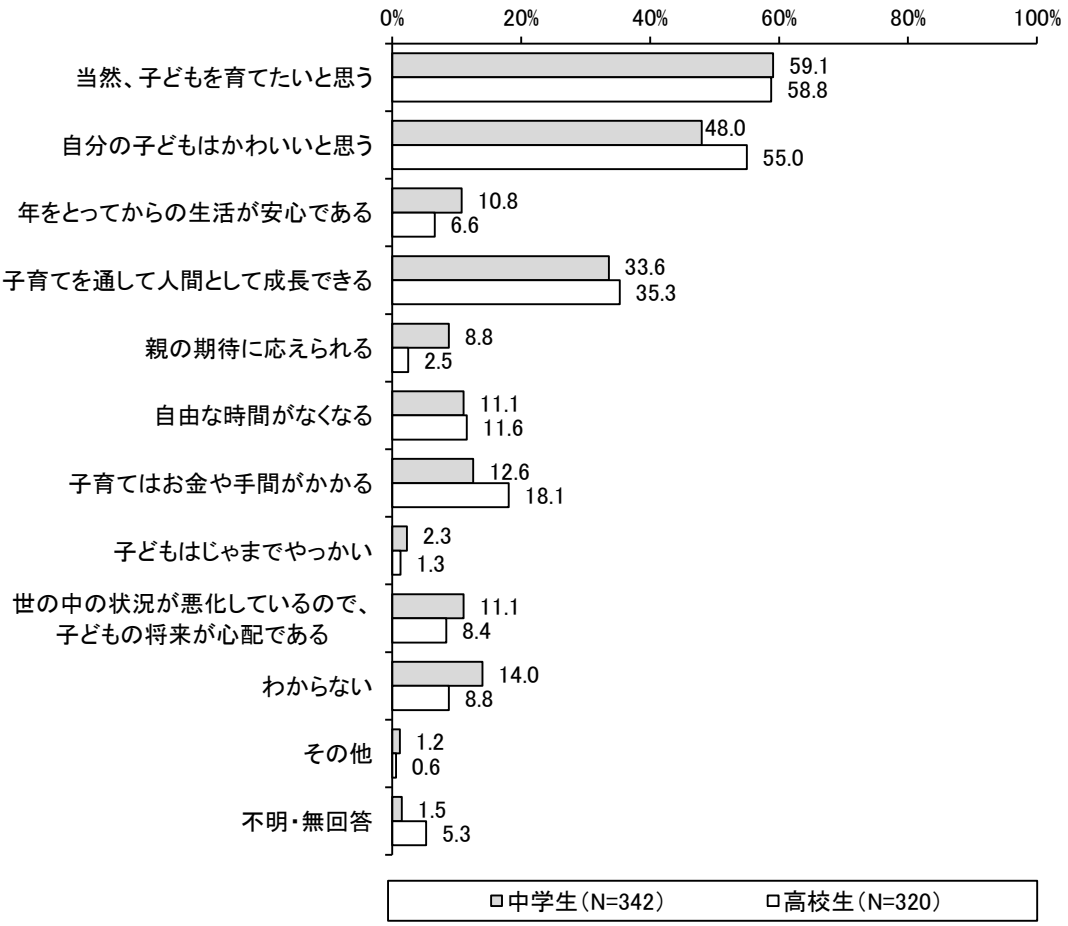
そのほか、中学生では「親を喜ばせることができる」が 26.0%、高校生では「気持ちの面でも、生活の面でも安定する」が 27.8%となっています。



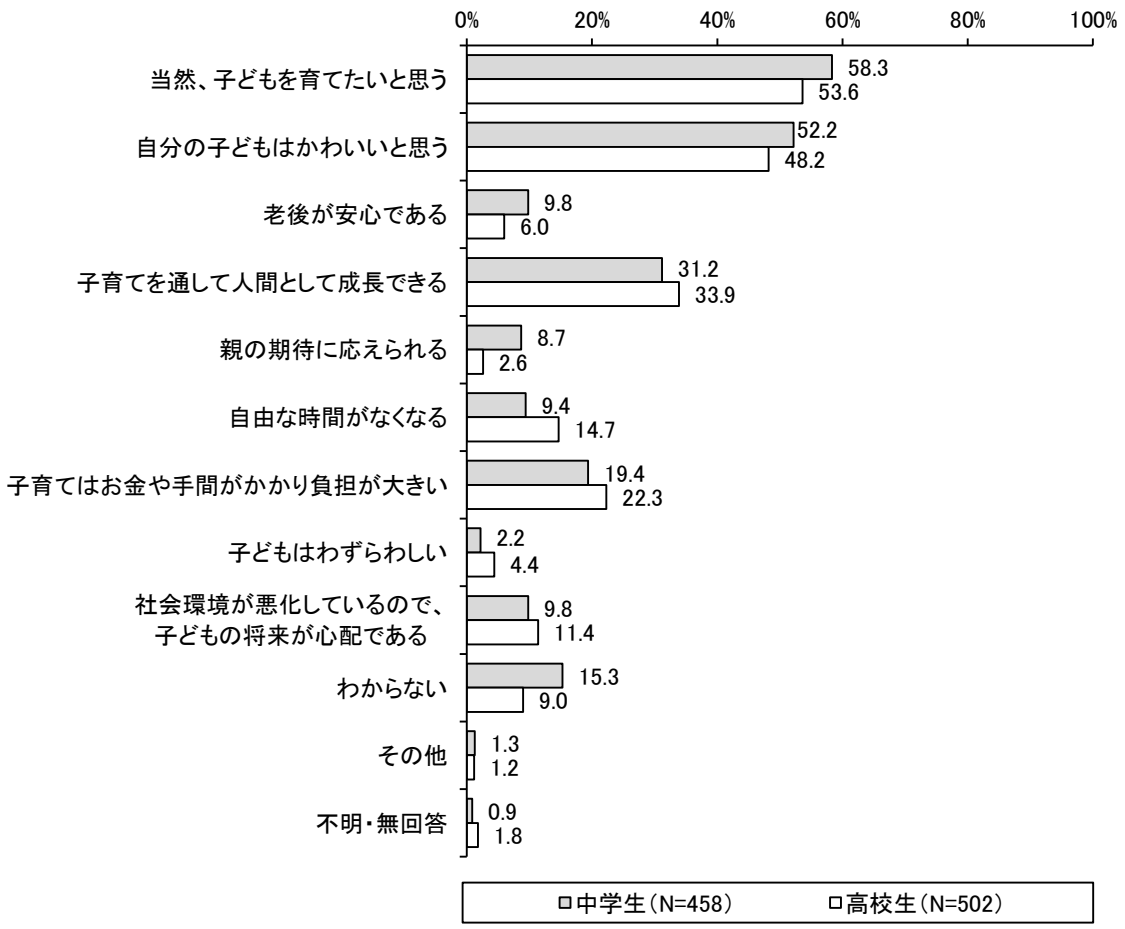
**中学生、高校生のみ**

## （11）子どもを育てることのイメージ〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 28〕

子どもを育てることのイメージについてみると、中学生、高校生ともに「当然、子どもを育てたいと思う」が最も高く、それぞれ 59.1%、58.8%となっています。次いで「自分の子どもはかわいいと思う」となっており、それぞれ 48.0%、55.0%、「子育てを通して人間として成長できる」がそれぞれ 33.6%、35.3%となっています。

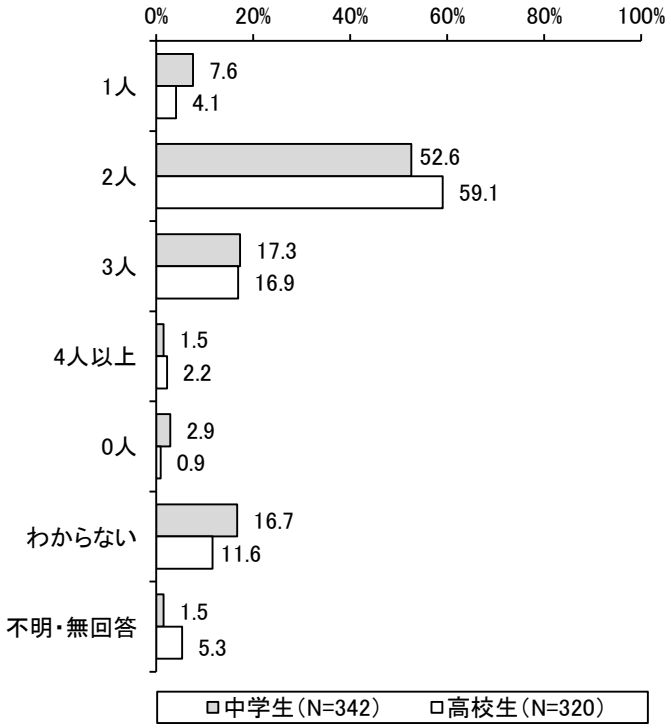


【前回調査結果】（子どもを育てることのイメージ）



**中学生、高校生のみ**

## （12）子どもを育てるとした場合のほしい子どもの人数〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 29〕

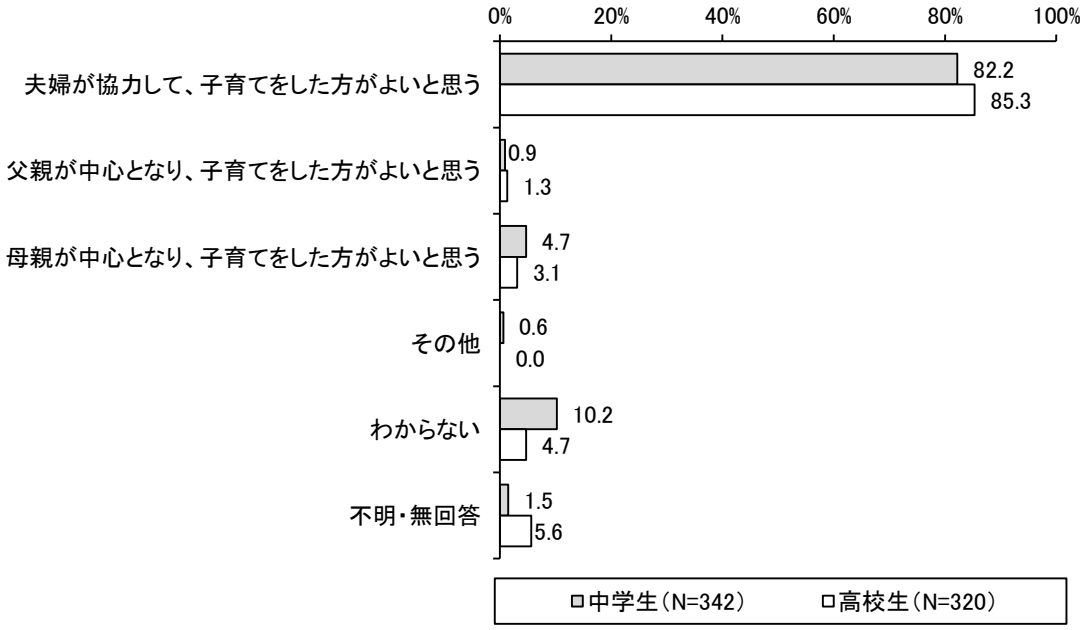



子どもを育てるとした場合のほしい子どもの人数についてみると、中学生、高校生ともに「２人」が最も高く、それぞれ 52.6%、59.1%、次いで「３人」が 17.3%、16.9%となっています。

**中学生、高校生のみ**

## （13）家庭における子育ての考え方〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 30〕

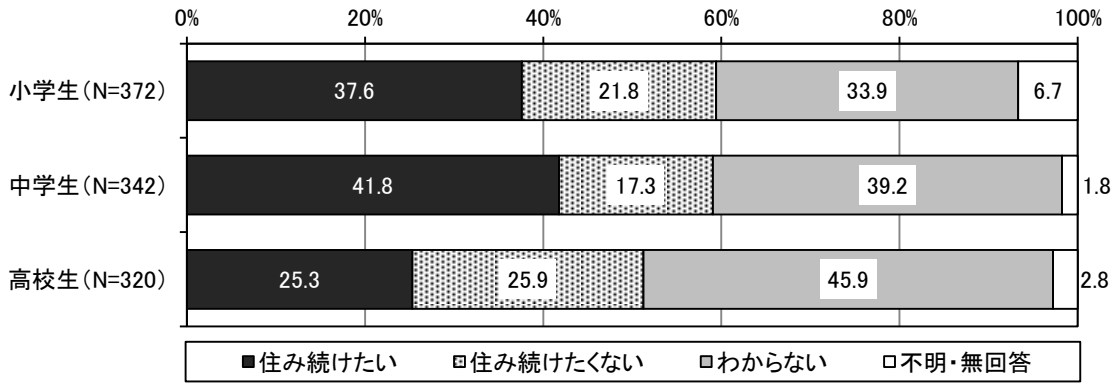
家庭における子育ての考え方についてみると、中学生、高校生ともに「夫婦が協力して、子育てをした方がよいと思う」がそれぞれ 82.2%、85.3%と、群を抜いて高くなっています。



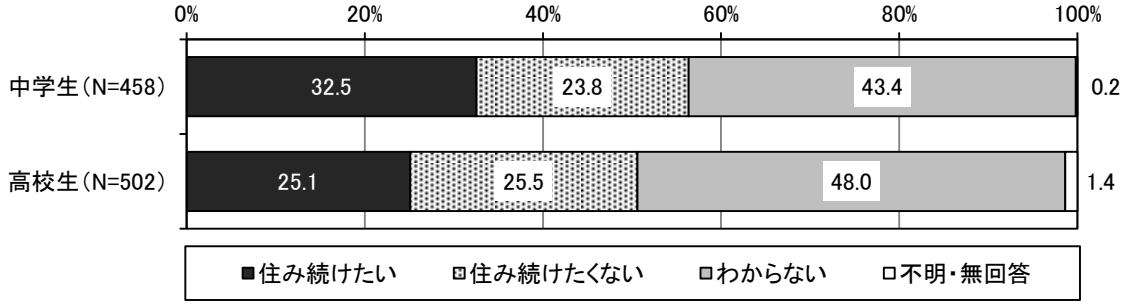
## （14）和歌山市への定住意向〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 31〕

和歌山市への定住意向についてみると、小学生、中学生は「住み続けたい」が最も高く、それぞれ37.6%、41.8%となっています。次いで「わからない」がそれぞれ 33.9%、39.2%となっており、「住み続けたい」と「わからない」の差は、小学生で 3.7 ポイント、中学生で 2.6 ポイントとなっています。

高校生は、「わからない」が 45.9%と最も高く、「住み続けたい」を上回っています。




【前回調査結果】（和歌山市への定住意向）



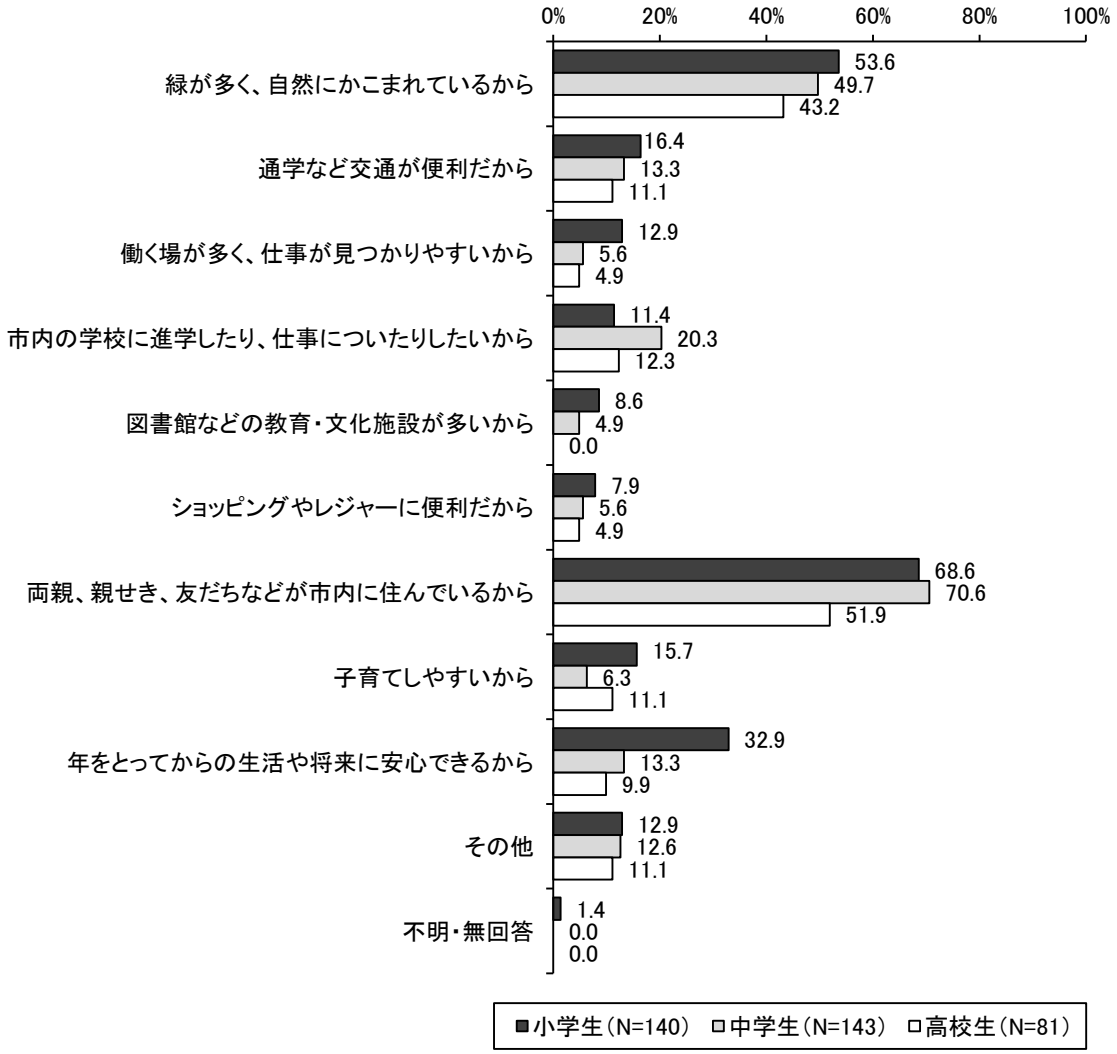
（14）で「住み続けたい」を選んだ方

## （14）－１　住み続けたいと感じる理由〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 31-1〕

住み続けたいと感じる理由についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「両親、親せき、友だちなどが市内に住んでいるから」が最も高く、それぞれ 68.6%、70.6%、51.9%となっています。

次いで３者ともに「緑が多く、自然にかこまれているから」がそれぞれ 53.6%、49.7%、43.2%となっています。

また、小学生では「年をとってからの生活や将来に安心できるから」が 32.9%となっています。



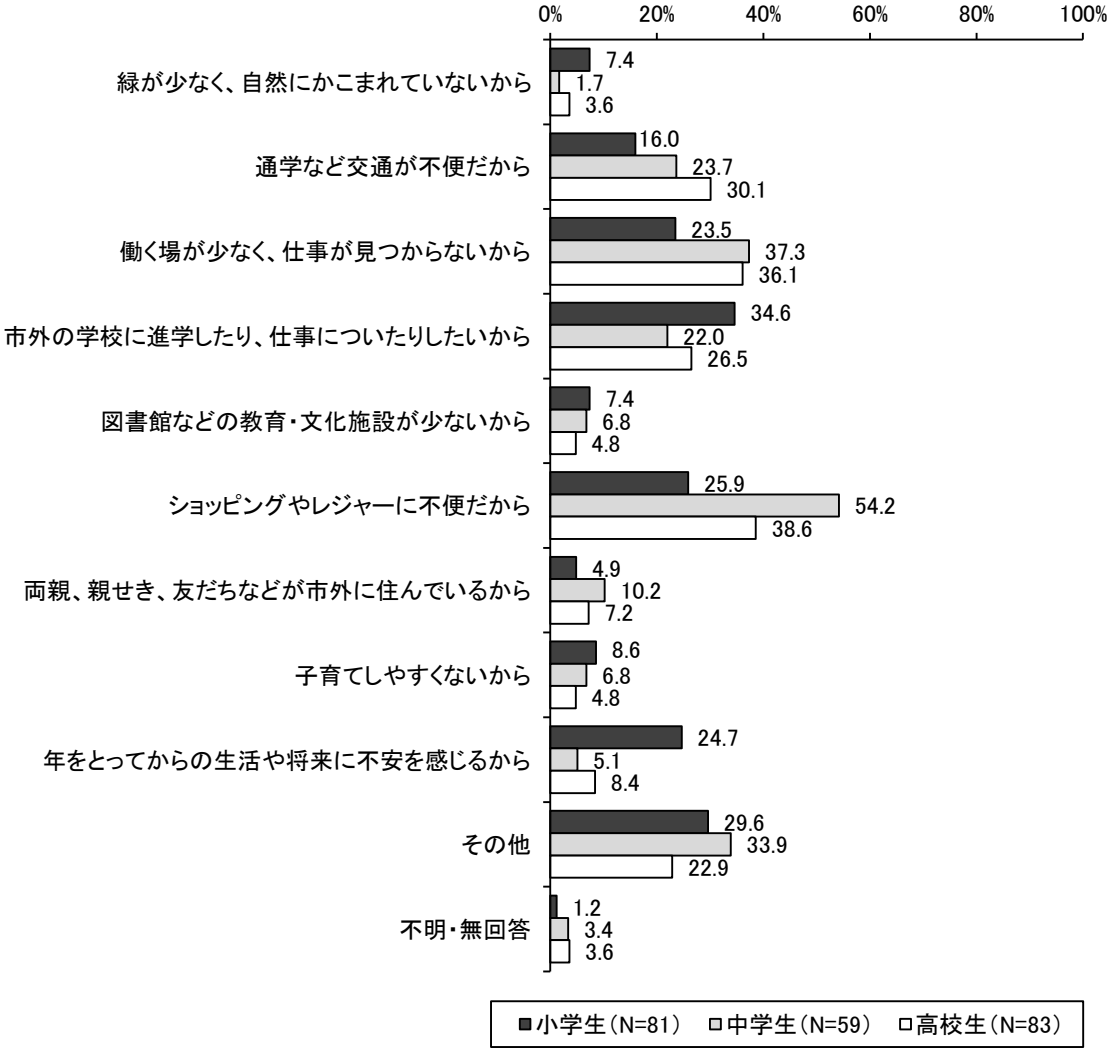
（14）で「住み続けたくない」を選んだ方

## （14）－２　住み続けたくないと感じる理由〈複数回答〉〔小中高校生調査…問 31-1〕

住み続けたくないと感じる理由についてみると、小学生は、「市外の学校に進学したり、仕事についたりしたいから」が 34.6%と最も高く、中学生、高校生は「ショッピングやレジャーに不便だから」がそれぞれ 54.2%、38.6%と最も高くなっています。

次いで、小学生は「ショッピングやレジャーに不便だから」、中学生、高校生は「働く場が少なく、仕事が見つからないから」となっています。

自然の多さや家族や親類が近くにいることを利点とする一方、就業の場や進学先、商業施設などの不便さなどが住み続けたくない理由となっています。

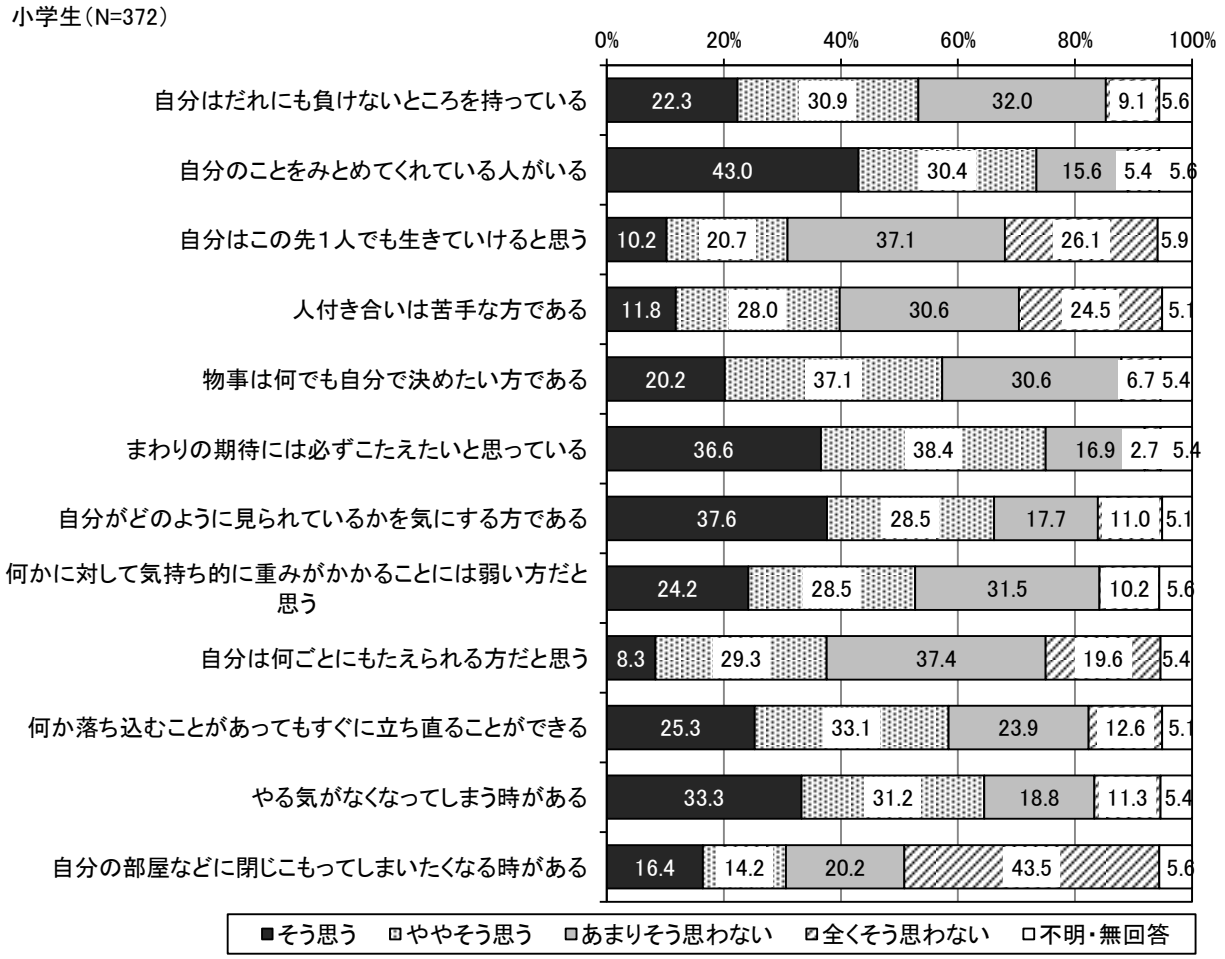


# ７　あなた自身のことについて

## （１）自身のことについての考え（小学生）〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 32〕

小学生の自身のことについての考えについてみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』では、自分のことをみとめてくれている人がいるが 73.4%、まわりの期待には必ずこたえたいと思っているが 75.0%、自分がどのように見られているかを気にする方であるが 66.1%、やる気がなくなってしまう時があるが 64.5%となっています。

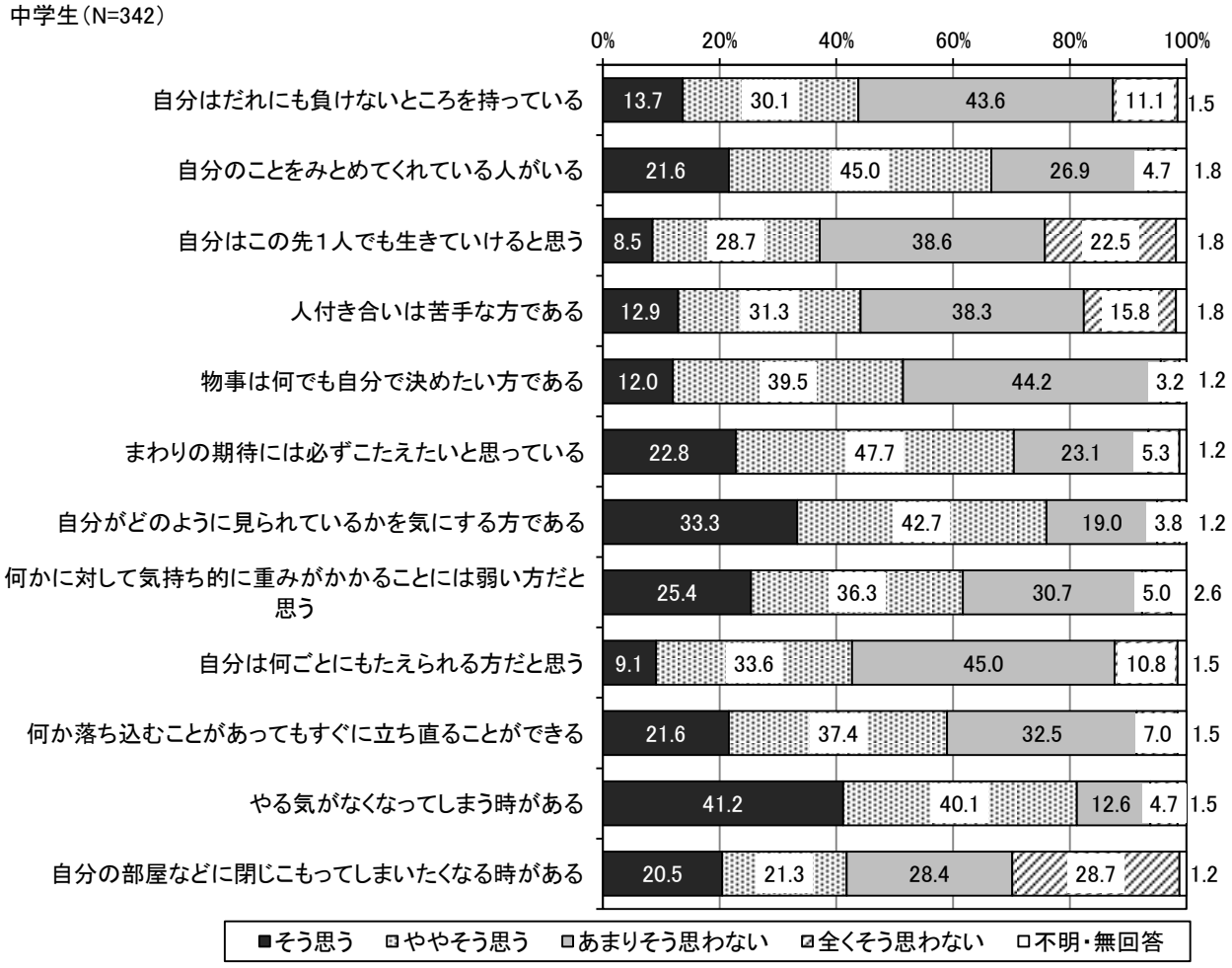
一方、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた『思わない』では、自分はこの先１人でも生きていけると思うが 63.2%、人付き合いは苦手な方であるが 55.1%、自分は何ごとにもたえられる方だと思うが 57.0%、自分の部屋などに閉じこもってしまいたくなる時があるが 63.7%となっています。



## （２）自身のことについての考え（中学生）〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 32〕

中学生の自身のことについての考えについてみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』では、自分のことをみとめてくれている人がいるが 66.6%、まわりの期待には必ずこたえたいと思っているが 70.5%、自分がどのように見られているかを気にする方であるが 76.0%、やる気がなくなってしまう時があるが 81.3%となっています。

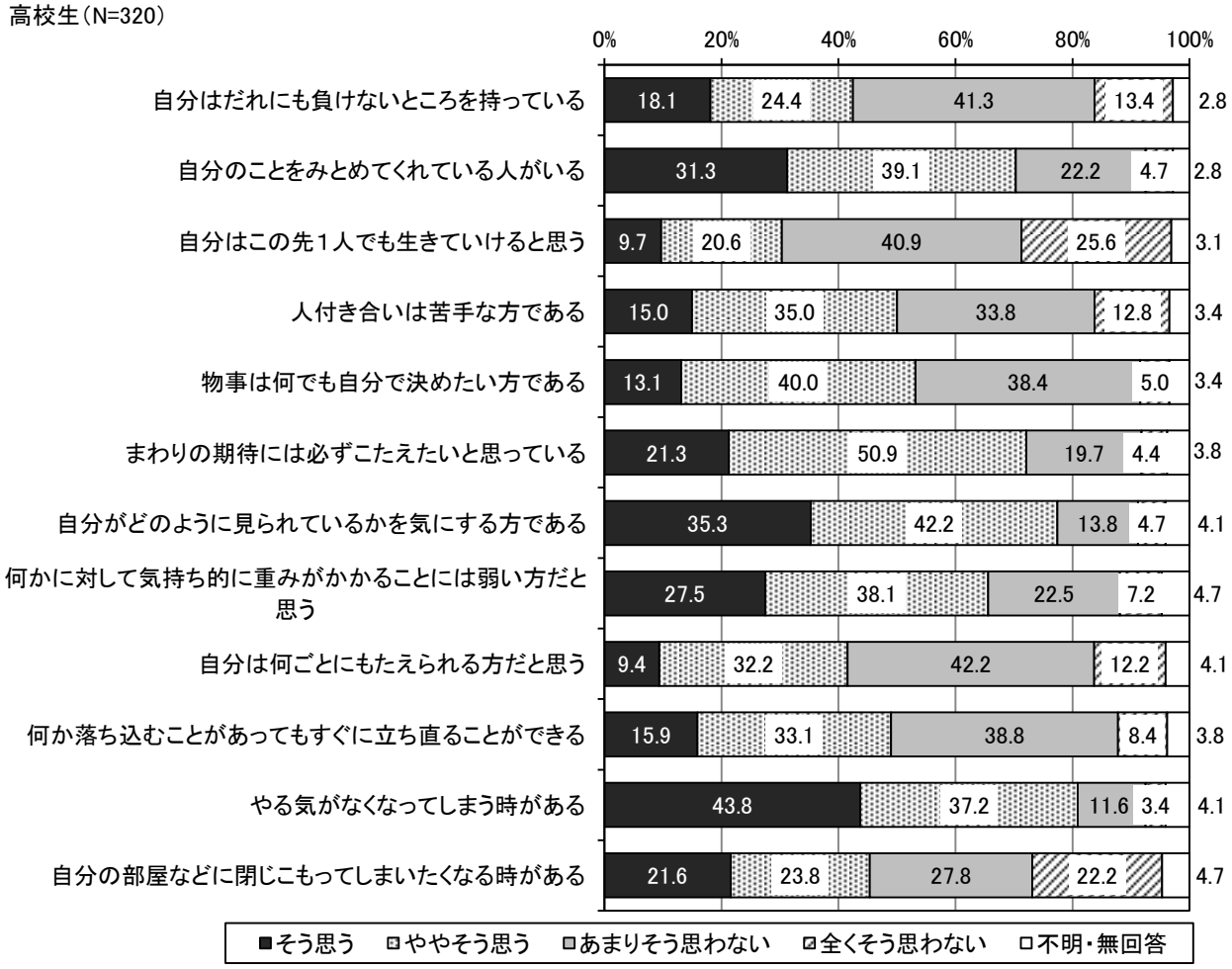
一方、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた『思わない』では、自分はだれにも負けないところを持っているが 54.7%、自分はこの先１人でも生きていけると思うが 61.1%、人付き合いは苦手な方であるが 54.1%、自分は何ごとにもたえられる方だと思うが 55.8%、自分の部屋などに閉じこもってしまいたくなる時があるが 57.1%となっています。



## （３）自身のことについての考え（高校生）〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 32〕

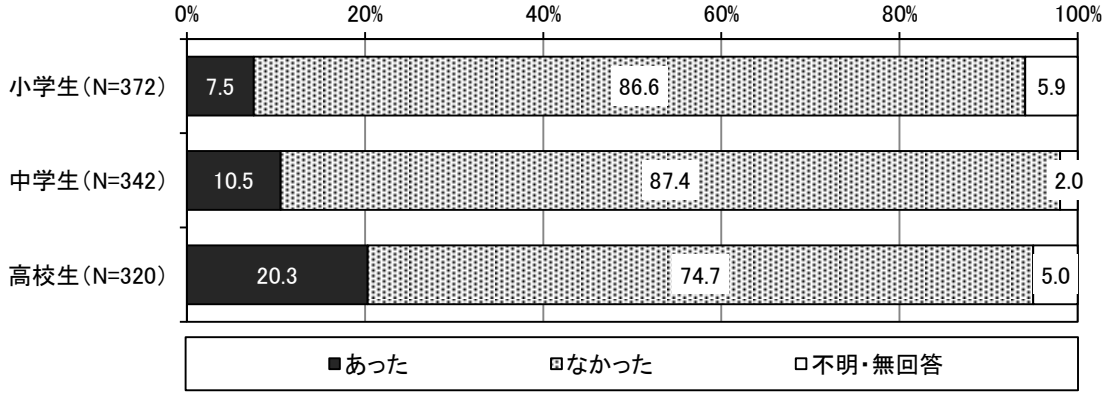
高校生の自身のことについての考えについてみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』では、自分のことをみとめてくれている人がいるが 70.4%、まわりの期待には必ずこたえたいと思っているが 72.2%、自分がどのように見られているかを気にする方であるが 77.5%、やる気がなくなってしまう時があるが 81.0%となっています。

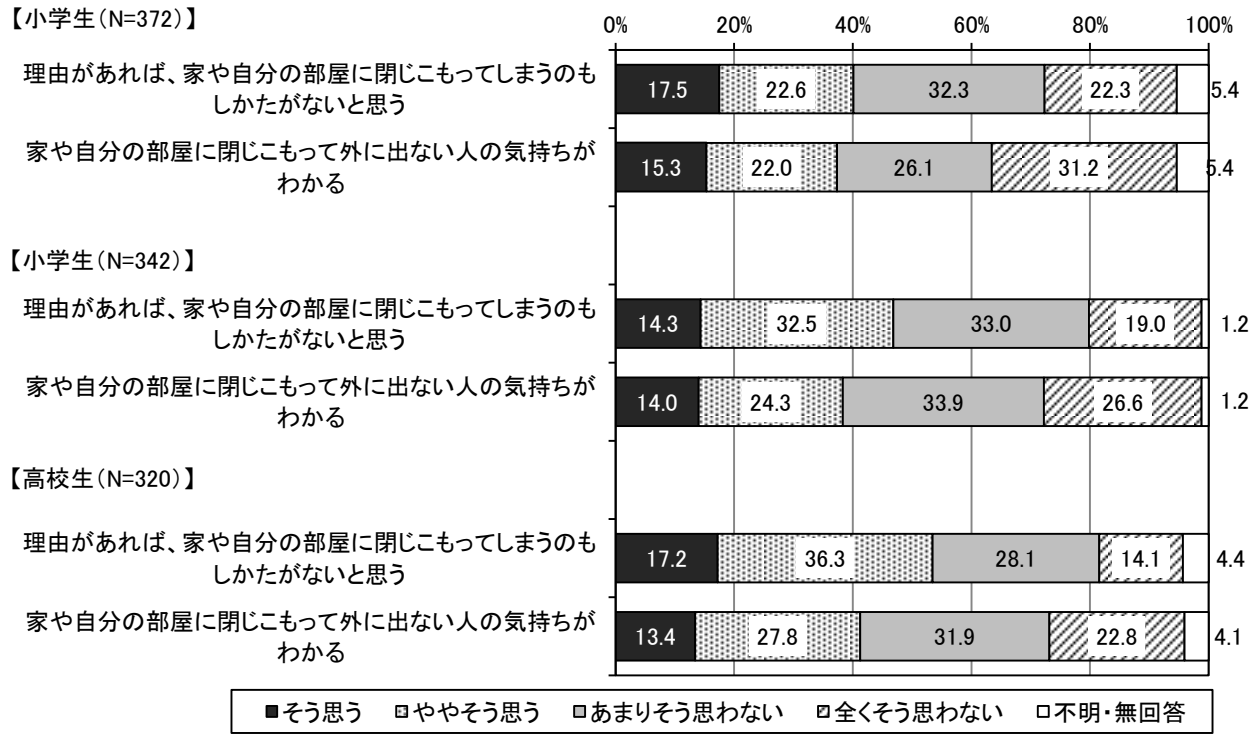
一方、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた『思わない』では、自分はだれにも負けないところを持っているが 54.7%、自分はこの先１人でも生きていけると思うが 66.5%、人付き合いは苦手な方であるが 56.6%、自分は何ごとにもたえられる方だと思うが 54.4%となっています。



## （４）自身のことについての考え（今まで落ち込んだりなどして学校を休んだり、閉じこもってしまったことの有無）〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 32⑬〕

今まで落ち込んだりなどして学校を休んだり、閉じこもってしまったことの有無についてみると、小学生、中学生、高校生ともに「なかった」が大部分を占め、それぞれ 86.6%、87.4%、74.7%と７割以上となっています。また、年齢があがるにつれ、「あった」が高くなっており、中学生で１割、高校生で２割となっています。




## （５）自身のことについての考え（理由があれば、家や自分の部屋に閉じこもってしまうことも仕方がない、家や自分の部屋に閉じこもって外に出ない人の気持ちがわかる）〈単数回答〉〔小中高校生調査…問 32⑭⑮〕

理由があれば、家や自分の部屋に閉じこもってしまうことも仕方がないかどうかについてみると、小学生は「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた『思わない』が、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた『思う』を上回っていますが、中学生、高校生は『思う』が『思わない』を上回っています。